晝間　橙黃色圓板
夜間　橙黃色燈

三　無難信號（徐行區域終了）
晝間　綠色圓板
夜間　綠色燈

臨時信號機ノ圓板ノ背面ハ白色トス

第五十九條　單線ニ於テ注意信號ヲ現示スル臨時信號機ハ其ノ背面ヲ綠色トシ反對方向ニ無難信號ヲ現示スルコトヲ得

第三節　手信號

第六十條　手信號ハ信號機ノ設ケナキトキ又ハ之ヲ使用スルコト能ハサルトキ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一　危害信號（列車停止スヘシ）
晝間　赤色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高ク擧ケ又ハ物體ヲ急激ニ振リ廻シ之ニ代フルコトヲ得
夜間　赤色燈ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ何色ノ燈ニテモ急激ニ振リ廻シ之ニ代フルコトヲ得

二　注意信號（列車徐行スヘシ）
晝間　橙黃色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ上下ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得
夜間　橙黃色燈ヲ提示ス

三　無難信號（列車進行スルコトヲ得）
晝間　綠色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ高ク擧ケ之ニ代フルコトヲ得
夜間　綠色燈ヲ提示ス

第六十一條　一人ニテ同時ニ二箇以上ノ手信號ヲ現示スルコトヲ得ス

第四節　發雷信號

第六十二條　發雷信號ハ雷管ノ爆音ニ依リ信號ヲ現示ス列車ハ發雷信號ノ現示アリタルトキハ停止スヘシ

第六十三條　發雷信號ハ左ノ場合ニ之ヲ使用スヘシ

一　煙霧風雪等ニ因リ相當距離ヨリ夜間ノ法式ニ依ル危害信號ノ現示ヲ確認シ難キトキ

二　事故其ノ他ノ事由ニ因リ列車途中ニ停止シ又ハ線路ヲ一時閉鎖シタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ危害信號ノ現示アル場所ノ前方二十鎖以上ニ於テ雷管ヲ裝置スヘシ

第一項第二號ノ場合ニ於テハ停止列車又ハ閉塞線路ノ兩端ヨリ單線ニ在リテハ前後各二十鎖以上複線ニ在リテハ後方同距離以上ニ於テ雷管ヲ裝置スヘシ但シ最近ノ停車場、停留場又ハ信號所ニ其ノ旨ヲ通知シタルトキハ該方面ニ對シ雷管ノ裝置ヲ要セス

雷管ハ相當距離ヲ隔テ二箇以上ヲ軌條ニ裝置スヘシ

第五節　合圖

第六十四條　車輛ノ入換合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　前進スヘシ
晝間　綠色旗ヲ上下ニ振ル但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ上下ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得
夜間　綠色燈ヲ上下ニ振ル

二　推進スヘシ
晝間　綠色旗ヲ左右ニ振ル但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ左右ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得
夜間　綠色燈ヲ左右ニ振ル

三　停止スヘシ
晝間　赤色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高ク擧ケ之ニ代フルコトヲ得
夜間　赤色燈ヲ提示ス

第六十五條　列車出發ノ際車掌ヨリ機關手又ハ運轉手ニ對シテ爲ス合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ
晝間　片腕ヲ水平ニ伸ヘ手笛ヲ長聲ニ吹ク
夜間　綠色燈ヲ高ク圓形ニ動カシ手笛ヲ長聲ニ吹ク

第六十六條　保線係員、踏切番人等ニ向ヒ直ニ線路ヲ檢查スヘキ旨ヲ通告スル必要アル場合ニ於テ列車乘務員ノ爲ス合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ
晝間　帽又ハ他ノ物體ヲ緩ニ振ル
夜間　白色燈ヲ緩ニ振ル

第六十七條　汽笛合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　列車カ運轉ヲ始メムトスルトキ其ノ他注意ヲ促ストキ　適度ノ汽笛一聲

二　列車ノ近ケルヲ停車場、停留場、信號所又ハ往來頻繁ナル踏切道ニ知ラシムルトキ　長緩汽笛一聲

三　制動機ノ緊縮ヲ促ストキ　短急汽笛三聲

四　制動機ノ緩解ヲ促ストキ　適度ノ汽笛二聲

五　非常ノ事故ヲ警告シ又ハ保線係員ヲ招集スルトキ　短急汽笛數聲

第六節　標識

第六十八條　轉轍器標識ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　轉轍器
定位ニ在ルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ白色線一條ヲ横ニ畫シタル紫色圓板
夜間　前方及後方ヘ紫色燈
定位ニ在ラサルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ黑色線一條ヲ矢筈ニ畫シタル黃色矢羽形板
夜間　前方及後方ヘ黃色燈

二　脫線轉轍器
定位ニ在ルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ白色線一條ヲ横ニ畫シタル赤色長方形板
夜間　前方及後方ヘ赤色燈
定位ニ在ラサルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ黑色線一條ヲ横ニ畫シタル白色圓板
夜間　前方及後方ヘ綠色燈

第六十九條　夜間車止ノ位置ヲ示ス必要アルトキハ車止ニ白色燈ヲ掲クヘシ

第四章　列車保安

第一節　總則

第七十條　列車保安ハ左ノ法式ニ依ルヘシ但シ閉塞信號機ヲ設置スル區間及全線ヲ通シ二箇以上ノ列車ヲ運轉スルコトナキ鐵道ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一　複線ノ場合
　閉塞器式

二　單線ノ場合
　電氣通票器式、通票式又ハ票券式

第七十一條　列車保安ハ左ノ場合ニ限リ指導法ニ依ルコトヲ得

一　事故其ノ他ノ事由ニ因リ一時線路ヲ中斷シ又ハ複線ニ於テ一線ヲ一時閉塞シタルトキ

二　電氣通票ノ破損又ハ喪失シタルトキ

三　電氣通票器ノ不良ナルトキ

四　通票ノ破損又ハ喪失シタルトキ

第七十二條　私設鐵道業者ハ列車保安ノ法式ヲ定メ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七十三條　閉塞器及電氣通票器ニ添裝スル電鈴及電話機ハ列車運轉ノ用ニ供スルノ外他ノ目的ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第二節　閉塞式

第一款　閉塞器式

第七十四條　閉塞器式ヲ施行スル閉塞區間ノ兩端ニハ閉塞器ヲ備フヘシ

第七十五條　閉塞器ハ閉塞區間ニ列車ノ有無ヲ表示スル腕又ハ燈ヲ備ヘ電鈴及電話機ヲ添裝スヘシ

第七十六條　閉塞器ノ表示ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　腕ノ位置ニ依ル場合
　列車前方ニ進行ス　向テ左腕ノ位置水平
　列車前方ヨリ進行シ來ル　向テ右腕ノ位置水平
　閉塞區間ニ列車ナシ　腕ノ位置下向四十五度

二　燈ノ色ニ依ル場合
　列車前方ニ進行ス　向テ左方　赤色燈
　列車前方ヨリ進行シ來ル　向テ右方　赤色燈
　閉塞區間ニ列車ナシ　白色燈

第七十七條　閉塞器ノ表示ハ對手ノ停車場又ハ信號所ノ閉塞器ノ表示ト聯動シ且列車前方ニ進行スノ表示ハ前方ノ停車場又ハ信號所ヨリ操縦スルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得サル裝置タルヘシ

第七十八條　閉塞器ノ電鈴合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキ又ハ承認ヲ與ヘムトスルトキ　二打

二　列車到著シタルトキ又ハ之カ應答　四打

三　通信ヲ爲サムトスルトキ又ハ之カ應答　三打

第七十九條　列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ閉塞器ニ依リ前方ノ停車場又ハ信號所ニ其ノ合圖ヲ爲シ之カ承認ヲ受クヘシ

第八十條　前條ノ承認ハ左ノ條件ヲ具備スルニ非サレハ之ヲ與フルコトヲ得ス

一　閉塞區間ニ列車ナキコト

二　承認ヲ與ヘムトスル列車ノ到著線路ニ支障ナキコト

車輛ノ入換ヲ爲ストキ及到著セムトスル列車カ汽動車又ハ電車ナルトキハ線路其ノ他ノ狀況ニ依リ前項第二號ノ條件ヲ具備セサルモ承認ヲ與フルコトヲ得

承認ハ閉塞器ノ表示ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第八十一條　閉塞器不良ノ場合ニ於テ列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ第五十七條ノ規定ヲ準用ス

第二款　電氣通票式

第八十二條　電氣通票器式ヲ施行スル閉塞區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニハ電氣通票器ヲ備フヘシ

電氣通票器ハ通票ヲ收容シ閉塞區間ニ列車ノ有無及方向ヲ表示スル標識ヲ備ヘ電鈴及電話機ヲ添裝シ左ノ條件ヲ具備スル裝置タルヘシ

一　通票ハ對手ノ停車場又ハ信號所ト協同スルニ非サレハ之ヲ取出スコトヲ得サルコト

二　閉塞區間ノ兩端ニ於ケル電氣通票器ニ收容セラレタル通票ハ一箇ニ限リ取出スコトヲ得他ノ通票ハ取出サレタル通票ヲ電氣通票器ニ納入スルニ非サレハ之ヲ取出スコトヲ得サルコト

三　電氣通票器ニハ隣接閉塞區間ニ使用スル通票ヲ納入シ得サルコト

第八十三條　列車ハ當該閉塞區間ノ通票ヲ携帶スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第八十四條　隣接閉塞區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第八十五條　列車ノ運轉ニ使用シタル通票ハ之ヲ電氣通票器ニ納入スルニ非サレハ他ノ列車ノ運轉ニ使用スルコトヲ得ス

第八十六條　第七十八條乃至第八十條ノ規定ハ電氣通票器式ニ之ヲ準用ス

第三款　通票式

第八十七條　通票式ヲ施行スル區間ニハ通票ヲ備フヘシ

通票ハ一閉塞區間一箇トス

第八十八條　通票ニハ當該閉塞區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記入スヘシ

第八十九條　第八十三條及第八十四條ノ規定ハ通票式ニ之ヲ準用ス

第三節　票券式

第九十條　票券式ヲ施行スル區間ニハ通票及通券ヲ備フヘシ

通票ハ一保安區間一箇トス

通券ハ各保安區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニ之ヲ備フヘシ

第九十一條　通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記スヘシ

隣接保安區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第九十二條　通券ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記スヘシ

鄰接保安區間ノ通券ハ其ノ色ヲ異ニスヘシ

第九十三條　通券ハ當該保安區間ノ通票ヲ以テスルニ非サレハ開クコトヲ得サル通券函ニ之ヲ保管スヘシ

通券ハ列車ニ授與スルトキニ非サレハ通券函ヨリ之ヲ取出スコトヲ得ス

第九十四條　列車ハ當該保安區間ノ通票又ハ通券ヲ携帶スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第九十五條　通券ハ同一保安區間ニ二箇以上ノ列車ヲ同一方向ニ運轉スル場合ニ於テ先發列車ニ限リ之ヲ使用スヘシ

第九十六條　通券ハ發行ノ月日、當該列車番號及通票ヲ携帶スヘキ列車番號ヲ記載シ之ヲ發行スヘシ

第九十七條　通券ヲ携帶スル列車ハ退行スルコトヲ得ス

第九十八條　通券ヲ列車ノ乘務員ニ交付スルトキハ當該保安區間ノ通票ヲ呈示スヘシ

列車ノ乘務員ハ當該保安區間ノ通票ヲ確認スルニ非サレハ通券ヲ受領スルコトヲ得ス

第四節　指導法

第九十九條　指導法ヲ施行スル場合ニ於テハ一區間一人ノ指導者ヲ定メ赤色ノ腕章ヲ附セシムヘシ

第百條　指導者ノ氏名及擔當區間ハ指導者ノ乘込前之ヲ關係係員ニ告知スヘシ

第百一條　指導者ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得但シ通票式ヲ施行スル區間ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第百二條　閉塞器式及電氣通票器式ヲ施行スル區間竝閉塞信號機ヲ設置スル區間ニ於テハ電氣通信ヲ以テ前方ノ停車場又ハ信號所ノ承認ヲ受クルニ非サレハ指導者ハ列車ニ乘込ミ又ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得ス

電氣通信ニ依ルコトヲ得サル場合ニハ第五十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第百三條　列車ハ指導者乘込ムカ又ハ指導券ヲ携帶スルニ非サレハ指導法ヲ施行スル區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第百四條　列車ノ乘務員ハ指導者ヨリ直接指導券ノ交付ヲ受クルニ非サレハ之ヲ受領スルコトヲ得ス

第百五條　指導法ヲ廢止セムトスル場合ニ於テハ指導法ニ依リ最終ニ運轉スル列車ニハ指導者ヲ乘込マシメ且廢止後ニ施行スル保安法式ヲ併用スヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外指導法ト他ノ保安法式トヲ併用スルコトヲ得ス

第百六條　第九十二條、第九十五條乃至第九十七條ノ規定ハ指導券ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ハ本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

（大正九年制令第九號大正九年十一月十日ヨリ施行）

●朝鮮鐵道運輸規程

明治四十五年六月十五日
朝鮮總督府令第百十八號

改正　大正九年第一九九號、一一年第三三號、第一四六號、一三年第五七號、一五年第九二號
昭和五年第一四號、七年第三一號、一二年四月第五五號、一六年八月第二二六號

鐵道運輸規程左ノ通定ム

朝鮮鐵道運輸規程

第一章　總則

第一條　鐵道運送ハ本令ノ定ムル所ニ依ル但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ私設鐵道ハ鐵道局長ノ許可ヲ受ケ本令ニ依ラサルコトヲ得

鐵道局長ハ私設鐵道ノ狀況ニ依リ本令ニ依ラサル特別ノ運送ヲ命スルコトヲ得

第二條　鐵道係員ハ運輸上ノ安全便益ヲ旨トシ旅客及公衆ニ對シ懇切ニ其ノ職務ヲ行フヘシ

第三條　旅客及公衆ハ鐵道係員ノ職務上ノ指圖ニ從フヘシ

第四條　主要ナル停車場ニハ申告簿ヲ備フヘシ

旅客、貨物ノ取扱ニ關シ鐵道ノ處置ニ不當ノ廉アリト認ムル者ハ前項ノ申告簿ニ記載シ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ヲ爲ス者ハ事實ヲ詳記シ其ノ住所ヲ記シ署名スルコトヲ要ス

鐵道ハ氏名住所ヲ明示シタル抗告ニ付テハ遲滯ナク辨明ヲ與フヘシ

第五條　停車場ニハ見易キ場所ニ其ノ名稱ヲ明示シ其ノ他旅客及貨物取扱ニ必要ナル標示ヲ爲スヘシ

第六條　削除

第七條　停車場ニハ旅客及貨物ノ運賃表、列車時刻表其ノ他運輸上必要ナル諸表及運輸ニ關スル規則等ヲ備置キ公衆ノ閲覽ニ供スヘシ

停車場ニハ旅客及貨物ノ運送ニ必要ナル事項及鐵道ノ取締ニ關スル法令其ノ他ノ條項ヲ摘要シテ之ヲ揭示スヘシ

效用ヲ失ヒタル諸掲示類ハ即時ニ之ヲ撤去スヘシ

第十條ノ二　停車場ニハ時計ヲ備付ケ正確ニ時刻ヲ齊正スヘシ

第十條ノ三　鐵道ハ乘車賃、手荷物運賃及旅客附隨小荷物運賃ノ正算支拂ヲ請求スルコトヲ得

第十七條ノ四　本令ノ旅客列車ニハ混合列車ヲ含ム

第二章　旅客運送

第八條　削除

第九條　旅客ノ同伴スル六年未滿ノ小兒ハ旅客一人ニ付少クトモ一人ハ無賃ヲ以テ運送スヘシ

割引乘車券ヲ以テ乘車スル旅客又ハ特ニ乘車位置ノ指定ヲ爲ス列車若ハ客車ニ乘車シ小兒ノ爲其ノ指定ヲ請求スル旅客ニ付テハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ私設鐵道ハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

十二年未滿ノ小兒ハ第一項ノ規定ニ依リ無賃運送ヲ爲スモノヲ除キ半賃金ヲ以テ運送スヘシ

第十條　乘車券ニハ通用區間、通用期間、客車ノ等級、運賃額竝發行ノ日附ヲ記載スヘシ

特種及臨時發行ノ乘車券ニハ前項ノ記載事項ヲ省略スルコトヲ得

第十一條　停車場ニ於テハ少クトモ列車ノ出發時刻十五分前ニ乘車券ノ賣出ヲ開始スヘシ交通頻繁ナル停車場ニ於テハ少クトモ一時間前ニ之ヲ開始スヘシ

出札ハ列車出發時刻五分前迄ハ之ヲ停止スルコトヲ得ス

改札口ハ同一分前迄ハ之ヲ閉鎖スルコトヲ得ス

第十二條　旅客ハ乘車前乘車券ノ改鋏ヲ受クルコトヲ要ス但シ改札口ノ設備ナキ停車場ニ於テハ乘車後改鋏ヲ受クヘシ

改鋏ナキ乘車券ハ無效トスルコトアルヘシ

第十三條　旅客ハ改札前ニ在リテハ其ノ買受ケタル乘車券ヲ其ノ通用期間內ニ限リ他級ノ乘車券ト交換シ又ハ之ヲ返還シテ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

前條第一項但書ノ場合ニ於テハ旅客ハ乘車前ニ限リ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得

乘車券相當ノ座席ナキ場合ニ於テ鐵道係員カ優等車ニ一時便乘ノ取扱ヲ爲ササルトキハ旅客ハ選擇ニ依リ旅行ヲ止メ又ハ劣等車ニ移乘シテ運賃ノ全額又ハ差額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ直ニ鐵道係員ニ申告スルコトヲ要ス

前三項ノ場合ノ外旅客ハ乘車券ヲ返還シ運賃ノ拂戻ヲ受ケ又ハ劣等車ニ乘換ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

改札後ト雖座席ノ餘裕アルトキハ旅客ハ何時ニテモ運賃差額ヲ支拂ヒ優等車ニ乘換ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十四條　旅客ハ乘車券ノ通用期間內ニ於テ任意ノ停車場ニ途中下車ヲ爲シ當該停車場又ハ其ノ前途ノ停車場ヨリ他ノ列車ニ乘繼クコトヲ得但シ別段ノ定アル特種乘車券ニ依リ乘車ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　旅客カ途中下車ヲ爲シタルトキハ乘車券ニ係員ノ證明ヲ受ケ乘繼ノ際ハ之カ檢査ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ途中下車ニ付別段ノ定アル特種乘車券ニ對シ適用セス

第十六條　乘車券ハ其ノ通用區間中何レノ部分ニ付テモ之ヲ使用スルコトヲ得但シ特種ノ列車ニ付特別ノ定ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ私設鐵道ハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ列車ノ運轉ヲ中斷シタルトキハ旅客ノ請求ニ因リ既ニ通過セル線路ニ相當スル運賃ヲ控除シ殘額ノ拂戻ヲ爲シ且出發停車場ニ無賃送還スヘシ

第十八條　列車遲延ノ爲相當ノ時間中ニ接續スル列車ニ乘車スルコトヲ得サルトキハ連絡乘車券ヲ有スル旅客ニ限リ其ノ請求ニ因リ無賃ニテ出發停車場（途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場）ニ送還シ出發停車場ヨリノ運賃（途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場ト出發停車場トノ間ニ相當スル運賃ヲ控除シタル殘額）ヲ拂戻スヘシ但シ旅客カ次回ノ返リ列車ヲ以テ中斷ナク復歸スルトキニ限ル

第十九條　事故ノ爲列車發著ノ遲延、運轉ノ中斷等アルトキハ關係停車場ニ遲滯ナク之ヲ掲示スヘシ

第二十條　旅客ハ乘車券指定ノ到著停車場ニ於テ乘車券ヲ鐵道係員ニ交付スヘシ

第二十一條　左ノ所爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ其ノ乘車區間ニ相當スル旅客運賃及之ト同額以內ノ割增金ヲ請求スルコトヲ得

一　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券ヲ所持セスシテ乘車スルコト

二　乘車券（定期乘車券ヲ除ク）ニ改鋏ヲ受ケスシテ乘車スルコト

三　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券面記載ノ區間外ヲ乘車スルコト

四　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券面記載ノ等級ヨリ上級ノ車室ニ乘車スルコト

五　大人カ小兒用乘車券ヲ以テ乘車スルコト

六　學生、移民其ノ他ノ特定人ニ對スル割引乘車券ヲ以テ特定人以外ノ者乘車スルコト

七　乘車列車ヲ指定セラレタル乘車券ヲ以テ指定以外ノ列車ニ乘車スルコト

八　通用期間滿了、券面記載文字ノ改竄其ノ他ノ事由ニ因ル無效ノ乘車券ヲ以テ乘車スルコト

九　乘車券檢查ノ際其ノ呈示ヲ拒ミ又ハ其ノ取集ノ際之ヲ渡ササルコト

前項第五號及第六號ノ場合ニ於テハ旅客所持ノ乘車券ヲ回收シ既收ノ旅客運賃ハ之カ拂戻ヲ爲ササルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ乘車停車場不明ナルトキハ其ノ列車ノ始發停車場ヨリノ運賃及之ト同額以內ノ割增金、乘車等級不明ナルトキハ其ノ列車ノ最優等級ニ依ル運賃及之ト同額以內ノ割增金ヲ請求スルコトヲ得

第二十二條　鐵道係員ハ旅客ノ請求アルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ座席ノ指定ヲ爲スヘシ

旅客乘車中座席ヲ離レ特ニ之ヲ占置カサルトキハ他人之ヲ占取スルモ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十三條　旅客ハ列車出發ノ合圖アリタル後乘車スルコトヲ得ス

乘後レノ爲發行當日限通用乘車券ノ效用ヲ失ヒタルトキ遲滯ナク其ノ乘車券ヲ鐵道係員ニ提出シ有效ノ證明ヲ受クルトキハ其ノ翌日內ニ限リ該乘車券ヲ以テ目的地ニ向ヒ發スル列車ニ乘車スルコトヲ得特ニ列車ヲ指定スル乘車券ノ通用期限ハ前項ノ規定ニ依リテ延長セラルルコトナシ

第二十四條　鐵道係員ハ列車カ停車場ニ到著スルトキ其ノ停車場ノ名稱、乘換アルトキハ其ノ旨竝停車時間五分以上アルトキハ其ノ時間ヲ喚呼スヘシ

第三十八條ノ四　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ移送ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外再託送ヲ爲スヘシ

第三十九條　手小荷物ハ物品ノ數過セサル樣鍵鎖ヲ施シ其ノ他ノ運送ニ適スル樣荷造ヲ爲スヘシ

第四十條　左ノ物品ハ手小荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得ス

一　火藥類其ノ他危險ヲ生スル虞アル物品

第四十一條　鐵道ノ承諾ヲ受クルコトヲ要ス

第四十二條　傳染病患者ヲ乘車セシメムトスルトキハ豫メ申込ヲ爲シ其ノ他運送ニ付列車ヲ指定スルコトヲ得

第四十三條　鐵道ハ傳染病患者ノ運送ニ付キ必要ナル事項ヲ指定スルコトヲ得

第四十四條　鐵道ハ公衆ノ安全ヲ保スルニ必要ナル限度ニ於テ旅客及公衆ノ手荷物ニ付キ檢査ヲ爲シ又ハ旅客ニ對シ檢査ヲ受ケシムルコトヲ得

第四十五條　旅客ハ左ノ行爲ヲ爲スヘカラス

一　火藥類其ノ他危險ノ物品ヲ携帶シ又ハ之ヲ手荷物ニ混入シテ運送ヲ爲サシムルコト

二　動物又ハ他ノ旅客ニ迷惑ヲ及ホスヘキ虞アル物品ヲ携帶シ又ハ之ヲ手荷物ニ混入シテ運送ヲ爲サシムルコト

三　鐵道ノ許諾ヲ得スシテ鐵道地内ニ於テ演説ヲ爲シ又ハ印刷物ヲ配布シ若ハ掲示ヲ爲スコト

四　鐵道地内ニ於テ喧噪ニ渉リ又ハ他ノ旅客ニ迷惑ヲ及ホスヘキ行爲ヲ爲スコト

五　鐵道ノ許諾ヲ得スシテ鐵道地内ニ於テ物品ノ販賣ヲ爲シ又ハ其ノ許諾ヲ得スシテ鐵道地内ニ於テ寄附金ヲ募集スルコト

第四十六條　旅客ハ列車出發時刻ヨリ少クトモ二十分前迄ニ其ノ手荷物ヲ一回以上ニ亙リ託送スルモノヲ除ク外再託送ヲ爲スヘシ

第四十七條　到着後二十四時間内ニ引取ラサル手小荷物ニ付テハ保管ノ責ニ任スヘシ

第四十八條　削除

第四十九條　削除

第五十條　旅客ハ列車カ停車場外ニ於テ停止スルトキ例令長時間ニ渉ルト雖鐵道係員ノ許諾ヲ得ルニ非ラサレハ列車ノ昇降口ニ近寄リ又ハ乘降ノ用ニ供スル場所以外ノ場所ニ立入リ若ハ鐵道係員ノ指示ニ從ハサル者ニ對シ其ノ退去ヲ求ムルコトヲ得

第五十一條　旅客ハ左ノ行爲ヲ爲スヘカラス

一　同乘者ニ迷惑ヲ及ホスヘキ行爲ヲ爲スコト

二　鐵道ノ設備又ハ車内ノ器具裝飾ヲ汚損スルコト

三　車内ニ於テ喫煙又ハ火氣ノ取扱ニ注意シ其ノ他ノ旅客ニ危險ヲ與フルノ虞アル物品ヲ携帶シ又ハ之ヲ託送スルコト

四　燃殘ノ燐寸、煙草ノ吸殼又ハ唾壺外ニ投スルコト

五　線路、通行人等ニ危險ヲ與フルノ虞アル物品ヲ投スルコト

第五十二條　鐵道ハ旅客一人ニ付少クトモ二十瓩迄ノ手荷物ヲ無賃ニテ運送スヘシ

第五十三條　旅客ハ其ノ旅行ニ必要ナル物品ニ限リ手荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得但シ貴重品及動物ハ此ノ限ニ在ラス

第五十四條　鐵道ハ旅客一人ニ付少クトモ二十瓩迄ノ手荷物ヲ無賃ニテ運送スヘシ但シ已ムヲ得サル事情アル場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ運送スヘシ

第五十五條　重量ニ依リ運賃ヲ定メサル特定品ハ小荷物トシテ之ヲ取扱フヘシ

第五十六條　前項ノ物品ノ種類、運賃ハ之ヲ停車場ニ掲示スヘシ

第五十七條　前條ノ物品ニ付請求アルトキハ第三十三條第二項ノ取扱ヲ爲スヘシ

第五十八條　手荷物ヲ以テ運送スルニ適スル荷物ハ小荷物トシテ旅客列車ヲ以テ運送スヘシ

第五十八條ノ二　傳染病患者ヲ乘車セシメムトスルトキハ豫メ申込ヲ爲シ又ハ他ノ運送ニ付列車ヲ指定スルコトヲ得

第五十八條ノ三　鐵道ハ傳染病患者ノ運送ニ付キ必要ナル事項ヲ指定スルコトヲ得

第五十八條ノ四　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ移送ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外再託送ヲ爲スヘカラス

第五十九條　旅客ハ公衆ノ安全ヲ保スルニ必要ナル事項ヲ指定スルコトヲ得

第六十條　左ノ物品ハ手小荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得ス

一　火藥類其ノ他危險ヲ生スル虞アル物品

第六十一條　手小荷物ハ物品ノ數量、容積、重量過大ナル物品ノ託送ヲ引受ケサルコトヲ得

第六十二條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ託送スヘシ但シ貴重品及動物ハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　旅客ハ其ノ旅行ニ必要ナル物品ニ限リ手荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得

第六十四條　旅客ハ手荷物ノ託送ヲ爲ス場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ其ノ手荷物ヲ引渡ノ際引換ノ符標ヲ所持セサル者ハ其ノ受取ニ非サレハ之カ引渡ヲ爲サス

第六十五條　旅客ハ手荷物ノ託送ヲ爲ス場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ其ノ手荷物ヲ引渡ノ際引換ノ符標ヲ所持セサル者ハ其ノ受取ニ應スルコトヲ得ス

第六十六條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スヘシ

第六十七條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ乘車券ヲ呈示シ引渡ヲ請求スヘシ

第六十八條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ中間停車場ニ於テ之カ引渡ヲ爲スヘキトキハ旅客ノ請求ニ應シ支拂ヒタル運賃ノ拂戻ヲ爲ササルコトヲ得

第六十九條　傳染病患者若ハ傳染病ノ疑アル者ハ列車出發時刻ヨリ少クトモ二十分前迄ニ其ノ手續ヲ爲シ又ハ其ノ他ノ旅客ニ迷惑ヲ及ホス虞アル重病人、類患者、瘋癲者其ノ他ノ旅客ニ迷惑ヲ及ホス虞アル場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ運送スヘシ

第七十條　無賃運送又ハ半賃運送ノ手荷物ヲ二回以上ニ亙リ託送スルモノヲ除ク外再託送ヲ爲ササル手小荷物ニ付テハ保管ノ責ニ任セス

第七十一條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ乘車券ヲ呈示シ引渡ヲ請求スヘシ

第七十二條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ中間停車場ニ於テ之カ引渡ヲ爲スヘキトキハ旅客ノ請求ニ應シ支拂ヒタル運賃ノ拂戻ヲ爲ササルコトヲ得

第七十三條　旅客ハ手小荷物ノ託送ヲ爲ス場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ其ノ手荷物ヲ引渡ノ際引換ノ符標ヲ所持セサル者ハ其ノ受取ニ應スルコトヲ得ス

第七十四條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ乘車券ヲ呈示シ引渡ヲ請求スヘシ

第七十五條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ中間停車場ニ於テ之カ引渡ヲ爲スヘキトキハ旅客ノ請求ニ應シ支拂ヒタル運賃ノ拂戻ヲ爲ササルコトヲ得

第七十六條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ乘車券ヲ呈示シ引渡ヲ請求スヘシ

第七十七條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ乘車券ヲ呈示シ引渡ヲ請求スヘシ

第七十八條　手小荷物ハ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ノ前項ノ場合ニ於テハ旅客ノ請求ニ應シ乘車券ヲ呈示シ引渡ヲ請求スヘシ

第七十九條　傳染病患者若ハ狂者又ハ行李ノ貨切扱ヲ以テ運送スル場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ運送スヘシ但シ已ムヲ得サル事情アル場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ運送スヘシ

第八十條　傳染病患者ハ其ノ入口及側面ニ傳染病者ノ四字ヲ掲示スヘシ

第八十一條　傳染病患者ノ車輛ハ其ノ一切ノ交通ヲ遮斷スヘシ

第八十二條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第八十三條　傳染病患者ノ車輛ハ其ノ入口及側面ニ傳染病者ノ四字ヲ掲示スヘシ

第八十四條　傳染病患者ノ車輛ハ普通旅客ト車輛ヲ區別シ當該係員ノ外一切ノ交通ヲ遮斷スヘシ

第八十五條　傳染病患者若ハ狂者又ハ行李ノ貨切扱ヲ以テ運送スル場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ運送スヘシ

第八十六條　鐵道ノ請求アルトキハ附添人ヲ附スルコトヲ要ス

第八十七條　傳染病患者ニハ附添人ヲ附スルコトヲ要ス

第八十八條ノ二　傳染病患者ハ附添人ヲ附スルコトヲ要ス

第八十九條　傳染病患者若ハ狂者又ハ行李ノ貨切扱ヲ以テ運送スル場合ニ於テハ普通旅客ノ貸切扱ヲ以テ運送スヘシ

第九十條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十一條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十二條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十三條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十四條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十五條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十六條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十七條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十八條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第九十九條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第百條　傳染病患者ハ傳染病豫防令第九條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外旅客ノ乘車ヲ禁ス

第五十條　第十七條及第十八條ノ場合ニ於テ旅客ヲ無賃送還スルトキ該旅客ノ託送セル手荷物ノ取扱ハ旅客取扱ノ例ニ據ル
手荷物發送後旅客ノ請求ニ因リ出發停車場ニ送還スル場合ニ於テハ旅客ハ既ニ支拂ヒタル運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス但シ乘車券相當ノ座席ナキ爲旅行ヲ中止シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　手小荷物運送ニ關シテハ本章ニ定ムルモノヲ除クノ外第八章ノ規定ヲ準用ス

第四章　死體運送

第五十二條　死體ハ棺槨ニ密塞シ列車始發停車場ニ於テハ其ノ發車時刻ヨリ少クトモ六時間前迄ニ、中間停車場ニ於テハ同時刻ヨリ少クトモ十二時間前迄ニ託送ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十三條　死體ヲ託送セムトスル者ハ死亡證書ヲ呈示シ且託送狀ニ其ノ寫ヲ添附スヘシ
改葬ノ場合ニ於テハ改葬認可ニ關スル當該官憲ノ證明書ヲ以テ前項ノ死亡證書ニ代フルコトヲ得

第五十四條　死體運送ニハ託送人ニ於テ附添人ヲ附スヘシ
前項附添人ハ乘車券ヲ所持スヘシ

第五十五條　死體ハ手荷物車又ハ有蓋車ヲ以テ運送スヘシ但シ特約アルトキハ貸切客車又ハ無蓋車ヲ以テ運送スルコトヲ得

第五十六條　死體ハ到達後速ニ之ヲ引取ルヘシ若六時間内ニ引取ラサルトキハ鐵道ハ相當ノ處置ヲ爲シ引取遲延ノ爲生スル費用ヲ託送人ヨリ請求スルコトヲ得

第五章　貴重品運送

第五十七條　左ニ揭グルモノヲ貴重品トス
一　金貨、銀貨、紙幣、銀行券、軍用手票、印紙、郵便切手及公債證書、大藏省證券、株券、債券、商品券其ノ他ノ有價證券竝ニ金、銀、白金其ノ他ノ貴金屬、イリジウム、タングステン其ノ他ノ稀金屬、金剛石、紅玉、綠柱玉、琥珀、眞珠其ノ他ノ寶玉石、象牙、鼈甲、珊瑚及其ノ各製品
二　美術品及骨董品
三　容器荷造ヲ加ヘ一瓩ノ價格四十圓ノ割合ヲ超ユル物但シ動物ヲ除ク
貴重品ト貴重品ニ非ザルモノトヲ混ゼル場合ニ於テ容器荷造ヲ加ヘ一瓩ノ價格四十圓ノ割合ヲ超エザルトキハ之ヲ貴重品ニ非ザルモノト看做ス
第一項第三號及前項ノ場合ニ於ケル重量及價格ハ一荷造每ニ之ヲ計算ス

第五十八條　貴重品ハ嚴重ニ包裝封印シ列車出發時刻ヨリ少クトモ三十分前迄ニ託送ノ手續ヲ爲スヘシ
貴重品ヲ託送セムトスル者ハ運送狀ヲ差出スヘシ

第五十九條　貴重品ハ特ニ定メタル列車ニ限リ運送スルコトヲ得
前項ノ列車番號ハ停車場ニ揭示スルコトヲ要ス

第六十條　到着後二十四時間内ニ引取ヲ爲サザル貴重品ニ付テハ保管料ヲ請求スルコトヲ得

第六十一條　貴重品ノ運送ニ關シテハ本章ニ定ムルモノノ外旅客列車便ニ依ルモノハ第三章、貨物列車便ニ依ルモノハ第八章ノ規定ヲ準用ス

第六章　動物運送

第六十二條　手荷物車ヲ以テ運送スルニ適スル小動物ハ旅客列車ヲ以テ運送スヘシ

第六十三條　削除

第六十四條　旅客ノ攜帶スル犬ヲ除クノ外小動物ハ逸出ノ虞ナキ様籠、網若ハ箱等ニ入レ託送スヘシ

第六十五條　小動物ヲ除クノ外動物ヲ託送セムトスル者ハ豫メ其ノ申込ヲ爲シ列車出發時刻ヨリ少クトモ一時間前迄ニ之ヲ停車場ニ送致スヘシ

第六十五條ノ二　動物ノ積卸ハ鐵道ノ請求アルトキハ荷主ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

第六十六條　鐵道ハ動物ノ運送ニ付必要ト認ムルトキハ附添人ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ附添人ニ對シテハ乘車賃ヲ請求スルコトヲ得
附添人ノ乘車賃ハ三等旅客運賃ノ定額ヲ超過スルコトヲ得ス
動物附添人ハ動物ヲ監視シ係員ノ認諾ヲ受クルニ非サレハ他車ニ轉乘スルコトヲ得ス
附添人ハ藁、枯草等燃エ易キ物品アルトキハ喫煙具及發火シ易キ物品ヲ車中ニ攜帶スルコトヲ得ス

第六十七條　猛獸ヲ託送セムトスル者ハ逸走若ハ危害防止ノ爲充分ナル羈絆ヲ施スヘシ

第六十八條　動物ハ其ノ到達停車場ニ於テ直ニ之カ受取ヲ爲スヘシ運送中ハ勿論到著後若引取ヲ爲サザルモ鐵道ハ飼養ノ責ニ任セス

第六十九條　削除

第七十條　動物ノ運送ニ關シテハ本章ニ定ムルモノノ外旅客列車便ニ依ルモノハ第三章、貨物列車便ニ依ルモノハ第八章ノ規定ヲ準用ス

第七章　火藥類運送

第七十一條　本令ニ於テ火藥類トハ左ニ揭グル火藥、爆藥及火工品ヲ謂フ

甲種
- 火藥
  - 硝酸鹽類ヲ主トスル有煙火藥
- 爆藥
  - 一　點火點爆藥
    - イ　雷汞雷酸鹽ノ類
    - ロ　起爆ノ用途ニ供スル窒化物窒化鉛ノ類
    - ハ　其ノ他
  - 二　ニトログリセリン又ハ之ヲ主トスル爆發藥各種ダイナマイトノ類
  - 三　鹽素酸鹽ヲ主トスル爆發藥
  - 四　ニトロマンニツト、四硝酸ペンタエリスリツト、硝酸澱粉
  - 五　其ノ他
- 火工品
  - 火藥又ハ爆藥ヲ裝塡シタル火工品但シ玩具用普通火工品ヲ除ク

乙種
- 火藥
  - 一　無煙火藥
  - 二　濕藥箱内ノ火藥ヲ爆發ノ危險ナキニ至ル迄充分濕潤ノ上箱ヲ密閉シ該箱ノ上ニ濕藥ト明記シタルモノ
- 爆藥
  - 一　爆發ノ用途ニ供スル棉火藥又ハ之ヲ主トスル混和物
  - 二　爆發ノ用途ニ供スル芳香系列ノ硝化物ニトロベンゾール、ニトロナフタリン、ニトロトルオール、ピクリン酸及テトリールノ類又ハ之ヲ主トスル混和物
  - 三　硝酸アンモン又ハ過鹽素酸鹽ヲ主トスル爆藥中ニトログリセリン又ハニトロセルロースヲ含有セザルモノ

四　硝酸アンモンヲ主トスル爆藥中ニトログリセリン又ハニトログローストヲ含有スルモ其ノ含有總量百分　六ヲ超エザルモノ

五　濕藥箱內ノ爆藥ヲ爆發ノ危險ナキニ至ル迄充分濕潤ノ上箱ヲ密閉シ該箱ノ上ニ濕藥ト明記シタルモノ

六　トリメチレントリニトロアミン

火工品

一　藥筒、藥包、彈藥筒

二　火藥又ハ爆藥ヲ裝塡シタル彈丸、爆彈又ハ水雷

三　銃用實包、銃用空包、火藥類ヲ裝塡セザル雷管附又ハ爆管附藥莢

四　雷管、信管、爆管、門管

五　速燃導火線、緩燃導火線、電氣導火線、導爆線

六　信號用雷管、煙火

七　信號青焰、信號紅焰、星火ヲ發スル榴彈一箱ノ內容十二火筒箱ノ內容六箇、救命索發射用ロケット　以下ニ限ル

點火點爆藥類ヲ附シタル爆藥、ニトログリセリン及乾燥セル起爆藥（雷汞窒化鉛ノ類）ハ之ヲ鐵道ニ依リ運送スルコトヲ得ズ

第七十二條　火藥類ノ荷送人ハ少クトモ二十四時間前ニ發送停車場ニ運送ヲ申込ミ其ノ承諾ヲ求ムベシ

火藥類ノ荷送人ガ銃砲火藥類取締ニ關スル法令ノ規定ニ依リ當該官廳ノ運搬許可證ヲ受クベキ場合ニ於テハ鐵道係員ハ其ノ許可證ヲ檢閱スベシ

第七十三條　火藥類ノ授受ハ貨物掛又ハ驛長ノ外之ヲ爲スコトヲ得ズ

火藥類搬出入ノ日時、場所、方法及火藥類ノ積卸ニ關シテハ前項ノ係員ノ指示ニ從フベシ

第七十四條　火藥類ハ左表ノ定ムル所ニ依リ包裝ヲ爲スベシ但シ輸入シタル火藥類ノ包裝ニシテ其ノ安全度ガ左表ニ定ムルモノト同等以上ノモノ及軍衙ノ託送ニ係ルモノニシテ當該軍衙所定ノ包裝ヲ爲シタルモノハ其ノ包裝ニ依ルコトヲ得

種類	容器及施封法	外裝法
火藥	亞鉛、アルミニウム、ブリキ製等ノ金屬罐、厚紙箱、布袋、紙袋、木箱、ファイバー器等ニ收容シ內容物ノ動搖ヲ豫防シ密封スル但シ水蓄セルモノハ漏水セザル金屬罐ニ收容スルコトヲ要ス	木箱（板又ハ乾燥材ニシテ杉、エゾ松又ハ之ト同等以上ノ強度ヲ有スルモノヲ用ヒ板ノ厚ハ各部共一・三糎以上トシ釘間隔ヲ以テ打込ミ蓋ハ長サ三糎以上ニシテ適當ノ間隔ヲ以テ釘又ハ螺旋釘ニテ適當ノ場合ニハ箱ノ兩緣側ニハ厚サ一・五糎以上幅三糎以上ノ棧又ハ直徑一〇・九糎以上ノ提繩ヲ附ス）又ハ之ト同等以上ノ強度ヲ有スル金屬罐、ファイバー製箱若ハ軟質木箱ニ收容シ內容物ノ動搖ヲ豫防シ得ル樣適宜ノ處置ヲ施ス
爆藥	火藥ニ同ジ但シダイナマイト類ハ紙包ミニシ內箱ニ納メ硝酸アンモン其ノ他吸濕性强キモノハ防水紙若ハ金屬薄葉ノ類ヲ以テ密封シ防濕ノ上內箱ニ收容スル雷汞ハ二五%以上ノ含水物トシテ緻密ナル二重木綿袋ニ入レ紐ニテ結束シタルモノヲ更ニ內袋ノ周圍各部三糎以上ノ間隔ヲ保チ得ル如キ厚布袋ニ入レ間隙ニハ鋸屑ヲ塡充シ紐ニテ結束ス	火藥ニ同ジ但シ雷汞用外箱ハ棧附木箱ニシテ漏水ノ間隙ナキモノヲ用ヒ內裝ト外箱周壁トノ間隙ハ各部共一二糎以上ヲ保チ其ノ間隙ニハ鋸屑ヲ塡充シ注水ノ上密封ス

火工品	火藥ニ同ジ但シ內容物ノ動搖ヲ豫防シ得ル樣適正ノ處置ヲ施シ內箱ニ納ムル水雷ノ如キ大型ノモノニ在リテハ堅牢ナル外裝ヲ省略スルコトヲ得	火藥ニ同ジ但シ同等以上ノ强度ヲ有スル木枠ヲ用フルコトヲ得

第七十五條　火藥類ハ其ノ包裝ノ外部見易キ箇所ニ火藥、爆藥又ハ火工品ト赤書シ又ハ赤書シタル標札ヲ附シ且轉輾セシムベカラザルモノニ在リテハ其ノ旨ヲ明記スベシ

第七十六條　一車ヲ專用シテ積載スベキ火藥類ノ運送ヲ引受ケタルトキハ鐵道ハ荷送人ニ對シ附添人ヲ要求スルコトヲ得

附添人ハ火藥類ヲ積載シタル貨車ニ乘車スルコトヲ得ズ

附添人ニ付テハ第六十六條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第七十七條　火藥類ハ有蓋貨車ヲ以テ運送スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトキニ限リ鐵道局長ノ許可ヲ受ケ無蓋貨車ヲ使用スルコトヲ得

火藥類ヲ積載スベキ貨車ハ危險防止ノ爲嚴重ニ檢査ヲ爲スベシ

貨車內部ノ火藥類ヲ積載スベキ位置及其ノ附近　鐵類ハ木板、革、布又ハ莚ノ類ヲ以テ之ヲ覆フベシ但シ此等ノ材料ヲ以テ火藥類ヲ覆ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七十八條　火藥類ハ摩擦、動搖、衝突、顚落又ハ轉輾セザル樣積載スベシ

第七十九條　火藥類ノ積載重量ハ貨車積載定量ノ三分ノ二ヲ超過スルコトヲ得ズ

第八十條　二種以上ノ火藥類ヲ同一貨車ニ積載スルトキハ左ノ各號ノ火藥類每ニ相當ノ間隔ヲ保タシメ又ハ木板、革、布若ハ莚ノ類ヲ以テ厚サ十糎以上ノ隔離層ヲ設クベシ

一　有煙火藥、有煙火藥ヲ裝塡シタル銃用實包、銃用空包及有煙火藥ノ

ミヲ裝塡シタル其ノ他ノ火工品竝ニ硝酸鹽、鹽素酸鹽又ハ過鹽素酸鹽ヲ主トスル爆藥ニシテ有機硝化物ヲ含有セザルモノ

二　無煙火藥、無煙火藥ヲ裝塡シタル銃用實包、銃用空包及無煙火藥ミヲ裝塡シタル其ノ他ノ火工品

三　爆藥（第一號ノ爆藥ヲ含ム）

四　火工品（第一號及第二號ノ火工品ヲ含ム）

第八十一條　火藥類ハ之ヲ他ノ貨物ト同一貨車ニ混載スルコトヲ得ズ但シ左ニ揭グル火藥類ハ各號ノモノ二種以下ニ限リ第二項ニ定ムル條件ヲ具備スル貨物ト混載スルコトヲ得此ノ場合第一號乃至第三號ノ火藥類ニシテ各號ノ一ノミノトキハ各下記數量ノ二倍迄積載スルコトヲ得

一　甲種ノ火藥　四十五瓲以下ノモノ

二　甲種ノ爆藥　十一瓲二百五十瓦以下ノモノ

三　甲種ノ火工品　其ノ原料タル甲種、乙種ノ火藥若ハ乙種ノ爆藥ガ四十五瓲以下ノモノ又ハ甲種ノ爆藥ガ十一瓲二百五十瓦以下ノモノ

四　乙種ノ火藥類

前項但書ノ規定ニ依リ火藥類ト混載シ得ル他ノ貨物ハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス此ノ場合火藥類ハ他ノ貨物ト相當ノ間隔ヲ保タシメ又ハ木板、革、布若ハ莚ノ類ヲ以テ厚サ十糎以上ノ隔離層ヲ設ケ且墜落セザル樣緊密ニ積載スベシ

一　容易ニ燃燒シ、自然發火シ、腐蝕シ又ハ爆發ノ誘因トナルベキ虞ナキモノナルコト

二　包裝完全ニシテ轉輾ノ虞ナキモノナルコト

三　包裝ノ外部ニ鐵ノ露出セザルモノ又ハ露出スルモ外部ヲ木板、革、布若ハ莚ノ類ヲ以テ覆ヒタルモノナルコト

火藥類ト他ノ貨物トヲ混載スルトキノ重量ハ兩者ヲ合シテ貨車積載定量ノ三分ノ二ヲ超過スルコトヲ得ズ但シ左記數量ノ火藥類ヲ混載スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　甲種又ハ乙種ノ火藥　九十瓲以下ノモノ

二　甲種ノ爆藥　二十二瓲五百瓦以下ノモノ

三　乙種ノ爆藥　九十瓲以下ノモノ

四　甲種又ハ乙種ノ火工品　其ノ原料タル甲種、乙種ノ火藥若ハ乙種ノ爆藥ガ九十瓲以下ノモノ又ハ甲種ノ爆藥ガ二十二瓲五百瓦以下ノモノ

五　第一項但書ノ規定ニ依リ二種ノ火藥類ヲ混載スル場合ハ其ノ數量前各號ノ二分ノ一以下ノモノ

第八十二條　火藥類ノ取扱ヲ爲ストキハ手鉤類ヲ用ヒ又ハ投下スルコトヲ得ズ

火工品ニシテ大型ノモノヲ除クノ外火藥類ハ之ヲ轉轀スルコトヲ得ズ且轉轀スルモ支障ナキ火工品ニ在リテモ衝動ヲ豫防シ得ルヤウ革、布又ハ莚ノ類ヲ以テ其ノ經過スベキ場所ヲ覆ヒタルトキノ外轉轀スルコトヲ得ズ火藥類ノ取扱ヲ爲ス場所又ハ火藥類積載ノ貨車内ニ於テハ安全燈及電燈以外ノ燈火ヲ使用シ、燐寸其ノ他ノ發火シ易キ物品ヲ所有シ又ハ喫煙スルコトヲ得ズ

火藥類ヲ取扱フ者ハ底ニ鐵釘等ヲ附シタル靴類ヲ穿ツコトヲ得ズ

火藥類ノ取扱ヲ爲スニ當リテハ仕業ノ前後其ノ場所及車内ヲ清掃スベシ

第八十三條　火藥類ハ第八十一條第一項但書ノ火藥類ヲ除クノ外旅客乘降場ニ於テ取扱ヲ爲スコトヲ得ズ但シ旅客又ハ旅客ノ乘込ミタル客車ガ附近ニ在ラザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十四條　火藥類ハ左ノ各號ニ該當スルモノヲ除クノ外所轄警察官署又ハ警察官吏ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ日出前及日沒後ニ於テ受授又ハ積卸ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第八十一條第一項但書ノ火藥類ハ日出前又ハ日沒後ト雖モ積卸ヲ爲スコトヲ得此ノ場合途中驛ニ於テ繼送スルトキヲ除キ所轄警察官署又ハ警察官吏ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　銃用火藥　五瓲以内

二　銃用實包　千個以内

三　銃用空包　千個以内

四　銃用ノ雷管又ハ雷管附藥莢　各二千個以内

火藥類ハ鐵道構内ニ於テ荷造又ハ荷解ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十五條　火藥類積載貨車ハ兩側面見易キ箇所ニ白地ニ火藥ト赤書シタル標札ヲ附スベシ

第八十六條　甲種ノ火藥類積載貨車ノ前後ニハ各一輛以上ノ空車ヲ連結スベシ但シ轉動ノ爲火藥類積載貨車ニ衝撃ヲ與フル虞アル貨物以外ノ不燃貨物ヲ積載シタル無蓋貨車又ハ發火ノ虞ナキ貨物ヲ積載シタル有蓋貨車ヲ以テ空車ニ代フルコトヲ得

乙種ノ火藥類積載貨車ノ前後ニハ發火ノ虞アリ若ハ燃燒シ易キ貨物ヲ積載シタル無蓋貨車又ハ發火ノ虞アル貨物ヲ積載シタル有蓋貨車ヲ連結スルコトヲ得ズ

前二項ノ規定ハ第八十一條第三項但書ノ火藥類ヲ積載シタル貨車ニハ之ヲ適用セズ

前各項ノ火藥類積載貨車ヲ相互ニ連續連絡スル場合ハ第一項又ハ第二項ノ規定ノ適用ニ付其ノ全部ヲ重キ制限ヲ附シタル火藥類積載貨車ト看做

〔朝〕

第八十七條　一車ヲ專用シテ積載スベキ火藥類積載貨車ハ五輛以下ニ限リ一箇列車ニ連結スルコトヲ得

第八十八條　火藥類積載貨車ハ旅客列車又ハ混合列車ニ連結スルコトヲ得ズ但シ第八十一條第一項但書ノ火藥類積載貨車及之ト他ノ貨物ヲ混載シタル貨車ハ此ノ限ニ在ラズ

貨物列車ヲ運轉セザル區間又ハ輸送上特別ノ事由アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラズ甲種ノ火藥類積載貨車ハ一輛ニ限リ之ヲ混合列車ニ連結スルコトヲ得

火藥類積載貨車ハ第一項但書ノ場合ニ在リテハ客車ヨリ一輛以上ヲ、前項ノ場合ニ在リテハ客車ヨリ三輛以上ヲ隔離スベシ

第八十九條　火藥類ハ成ルベク到達停車場迄直通スル列車ニ依リ之ヲ運送スベシ

第九十條　火藥類ヲ積載スル貨車ニ對シテハ途中驛ニ於ケル車輛ノ點檢ヲ特ニ嚴ニシ危險アリト認ムルトキハ卽時ニ該貨車ヲ解放シ成ルベク隔離シタル線路ニ移シ危險防止ノ處置ヲ爲スベシ

列車運轉中車軸發熱又ハ制動機緩解不良ノ徵候ヲ發見シタルトキハ其ノ進行ヲ停メテ發熱部ヲ冷却シ制動機ニ在リテハ之ヲ緩解シ該貨車ノ制動機ノ締切コックヲ締切リ危險ナキ程度ニ於テ徐行シ次ノ停車場ニ到リ前項ノ處置ヲ爲スベシ

火藥類積載貨車ヲ停留セシムル場合周圍ノ狀況ガ火藥類ニ危險ヲ及ボス虞アリト認ムルトキハ該貨車ヲ成ルベク隔離シタル線路ニ移シ危險防止ノ處置ヲ爲スベシ

〔朝〕

第一項及第二項ノ規定ニ依リ貨車ヲ解放シ又ハ前項ノ場合五時間以上停留セシムルトキハ所轄警察官署又ハ警察官吏ニ之ヲ屆出ヅベシ但シ輸送止ノ事由ニ因リ停留セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十一條　荷受人ハ火藥類ノ到著後遲滯ナク引渡ヲ受ケ之ヲ停車場外ニ搬出スベシ

荷受人ガ五時間ヲ經過スルモ取卸ヲ爲サザルトキハ火藥類積載貨車ヲ成ルベク隔離シタル線路ニ移シ危險防止ノ處置ヲ爲スベシ

取卸ヲ爲シタル火藥類ハ成ルベク他物ヨリ隔離シテ危險防止ノ處置ヲ爲スベシ

第二項ノ場合ハ所轄警察官署又ハ警察官吏ニ之ヲ屆出ヅベシ前項ノ場合五時間ヲ經過スルモ停車場外ニ搬出セザルトキ亦同ジ

第九十二條　第七十五條、第七十六條、第八十條、第八十一條第一項及第二項、第八十四條竝ニ第八十七條ノ規定ハ鐵道軍事供用令ニ依リ火藥類ヲ運送スル場合ニ之ヲ適用セズ

第八十六條ノ規定ハ軍用列車ニ依リ火藥類ヲ運送スル場合ニ之ヲ適用セズ

第九十三條　火藥類ニ非サル他ノ爆發物ノ運送ニ付テハ本章ノ規定ヲ準用ス火藥類及火藥類ニ非サル他ノ爆發物ノ運送ニ付テハ本章ニ規定スルモノノ外第八章ノ規定ヲ準用ス

第八章　大貨物運送

第九十四條　鐵道カ直ニ運送ヲ爲スコトヲ得サル場合ニ於テ特約ヲ以テ發送ノ時迄保管ノ爲貨物ノ引渡ヲ受ケタルトキハ運送狀ニ特約ノ條件ヲ明記スヘシ

荷送人ハ鐵道ノ承諾ヲ得テ停車場其ノ他ノ鐵道地内ニ自己ノ責任ヲ以テ發送ノ時迄一時貨物ヲ留置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鐵道ハ相當ノ留置料ヲ請求スルコトヲ得

第九十五條　大貨物ヲ託送セムトスル者ハ運送狀ヲ添ヘ取扱時間内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十六條　運送狀ニハ左ノ事項ヲ掲ケ荷送人ハ記事ノ正確ナルコトニ付其ノ責ニ任スヘシ

一　運送狀作成ノ地及年月日
二　發送停車場ノ名稱
三　到達停車場及所屬鐵道名
四　屆先、荷受人ノ氏名若ハ商號及住所
五　貨物ノ品名、重量又ハ容積及其ノ荷造ノ種類、箇數竝記號
六　要償額ノ表示又ハ價格ノ明告ヲ爲ストキハ其ノ金額
七　運送便ノ種類
八　運賃ノ支拂方法
九　貨物引換證請求ノ有無
十　特約ノ條件アルトキハ其ノ事項
十一　荷送人ノ氏名又ハ商號及住所

第九十六條ノ二　運送狀ニ記載シタル貨物ノ品名、重量、容積又ハ箇數ニ基キ計算シタル運賃カ正當運賃ニ不足スル場合ニハ鐵道ハ不足額ノ外其ノ十倍以内ノ增賃金ヲ請求スルコトヲ得

荷送人カ火藥類其ノ他危害ヲ他ニ及ホスヘキ虞アル物品ヲ他ノ品名ニ依リ託送シタルトキハ前項ノ規定ニ依ルノ外鐵道ハ其ノ重量一瓲ニ付五圓以内ノ增賃金ヲ請求スルコトヲ得

第九十六條ノ三　鐵道ハ貨物ノ運送ヲ引受ケタルトキハ運送狀ニ其ノ受付番號ヲ記入スヘシ

第九十七條　荷送人ノ請求アルトキハ荷物託送ノトキヨリ一年ヲ限リ運送狀ノ謄本ヲ交付スヘシ此ノ場合ニ於テ手數料ヲ請求スルコトヲ得

第九十八條　運送ヲ引受ケタル貨物ニ付テハ荷送人ニ貨物運送通知書ヲ交付スヘシ

荷受人カ其ノ權利ヲ證明シ能ハサル場合ニ於テハ左ノ各號ヲ具備シタル保證狀若ハ相當ノ擔保ヲ提供シテ貨物ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得

一　保證狀作成ノ地及年月日
二　第九十六條第二號乃至第八號、第十號及第十一號ニ揭ケタル事項
三　貨物運送通知書番號及作成ノ年月日
四　保證人ノ氏名又ハ商號、住所及捺印
五　運賃、料金ノ額

保證狀ニ依リ引渡ヲ爲ス場合ニ於テハ手數料ヲ請求スルコトヲ得

第九十九條　荷送人ノ請求アルトキハ貨物引換證ヲ交付スヘシ此ノ場合ニ於テハ貨物運送通知書ヲ交付スヘカラス

前項ノ場合ニ於テハ手數料ヲ請求スルコトヲ得

第百條　貨物引換證ニハ左ノ事項ヲ揭クヘシ

一　貨物引換證作成ノ地及年月日
二　第九十六條第二號乃至第八號、第十號及第十一號ニ揭ケル事項
三　運送狀ノ受付番號

四　運賃、料金ノ額及其ノ受否

貨物引換證ヲ交付シタル場合ニ於テ該證ノ紛失等ニ依リ之ト引換ニ貨物ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得サルトキハ鐵道ハ引渡請求人ニ於テ其ノ權利ヲ證明シ又ハ相當ノ擔保ヲ供シタルトキニ限リ貨物引渡ノ義務アルモノトス

第百一條　荷送人ノ貨物ノ性質ニ依リ運送中ノ減量又ハ毀損ヲ防クニ必要ナル荷造ヲ爲スヘシ

荷送人ハ荷物ノ各箇ニ品名、箇數、記號、宛名等ヲ明瞭ニ其ノ外面ニ表記スヘシ

第百二條　貨物運賃其ノ他運送ニ關スル料金ハ鐵道ノ認諾アルトキノ外貨物託送ノ際ニ之ヲ支拂フヘシ

運賃及料金ヲ確定スルコトヲ得サルトキハ鐵道ハ概算拂ヲ請求スルコトヲ得

第百三條　削除

第百四條　貨物ノ性質上荷造ヲ爲ササルカ又ハ荷造不完全ニシテ散亂ノ虞アルモノハ一車ヲ使用スルニ非サレハ託送ノ需ニ應セサルコトヲ得

第百五條　一箇ノ重量三百瓲以上若ハ其ノ容量一立方米以上ノ貨物、二車以上ニ跨ル長大ナル貨物及車扱貨物ノ積卸ハ貨主ノ負擔トス

鐵道ハ前項貨物ノ積卸ニ付作業人ヲ指定スルコトヲ得

第百六條　貨主カ貨物積卸ヲ負擔スル場合ニ於テ鐵道ノ器具ヲ使用スルトキハ使用料ヲ請求スルコトヲ得

第百七條　錠鎖保護ヲ要シ又ハ雨浸ヲ避クルノ必要アルモノ若ハ火氣ニ感シ易キ物品ハ有蓋貨車ヲ以テ運送スヘシ但シ特約アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百八條　貨物カ到達停車場ニ到達シタルトキハ鐵道ハ遲滯ナク引取時間ヲ定メテ到達ノ通知ヲ發スヘシ但シ配達ヲ爲スヘキ貨物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ前項ノ通知ヲ發スルコト能ハサルトキハ當該停車場ノ揭示ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百九條　貨物ノ滅失又ハ毀損アルトキハ速ニ調査ヲ遂ケ荷送人及荷受人ニ通知スヘシ

第百十條　削除

第百十一條　運送狀ニ記載シタル運送品ノ價格不相當ナリト認ムルトキハ相當ノ手續ニ依リ之カ訂正ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十二條　削除

第百十三條　削除

第百十四條　第百八條ノ引取時間内ニ引渡ニ應セサル貨物ニ付テハ鐵道ハ保管料ヲ請求スルコトヲ得

荷受人カ貨物ノ引渡ヲ受ケタル後其ノ引取ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ貨物留置料ヲ請求スルコトヲ得但シ前項ノ時間内ハ此ノ限ニ在ラス

第百十五條　貨主カ貨物ノ積卸ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ鐵道ハ積卸時間ヲ定メ貨主ニ其ノ通知ヲ發スヘシ

第百八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

私設鐵道ニ於テ第一項ノ積卸時間ヲ定メムトスルトキハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

貨主カ第一項ノ時間内ニ其ノ積卸ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ貨車留置料ヲ

シ又ハ荷受人ノ費用ヲ以テ荷卸ヲ爲スコトヲ得

第百十五條ノ二　貨車ノ準備ヲ爲シタル後貨物ノ託送ヲ取消シタルトキハ鐵道ハ違約金ヲ請求スルコトヲ得

第百十六條　荷受人カ貨物ノ引取ヲ拒ミ又ハ到達後十五日ヲ過クルモ引取ヲ爲ササルカ若ハ荷受人不明ナルトキハ相當期間ヲ定メ荷送人及荷受人ニ處分ヲ催告スルコトヲ得

前項ノ期間ハ三十日ヲ下ルコトヲ得ス

第一項ノ期間内ニ於テ荷受人又ハ荷送人カ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ**時價**ヲ以テ之ヲ賣却シ其ノ代金ヲ以テ債務ノ履行ニ充テ不足アルトキハ之ヲ追徵シ剩餘アルトキハ之ヲ還付スヘシ

損敗シ易キ貨物ハ催告ヲ爲サスシテ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　鐵道ハ取扱ニ差支ナキトキハ荷送人又ハ貨物引換證所持人ノ請求ニ應シ貨物ノ運送若ハ引渡ノ差止、貨物ノ送還又ハ到著驛若ハ荷受人ノ變更ヲ爲スヘシ

前項ノ取扱ヲ爲ストキハ鐵道ハ手數料及費用ヲ請求スルコトヲ得但シ鐵道ノ過失ニ因リ貨主カ前項ノ請求ヲ爲スニ至リタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十八條　第十七條ノ規定ハ貨物運送ニ之ヲ準用ス

第九章　鐵道ノ責任

第百十九條　要償額ノ表示ハ運送狀ヲ交付スル場合ニ於テハ運送狀ニ記載シ運送狀ヲ交付セサル場合ニ於テハ鐵道ノ定ムル樣式ニ依ル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十七條ノ規定ハ前項ノ書面ニ付之ヲ準用ス

第百二十條　要償額ノ表示料ハ左ノ割合ヲ超ユルコトヲ得ス

一	託送手荷物、貴重品	表示額百圓迄毎ニ	七錢
二	動物（千圓迄ニ付テハ）	同	三十錢
	動物（千圓ヲ超ユル額ニ付テハ）	同	五十錢
三	其ノ他ノ運送品	同	四錢

前項ノ規定ハ一口ニ付十錢ヲ超エサル範圍内ニ於テ最低料金ヲ設定スルコトヲ妨ケス

前二項ノ規定ニ依ル表示料ハ停車場ニ之ヲ揭示スルコトヲ要ス

鐵道營業法第十一條第二項ノ規定ニ依ル超過部分ニ對スル表示料ニ付テハ之ガ拂戻ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第百二十一條　要償額ノ表示ナキ託送手荷物、貴重品若ハ動物ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ニ付テハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ金額ヲ超エ賠償ノ責ニ任セズ

一	託送手荷物	旅客一人ニ付	百五十圓
二	貴重品	一瓩（容器荷造ヲ含ム）迄毎ニ	一圓但シ一口百五十圓ヲ最高額トス
三	動物		
	牛、馬	一頭ニ付	百二十圓
	犢	同	三十圓
	豚、綿羊	同	二十圓
	其ノ他ノ獸類	同	十圓
	其ノ他ノ動物	一瓩（容器荷造ヲ含ム）迄毎ニ	五十錢但シ一口五十圓ヲ最高額トス

第百二十二條　託送手荷物又ハ運送品ニ對スル引渡期間ハ左ノ各號ノ期間ヲ合算シタルモノトス

一　發送期間
二　輸送期間
三　接續期間
四　集配期間

發送期間ハ託送手荷物又ハ小荷物ニ付テハ運送ノ爲受取リタル日トシ貨物ニ付テハ其ノ日及翌日トス

輸送期間ハ運賃計算ノ場合ニ於ケル輸送ノ徑路ニ由リ各鐵道毎ニ左ノ各號ノ通トス

一　託送手荷物及小荷物ニ付テハ四百粁迄毎ニ一日
二　貨物ニ付テハ百三十粁迄毎ニ一日

接續期間ハ貨物カ軌間ヲ異ニスル線路ヲ通ジテ運送セラルル場合ニ於テ其ノ接續驛毎ニ各一日トス

集配期間ハ停車場外ニ於テ託送手荷物又ハ運送品ノ受取リ又ハ引渡ヲ爲ス場合ニハ其ノ各ニ付一日トス

鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ託送手荷物又ハ運送品カ延著シタル場合ニ於テハ其ノ遲延日數丈ケ引渡期間ハ延長セラレタルモノト看做ス

第一項ノ引渡期間經過後託送手荷物又ハ運送品ノ引渡アリタル場合ニ於テハ鐵道カ其ノ引渡ノ準備ヲ爲シ且到達ノ通知ヲ發スヘキモノニ付其ノ通知ヲ發シタルトキハ其ノ後ノ期間ニ付テハ鐵道ノ責ニ歸スヘキ事由アル場合ヲ除クノ外引渡期間ハ之ヲ超過セサリシモノト看做ス

第百二十三條　要償額ノ表示アル託送手荷物又ハ運送品ノ延著ニ因ル損害ニ付鐵道カ賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テ支拂フヘキ金額ハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ依ル

一　請求者ニ於テ延著ニ因ル損害額ヲ證明シタル場合ニ於テハ表示額ヲ限度トシテ一切ノ損害額

二　前號以外ノ場合ニ於テハ運賃額ヲ限度トシテ延著ノ期間一日迄毎ニ運賃額ノ百分ノ十

要償額ノ表示ナキ託送手荷物又ハ運送品ノ延著ニ因ル損害ニ付鐵道カ賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テ支拂フヘキ金額ハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ依ル

一　請求者ニ於テ延著ニ因ル損害額ヲ證明シタル場合ニ於テハ運賃額ヲ限度トシテ一切ノ損害額

二　前號以外ノ場合ニ於テハ運賃額ノ二分ノ一ヲ限度トシテ延著ノ期間一日迄毎ニ運賃額ノ百分ノ五

前二項ノ場合ニ於ケル運賃額ハ當該託送手荷物又ハ運送品ノ運賃額、接續費及其ノ集配ノ爲受ケル金額ヲ合算シタル額トス

第一項第二號及第二項第二號ノ場合ニ於テ託送手荷物又ハ運送品ノ一部カ延著シ又ハ延著ノ期間ヲ異ニスルトキ鐵道ノ支拂フヘキ金額ハ延著シタル各部分ノ數量ニ付之ヲ計算ス

第百二十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品引渡ノ際滅失、毀損又ハ延著ヲ事由トシテ旅客又ハ貨主ノ請求アルトキハ其ノ引渡品ノ數量、狀態又ハ引渡ノ月日ニ付證明ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十五條　鐵道營業法第十三條第二項ノ規定ニ依ル留保アリタル場合ニ於テ留保者ノ請求アルトキハ鐵道ハ之カ證明ヲ爲スコトヲ要ス

ヲ合算シタルモノトス

一　發送期間
二　輸送期間
三　接續期間
四　集配期間

發送期間ハ託送手荷物又ハ小荷物ニ付テハ運送ノ爲受取リタル日トシ貨物ニ付テハ其ノ日及翌日トス

輸送期間ハ運賃計算ノ場合ニ於ケル輸送ノ徑路ニ由リ各鐵道毎ニ左ノ各號ノ通トス

一　託送手荷物及小荷物ニ付テハ四百粁迄毎ニ一日
二　貨物ニ付テハ百三十粁迄毎ニ一日

接續期間ハ貨物カ軌間ヲ異ニスル線路ヲ通ジテ運送セラルル場合ニ於テ其ノ接續驛毎ニ各一日トス

集配期間ハ停車場外ニ於テ託送手荷物又ハ運送品ノ受取リ又ハ引渡ヲ爲ス場合ニハ其ノ各ニ付一日トス

鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ託送手荷物又ハ運送品カ延著シタル場合ニ於テハ其ノ遲延日數丈ケ引渡期間ハ延長セラレタルモノト看做ス

第一項ノ引渡期間經過後託送手荷物又ハ運送品ノ引渡アリタル場合ニ於テハ鐵道カ其ノ引渡ノ準備ヲ爲シ且到達ノ通知ヲ發スヘキモノニ付其ノ通知ヲ發シタルトキハ其ノ後ノ期間ニ付テハ鐵道ノ責ニ歸スヘキ事由アル場合ヲ除クノ外引渡期間ハ之ヲ超過セサリシモノト看做ス

第百二十三條　要償額ノ表示アル託送手荷物又ハ運送品ノ延著ニ因ル損害ニ付鐵道カ賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テ支拂フヘキ金額ハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ依ル

一　請求者ニ於テ延著ニ因ル損害額ヲ證明シタル場合ニ於テハ表示額ヲ限度トシテ一切ノ損害額

二　前號以外ノ場合ニ於テハ運賃額ヲ限度トシテ延著ノ期間一日迄毎ニ

●朝鮮私設鐵道係員職制

朝鮮私設鐵道係員職制　改正　大正二年五月二日露九四號
朝鮮私設鐵道係員職制左ノ通定ム
朝鮮總督　大正九年十一月十日　府令第百七十六號

第一章　總則

第一條　私設鐵道ノ係員職制ハ本令ノ定ムル所ニ依ル但シ鐵道局長ニ於テハ別ニ職制ヲ定メ鐵道局長之ヲ届出ツヘシ

第二條　私設鐵道ニ左ノ運輸係員ヲ置ク

運輸長
驛長

第二章　運輸係員

第三條　本令ニ依リ難キ場合ニ於テハ機關手ノ指示ヲ承クヘシ

第四條　乘務中ニ在リテハ機關助手ハ機關手ノ指揮ヲ承ケ機關助手ノ職務ヲ補助スヘシ

第五條　檢車手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ檢查及注油ニ從事ス

第六條　機關夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス

第七條　炭水夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス

第八條　貨物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ貨物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第九條　小荷物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ手小荷物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第十條　操車掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ入換及信號機ノ取扱ニ從事ス

第十一條　轉轍手ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ轉轍器ノ取扱ニ從事ス

第十二條　驛夫ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ靜謐、荷物ノ積卸、運搬等ノ雜務ニ從事ス

第十三條　車掌ハ運轉長ノ指揮ヲ承ケ列車ノ運轉及旅客荷物ノ輸送ニ從事ス

第十四條　機關庫主任ハ運轉長ノ指揮ヲ承ケ機關庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第十五條　機關助手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ受ケ機關車ノ運轉ニ從事ス但シ列車運轉中ニ在リテハ機關手ノ指揮ヲ承ケ列車ノ運轉ニ從事ス

第十六條　機關助手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス但シ機關車乘務中ニ在リテハ機關手ノ指示ヲ承クヘシ

第十七條　檢車手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ檢查及注油ニ從事ス

第十八條　機關夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス

第十九條　炭水夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス

第三章　鐵道

第二十條　私設鐵道ニ左ノ運輸係員ヲ置ク

運輸長
驛長

第二章　運輸係員

第二條　私設鐵道ニ左ノ運輸係員ヲ置ク

運輸長
驛長

第三條　本令ニ依リ難キ場合ニ於テハ機關手ノ指示ヲ承クヘシ

第四條　乘務中ニ在リテハ機關助手ハ機關手ノ指揮ヲ承クヘシ

第五條　檢車手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ檢查及注油ニ從事ス

第六條　機關夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス

第七條　炭水夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス

第八條　貨物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ貨物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第九條　小荷物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ手小荷物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第十條　操車掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ入換及信號機ノ取扱ニ從事ス

第十一條　轉轍手ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ轉轍器ノ取扱ニ從事ス

第十二條　驛夫ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ靜謐、荷物ノ積卸、運搬等ノ雜務ニ從事ス

第十三條　車掌ハ運轉長ノ指揮ヲ承ケ列車ノ運轉及旅客荷物ノ輸送ニ從事ス

第十四條　機關庫主任ハ運轉長ノ指揮ヲ承ケ機關庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第十五條　機關助手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ受ケ機關車ノ運轉ニ從事ス但シ列車運轉中ニ在リテハ機關手ノ指示ヲ承クヘシ

第十六條　機關助手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス但シ機關車乘務中ニ在リテハ機關手ノ指示ヲ承クヘシ

第十七條　檢車手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ檢查及注油ニ從事ス

第十八條　機關夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車ノ掃除ニ從事ス

第十九條　炭水夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ積載給水等ノ雜務ニ從事ス

第三章　鐵道

第二十條　私設鐵道ニ左ノ運輸係員ヲ置ク

運轉長
驛長
電工
運轉手
電車庫主任
電路主任
變電所主任
發電所主任
電氣長

第二十一條　電氣ヲ動力トスル私設鐵道ニ左ノ電氣係員ヲ置ク

第四章　電氣係員

第二十二條　場内踏切道ノ看守ニ付テハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

第二十三條　線路工夫ハ保線手ノ指揮ヲ承ケ線路及諸建造物ノ看守、修理及保存ニ從事ス

第二十四條　踏切番ハ保線手ノ指揮ヲ承ケ踏切道ノ看守ニ從事ス但シ停車場構内ノ踏切道ノ看守ニ付テハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

第二十五條　保線手ハ保線長ノ指揮ヲ承ケ線路及諸建造物ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十六條　保線長ハ線路及諸建造物ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第三章　保線係員

第二十七條　私設鐵道ニハ左ノ保線係員ヲ置ク

保線長
保線手
線路工夫
踏切番

第三章　運輸

第二十八條　鐵道營業法第十三條第二號ノ規定ニ依ル留保アリタル託送手荷物又ハ運送品ニ付其ノ到達、發見等ニ因リ引渡ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタルトキ又ハ鐵道ハ賠償ヲ受ケタル者ニ對シ速ニ其ノ旨通知ヲ爲スコトヲ要ス

第四章　雜則

第二十九條　第二十一條、第五十七條及第百十九條乃至第百二十五條ノ規定ハ鐵道ト通シ運送ヲ爲ス場合ニ於ケル軌道、自動車又ハ索道ニ依ル運送ニ付之ヲ準用ス

第百三十六條　第二十一條、第五十七條及第百十九條乃至第百二十五條ノ規定ハ鐵道ト通シ運送ヲ爲ス場合ニ於ケル軌道、自動車又ハ索道ニ依ル運送ニ付之ヲ準用ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

電氣工夫

第二十六條　第二項ノ規定ハ電氣係員ニ之ヲ準用ス

第二十六條　電氣長ハ電氣ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十七條　發電所主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ發電所ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十八條　變電所主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ變電所ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十九條　電路主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ電線路及之ニ附帶スル器機ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第三十條　電車庫主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ電車庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第三十一條　運轉手ハ電車庫主任ノ指揮ヲ承ケ電氣機關車及電車ノ運轉ニ從事ス

第十五條但書ノ規定ハ運轉手ニ之ヲ準用ス

第三十二條　電工ハ發電所主任、變電所主任又ハ電車庫主任ノ指揮ヲ承ケ器機ノ檢査及修理其ノ他ノ雜務ニ從事ス

第三十三條　電氣工夫ハ電路主任ノ指揮ヲ承ケ電線路及之ニ附帶スル器機ノ看守、修理及保存ニ從事ス

附　則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大正九年十一月十日ヨリ施行）

本令ニ依リ屆出ツヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ屆出ヲ爲シタルモノハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

●荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル鐵道運送品等ノ公告ニ關スル件

大正六年九月二十一日
朝鮮總督府令第六十九號

荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル鐵道運送品等ノ公告ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　鐵道營業法第十三條ノ二ノ規定ニ依リ荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル運送品ニ付爲ス公告ハ運送品ノ名稱種類箇數記號、發送停車場到達停車場保管停車場ノ名稱及託送到達ノ日時等成ルヘク其ノ運送品ヲ知得スルニ足ルヘシト思料スル事項竝公告後六月內ニ其ノ權利者ノ申出ナキトキハ鐵道ニ於テ其ノ所有權ヲ取得スヘキ旨ヲ記シ三日以上之ヲ朝鮮總督府官報ニ揭載スルモノトス

第二條　鐵道ハ前條ノ公告ヲ爲ス前前條ト同一ノ事項ヲ記シ發送停車場、到達停車場及保管停車場ニ少クトモ七日以上之ヲ揭示シ仍必要ト認ムルトキハ發送停車場、到達停車場及保管停車場所在地又ハ其ノ附近ニ於テ發行スル新聞紙ヲ以テ三日以上公告スルコトヲ要ス

第三條　前二條ノ規定ハ鐵道營業法第十三條ノ二ニ規定スル託送手荷物及一時預リ品ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔朝〕

●本籍地以外ノ地ヨリ應召スル者ニ對スル旅客運賃後拂證下付ノ件

昭和十二年八月十九日
陸軍省令第三十一號

改正　昭和一三年一月第二號

本籍地以外ノ地ヨリ應召スル者ニ對スル旅客運賃後拂證下付ノ件左ノ通定ム

第一條　充員召集、臨時召集又ハ國民兵召集ニ當リ本籍地（在留地）以外ノ地ヨリ應召スル者ニシテ旅客運賃後拂證ヲ使用セントスル者ハ現在地ノ警察署長、市長（陸軍召集規則第十一條ノ區長ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ町村長（之ニ準ズル者ヲ含ム以下之ニ同ジ）ニ就キ旅客運賃後拂證ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ召集アリタル旨記載シタル召集通報人ヨリノ電報ヲ呈示スベシ

第二條　現在地ノ警察署長、市長又ハ町村長ハ前條ノ請求アリタルトキハ應召員旅客運賃後拂證（別紙樣式）ヲ交付スルモノトス

第三條　本令中警察署長、市長又ハ町村長トアルハ朝鮮ニ在リテハ警察署長、臺灣ニ在リテハ郡守、市尹、廳長又ハ支廳長、關東州ニ在リテハ警察署長、滿洲國ニ在リテハ大使館兵事員トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

甲

現在地ヨリノ應召證明書

役種兵科官等級氏名	
現在地	
乘車（船）區間	自　驛　至　驛
乘車（船）等級	等
運賃急行料金	

右ノ者現在地ヨリ應召セルコトヲ證ス

昭和　年　月　日

發行　警察署長、市長又ハ町村長㊞

（用紙ハ適宜トス）

乙

充員(臨時)(國民兵)召集應召員旅客運賃後拂證							
役種兵科官等級氏名							
乘車(船)區間			自　驛				
乘車(船)等級							等
運賃							
急行料金							
乘車(船)月日	昭和　年　月　日						
運賃支拂部隊							
昭和　年　月　日							

發行　警察署長、市長又ハ町村長㊞

裏面ニ左記注意事項ヲ記載スルモノトス但シ事急ナルトキハ記載ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ應召員ニ本證使用上ノ注意ヲ告知スルモノトス

注意

一　本證ノ甲片ハ應召部隊ニ差出シ乙片ハ乘車(船)地ニ於テ差出シ之ト引換ニ乘車(船)券(急行列車ニ乘車シ百七十粁以上直行スル場合ニハ急行券共)ヲ受領スルモノトス此ノ場合ニ於テハ甲、乙片ニ運賃(急行料金)ノ記載ヲ受クルモノトス

前項乘車(船)券ハ他人ニ譲渡シ又ハ他人之ヲ使用シ得ザルモノトス

二　本證ニ依ル乘車(船)等級ハ左ノ區分ニ依ルモノトス

將官及各部將官　一等、二等又ハ三等　佐官、尉官及准士官　二等又ハ三等　下士官以下及國民兵　三等

等級ヲ二階級ニ分ツモノニ在リテハ准士官以上ハ上級、下士官以下

三　本證ニ依ル運賃ノ割引率ハ左ノ如シ

鐵道省線	一等　五割	二等　四割	三等　五割
朝鮮(臺灣)總督府又ハ樺太廳所屬鐵道線及南滿洲鐵道株式會社所屬鐵道線	各等　五割		

四　本證ノ乘車(船)等級、運賃支拂部隊ハ發行警察署長、市長又ハ町村長ニ於テ、役種兵科官等級氏名、現在地、乘車(船)區間及乘車(船)年月日ハ使用者ニ於テ記載スルモノトス記載事項ヲ訂正シタルトキハ記載者ノ認印ヲ要ス

●外國貨物鐵道運送手續

大正七年八月七日
朝鮮總督府訓令第四十二號

改正　大正八年一一月第四二號、九年八月第三三號、一一年一二月第六五號、一二年三月第一六號、九月第四六號、昭和二年一一月第二八號、五年七月第三四號、七年四月第三六號、一三年一二月第六五號、一四年八月第五一號、一五年七月第二九號、第四二號、一二月第九一號

外國貨物鐵道運送手續左ノ通改正ス

外國貨物鐵道運送手續

第一章　通則

第一條　朝鮮國有鐵道、北鮮拓殖鐵道株式會社北鮮拓殖線、朝鮮京南鐵道株式會社忠南線、南滿洲鐵道株式會社北鮮線、多獅島鐵道株式會社線、平北鐵道株式會社線若ハ朝鮮鐵道株式會社黃海線ニ由リ又ハ朝鮮國有鐵道ト北鮮拓殖鐵道株式會社北鮮拓殖線、朝鮮京南鐵道株式會社南滿洲鐵道株式會社北鮮線、多獅島鐵道株式會社線、平北鐵道株式會社線、朝鮮鐵道株式會社黃海線若ハ船舶ト連絡シテ爲ス外國貨物ノ運送ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スヘキ場所ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

前項ノ藏置場ニ內國貨物ヲ藏置セムトスルトキハ稅關ノ承認ヲ受ケシムヘシ

第三條　稅關ニ於テ貨物又ハ貨車ニ封鎖ヲ施シタルトキハ朝鮮總督府鐵道局、北鮮拓殖鐵道株式會社、朝鮮京南鐵道株式會社、南滿洲鐵道株式會社、多獅島鐵道株式會社、平北鐵道株式會社又ハ朝鮮鐵道株式會社ヲシテ其ノ封鎖ノ安全ヲ保ツ爲適當ノ處置ヲ爲サシムヘシ

第四條　著驛ニ到達シタル外國貨物ハ日沒ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタル外國貨物ハ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ貨物ノ搬入ヲ爲シ得ヘキ時ニ至ル迄ノ間朝鮮總督府鐵道局、北鮮拓殖鐵道株式會社、朝鮮京南鐵道株式會社、南滿洲鐵道株式會社、多獅島鐵道株式會社、平北鐵道株式會社又ハ朝鮮鐵道株式會社、朝鮮國有鐵道ノ停車場構內ニ一定ノ場所ニ之ヲ保管セシメ其ノ旨直ニ稅關ニ通知セシムヘシ

前項ノ貨物ニシテ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シ得ルニ至リタルトキハ直ニ第一項ノ手續ヲ爲サシムヘシ

前三項ノ規定ニ依リ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シタル貨物ハ之ヲ貨主ニ引渡シ若ハ保稅倉庫ニ庫入シ又ハ稅關ニ於テ之ヲ收容スル迄稅關監視ノ下ニ朝鮮總督府鐵道局、北鮮拓殖鐵道株式會社、南滿洲鐵道株式會社、多獅島鐵道株式會社、平北鐵道株式會社、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ヲシテ之ヲ保管セシムヘシ

第五條　鐵道停車場構內ニ於ケル外國貨物ノ積卸又ハ運搬ヲ爲サムトスルトキハ朝鮮總督府鐵道局、北鮮拓殖鐵道株式會社、朝鮮京南鐵道株式會社、南滿洲鐵道株式會社、多獅島鐵道株式會社、平北鐵道株式會社又ハ朝鮮鐵道株式會社ヲシテ稅關ニ通知セシメ其ノ引渡ヲ爲サムトスルトキハ稅關官吏ノ立會ヲ受ケシムヘシ

第五條ノ二　指定ノ陸路ニ由リ釜山ヨリ內地ニ又ハ內地ヨリ釜山ニ發著スル外國貨物ハ本令ノ適用ニ付テハ鐵道連帶運送貨物ト看做シ發驛又ハ著驛ノ爲スヘキ事項ハ關釜連絡船船長ヲシテ之ヲ爲サシムヘシ

第六條　運送日錄ハ第七條及第十二條ノ場合ヲ除クノ外第一號樣式ニ依リ發驛ニ於テ二通ヲ作リ內一通ハ之ヲ稅關ニ提出セシメ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ貨物ト共ニ之ヲ著驛ニ送付セシムヘシ

第七條　著驛ニ到達シタル外國貨物ハ日沒ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタルトキハ著驛ヲシテ前項ノ目錄ト對照シ其ノ照合ヲ

第十一條　著驛ニ到達シタル貨物鐵道ト關釜連絡船船長ノ作リタル第十條ノ移入手數未濟貨物及前條ノ入手數未濟貨物ニ關スル第九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十條ノ入手數未濟貨物ニ關スル第十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第七十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第八十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第九十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百二十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百三十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百四十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百五十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百六十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百七十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百八十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第百九十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百二十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百三十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百四十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百五十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百六十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百七十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百八十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第二百九十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百二十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百三十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百四十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百五十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百六十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百七十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百八十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第三百九十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百二十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百三十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百四十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百五十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百六十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百七十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百八十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第四百九十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百二十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百三十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百四十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百五十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百六十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百七十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百八十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第五百九十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百二十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十一條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十二條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十三條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十四條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十五條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十六條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十七條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十八條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百三十九條ノ移入手數未濟貨物ニ關スル第六百四十條

（第二號樣式）

運送申告年月日＿＿＿＿＿＿　積荷目錄提出年月日＿＿＿＿＿＿

鐵道連帶運送貨物運送目錄

發送地稅關受付番號＿＿＿＿＿＿　到達地稅關受付番號＿＿＿＿＿＿
發驛＿＿＿＿著驛＿＿＿＿　列車番號＿＿＿＿＿＿
發送ノ目的＿＿＿＿＿＿　發車日時＿＿＿＿＿＿

貨車番號	運送通知書番號	仕出地	記號番號	包裝種類及箇數	品名	數量	價格 圓	荷受人	備考

（裏面）

表記貨物ハ本船積載貨物ノ內＿＿驛ニ向ケ運送スヘキモノナルコトヲ申告ス
船名＿＿＿＿入港日時＿＿＿＿船長捺印＿＿＿＿

表記貨物ノ運送ヲ申告ス
運送申告年月日＿＿＿＿
發驛驛長捺印＿＿＿＿

表記貨物當驛ニ到達セリ仍テ本目錄ヲ提出ス
到達日時＿＿＿＿
目錄提出年月日＿＿＿＿
著驛驛長捺印＿＿＿＿

表記ノ貨物當驛ニ到達セリ更ニ＿＿迄海路運送ヲ申告ス
到達日時＿＿＿＿
著驛驛長捺印＿＿＿＿
船名＿＿＿＿
仕向港＿＿＿＿
船長捺印＿＿＿＿

運送免許年月日＿＿＿＿
發送地稅關捺印＿＿＿＿

表記貨物ノ運送濟ヲ認ム
年月日＿＿＿＿
到達地稅關捺印＿＿＿＿

海路運送免許年月日＿＿＿＿
釜山稅關捺印＿＿＿＿

（第一號樣式）

發送地稅關受付番號＿＿＿＿＿＿　陸路運送目錄　到達地稅關受付番號＿＿＿＿＿＿
發驛＿＿＿＿著驛＿＿＿＿　發車日時＿＿＿＿
列車番號＿＿＿＿＿＿

貨車番號	運送通知書番號	仕出地	記號番號	包裝種類及箇數	品名	數量	荷受人	備考

目錄提出年月日＿＿＿＿＿＿　發驛驛長捺印＿＿＿＿＿＿

（裏面）

表記貨物當驛ニ到達セリ仍テ本目錄ヲ提出ス

到達日時＿＿＿＿

目錄提出年月日＿＿＿＿

著驛驛長捺印＿＿＿＿

備考

一　輪廓及用紙ノ寸法
輪廓ハ縱六寸四分橫九寸三分紙幅ハ縱八寸八分橫二尺一寸トス

二　紙質及用紙製式
紙質ハ六十斤模造紙及薄樣トシ模造紙二葉ノ上ニ薄樣一葉ヲ重ネタル三葉（各葉左端ニ前記ノ寸法ノ外適宜ノ綴代ヲ附シ打拔ヲ施スモノトス）ヲ以テ一組ト爲シ表面樣式ハ各葉ニ、裏面樣式ハ一組每ニ最下部ノ一葉ニ之ヲ印刷シ百組ヲ一冊ニ綴リ其ノ表紙ニハ百五十斤模造紙ヲ用キ之ニ「陸路運送目錄用紙」ノ文字ヲ印刷スルモノトス
刷色ハ表紙ヲ除クノ外紫トス

三　目錄ノ作成及取扱方
目錄ノ作成ニハ炭酸紙ヲ使用シ其ノ薄樣ノモノハ作成者ノ控用トシ他ハ第六條第一項ノ規定ニ依リ裏書樣式ノ印刷ナキモノヲ稅關ニ提出シ他ノ一葉ヲ著驛ニ送付セシムルモノトス

（備考）

一　輪廓及用紙ノ寸法
第一號樣式ニ同シ

二　紙質及用紙製式
紙質ハ六十斤模造紙及薄葉トシ模造紙各葉ノ上ニ薄葉一葉ツヽヲ重ネタル四葉（各葉左端ニ前記ノ寸法ノ外適宜ノ綴代ヲ附シ打拔ヲ施スモノトス）ヲ以テ一組トシ表面樣式ハ各葉ニ、裏面樣式ハ一組毎ニ最下部ノ一葉ニ之ヲ印刷シ百組ヲ一册ニ綴リ其ノ表紙ニハ百五十斤模造紙ヲ用キ之ニ「鐵道連帶運送貨物運送目錄用紙」ノ文字ヲ印刷スルモノトス

三　刷色ハ第一號樣式ニ同シ

目錄ノ作成及取扱方
目錄ノ作成ニハ炭酸紙ヲ使用シ其ノ薄葉ノモノ一葉ハ作成者ノ控用トシ他ハ第八條第一項ノ規定ニ依リ稅關ニ提出セシムルモノトス
第八條、第十條第一項、第十一條ノ二及第十六條第一項ノ規定ニ依ル驛長、船長又ハ稅關ノ裏書ハ裏面樣式ノ印刷アル目錄ニ之ヲ爲シ薄葉ノ目錄ハ之ヲ發送地ノ稅關ニ留メ置クヘキモノトス
表面樣式中運送申告年月日ハ發驛驛長ヲシテ記入セシメ積荷目錄提出年月日ハ關釜連絡船船長ヲシテ第十六條第一項ノ規定ニ依リ稅關官吏ノ認印ヲ求メタル年月日ヲ記入セシムルモノトス

（第三號樣式）削除

（第三號樣式ノ二）

施封貨物積貨物目錄

施封方法　稅關印

施封貨車番號＿＿　列車番號＿＿＿＿

積込驛名＿＿＿＿　發車日時＿＿＿＿

施封官吏員＿＿

備考	人受荷	量數	品名	類數種裝備及包	狀免號又ハ出積ノ免狀	名驛發	知號通送番運書

目錄提出年月日＿＿＿＿＿＿　驛長或印＿＿＿＿＿＿

備考

一　裝式等ハ第一號樣式ニ準ス但シ刷色ハ黑トス

二　施封方法ノ記入ハ施封官吏之ヲ爲スヘキモノトス

第百五條　緣板ノ上邊ヲ除キタル幅ハ第八號乙表ニ揭クル寸法ト爲スヘシ但シ船尾ヨリ船ノ長ノ五分ノ一間ニ於テハ漸次之ヲ減シ船尾端ニ於テ同表ニ揭クル幅ノ百分ノ八十五ト爲スコトヲ得

第百六條　緣板ノ外部ニ附スル肘板ハ彎曲上部ニ於テ第八號甲表ニ揭クル高迄達セシムヘシ但シ船尾ヨリ船ノ長ノ四分ノ一間ニ於テハ漸次之ヲ減シ船尾端ニ於テ二重底ノ高ニ等シクスルコトヲ得

第百七條　緣板ヲ肋板又ハ緣板ノ外部ニ附スル肘板ニ固著スル竪山形材ノ各邊ニ於ケル鉸釘ノ數及徑ハ左表ニ依ルヘシ但シ二重山形材ヲ以テ肘板ヲ緣板ニ固著スル場合ニ於テハ鉸釘ノ數ハ同表ニ揭クルモノヨリ一箇減スルコトヲ得

緣板ノ上邊ヲ除キタル幅	竪山形材ノ各邊ニ於ケル鉸釘ノ數	鉸釘ノ徑
十九吋ヲ超エ二十四吋以下	五	四分ノ三吋
二十四吋ヲ超エ二十八吋以下	六	四分ノ三吋
二十八吋ヲ超エ三十吋以下	六	八分ノ七吋
三十吋ヲ超エ三十五吋以下	七	八分ノ七吋
三十五吋ヲ超エ四十吋以下	八	八分ノ七吋
四十吋ヲ超エ四十四吋以下	九	八分ノ七吋

第百八條　緣板ノ外部ニ附スル肘板ノ船側ニ於ケル幅及肘板ト正肋材トノ固著鉸釘ノ數ハ緣板ニ於ケル肘板ノ幅及緣板ト肘板トノ固著用竪山形材ノ各邊ニ於ケル鉸釘ノ數ヨリ少カルヘカラス

第百九條　鑿形板又ハ其ノ他ノ帶板等ヲ以テ內底板ト緣板ノ外部ニ附スル肘板トヲ固著スルトキハ緣板ノ上邊ノ幅ハ內底板ノ外側ニ於テ鑿形板等ヲ取附クルニ充分ナルコトヲ要ス

第百十條　特設肋骨ハ二重山形材ヲ以テ緣板ニ固著スヘシ
特設肋骨ノ幅十五吋ヲ超エ十七吋以下ナルトキハ特設肋骨每ニ、幅十七吋ヲ超エ二十吋以下ナルトキハ特設肋骨每及各特設肋骨間ノ中央ニ、幅二十吋ヲ超エ二十六吋以下ナルトキハ肋骨一本置ニ、幅二十六吋ヲ超ユルトキハ肋骨每ニ鑿形板又ハ適當ノ山形材ヲ以テ特設肋骨又ハ肋骨ト內底板トヲ固著スヘシ

第百十一條　汽鑵室ニ於ケル二重底用山形材ハ外板ニ附シ且「セメント」ヲ以テ嵌被スルモノヲ除クノ外第八號甲表ニ揭クル厚ヨリ〇・一吋其ノ厚ヲ增スヘシ

第百十二條　緣板ト外板トヲ固著スル山形材ヲ除キ其ノ他ノ二重底用山形材ハ中央部ニテ船ノ長ノ二分ノ一間ノ前後ニ於テハ左表ニ依リ其ノ厚ヲ減スルコトヲ得

中央部ニテ船ノ長ノ二分ノ一間ニ於ケル山形材ノ厚	船ノ首尾ニ於テ減シ得ヘキ厚
〇・四吋ヲ超エ〇・五吋以下	〇・〇二吋
〇・五吋ヲ超エ〇・六吋以下	〇・〇四吋
〇・六吋ヲ超エ〇・七吋以下	〇・〇六吋

第百十三條　二重底ノ構造ニ於テ肋板、肘板、隔切桁板等ニ曲線劍板ヲ使用スルトキハ其ノ接面ノ幅ハ該部ニ用ウヘキ規定ノ山形材ノ幅ヨリ

（裏面）

テ仍リセ送到物貨送追記表
ス出提ヲ錄目本

日月年出提錄目

時日達到

印捺長驛驛著

（備考）

輪廓及用紙ノ寸法ハ第一號樣式ニ同シ

●朝鮮總督府鐵道局ノ業務ニ關シ南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局諸規定準用ノ件

大正十四年四月一日
朝鮮總督府告示第六十五號

朝鮮總督府鐵道局業務ニ關シテハ特ニ定ムルモノヲ除クノ外當分ノ內從來南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局ニ行ハレシ諸規定ヲ準用ス

朝鮮國有鐵道線路名稱左ノ通定ム

朝鮮國有鐵道線路名稱

名稱	區間
京釜本線	（釜山京城間）
京釜線 大邱線	（大邱永川間）
京釜線 慶北線	（金泉慶北安東間）
京釜線 京仁線	（永登浦仁川間）

〔朝二〕

●朝鮮國有鐵道線路名稱

大正十四年六月五日
朝鮮總督府告示第百五十二號

改正　大正一四年一一月第三一六號、一五年一〇月第三二六號、一一月第三三三號、第三三四號
昭和二年八月第二四五號、一〇月第三三一號、第三三三號、一一月第三八五號、一二月第四五一號、三年六月第二三〇號、七月第二七九號、八月第二九六號、九月第三七三號、四年三月第一〇一號、八月第二九九號、五年九月第三〇七號、第三〇九號、第三一七號、第三三六號、一〇月第三九七號、七月第三五四號、第三七三號、九月第四一二月第四八六號、六年三月第一四七號、七月第三五四號、第三七三號、九月第四四六號、一〇月第四八七號、七年五月第二六三號、七月第三九三號、九月第四一〇月第五五六號、第五五八號、第五六〇號、第五六二號、第五六四號、一一月第六〇八號、一二月第六五六號、八年四月第一三四號、七月第三〇七號、第三一四號、一〇月第四九〇號、第五二一號、九年三月第一一八號、七月第三一五六號、第三八六號、八月第四一一號、一〇月第五一二號、一二月第六一八號、一〇年八月第四六五號、九月第五一〇號、一〇月第六〇三號、一一年一月第四七四號、四月第二八〇號、一〇月第五四九號、第五五二號、一一月第六三三號、第六三四號、第六三九號、第八九二號、一二年一〇月第七四七號、一一月第七七八號、第八〇八號、第八一一號、一三年六月第五一三號、一一月第九三五號、一四年一月第二五號、三月第二一三號、五月第四五一號、九月第七四一號、一五年一月第四八號、第六三號、二月第一〇五號、六月第六〇四號、一六年三月第二五六號、六月第八〇〇號、八月第一三三八號、一一月第一八二七號、一七年三月第三三二號、五月第六七〇號、九月第一一六〇號

朝鮮總督府鐵道局業務ニ關シテハ特ニ定ムルモノヲ除クノ外當分ノ內從來南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局ニ行ハレシ諸規定ヲ準用ス

朝鮮國有鐵道線路名稱左ノ通定ム

朝鮮國有鐵道線路名稱

名稱	區間
京釜本線	（釜山京城間）
京釜線 大邱線	（大邱永川間）
京釜線 慶北線	（金泉慶北安東間）
京釜線 京仁線	（永登浦仁川間）

〔朝二〕

京義本線	（京城安東間）	
龍山線	（龍山細橋里間）	西江新村間
	（細橋里唐人里間）	「借入線」
京義線 粂二浦線	（黃州粂二浦間）	
京義線 平壤炭礦線	（大同江勝湖里間）	
京義線 平南線	（平壤鎭南浦間）	
博川線	（孟中里博川間）	
新義州江岸線	（新義州江岸間）	
湖南線 湖南本線	（大田本浦間）	
湖南線 群山線	（裡里群山港間）	
京元線	（龍山元山間）	
鏡本線	（元山土三峰間）	
川內里線（借入線）	（潭川內里間）	
北青線	（新北青北青間）	
鐵山線	（羅興利原鐵山間）	
咸鏡線 遮湖線	（會山遮湖間）	
康德線	（羅南豆滿城間）	
清津線	（清津清津港間）	
會寧炭礦線	（會寧新鷄林間）	
慶全南部線	（三浪津晋州間）	
鎭海線	（昌原鎭海間）	
慶全西部線	（順天松汀里間）	
和順線（借入線）	（和順巖間）	
光州線	（全南光州潭陽間）	
全羅線	（裡里麗水港間）	
東海南部線	（釜山鎭慶州間）	
東海中部線（狹軌）	（慶州鷄山間）	
東海北部線	（安邊襄陽間）	
京慶線	（慶州淸涼里間）	
平元線	（高原西浦間）	
滿浦本線	（順天滿浦間）	
价川線（狹軌、借入線）	（新安州泉洞間）	
龍登線	（球場龍登間）	
龍門炭礦線	（魚龍龍門炭礦間）	
惠山線	（吉州惠山鎭間）	
白茂線（狹軌）	（白岩延社間）	

〔朝二〕

●朝鮮私設鐵道令

大正九年六月十八日
制令第八號

改正　昭和三年五月第一號

朝鮮私設鐵道令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮私設鐵道令

第一條　私人カ公衆ノ用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外地方鐵道法ニ依ル但シ同法中地方鐵道トアルハ私設鐵

第百三十五條　龍骨ニ鄰接スル外板三條ノ厚ハ船首ヨリ船ノ長ノ二十分ノ一ニ相當スル箇所ヨリ中央ニ至ル間中央部ニ要スル外板ノ厚ヨリ減スルコトヲ得

第百三十六條　船尾ニ機關室ヲ有スル第二數一萬以下ノ汽船ニ在リテハ船首ヨリ船ノ長ノ二十分ノ一ニ相當スル箇所ト四分ノ一ニ相當スル箇所トノ間本章ノ規定ニ依ル補强構造ヲ爲スヘシ但シ本章第百三十四條ノ二重正肋材ノ代リニ第三號甲表ニ揭クル船首尾舷ノ正肋材ト同寸法ノ中間肋骨ヲ肋板ト肋板トノ間ニ設クルモ妨ナシ

第百三十七條　本章ノ規定ニ代リ補强構造ヲ爲スヘキ部分ニ於ケル肋板及側桁板ハ之ヲ曲線ト爲スヘカラス

第十二章　支水隔壁、支水甲板及車軸隧道

第百三十八條　汽船ニハ首尾及機關室前後ニ支水隔壁ヲ設クヘシ

船首隔壁ハ滿載吃水線ニ於テ船首材ノ前面ヲ距ルコト船ノ長ノ二十分ノ一ヨリ少カラサル所ニ之ヲ設クヘシ

船尾管ハ水密ナル場所ニ之ヲ設クヘシ

第百三十九條　長二百二十呎以下ノ汽船ニ於テ機關室ヲ船尾ニ設クルトキハ支水隔壁ノ數ハ三箇ト爲スモ妨ナシ

長二百二十呎ヲ超エ二百八十五呎以下ノ汽船ニ於テ機關室ヲ船尾ニ設クルトキハ船首隔壁ト機關室前端ノ隔壁トノ大約中央ニ支水隔壁ヲ增設スヘシ

長二百八十五呎ヲ超エ三百三十五呎以下ノ汽船ニ在リテハ船首隔壁ト機關室前端ノ隔壁トノ大約中央ニ支水隔壁ヲ增設スヘシ但シ機關室ヲ船尾ニ設クルトキハ船首隔壁ト機關室前端ノ隔壁トノ間ニ三箇ノ支水隔壁ヲ增設スヘシ

長三百三十五呎ヲ超エ四百五呎以下ノ汽船ニ在リテハ前項ニ揭クル隔壁ノ外更ニ船尾隔壁ト機關室後端ノ隔壁トノ大約中央ニ支水隔壁ヲ增設スヘシ但シ機關室ヲ船尾ニ設クルトキハ船首隔壁ト機關室前端ノ隔壁トノ間ニ三箇ノ支水隔壁ヲ增設スヘシ

長四百五呎ヲ超エ四百七十呎以下ノ汽船ニ在リテハ七箇、長四百七十呎ヲ超エ五百四十呎以下ノ汽船ニ在リテハ八箇、長五百四十呎ヲ超エ六百十呎以下ノ汽船ニ在リテハ九箇ノ支水隔壁ヲ設クヘシ

第百四十條　前二條ノ隔壁ハ之ヲ上甲板迄達セシムヘシ但シ船首隔壁ヲ除キ其ノ他ノ隔壁ハ全通船樓船及遮浪甲板船ニ在リテハ之ヲ第二甲板ニ止メ又二層以上ノ甲板ヲ有スル輕構船ニ在リテハ其ノ吃水ニ應シ檢査官吏ノ見込ニ依リ之ヲ第二甲板ニ止ムルコトヲ得

前二條ノ隔壁ハ低船首樓又ハ低船尾樓ヲ有スル船舶ニ在リテハ檢査官吏ノ見込ニ依リ其ノ吃水ニ應シ之ヲ適當ニ船樓甲板ニ達セシムヘシ

前二條ノ隔壁ハ本條第四項ノ場合ヲ除クノ外船ノ長ノ中央ニテ甲板梁ノ船側ニ於ケル上面カ海水中ニ於ケル最高滿載吃水線以上ニ在ル甲板ニ達セシムルコトヲ要ス

滿載吃水線以上ニ在ル甲板ヲ船尾隔壁ヨリ船尾迄水密ニ構造スルトキハ船尾隔壁ハ之ヲ該甲板ニ止ムルコトヲ得

第百四十一條　長キ船樓ノ甲板ト上甲板トノ間ニ於テハ支水隔壁ヲ船樓甲板ニ達セシメサルトキハ支水隔壁ノ上部ニ部分隔壁ヲ設クヘシ支水隔壁ヲ第二甲板ニ止ムル船舶ノ上甲板ト第二甲板トノ間ニ於テモ亦同シ

支水隔壁ヲ本章ニ規定スル適當ノ位置ニ取附ケ難キトキハ部分隔壁ヲ附

〔朝〕

增設スヘシ

長三百三十五呎ヲ超エ四百五呎以下ノ汽船ニ在リテハ前項ニ揭クル隔壁ノ外更ニ船尾隔壁ト機關室後端ノ隔壁トノ大約中央ニ支水隔壁ヲ增設スヘシ但シ機關室ヲ船尾ニ設クルトキハ船首隔壁ト機關室前端ノ隔壁トノ間ニ三箇ノ支水隔壁ヲ增設スヘシ

長四百五呎ヲ超エ四百七十呎以下ノ汽船ニ在リテハ七箇、長四百七十呎ヲ超エ五百四十呎以下ノ汽船ニ在リテハ八箇、長五百四十呎ヲ超エ六百十呎以下ノ汽船ニ在リテハ九箇ノ支水隔壁ヲ設クヘシ

第百四十條　前二條ノ隔壁ハ之ヲ上甲板迄達セシムヘシ但シ船首隔壁ヲ除キ其ノ他ノ隔壁ハ全通船樓船及遮浪甲板船ニ在リテハ之ヲ第二甲板ニ止メ又二層以上ノ甲板ヲ有スル輕構船ニ在リテハ其ノ吃水ニ應シ檢査官吏ノ見込ニ依リ之ヲ第二甲板ニ止ムルコトヲ得

前二條ノ隔壁ハ低船首樓又ハ低船尾樓ヲ有スル船舶ニ在リテハ檢査官吏ノ見込ニ依リ其ノ吃水ニ應シ之ヲ適當ニ船樓甲板ニ達セシムヘシ

前二條ノ隔壁ハ本條第四項ノ場合ヲ除クノ外船ノ長ノ中央ニテ甲板梁ノ船側ニ於ケル上面カ海水中ニ於ケル最高滿載吃水線以上ニ在ル甲板ニ達セシムルコトヲ要ス

滿載吃水線以上ニ在ル甲板ヲ船尾隔壁ヨリ船尾迄水密ニ構造スルトキハ船尾隔壁ハ之ヲ該甲板ニ止ムルコトヲ得

第百四十一條　長キ船樓ノ甲板ト上甲板トノ間ニ於テハ支水隔壁ヲ船樓甲板ニ達セシメサルトキハ支水隔壁ノ上部ニ部分隔壁ヲ設クヘシ支水隔壁ヲ第二甲板ニ止ムル船舶ノ上甲板ト第二甲板トノ間ニ於テモ亦同シ

支水隔壁ヲ本章ニ規定スル適當ノ位置ニ取附ケ難キトキハ部分隔壁ヲ附

〔朝〕

定ム

第二條　地方鐵道ハ人力又ハ馬力其ノ他之ニ類スルモノヲ以テ動力ト爲スコトヲ得

第三條　地方鐵道ノ軌間ハ三呎六吋トス特別ノ場合ニ在リテハ四呎八吋半又ハ二呎六吋ト爲スコトヲ得

前項ノ軌間ノ制限ハ命令ヲ以テ定ムル特殊ノ地方鐵道ニ付テハ之ヲ適用セス

第四條　地方鐵道ハ之ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得但シ已ムコトヲ得サル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條　地方鐵道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得但シ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　削除

第七條　地方鐵道會社ノ社債ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス

社債ノ額ハ鐵道抵當法ニ依ル債務ノ額ト併セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス

第八條　鐵道及其ノ附屬物件ハ鐵道抵當法ニ依ルニ非サレハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得ス

第九條　削除

第十條　地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ免許ニ屬スル權利義務ヲ承繼ス

第十一條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　地方鐵道ノ業ヲ營マムトスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免除ヲ受クヘシ

一　起業目論見書

二　線路豫測圖

三　建設費概算書

四　運送營業上ノ收支概算書

免許ニハ工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限ヲ附ス

第十三條　免許ヲ受ケタル者ハ左ノ書類及圖面ヲ監督官廳ニ提出シ工事施行ノ認可ヲ受クヘシ

一　線路實測圖

二　工事方法書

三　建設費豫算書

四　免許ヲ受ケタル者カ會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ設立登記謄本

工事施行ノ認可ニハ工事ノ著手及竣功ノ期限ヲ附ス

第十四條　地方鐵道業者ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ第十二條第二項又ハ前條第二項ノ規定ニ依リテ附セラレタル期限ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第十五條　左ニ揭クル土地ヲ以テ鐵道用地トス

一　線路用地

二　停車場、信號所、車庫及貨物庫等ノ建設ニ要スル土地

三　鐵道專用ニ供スル發電所、變電所及配電所等ノ建設ニ要スル土地

四　鐵道標内ニ職務上常住ヲ要スル鐵道係員ノ舍宅及運輸保線ノ職務ニ從事スル鐵道係員ノ駐在所等ノ建設ニ要スル土地

五　鐵道ニ要スル車輛、器具、機械ヲ修理製作スル工場及其ノ資材、器具、機械ヲ貯藏スル倉庫等ノ建設ニ要スル土地

第十六條　道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ニ關スル工事ノ施設ハ所管行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條　政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ地方鐵道ニ接續シ若ハ之ヲ橫斷シテ鐵道若ハ軌道ヲ敷設シ又ハ地方鐵道ニ接近シ若ハ之ヲ橫斷シテ道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ヲ造設スルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ地方鐵道業者ニ設備ノ共用又ハ變更ヲ命スルコトヲ得

設備ノ共用又ハ變更ニ要スル費用ノ負擔ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第十八條　地方鐵道業者ノ監督官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限リ免許ニ屬スル權利義務ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得

第十九條　左ノ場合ニ於テハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

一　工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限迄ニ認可ヲ申請セサルトキ

二　工事施行ノ認可ヲ受ケサルトキ

三　工事施行ノ認可ニ附シタル工事著手ノ期限迄ノ工事ニ著手セサルトキ

四　營業廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ

免許ヲ受ケタル者死亡シタルトキハ相續人ハ免許ニ屬スル權利義務ヲ承繼スルコトヲ得ス

第二十條　地方鐵道業者ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第二十一條　地方鐵道業者ハ旅客及荷物ノ運賃其ノ他運輸ニ關スル料金ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃及料金ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十二條　地方鐵道業者ハ旅客列車及混合列車ノ運轉速度及度數ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ列車ノ運轉速度、度數及發著時刻ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十三條　監督官廳ハ監査員ヲ派遣シテ鐵道ノ工事、運輸保線ノ狀態、會計及財産ノ實況ヲ監査セシムルコトヲ得

鐵道ノ工事、運輸保線ノ狀態及會計ノ整理ニ付法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ違ヒ又ハ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ監督官廳ハ其ノ改築又ハ改善ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ工事、運輸又ハ設備使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

監査員ハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ニ說明ヲ求メ帳簿、書類及圖面ヲ檢閱スルコトヲ得

第二十四條　地方鐵道業者ハ地方鐵道ノ監督事務ニ關シ往復スル吏員ニシテ監督官廳ノ發行スル證票ヲ携帶スル者ヲ無賃ニテ乘車セシムヘシ

第二十五條　主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ地方鐵道業者ニ他ノ陸上運送事業者ト連絡運輸、直通運輸、運賃協定其ノ他運輸ニ關スル協定ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

〔朝〕

前項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更、運轉ノ手續、運賃ノ割合、費用ノ負擔其ノ他ノ事項ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十六條　地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ鐵道ノ貸借又ハ營業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得ス

營業又ハ運轉ノ管理ノ委託ヲ受ケタル地方鐵道業者ハ其ノ管理ニ付監督官廳ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第二十七條　地方鐵道業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ運輸營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ス

地方鐵道會社ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十八條　主務大臣ハ地方鐵道ノ會計及運賃ノ割引ニ關シ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十九條　地方鐵道業者ハ法令ノ定ムル所ニ依リ平時及戰時ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供スル義務ヲ負フ

第三十條　政府カ公益上ノ必要ニ因リ地方鐵道（工事中ノ線路ヲ含ム）ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ殘存開業線路及其ノ附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得

第三十一條　買收價額ハ左ニ揭クルモノトス

一　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含ム開業線路ニ付テハ其ノ營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル開業線建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ニ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額

二　最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含マサル開業線路ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費以内ニ於テ協定シタル金額

三　工事中ノ線路及買收ノ日迄ニ未タ使用開始ニ至ラサル改良施設ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル建設費以内ニ於テ協定シタル金額

前項第一號ノ規定ニ依ル金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ニ達セサルトキハ其ノ建設費以内ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

第三十二條　前條ノ規定ニ於テ益金トハ營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ三年間ニ於ケル每營業年度末ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノニ一年間ニ於ケル營業年度ノ數ヲ乘シタルモノヲ謂フ

建設費、營業收入及營業費ハ命令ノ定ムル所ニ依リテ算出シタル金額ニ依ル

第三十三條　政府ノ買收スル鐵道又ハ其ノ附屬物件ニ付買收ノ日ニ於テ補修ヲ要スルモノアルトキハ之ニ要スル金額ヲ買收價額ヨリ控除ス

最近ノ營業年度末迄ニ爲スヘキ補修ヲ其ノ營業年度末迄ニ爲ササリシトキハ前項ノ規定ニ依ルノ外之ニ要スル金額ヲ買收價額ニ計算上ノ營業費ニ加算ス

第三十四條　買收ヲ受クヘキ地方鐵道業者カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ

〔朝〕

乘業ニ屬スル資產ヲ併セテ買收スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買收價額ハ協定ニ依ル

第三十五條　買收代價ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ二十五圓未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ額面金額二十五圓トス

前項ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第三十五條ノ二　政府ハ買收ノ日ヨリ買收代價交付ノ日ニ至ル迄買收代價トシテ交付スヘキ國債ノ利子ニ相當スル金額ヲ概算ヲ以テ從前ノ決算期毎ニ買收セラレタル者ニ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ交付シタル金額ハ清算中ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

第三十五條ノ三　第三十條第一項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ未タ運輸開始ニ至ラサル殘存線路ニ付其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ノ補償ヲ申請スルコトヲ得

第三十六條　政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ竝行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地方鐵道業者カ其ノ接近シ又ハ竝行スル區間ノ營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ政府ハ其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償スルコトヲ得殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ未タ運輸開始ニ至ラサル線路ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ二　前二條ノ補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ規定ニ準シテ算出シタル金額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額以內ニ於テ政府之ヲ定ム

未タ工事ニ著手セサル線路ニ對スル補償金額ハ測量其ノ他ノ費用ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額以內ニ於テ政府之ヲ定ム

第三十五條及第三十五條ノ二ノ規定ハ前二項ノ補償金ノ支拂ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ三　政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ竝行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地方鐵道ノ每營業年度ニ於ケル益金又ハ益金ト地方鐵道補助法ニ依リ受クル補助金トノ合計カ當該營業年度ノ建設費ニ益金ノ平均割合ヲ乘シタル額ニ不足スルトキハ政府ハ政府ノ該鐵道運輸開始ノ日ヨリ五年ヲ限リ帝國鐵道特別會計收益勘定歲出豫算ノ範圍內ニ於テ其ノ不足額ヲ補償スルコトヲ得但シ每營業年度ニ於ケル補償額ハ益金又ハ益金及補助金ト合セ建設費ノ百分ノ五ニ相當スル額ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ益金ノ平均割合トハ政府ノ該鐵道運輸開始ノ日ノ屬スル營業年度ノ前營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル每營業年度ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタル殘額ノ合計ヲ除シタルモノヲ謂フ

第三十二條ノ規定ハ前二項ノ益金、建設費、營業收入及營業費ニ、地方鐵道補助法第六條及第七條ノ規定ハ第一項ノ補償ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ四　主務大臣ハ地方鐵道ノ買收又ハ補償ニ關シ必要アリト認ムルトキハ當該地方鐵道業者ヲシテ建設費ノ增減ヲ來スヘキ事項ニ付認可ヲ受ケシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ之ヲ受ケサルモノニ付テハ政府ハ其ノ額ヲ査定スルコトヲ得

〔朝〕

一　支水甲板梁

二　深十五吋ヲ超ユル一層甲板船ノ上甲板梁船樓下ノモノヲ除ク

三　全通鋼甲板ヲ要スル船舶ニ於テ木甲板ヲ張ラサル部分ノ上甲板梁船樓下ノモノヲ除ク及長船橋樓甲板梁

四　長四百五十呎ヲ超ユル船舶ノ上甲板梁船樓下ノモノヲ除ク及長船橋樓甲板梁

五　長四百五十呎ヲ超エ幅六十六呎ヲ超ユル船舶ノ船橋樓ノ部分ニ於ケル上甲板梁

六　長四百五十呎ヲ超エ幅六十六呎以下ノ船舶ノ船橋樓兩端ヨリ船橋樓內ニ船ノ長ノ十分ノ一ニ相當スル箇所迄ノ上甲板梁

七　鋼甲板ヲ要スル甲板ニ於ケル艙口及其ノ他ノ甲板口ノ兩側ニ於テ木甲板ヲ張ラサル鋼甲板ニ附スル梁

八　肋骨ノ心距二十七吋ヲ超ユル部分ノ甲板梁

前項各號ニ該當セサル場合ト雖甲板梁ノ心距ハ肋骨ノ心距ノ二倍ヲ超ユヘカラス

第百七十二條　機關室ニ於ケル特設梁ハ板ノ兩面上下ニ山形材ヲ備フルモノ又ハ肋骨ノ心距ニ等シキ幅ヲ有スル冠板ノ下面兩緣ニ板ヲ附シ板ノ上下兩端ニ山形材ヲ附シタル溝形ノモノナルコトヲ要ス

第百七十三條　遮陽甲板、端艇甲板等ノ甲板梁ハ適當ノ寸法ト爲シ端艇其ノ他ノ重量物ヲ支フル梁ハ特ニ補强スヘシ

第百七十四條　左ニ掲クル梁ニハ第十號甲表乃至丙表ニ掲クル梁一層ノミヲ有スル部分ニ於ケル汽船ノ同長ノ上甲板梁ニ用ウヘキ梁枝ヲ用ウヘシ

一　上甲板下ニ特設艙梁ヲ用キタル場合ニ於ケル上甲板梁

二　支水甲板梁

第百七十五條　大形船ノ甲板一層ノミヲ有スル部分ノ肋骨每ニ設クル上甲板梁ニハ左表ニ掲クル寸法ノ肘板ヲ取附クヘシ

船ノ深	肘板ノ寸法	
	幅	深	厚
二十三呎ヲ超エ二十四呎以下	三十三吋	三十三吋	〇・五〇吋
二十四呎ヲ超エ二十五呎以下	三十六吋	三十六吋	〇・五二吋
二十五呎ヲ超エ二十六呎以下	三十九吋	三十九吋	〇・五四吋
二十六呎ヲ超エ二十七吋以下	四十二吋	四十二吋	〇・五四吋

肘板ノ各枝ノ幅四十二吋ノモノハ內側ヲ曲緣ト爲スヘシ

第百七十六條　梁枝ノ曲部ニ於ケル深ハ梁枝ノ深ノ五分ノ三ヨリ少カルヘカラス

第百七十七條　肘板ノ各枝又ハ梁枝ニ於ケル鉸釘ノ數及徑ハ左表ニ依ルヘシ但シ部分隔壁、防撓桁板等ト固著スヘキ場合ニ於テハ適當ニ鉸釘ノ數ヲ增スヘシ

梁枝又ハ肘板ノ深	鉸釘ノ數	鉸釘ノ徑
十七吋以下	四	四分ノ三吋
十七吋ヲ超エ二十一吋以下	五	四分ノ三吋
二十一吋ヲ超エ二十四吋以下	五	八分ノ七吋

昭和十四年勅令第二百二十五號ヲ以テ第二十五條、第三十一條、第三十三條、第三十五條、第三十六條ノ二、第三十六條ノ三及第三十六條ノ五ノ改正ニ關スル規定竝ニ附則第二項ノ規定ハ昭和十四年四月二十五日ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十三年法律第七十二號施行ノ日ヨリ施行

昭和九年法律第二十二號ハ之ヲ廢止ス

●朝鮮私設鐵道令施行規則

大正九年十一月十日
朝鮮總督府令第百七十二號

改正　大正一五年一二月第八九號
昭和三年七月第四七號、一七年一〇月第二六五號

朝鮮私設鐵道施行規則左ノ通定ム

朝鮮私設鐵道令施行規則

第一條　私設鐵道ノ免許、許可及認可申請書竝屆出書ハ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ但シ二道以上ニ亙リ敷設スル私設鐵道ニ在リテハ其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第十四條第二項、第十七條乃至第二十二條、第二十四條、第二十五條、第二十七條、第三十條、第三十二條乃至第四十三條、第四十六條乃至第四十八條、第五十條ニ依リ提出スヘキ書類、第十六條ノ認可申請書ニシテ停車場ノ新設、廢止、線路及橋梁ノ重大ナル變更、洪水汎濫地域ニ於ケル線路及橋梁ノ變更ニ關セサルモノ竝第三十一條ノ許可申請書ニシテ鐵

道ノ讓渡ニ關セサルモノハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要セス

第二條　地方長官ハ免許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書及免許ノ許否ニ關スル意見書ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

一　申請者ノ資產及信用程度
二　事業ノ成否
三　事業ノ效用
四　他ノ鐵道又ハ軌道未開業ノ鐵道又ニ及ホス影響
五　他ノ鐵道又ハ軌道ノ競願アルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ名稱、區間及申請書ノ受附年月日
六　其ノ他必要ト認ムル事項

前條第一項但書ノ場合ニ於テハ免許申請書ヲ受附ケタル地方長官ハ關係地方長官ニ商議シ前項ノ調査書及意見書ヲ作製スヘシ

第三條　私設鐵道經營ノ免許申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ申請者又ハ其ノ代理人記名捺印スヘシ但シ代理人ニ於テ記名捺印スルトキハ代理權ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

一　組合ニ在リテハ組合契約書ノ謄本
二　會社ヲ設立セムトスルモノニ在リテハ定款ノ謄本
三　既設會社ニ在リテハ私設鐵道ノ營業ヲ目的トスルモノヲ除クノ外定款及登記謄本
四　公共團體ニ在リテハ私設鐵道經營ニ關スル決議アルトキハ其ノ要領書

第四條　起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的

二　商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地
三　鐵道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法
四　線路ノ起終點及其ノ經過スヘキ主ナル地名竝線路ノ一部ヲ道路ニ敷設セムトスルトキハ其ノ區間、道路ノ種別及其ノ必要ナル事由
五　軌間
六　單線、複線ノ別
七　動力（蒸氣電氣等ノ別、電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ電氣鐵道方式（直流、交流、架空單絲式、架空複線式、第三軌條式等ノ別及電車線ノ電壓）、自ラ發電設備ヲ有スルモノニ在リテハ原動力ノ種類（火力、水力ノ別）、他ヨリ電力ノ供給ヲ受クルモノニ在リテハ供給者ノ名

第五條　線路豫測圖ハ左ノ二種トス

一　平面圖

縮尺ハ五萬分一以上トシ線路經過地ノ地名及地勢、停車場ノ位置及名稱竝一哩毎ニ哩程ヲ記シ方位ヲ示スヘシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ一哩ヲ五萬分一以上、高サ三千六百分一以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低ヲ示シ隧道及橋梁ノ長、線路ノ勾配竝停車場ノ位置及名稱ヲ記スヘシ

第六條　建設費ノ概算書ハ第一號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條　運送營業上ノ收支概算書ハ第二號樣式ニ依リ之ヲ調製シ第三號樣式ニ依ル運輸數量表ヲ添附スヘシ

第八條　免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合員ナルトキハ發起人又ハ法人ニ非サル組合ノ加入又ハ脫退ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ但シ死亡ニ因ル脫退ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ他ノ發起人又ハ組合員ヨリ遲滯ナク之ヲ屆出ツヘシ

第九條　免許ヲ受ケタル後工事施行ノ認可ヲ受クル前ニ於テ起業目論見書ヲ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地及電力供給者ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ屆出ツヘシ

第十條　二道以上ニ亙ル鐵道ノ工事施行ノ許可申請ヲ爲サムトスルトキハ其ノ關係部分ニ對スル書類及圖面ノ謄本ヲ調製シ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ除ク外之ヲ關係地方長官ニ提出スヘシ

第十一條　線路實測圖ハ左ノ二種トス

一　平面圖

縮尺ハ一吋三十鎖以上トシ線路ノ左右各十鎖以內ノ地勢ヲ明ニシ其ノ他附近ノ市街、村落、社寺、名勝、舊蹟、公園、道路、鐵道、軌道、山岳、河川、湖沼地域ヲ記シ運河、港灣、要塞地等ヲ記シ道、府、郡、面ノ境界及方位ヲ示スヘシ

線路中心線ニハ半哩毎ニ哩程ヲ記シ曲線ノ半徑及交角竝停車場、停留場及信號所ノ位置、名稱及中心哩程ヲ記スヘシ

二　縱斷面圖

縮尺ノ長ハ平面圖ト同一ニシテ高ハ一吋百五十呎以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低竝築堤ノ高及切取ノ深ヲ十鎖毎ニ記シ隧道ノ長、橋

梁溝渠ヲ含ム以下同シノ徑間、徑間數及總長兩橋臺面間ノ距離、桁ノ種類及材質、停車場、停留場及信號所ノ名稱及中心哩程、重要ナル踏切道竝線路ノ勾配ヲ記スヘシ

線路カ他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉、連絡又ハ接近スルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ前後各半哩間ノ中心線及高低ノ關係ヲ明ニスヘシ

線路カ市街地ヲ通過シ又ハ之ニ接近スルトキハ別ニ縮尺一吋三鎖ノ平面圖及縮尺長一吋三鎖高一吋三十呎ノ縱斷面圖ヲ添附スヘシ

第十二條　工事方法書ニハ左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

一　動力
二　軌間
三　單線、複線等ノ別及其ノ區間
四　軌道ノ中心間隔
五　建築定規及車輛定規各部寸法、兩定規相互ノ關係及建築定規軌條部分ノ明細ヲ記入シタル圖面ニ依リ明示スルコト
六　最小曲線半徑
七　最急勾配
八　土工定規第四號様式ニ依ル圖面添附
(イ)　線路施工基面ノ幅築堤切取等ヲ區分シ側溝ヲ除キタル幅ヲ記載スルコト
(ロ)　築堤及切取斜面ノ勾配高又ハ地質ニ應スル斜面ノ勾配ヲ記載スルコト
(ハ)　用地ノ限界築堤法尻又ハ切取法肩ヨリ用地ノ境界迄ノ距離ヲ乾地、濕地ニ區別シ記載スルコト
九　橋梁
(イ)　橋臺、橋脚組石積、煉瓦積、混凝土工、木造等ノ別ヲ記載スルコト
(ロ)　基礎杭打混凝土工、煉瓦沈井工等ノ別ヲ記載スルコト
(ハ)　桁鋼、鐵筋混凝土、松等ノ別竝工字形桁、鈑桁、構桁等ノ別ヲ記載スルコト
(ニ)　拱煉瓦巻、鐵筋混凝土工等ノ別ヲ記載スルコト
(ホ)　橋梁ノ所定動荷重及桁ノ最大應力第五號様式ニ依ル圖表添附
(ヘ)　重要ナル架橋河川ノ平水位、最高水位、架設後ニ於ケル最高水位及其ノ水位ト桁ノ下端トノ距離架設地點ノ上流ニ於ケル流域面積平方里ヲ以テ記載スルコト

(イ)乃至(ニ)ニ付テハ各部ノ材質及構造寸法ヲ示ス設計圖竝異ル徑間ヲ使用スル橋梁ニ在リテハ徑間配置圖ヲ各橋梁毎ニ添附スヘシ但シ模範設計ヲ定メ之ヲ適用スヘキ箇所ヲ示シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十　隧道
(イ)　各其ノ地質ニ應スル施工斷面拱、側壁、仰拱排水渠ノ材質及構造寸法ヲ圖面ニ依リ明示スルコト
(ロ)　坑門材質及構造寸法ヲ圖面ニ依リ明示スルコト
十一　軌條、轉轍器、轍叉及枕木
(イ)　軌條ノ重量重量ノ異ル軌條ヲ使用スルトキハ各軌條ノ使用區間ヲ明示スルコト

(ロ)　軌條及附屬品ノ材質及形狀軌條又ハ附屬品ノ異ル毎ニ形狀寸法ヲ明示スル圖面附添
(ハ)　轉轍器及轍叉ノ構造轉轍器ニ在リテハ重錘取柄式又ハ自動彈機式等ノ別、轍叉ニ在リテハ番號ヲ記シ轉轍器尖端軌條ノ開キ竝轍叉翼軌條及護輪軌條ノ間隔等各部ノ寸法ヲ詳記セル圖面添附
(ニ)　枕木ノ寸法及敷設間隔軌條重量ノ異ル毎ニ中心距離ノ最大ナルモノヲ記載スルコト
十二　停車場、停留場及信號所
(イ)　建造物、配線、用地境界及實測中心哩程本屋、待合所、貨物庫車庫、乘降場、貨物積卸場、常置信號機、跨線橋、地下道、轉車臺、給水器、石炭臺、灰坑等ノ位置、乘降場及貨物積卸場ノ長及幅、轍叉ノ番號、線路ノ配置、用地境界及實測中心哩程ヲ平面圖(縮尺一吋一鎖)ニ依リ明示スルコト
(ロ)　軌道ト乘降場及貨物積卸場トノ關係横斷面圖ニ依リ明示スルコト
(ハ)　聯動裝置圖表ヲ添附シ説明スルコト
十三　他ノ鐵道又ハ軌道トノ交叉方法交叉設計圖ヲ添附シ停車場、信號所以外ニ於テ人力又ハ牛馬力ヲ動力トスル鐵道又ハ軌道ト平面交叉ヲ爲ス場合ニ在リテハ其ノ保安設備ニ付説明スルコト
十四　閉塞信號機設計及位置ヲ明示スル圖面ヲ添附シ作用ヲ説明スルコト
十五　車輛
(イ)　機關車
一　形式四輪聯結六輪タンク機關車、六輪聯結十輪テンダー機關車等ノ別ヲ記載スルコト
二　輛數
三　重量運轉整備ノトキニ於ケル總重量ヲ英噸ヲ以テ記載スルコト
四　働輪一對ノ軌條面最大壓力運轉整備ノトキニ於ケル重量ヲ英噸ヲ以テ記載スルコト
(ロ)　客車及貨車
一　車種ボギー車、四輪車等ノ別ヲ記載スルコト
二　輛數
三　定員
四　自重英噸ヲ以テ記載スルコト
五　積載重量英噸ヲ以テ記載スルコト
(ハ)　汽動車機關車及客貨車ニ準シ記載スルコト
十六　車輛修繕設備ノ大要
十七　特殊設計

電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

一　送電系統發電所、變電所、蓄電所、配電所及電車線路間相互ノ送電關係ヲ圖面ニ依リ明示スルコト
二　電氣鐵道ノ方式直流、交流、架空單線式、架空複線式、第三軌條式等ノ別及電車線ノ電壓ヲ記載スルコト
三　發電所、變電所、蓄電所及配電所
(イ)　所在地道、府、郡、面、洞、番地ヲ記載スルコト

共ノ他ノ地ニ在リテハ之ヲ他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケル箇所ニ於ケル停車場ノ勾配ハ緩急ノ勾配ノ變更ヲ爲ス場合ヲ除キ水平ニ在リテハ四分ノ一ヲ超エサルヘシ

第十四條　電車線ノ高サハ軌條面ヨリ五米突ヲ超エサルヘシ

第十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第四十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第五十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第六十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第七十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第八十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第九十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百二十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百三十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百四十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百五十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百六十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百七十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百八十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第百九十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百二十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百三十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百四十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百五十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百六十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百七十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百八十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第二百九十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百二十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百三十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百四十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百五十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百六十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百七十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十一條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十二條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十三條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十四條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十五條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十六條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十七條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十八條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百八十九條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘシ

第三百九十條　電車線ハ之ヲ軌條面ニ對シ垂直ニ架設スヘ

形式稱號、番號及輛數ヲ記載シ、既認可ノ車輛ト同一設計ニ依ル車輛ヲ製作又ハ購入スル場合ニ於テハ其ノ旨及輛數ヲ記載シ左ノ事項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

一　機關車　設計ノ異ル毎ニ設計書ヲ作製スルコト

（イ）形式　四輪聯結六輪タンク機關車、六輪聯結十輪テンダー機關車等ノ別ヲ記載スルコト

（ロ）輛數

（ハ）重量　運轉整備ノトキニ於ケル機關車及炭水車ノ各車輪一對ノ軌條面壓力ヲ英噸ヲ以テ記載スルコト

（ニ）主要寸法　平面、側面及端面並要部ノ斷面ヲ示シ且主要ナル構造寸法ヲ記入シタル組立圖ヲ添附シ端面圖ニハ車輛定規トノ關係ヲ示スコト

一　最大寸法　長ハ前後緩衝器間ノ距離、幅ハ車體中心線ヨリ側部ニ於ケル最突出部迄ノ距離ノ二倍、高ハ軌條面ヨリ最高部迄ノ距離

一　車輪軸距　機關車及炭水車ヲ區別シ固定輪軸距、全輪軸距、機關車及炭水車ヲ合シタル全輪軸距

一　軌條面ヨリ緩衝器中心迄ノ高

一　兩側緩衝器中心間ノ距離

（ホ）汽罐ノ構造　罐胴、煙櫃及火室ノ構造寸法並各鈑ノ繼手及各種繫桿ノ構造配置ヲ示ス圖面添附

一　火床面積　平方呎ヲ以テ記載スルコト

一　傳熱面積　總面積ヲ記載シ焔管ノ面積、火室ノ面積、過熱面積等ヲ區別シ平方呎ヲ以テ記載スルコト

一　焔管ノ外徑及長　長ハ管鈑間ニテ計リタルモノヲ記載スルコト

一　實用最高汽壓　一平方吋ニ付封度ヲ以テ記載スルコト

（ヘ）汽機ノ構造　汽筩ノ直徑及衝程ヲ記載シ汽筩及汽櫃ノ構造並揩動弁運動裝置ヲ圖面ニ依リ明示スルコト

（ト）臺框ノ構造圖面ニ依リ明示スルコト

（チ）聯結桿及併行桿ノ構造圖面ニ依リ明示スルコト

（リ）トラックノ構造圖面ニ依リ明示スルコト

（ヌ）車輪車軸ノ構造　車輪車軸圖、作圖上必要ナル寸法ヲ詳記シタル輪鐵ノ現尺斷面圖及車輪ト轍叉トノ關係ヲ明示セル斷面圖添附

一　車輪ノ直徑　動輪、導輪、從輪及炭水車ノ車輪ヲ區別シ記載スルコト

一　車輪一對ノ輪鐵內側距離

（ル）撥彈機ノ構造及裝置圖面ニ依リ明示スルコト

（ヲ）緩衝器、聯結器ノ種類及構造　兩側緩衝器、中央緩衝聯結器、自動聯結器、螺旋聯結器等ノ別ヲ記載シ其ノ構造ヲ圖面ニ依リ明示スルコト

（ワ）制動機ノ種類及裝置　手用、蒸氣、空氣眞空制動機等ノ別ヲ記載シ制動裝置圖添附

（カ）燃料櫃ノ容積立方呎ヲ以テ記載スルコト及水槽容量英ガロンヲ以テ記載スルコト

（ヨ）牽引重量　一時間二十哩ノ速度ニテ百分ノ一勾配ヲ上ルトキ牽引シ得ヘキ重量ヲ英噸ヲ以テ記載スルコト但シ軌間二呎六吋ノ鐵道ニ在リテハ十哩ノ速度ニ依リ計算スルコト

（タ）特種設計　圖面ヲ添附シ構造裝置ヲ說明スルコト

二　客車及貨車　設計ノ異ル毎ニ設計書ヲ作製スルコト

（イ）車種　ボギー車、四輪車等ノ別、客車ニ在リテハ特等、並等、手小荷物緩急車等、貨車ニ在リテハ有蓋、無蓋、貨物緩急車等ノ別ヲ記載スルコト

（ロ）輛數

（ハ）自重　英噸ヲ以テ記載スルコト

（ニ）定員　座席定員及起立定員ヲ等級別ニ記載スルコト

（ホ）定員一人ニ對スル客室面積　等級ニ依リ區別シ平方呎ヲ以テ記載スルコト

（ヘ）積載容積及積載重量　郵便室、手小荷物室等ヲ區別シ積載容積ハ立方呎及百立方呎ヲ一噸ニ換算シタル噸數ヲ記載シ積載重量ハ英噸ヲ以テ記載スルコト

（ト）主要寸法　平面、側面及端面並要部ノ斷面ヲ示シ且主要ナル構造寸法ヲ記入シタル組立圖ヲ添附シ端面圖ニハ車輛定規トノ關係ヲ示スコト

一　最大寸法　長ハ前後緩衝器間ノ距離、幅ハ車體中心線ヨリ側部ニ於ケル最突出部迄ノ距離ノ二倍、高ハ軌條面ヨリ最高部迄ノ距離

一　車體內寸法　客車ニ在リテハ各客室、郵便室、手小荷物室、車掌室ヲ貨車ニ在リテハ車掌室アルモノハ之ヲ區別シ長、幅及高ヲ記載スルコト

一　固定輪軸距及ボギー中心間ノ距離

一　軌條面ヨリ緩衝器及聯結器ノ中心迄ノ高空車ノトキ

一　兩側緩衝器中心間ノ距離

（チ）臺框ノ構造圖面ニ依リ明示スルコト

（リ）トラックノ構造圖面ニ依リ明示スルコト

（ヌ）車輪車軸ノ構造　車輪車軸圖、作圖上必要ナル寸法ヲ詳記シタル輪鐵ノ現尺斷面圖及車輪ト轍叉トノ關係ヲ明示セル斷面圖添附

一　車輪ノ直徑

一　車輪一對ノ輪鐵內側距離

（ル）撥彈機ノ構造及裝置圖面ニ依リ明示スルコト

（ヲ）緩衝器及聯結器ノ種類及構造　兩側緩衝器、中央緩衝聯結器、自動聯結器、螺旋聯結器、連環聯結器等ノ別ヲ記載シ其ノ構造ヲ圖面ニ依リ明示スルコト

（ワ）制動機ノ種類及裝置　手用、空氣、眞空車側制動機等ノ別ヲ記載シ制動裝置圖添附

（カ）客車內點燈ノ種類及設備　電燈ニ在リテハ電線接續圖添附

（ヨ）特殊設計　圖面ヲ添附シ構造裝置ヲ說明スルコト

三　汽動車　機關車及客貨車ニ準シ記載スルコト

四　電氣機關車及電車

（イ）第一號及第二號ニ掲クル事項

（ロ）電動機ノ構造　圖面添附種類、箇數、馬力數、齒車ノ比　電動機及働輪回轉數ノ割合

（ハ）制御器ノ種類、箇數及裝置ヲ記載スルコト及電壓

（ニ）蓄電裝置ノ構造圖面添附、種類及箇數

（ホ）車內電線接續圖面ニ依リ明示スルコト

車輛ノ圖面ニハ第九號樣式ニ依ル主要材料表ヲ添附スヘシ

第二十條　前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル後車輛ノ設計ヲ變更セムトスルトキハ新舊ヲ對照シ其ノ理由及圖面ヲ具シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

但シ左ニ掲クルモノハ其ノ理由ヲ具シ之ヲ屆出ツヘシ

一　認可ヲ受ケタル設計ト同一設計ニ依ル車輛ノ改造

二　認可ヲ受ケタル設計ト同一設計ニ依ル客車及貨車ノ車種變更
三　客車內點燈ノ種類及設備ノ變更電燈ニ在リテハ電線接續圖添附
四　定員又ハ定員一人ニ對スル客室面積ノ變更
五　吊革又ハ網棚ノ設置、廢止又ハ變更及座席、煖房其ノ他客車內設備ノ輕微ナル變更圖面添附必要ニ應シ

第二十一條　車輛ヲ製作、購入又ハ改造シタルトキハ第十號樣式ニ準シ形式稱號ノ異ル每ニ竣功圖ヲ添附シ鐵道局長ニ屆出ツヘシ

第二十二條　運輸開始ノ認可申請書ニハ左ノ圖面及諸表ヲ添附スヘシ
一　線路平面圖及縱斷面圖第十一條ノ規定ニ準シ之ヲ作製シ線路實測哩程ニ破鎖アルトキハ停車場、停留場及信號所ノ換算中心哩程ヲ併記スルコト
二　電氣工事竣功圖表第十一號樣式

地方鐵道法第十六條ニ規定スル工事竣功セサルトキハ運輸開始ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス但シ其ノ工事ニ付所管行政廳ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　運輸ヲ開始シタルトキハ即日電信、電話又ハ口頭ヲ以テ之ヲ屆出ツヘシ

第二十三條ノ二　軌道ヲ私設鐵道ニ變更ノ許可申請書ニハ其ノ理由竝左ノ書類及圖面ヲ具シ朝鮮總督ニ之ヲ提出スヘシ
一　工事施行ノ認可ヲ受ケザル區間ニ在リテハ第三條、第四條第三號、第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類及圖面
二　工事施行ノ認可ヲ受ケタル區間ニ在リテハ第三條、第十一條、第十二條、第十四條及第十九條ノ規定ニ依ル書類及圖面

軌道ノ許可又ハ工事施行ノ認可申請ニ際シ提出シタル書類又ハ圖面ニシテ前項ニ揭グル書類又ハ圖面ニ該當スルモノアルトキハ其ノ旨ヲ附記シ之ガ提出ヲ省略スルコトヲ得

第二十三條ノ三　專用鐵道ヲ私設鐵道ニ變更ノ許可申請書ニハ其ノ理由及運送營業上ノ收支概算書ヲ具シ朝鮮總督ニ之ヲ提出スヘシ
前條第一項第二號、第二項及第七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　假設工事ヲ施行セムトスルトキハ其ノ理由、工事設計書及圖面ヲ具シ使用期間ヲ定メ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ
天災地變ノ際一時ノ用ニ供スル爲假設工事ヲ施行シタルトキハ其ノ使用期間ヲ定メ之ヲ屆出ツヘシ

第二十五條　他ノ鐵道又ハ軌道ノ車輛ヲ運轉セムトスルトキハ該車輛ノ屬スル鐵道又ハ軌道及車輪一對ノ軌條面最大壓力ヲ記載シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第二十六條　削除
機關車ニ在リテハ前項ノ外形式稱號及番號ヲ附記スヘシ

第二十七條　朝鮮私設鐵道令第三條第一項ノ規定ニ依ル社債募集ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　社債募集ヲ要スル事由
二　社債ノ總額
三　各社債ノ金額
四　社債ノ利率
五　社債募集ノ始期及終期
六　社債ノ利償還ノ方法及期限

前項ノ認可申請書ニハ株金ノ總額及拂込額、償還ヲ了ヘザル社債ノ登記抄本並最終ノ貸借對照表ヲ添附スヘシ

第二十八條　削除

第二十九條　會社合併ノ認可申請書ニハ合併ノ事由ヲ具シ連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ之ヲ提出スヘシ
一　株主總會又ハ社員總會ノ議事及決議ノ要領書、無限責任社員又ハ總社員ノ同意書ノ謄本
二　合併契約書ノ謄本
三　合併比率決定ノ說明書

第三十條　技術ニ關スル事項ニ付テハ主任技術者ヲ置キ之ヲ擔任セシムヘシ
主任技術者ヲ置キタルトキハ遲滯ナク其ノ履歷書ヲ添附シ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
主任技術者ヲ不適任ト認ムルトキハ鐵道局長ハ其ノ解任ヲ命スルコトアルヘシ

第三十一條　鐵道ノ讓渡、貸借又ハ營業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ其ノ受託ノ許可申請書ハ連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ之ヲ提出スヘシ
一　株主總會又ハ社員總會ノ議事及決議ノ要領書、無限責任社員又ハ總社員若ハ組合員ノ同意書ノ謄本
二　讓渡、貸借又ハ管理委託ニ關スル契約書ノ謄本

第三十二條　車輛ノ讓渡又ハ貸渡ヲ爲サムトスルトキハ其ノ契約ノ要領ヲ記載シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ但シ二月內ノ貸渡ハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　旅客運賃ノ認可申請書ニハ哩制ニ在リテハ對哩運賃第十二號樣式ニ依ル區間制ニ在リテハ各區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃ヲ記載シ各驛ノ實測換算中心哩程表第十三號樣式及營業哩程表第十四號樣式ヲ添附スヘシ

第三十四條　荷物運賃ノ認可申請書ニハ手荷物、小荷物及大貨物ヲ區別シ哩制ニ在リテハ對哩運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃並荷物ノ品種及等級ヲ記載シ計算方法計算上生シタ厘以下ノ取捨、重量、容積ノ計算方法等ヲ說明スルコトヲ附記スヘシ
大貨物ニ關シ別ニ營業哩程ヲ制定セムトスルトキハ其ノ增加割合ヲ前項ノ申請書ニ記載シ計算方法制增ニ依リテ生シタル哩以下端數ノ取捨ヲ附記スヘシ

第三十五條　旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ變更前後ニ於ケル收支豫算書ヲ添附シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第三十六條　前三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ各驛間ノ旅客運賃表第十五號樣式及大貨物營業哩程表第十六號樣式ヲ添附シ之ヲ屆出ツヘシ

第三十七條　現ニ營業中ノ線路ニ於テ新設シタル停車場又ハ停留場ニ係ルトキハ旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ認可ヲ受ケタル方法ト同一方法ニ依リ制定シタル旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ實測換算中心哩程表、營業哩程表、各驛間ノ旅客運賃表及大貨物營業哩程表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ鐵道局長ニ屆出ツヘシ
前項ノ規定ハ停車場又ハ停留場ノ實測換算中心哩程ニ異動ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ營業哩程ニ變更ヲ生セサルトキハ營業哩程表、各驛間ノ旅客運賃表及大貨物營業哩程表ノ添附ヲ要セス

第三十八條　運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載スヘシ
運輸ニ關スル料金ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ
前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル料金ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ

記載シ之ヲ届出ツヘシ

第三十九條　旅客列車及混合列車ノ發著時刻、旅客第十七號書式又ハ第十八號書式ニ依リ之ヲ認可申請書ニ添附スヘシ

第四十條　旅客又ハ運輸ノ取扱ヲ爲ス驛ニ於テハ旅客及運輸ニ關スル事項ヲ掲示スヘシ

第四十一條　前二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル發著時刻表及運行圖表ヲ變更セムトスルトキハ其ノ月日ヲ記載シ發著時刻表及運行圖表ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第四十二條　貨物列車ノ發著時刻及速度ヲ定メタルトキハ發著時刻表及運行圖表ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第四十三條　天災地變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ一時旅客列車及混合列車ノ發著時刻及速度ヲ變更シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ發著時刻表及運行圖表ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第四十四條　營業休止ノ許可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ之ヲ提出スヘシ

營業休止ノ許可申請書及會社解散ノ認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ株主總會ノ議事及決議ノ要領書、無限責任社員又ハ總社員ノ同意書ヲ提出スヘシ

第四十五條　第二十九條、第三十一條ノ規定ハ左ノ事項ヲ附記スヘシ

一　資本ノ總額

記載シ之ヲ届出ツヘシ

第三十九條　旅客列車及混合列車ノ發著時刻表ヲ添附シ運轉速度表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第四十條　驛ノ名稱第十七號書式又ハ第十八號書式ニ依リ之ヲ認可申請書ニ添附スヘシ

第四十一條　前二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル發著時刻表及運行圖表ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第四十二條　貨物列車ノ發著時刻及速度ヲ定メタルトキハ發著時刻表及運行圖表ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第四十三條　天災地變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ一時旅客列車及混合列車ノ發著時刻及速度ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四十四條　營業休止ノ許可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ之ヲ提出スヘシ

營業休止ノ許可申請書及會社解散ノ認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ株主總會ノ議事及決議ノ要領書、無限責任社員又ハ總社員ノ同意書ヲ提出スヘシ

第四十五條　第二十九條、第三十一條ノ規定ハ左ノ事項ヲ附記スヘシ

一　資本ノ總額

第一號樣式

問建設費概算書

項	數量	單價	金額	摘要
	延長 哩 鎖		鐵道	
	數	圓	圓	
測量及監督費				
用地費	立坪			
工事費	延長呎			
橋梁費	〃			
隧道費	〃			
軌道費	箇所			
停車場費	輛			
電氣鐵道費	哩			
諸建物費	〃			
通信線路費	〃			
電力線路費	〃			
發電所費	キロワット			
變電所費	〃			
……				
總係費	哩			
雜費	〃			
合計				
一哩當				

本令ハ朝鮮鐵道令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

第五十一條　免許失效シタルトキハ鐵道局長ニ之ヲ届出スヘシ

第五十二條　私設鐵道會社ハ鐵道局長ニ之ヲ届出スヘシ

第五十三條　私設鐵道ニ關スル書類ハ之ヲ調製シ保存スヘシ

第五十四條　鐵道局長ハ鐵道ニ關スル報告書ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ送付スヘシ

本令ハ朝鮮鐵道令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十一條　免許失效シタルトキハ鐵道局長ニ之ヲ届出スヘシ

第五十二條　私設鐵道會社ハ鐵道局長ニ之ヲ届出スヘシ

第五十三條　私設鐵道ニ關スル書類ハ之ヲ調製シ保存スヘシ

第五十四條　鐵道局長ハ鐵道ニ關スル報告書ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ送付スヘシ

アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ爲シタル處分、之ヲ商法ニ依ル會社ノ處分ト看做ス

本令ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定ニ之ヲ變更

一　資本ノ總額

記載スヘシ事項ヲ附記スヘシ

二　株式ノ總數

三　株式ノ總數

四　出席株主ノ總數

五　出席株主ノ有スル株式ノ總數

議決ノ際式ヲ證ヒタル委任狀ハ總テ之ヲ會社ニ保存スヘシ

第四十六條　列車運轉ニ關スル危險ノ豫防、遭難ノ際ニ於ケル救護ノ方法ニ付テハ鐵道局長ニ之ヲ準用ス

第四十七條　他ノ運送事業者ト連絡運輸ヲ爲ストキハ左ノ事項ヲ記載シ契約書ノ謄本ヲ添附シ實施後一週間内ニ鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

一　連帶關係

二　旅客及荷物ノ取扱方法

三　賃金割戻方法

四　停車場及車輛ノ使用料、倉庫等ニ關スル事項

五　線路及車輛ノ使用料並運轉上ノ責任負擔方法ニ關スル事項

六　運輸開始ノ年月日

七　運賃協定ノ他運輸ニ關スル事項

第四十八條　鐵道業者ハ毎營業年度經過後二月内ニ營業報告書及統計

第二號樣式

營業收支概算書

鐵道

軌間　呎　吋　動力

區間　延長　哩　鎖

項	摘	數量金額割合
旅客入	哩	
〃 一日一哩當		
貨物 〃 哩		
〃 一日一哩當		
旅客收入	哩當	
〃 一日一哩當		
貨物收入	哩當	
〃 一日一哩當		
雜收入		
收入合計		
營業費	一哩當	
〃 一日一哩當		
給金		
建設費		
建設費ニ對スル給金		

第三號樣式

鐵道

旅客　開運輸數量表

區間	哩數	人員	人哩	摘要

備考

1 上リ下リニ著シキ差異アルトキハ上下各別ニ記載スヘシ

2 特殊旅客アルトキハ摘要欄ニ說明スヘシ

貨物

種類	區間	哩數	噸數	噸哩	摘要

備考

1 種類欄ニハ主要貨物ハ品名別ニ其ノ他ハ一括記載スヘシ

2 上リ下リニ著シキ差異アルトキハ上下各別ニ記載スヘシ

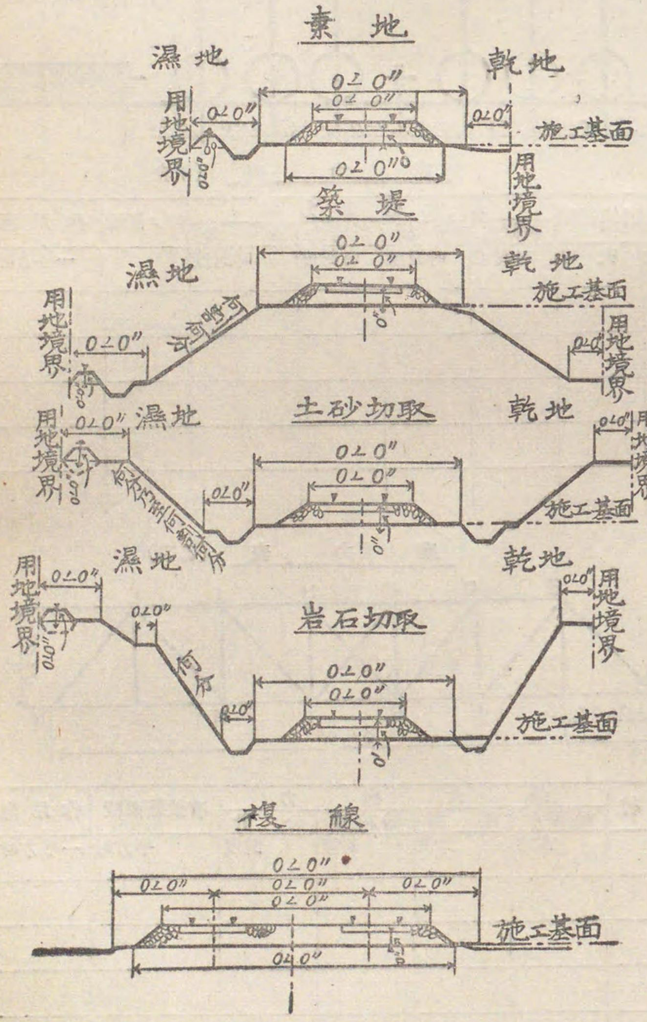
3 特殊貨物アルトキハ摘要欄ニ說明スヘシ

第四號樣式

鐵道

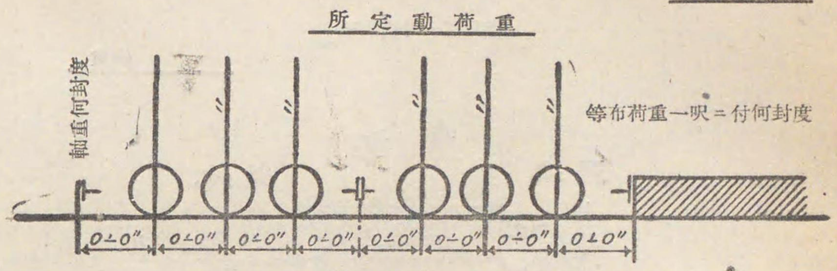
土工定規

縮尺以一吋爲六呎



第五號樣式

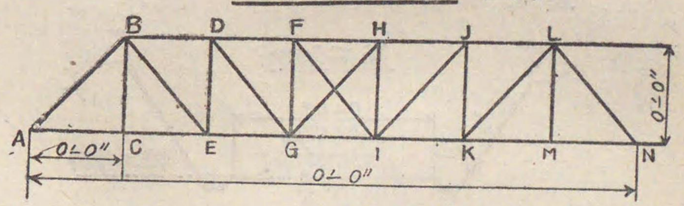
鐵道



應力表（甲表）

力應用作	桁ノ斷面	最大彎曲力率				間徑計算	純徑間
		合計	靜荷重	衝擊	動荷重		
一平方吋ニ付封度		吋封度	吋封度	吋封度	吋封度	呎 吋	呎 吋

應力表（乙表）



力應用作	有效斷面積	最大應力				部材
		合計	靜荷重	衝擊	動荷重	
一平方吋ニ付封度	平方吋	封度	封度	封度	封度	

備考　1. 構桁ノ縱桁及橫桁ノ應力表ハ甲表ニ依リ作製スヘシ
2. 用紙ノ大サハレフールスカツプ大版半切トス

第六號樣式

鐵道

間建設費豫算書

延長　哩　鎖　節

項	目	數量	平均單價	金高	合計
費調查及監督用					圓
費用地	用地	哩			
	停車場用地	段			
	川瀨變電所用地	〃			
	諸雜費	〃			
土工費	切取	立坪			
	堤築	〃			
	路線換地	〃			
	川路踏切道	〃			
	石垣	面坪			
橋梁費	橋梁	延長呎			
	何川外何箇所	〃			
隧道費	開鑿	箇所			
	築造	哩			
伏樋道費	隧道	延長呎			
軌道費	動係及附屬品轉轍器及載木	哩組			
	抗砂敷設雜費	立坪哩			
停車場費					圓
車輛費	何驛外何箇所留	箇所			
	汽動車（蒸氣）（電氣）機關車（電動）（附電）客車（電動）（附電）貨車	輛			
器諸運建築用具費		〃			
械場物建築及軌道費		哩			
通信線路費		〃			
電力費	電氣車	〃			
	架空電線	〃			
	電線柱	〃			
	材料下置場	〃			
	號鈴	〃			
	氣信	キロワット			
發電所費		哩			
變電所費		〃			
合計		哩			

第十六號樣式

建設費豫算新舊對照表

鐵道

項目	舊豫算			新豫算			新舊差引增減	摘要
	數量	平均單價	金高	數量	平均單價	金高		
			哩鎖飾節 合計			哩鎖飾節 合計		
合計 一哩當								

備考

1 增減ノ理由ハ摘要欄ニ記明スヘシ

2 新舊異動ナキモノハ新豫算欄ニ數量、平均單價、金高及合計ヲ記載シ舊豫算欄ニハ單ニ異動ナシト記載スヘシ

3 新舊差引增減高ノ減ハ朱書スヘシ

第十六號樣式

工程表間

鐵道

延長哩鎖

年月日現在

	總量	前期末成工歩合	現在成工歩合	摘要
用地	段			
土工	坪			
橋梁	呎			
隧道	〃			
軌道	哩鎖			
停車場	箇所			
電力線路	哩鎖			
發電所	箇所			
變電所	〃			

備考

1 總量欄ニハ記載ノ單位稱呼ニ依リ實數量ヲ記載スヘシ

2 前期末及現在成工歩合ノ欄ニハ孰レモ總量欄ノ數量ニ對スル六月又ハ十二月末日現在ノ成工數量ノ割合ヲ百分率ニテ記載スヘシ

3 摘要欄ニハ前提出ノ工程表記載ノ數量異動シタルトキ又ハ工程進捗セサルトキハ其ノ理由其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ摘記スヘシ

4 工事一部竣功開業シタル後ニ於テハ殘部未開業區間ニ對スルモノノミヲ記載スヘシ

一ノ式樣號九第

主要材料表（車機）

鐵道

名稱	質材	摘要	名稱	質材	摘要
汽罐部			機械部		
罐胴			喞子		
火室各鈑			喞子桿		
管鈑			クロスヘツド		
スチームドーム			同上ガジヨンピン		
焔管			スライドバー		
各種繫桿			聯結桿		
罐胴繼手鈑			併行桿		
罐胴繼手鈑			ヴアルヴギーヤ		
			ホキールセンター		
			輪鐵軸		
			車クランクピン		
			搶彈機		
			臺框梁		
			緩衝		
			ブレーキギーヤ		
			牽引鉤及桿		
			牽引彈機		
			聯結器		
			同上ピン		
			緩衝器頭		
			緩衝器筐		
			緩衝器彈機		

主要材料表（客貨車）

鐵道

名稱 ＼ 車種	材質 客車	材質 貨車	摘要
緩衝梁			
ソールバー			
橫根太、縱根太、筋違根太			
臺枠			
桁土			
類ホキールセンター			
鐵軸輪			
車			
搶彈機			
ブレーキギーヤ			
牽引鉤及桿			
牽引彈機			
聯結器			
同上ピン			
緩衝器頭			
緩衝器筐			
緩衝器彈機			

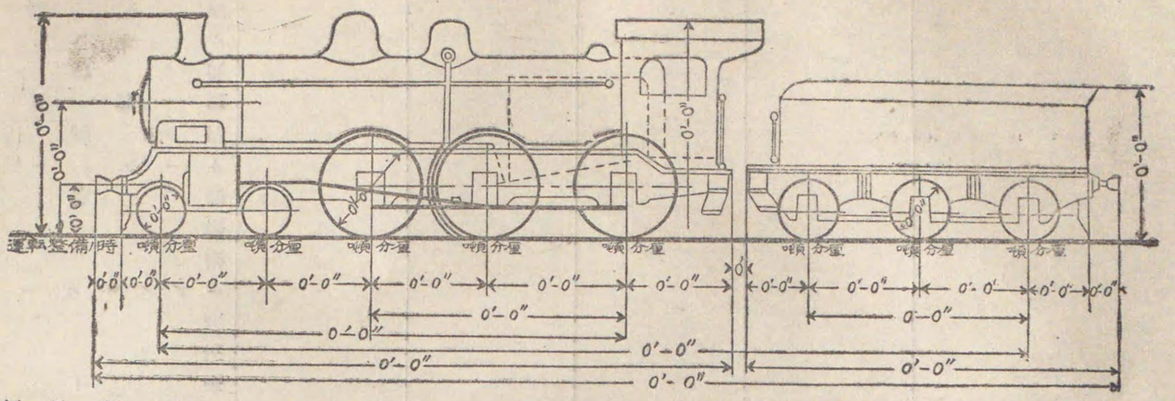
第十號様式ノ一

鐵道

機關車竣功圖表

形式稱號　六輪聯結十輪テンダー機關車

番號



最大寸法	(長×幅×高)……		
焔管	(徑×長×數)……		
過熱管	(徑×長×數)……		
大焔管			
車軸	(徑×長)……	ジョーナル	ホキールフイツト
	導輪軸……		……
	働輪軸……		……
	從輪軸……		……
	炭水車軸……		……
制動機ノ種類……			……
聯結器ノ種類……			……

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

汽實火傳　箇用　徑最及高　衝氣程……
　　床熱面面焔火面積壓積管室積……
過運轉運空空水燃　熱整備轉整備轉車ノ車ノ容料　機關車重量炭水上ノ重重量ノ量ノ積……
備考　用紙ハ幅八吋半長三十吋ヲ以テ一吋ノ八分ノ一尺縮シトスヘシ

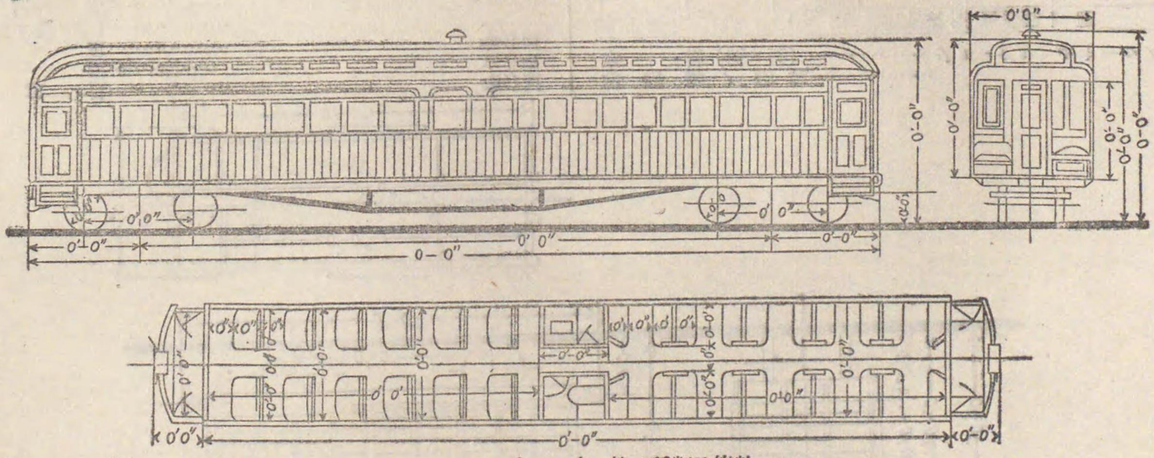
吋
封度吋
平方呎
平方呎
平方呎
平方呎
平方呎
噸分厘
噸分厘
噸分厘
噸分厘
ガロン
立方呎

第十號様式ノ二

鐵道

客車等輛竣功圖表

形式稱號　等客車
記號番號



定員	(　等)……		
	(　等)……		
面積	(內座席)……		
	(　等)……		
	(　等)……		
最大寸法	(長×幅×高)……		
自重	……		
緩衝器ノ高	空車……		
	滿載車……		
制動機ノ種類……			
聯結器ノ種類……			

備考　機關車ノ備考ニ同シ

人
人
人
平方呎
平方呎

噸分厘

燈ノ種類及箇數
車軸(徑×長)……ジョーナル　ホキールフイツト

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

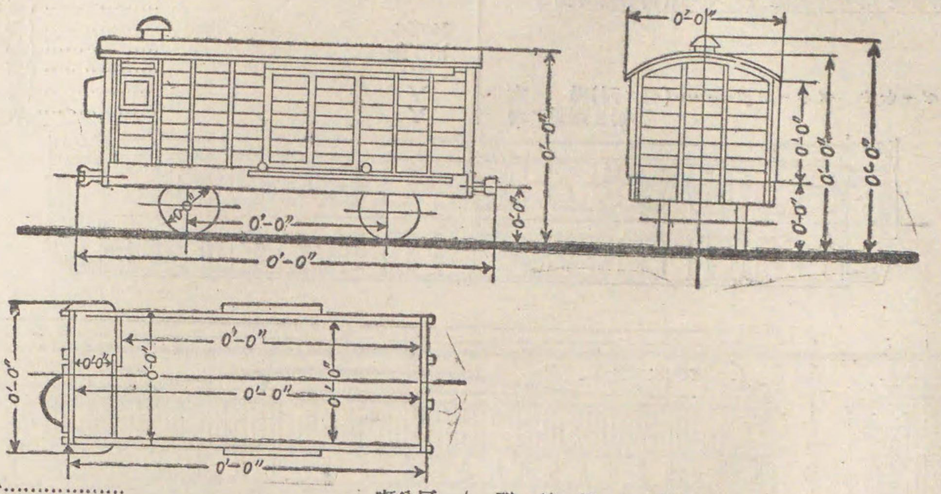
第十號様式ノ三

車輛竣功圖表

鐵道

形式稱號

有蓋貨物緩急車
記號番號



積載重量……
容積……噸……
自重……
最大寸法(長×幅×高)……
緩衝器ノ高 空車……
緩衝器ノ高 滿載車……
制動機ノ種類……
備考 機關車ノ備考ニ同シ

噸分厘
立方呎
噸分厘

聯結器ノ種類……
車軸(徑×長)……ジョーナル ホキールフイツト

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

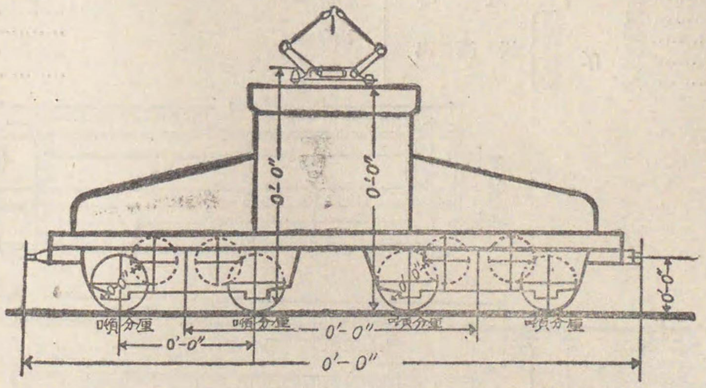
第十號様式ノ四

車輛竣功圖表

鐵道

形式稱號

電氣機關車
番號



電動機 種類……
電動機 馬力……
電動機 數……
電動機 電壓……
電動機 箇數……
齒車ノ比……
電動機(壓搾空氣制動機用) 種類……
電動機(壓搾空氣制動機用) 馬力……
電動機(壓搾空氣制動機用) 數……
電動機(壓搾空氣制動機用) 電壓……
電動機(壓搾空氣制動機用) 箇數……
制御器ノ種類 種類……
制御器ノ種類 箇數……
備考 機關車ノ備考ニ同シ

制動機ノ種類……
聯結器ノ種類……
自重……噸分厘
最大寸法(長×幅×高)……
車軸(徑×長)……ジョーナル ホキールフイツト
働輪軸……
全負荷ノトキニ於ケル 牽引力……封度
全負荷ノトキニ於ケル 速度……哩

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

第十號様式ノ五

電氣工事竣功表（水力發電所）

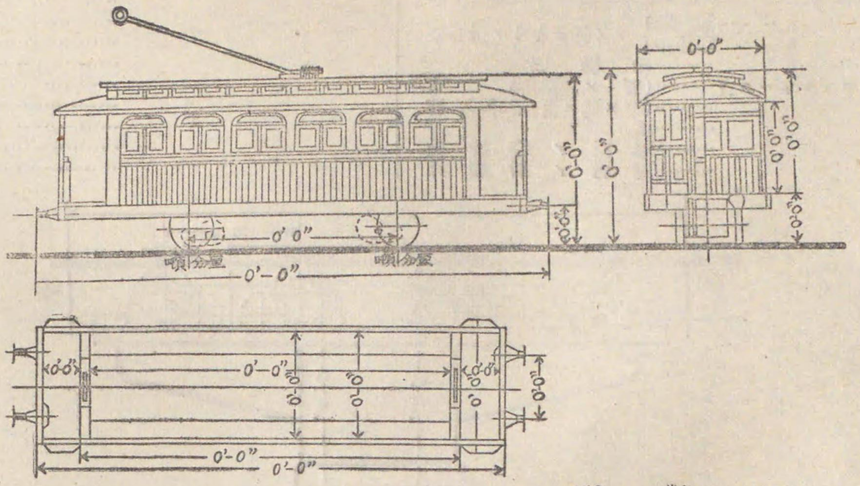
鐵道

車輛竣功圖表

等電車

記號番號

形式稱號



定員（　等）……人
（內座席）……人
面積（　等）……平方呎
最大寸法（長×幅×高）……
自重……噸分
緩衝器ノ高｛空車……
滿載車……
制動機ノ種類……
聯結器ノ種類……
燈ノ箇數……
車軸（徑×長）ジョーナル　ホキールフイツト
トラックノ種類……
備考　機關車ノ備考ニ同シ

電動機｛種類……
馬力數……
電壓……
箇數……
齒車ノ比……
制御器ノ種類……
全負荷ノトキニ於ケル｛牽引力……封度
速度……哩

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

發電所　鐵道

機械器具其ノ他		數量其ノ他	摘要
出力	最大出力	キロワット	
	平均出力ノ繼續時間	〃時	
原動機	汽罐 蒸發量（一時間ニ付） 火床面積	封度〃 平方呎	
	常用	予備 基	
汽機	種類		
	回轉數（一分間ニ付）	馬力 個	
	常用	予備 基	
附屬機械	冷却水ノ種類		
	給水ポンプ 常用	ガロン 基	
	予備	基	
蒸汽過熱器	種類		
	容積		
	常用	馬力 基	
溫水器	種類		
	容積	基	
所營器具	種類		
	數	基	
通風機	種類		
	數	基	
煙突	口高	呎	
	徑	呎	
發電機	種別		
	直流交流ノ別		
	容量	キロワット	
	電壓	ヴォルト	
	相數		
	周波數	サイクル	
	結線法		
	磁極數		
	勵磁機 常用	基	
	製造者名	予備 基	
	原動機トノ接續方法		
勵磁機	容量	キロワット	
	電壓	ヴォルト	
	製造者名	基	
	原動機トノ接續方法		
	原動機ノ容量	馬力	
配盤儀	材質		
	寸數		

備考
1 本表ハ發電所毎ニ作製スヘシ
2 鐵道ト電氣供給業ト共用スル機械ニ在リテハ其ノ出力ヲ區別シ摘要欄ニ記載スヘシ
3 電氣供給業專用ノ機械類アルトキハ其箇所ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
4 原動機及發電機ノ種類容量ヲ異ニスルトキハ別欄ニ之ヲ記載スヘシ
5 電動發電機、壓器等ノ設備アルトキハ第十一號樣式ノ三ニ依リ作製スヘシ
6 本表ニハ發電所ノ建物及機械器具ノ配置ヲ明示スル平面圖竝電氣結線圖ヲ添附スヘシ
7 瓦斯ヲ原動力トスル發電所ニ在リテハ本樣式ニ準シ作製スヘシ

第十一號様式ノ二

電氣工事竣功表（水力發電所）

發電所　　鐵道

機械器具其ノ他		數量其ノ他	摘要
出力	最大出力 平均出力 最大出力ノ継続時間	キロワット 〃 時	
使用河川名又ハ湖沼名			
流水量	湯水量 實際使用セムトスル水量	箇 〃	
落差及馬力數	高低ノ差 放水路及入口 有效落差 理論馬力數	呎 〃 呎 馬力	
水路	長路	呎	
貯水池	容量	箇	
水車	種類 容量 回轉數(一分間ニ付) 箇數 製造者名 調速機ノ種類	馬力 回基	
發電機	種類 直流ノ交流ノ種類 容量 電壓 相數 周波數 結線法 勵磁法 箇數 製造者名 原動機ノ種類 原動機ノ容量 原動機ノ接続方法	キロワット ヴオルト サイクル 基 常用豫備 馬力	
勵磁機	種類 容量 電壓 箇數 製造者名 原動機ノ種類 原動機ノ容量 原動機ノ接続方法	キロワット ヴオルト 基 馬力	
配電盤	材枚 質數		

備考

第十一號様式ノ一備考第一號乃至第六號ハ本表ニ之ヲ準用ス

第十一號様式ノ三

電氣工事竣功表（變電所）

變電所　　鐵道

機械器具其ノ他			數量其ノ他	摘要
出力		最大出力 平均出力 最大出力ノ継続時間	キロワット 〃 時	
電動發電機	電動機	種類 容量 電壓 箇數	馬力 ヴオルト 基	
	發電機	種類 容量 電壓 回轉數(一分間ニ付) 箇數 製造者名	キロワット ヴオルト 回基 常用豫備	
	勵磁機	容量 電壓 箇數	キロワット ヴオルト 基	
變壓器		容量 一二相結冷箇製 電壓 電壓 次 次 波數 線法 卸 者 造	キロヴオルトアムペア ヴオルト 〃 サイクル 基 常用豫備	
蓄電池		種類 放電容量 箇數 時容量 者名 電造	時 時 アムペア	
配電盤		材枚 質數		

備考

1 第十一號様式ノ一備考第一號乃至第三號及第六號ハ本表ニ之ヲ準用ス

2 回轉變流機ノ設備アルトキハ之ヲ交流直流ニ區別シ周波數變換機ノ設備アルトキハ之ヲ電動機發電機ニ區別シ昇壓機ノ設備アルトキハ之ヲ發電機電動機勵磁機ニ區別シ電動發動機ノ欄ニ準シ記載スヘシ

3 蓄電所ニ在リテハ本様式ニ準シ作製スヘシ

第十一號様式ノ五

電氣工事竣功表(饋電線路及電車線路)

停車場間
停車場

鐵道

線路名		構造其ノ他		數量其ノ他	摘要
饋電線路	電氣方法	直流交流ノ別			
		相線式			
		最大電壓		ヴオルト	
	架空饋電線路 電線	種類			
		太サ			
		線條數		條	
		瓦長		鎖	
	電柱	平均柱間距離		哩	
		材質		呎	
	地中饋電線路 心線	種類			
		太サ及數			
	電纜	線條數		條	
		瓦長		鎖	
		暗渠線渠及直接埋別		哩	
		設等ノ			
電車線路	電氣鐵道方式	直流交流ノ別			
		相線電車線ノ電壓		ヴオルト	
		架線式架空單線式等ノ複別			
	架空電車線路 電線	種類			
		形狀			
		太サ			
		瓦長		鎖	
		延長		哩	
		軌條面上ヨリ電車線迄ノ高		呎	
		電線吊架方法			
		吊線間距離		呎	
	電柱	平均柱間距離		呎	
		材質別			
		側柱及中央柱ノ別			
	軌條回路	ドポン種太			
		補助線種類			
		太サ			
		瓦長		鎖	
		軌條ノ接續方法		哩	
	第三軌條	軌條重量		封度	
		形狀			
		接續方法			
		ドポン種太			
		補助線種類			
		太サ			
		瓦長		鎖	
		敷設方法		哩	

備考　1 本表ハ電氣方式又ハ電氣鐵道方式ノ異ナル毎ニ作製スヘシ
2 本表ハ電線路毎ニ作製スヘシ
3 鏈線吊線式ニ在リテハカテナリー線ノ種類、形狀、太サ等ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
4 本表ニハ電線路構造圖及饋電線路毎ニ架設哩程、線條數、太サ竝電車線ノ區劃及饋電線トノ接續箇所ヲ明示スル饋電關係一覽圖ヲ添附スヘシ

第十一號様式ノ四

電氣工事竣功表(送電線路)

發電所間
發電所
變電所

鐵道

構造其ノ他			數量其ノ他	摘要
電氣方式	直流交流ノ別			
	相線式			
	最大電壓		ヴオルト	
電線路 電線	種類			
	太サ			
	線條數		條	
	瓦長		鎖	
	延長		哩	
	地表上ヨリ電線迄ノ平均高		呎	
電柱路	平均柱間距離		呎	
	最大柱間距離		〃	
	材質			
地中電線路 心線	種類			
	太サ及數			
電纜	線條數		條	
	瓦長		鎖	
	暗渠線渠及直接埋別		哩	
	設等ノ			

備考
1 本表ハ電氣方式ノ異ル毎ニ作製スヘシ
2 本表ハ電線路毎ニ作製スヘシ
3 本表ニハ送電關係一覽圖送電線路構造圖及發電所變電所蓄電所等ノ位置電線路ノ中心及經過地名ヲ明示スル縮尺約二千分ノ一ノ送電線路平面圖ヲ添附スヘシ

第十四號樣式

營業哩程表

鐵道

驛名	哩分 0.9	2.6	5.1	6.6							
驛名	1.7	4.2	5.7								
驛名	2.5	4.0									
驛名	1.5										
驛名											
										支	
										線	

備考

1 營業哩程ハ鎖以下ヲ分ニ換算シ厘位以下ヲ四捨五入シ分ニ止ムヘシ

2 起點驛ト他ノ各驛トノ營業哩程ハ第十二號樣式所載各驛ノ實測換算中心哩程ヨリ起點驛ノ實測換算中心哩程ヲ控除シ殘餘ノ哩程ヲ換算スヘシ

3 起點驛ニ非サル各驛相互間ノ營業哩程ハ前號ノ營業哩程ヲ差引算出スヘシ（六哩六分ヨリ五哩一分ヲ控除シ一哩五分、二哩六分ヲ控除シ四哩、零哩九分ヲ控除シ五哩七分トシ又五哩一分ヨリ二哩六分ヲ控除シ二哩五分、零哩九分ヲ控除シ四哩二分トスルカ如シ）

4 支線ノ營業哩程ハ前各號ニ依リ算出シ支線各驛ト幹線各驛相互間ノ營業哩程ハ各驛ヨリ分岐點ニ至ル營業哩程ヲ合計シ順次記載スヘシ

第十二號樣式

對哩運賃表

鐵道

營業哩程	運賃		
	三等	二等	一等

運賃計算ノ方法

三等運賃ハ營業哩程ニ　錢　厘ヲ乘ス

二等運賃ハ三等運賃ノ　　割增

一等運賃ハ三等運賃ノ　　割增

計算上生シタル厘位ハ之ヲ錢位ニ切上ク(切捨トス)

第十三號樣式

實測換算中心哩程表

鐵道

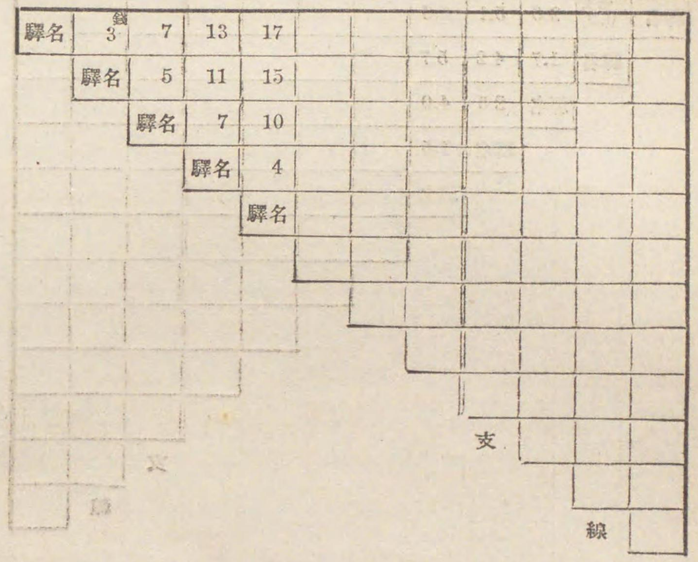
驛名	哩程 哩	鎖	節	摘要
	0	3	20	
	0	71	23.5	
	2	54	0	
	5	11	63	
	6	49	98	

備考　用紙ノ大サハ「フールスカツプ」大版半切トス

第十五號樣式

旅客運賃表

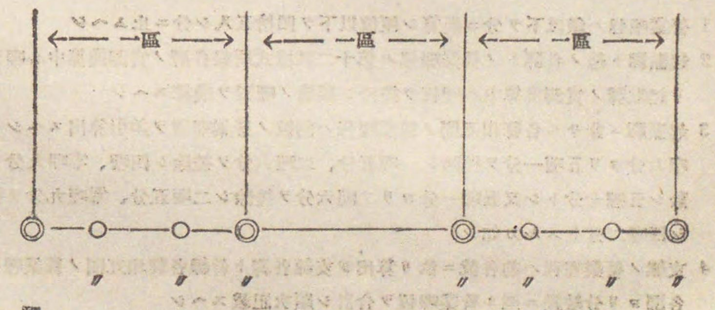
鐵道



備考

1 運賃表ハ各等別ニ調製スヘシ

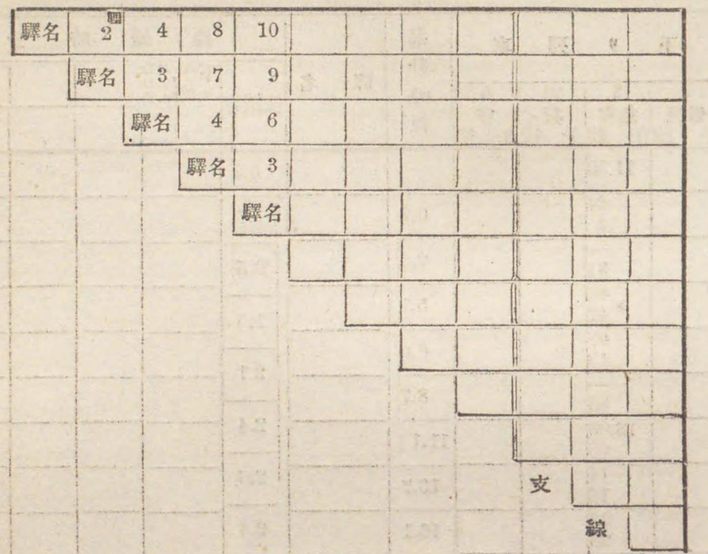
2 區間制運賃ニ在リテハ下ノ例示ニ依リ運賃區間ノ驛名ヲ標示スヘシ



第十六號樣式

大貨物營業哩程表

鐵道



備考

大貨物營業哩程ハ第十三號樣式ニ依ル營業哩程表ノ各驛間營業哩程ヲ割增シ計算上生シタル端數ノ取捨ヲ說明スヘシ

第十七號樣式

發著時刻表

鐵道

下り列車 1 ※混 午前	下り列車 3 急客 午前	下り列車 21 貨 午後	下り列車 5 客 午後	累計哩程	驛名	接續時分 接續驛	接續時分 下り 午前 (13) 10.21 52.25	上り列車 ※2 混 午前
	11.20					0.9		
	24 2			0.9		↑1.7		
	31			2.6		2.5		
	40 × 42			5.1		1.5		
	47 48			6.6		2.1		
	55			8.7		2.4		
	12.03 05			11.1↓		2.6		
	14 14			13.7		2.4		
	22 28			16.1		區間哩程		
上午 (4) 6.31 下り 前6.33				接續驛				
下午 3) 6.30 下り 前6.32								
接續時分								上り列車

備考

1 哩程ハ總テ營業哩程ヲ以テ記載スヘシ

2 符號ヲ以テ列車ノ種別ヲ示ストキハ欄外ニ其ノ凡例（例※印ハ不定期列車ノ如キ）ヲ記載スヘシ

3 時刻ハ上段ヲ著、下段ヲ發（上り列車ハ其ノ反對）トスヘシ

4 通過列車ニハ發時刻ノミヲ記載シ著時刻ノ段ニ——ヲ記入スヘシ

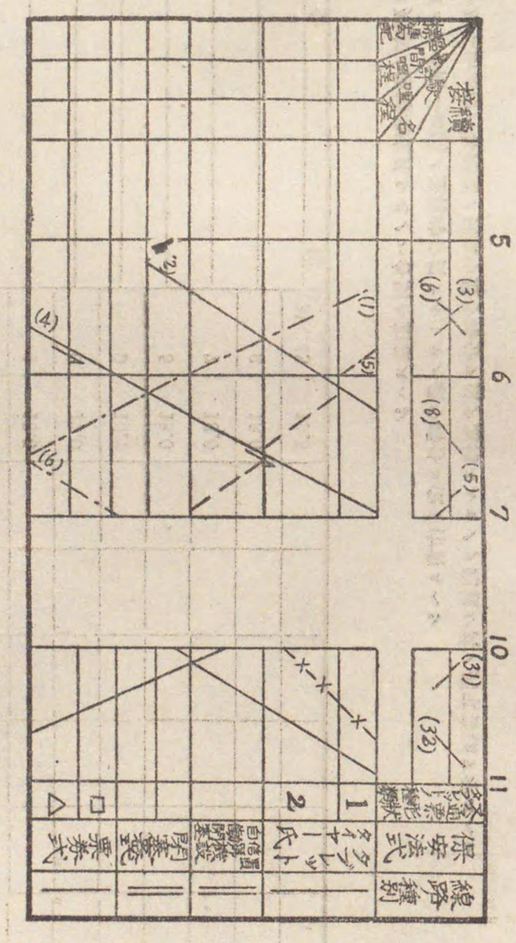
5 列車カ行違ヲ爲ス著發時刻ニハ×印ヲ附スヘシ

6 停車時間一分未滿ノ場合ハ著發共同一ノ時分ヲ記載シ欄外ニ「著發同時分ヲ記載セルモノハ發時刻何秒前ニ到著スルモノトス」ト記載スヘシ

7 支線ノ時刻ハ別ニ記載スヘシ

8 接續列車ノ番號ニハ括弧ヲ附シ下り上り、又ハ著發時分ハ便宜ノ方法ニ依リ記載スヘシ

列車運行圖表



備考

1 驛名ニハ夫ノ符號ヲ附スヘシ　聯絡停車場括弧、停留場○、信號所×、貨物取扱驛又、機關庫所在驛◎、

2 列車ハ夫ノ符號ニ依リ區別スヘシ　急行旅客列車——、旅客列車——、混合列車——、貨物列車……、電車——、

動車←(——←(——、空客車個送列車—□—□—、單行機關車—▷—、驛ヲ通過スルトキ——

3 不定期列車ニハ其ノ線上ニメヲ附スヘシ但シ單行機關車ハ—▶—トスヘシ

4 列車番號ハ見易キ位置ニ括弧ヲ附シ記載スヘシ

5 線路種別ハ單線——、複線——ノ區別ヲ示スヘシ但シ單線ノミナルトキハ線路種別ノ記入ヲ省略スヘシ

6 新規發組運行圖表ハ本表ノ記載例ニ倣ヒ現行列車ヲ黑書、改正列車ヲ朱書スヘシ

第十九號様式

運轉速度表

鐵道

標準勾配	區間哩程	驛名	急行旅客列車		旅客列車		混合列車		貨物列車		———	
			運轉時分	平均速度	運轉時分	平均速度	運轉時分	平均速度	運轉時分	平均速度	運轉時分	平均速度
	哩 分		分	哩 分								
	0.9		4	13.5								
	1.7		6	17.0								
	2.5		9	16.7								
	1.5		5	18.0								
	2.1		7	18.0								
	2.4		8	18.0								
	11.1	全線	(3) 43	15.5								

備考

1 上リ列車及下リ列車ノ運轉速度異ルモノハ各別ニ記載スヘシ

2 同一種類ノ列車ニシテ同一區間ノ運轉時分異ナルトキハ最少時分ニ依リ作製スヘシ

3 全線ノ運轉時分及平均速度ハ各種類ノ列車中最少時分ヲ以テ運轉スルモノヲ記載シ其ノ列車番號ヲ示スヘシ

第二十號様式(美濃判形)

年 月 日

朝鮮總督府鐵道局長宛

鐵道代表者

事故届

事故ノ種類及原因	
發生日時分	
場所	
當該列車又ハ車輛	
現場ノ狀況及當時ノ處置	
損害ノ程度	
進行停止時間	
當務者處分ノ顚末	

備考

一 事故ノ種類ハ左ノ如ク區別シ之ヲ記載スヘシ

列車ノ衝突　衝突シタル列車又ハ車輛ノ種類及衝突ノ種別ヲ記載スヘシ

列車ノ接觸　同上

脫線　車輛ノ種類ヲ記載スヘシ

顚覆　同上

倒　同上

列車ノ分離　列車ノ種類ヲ記載スヘシ

列車ノ異線進入　同上

車輛不良　車輛ノ種類及其ノ輛數ヲ記載スヘシ

車輛逸走　同上

線路障碍　天災事變ニ因リ列車運轉ニ支障ヲ及ホシタル事項ヲ記載スヘシ

列車妨害　故意ニ列車ノ運轉ヲ支障シタル一切ノ事項ヲ記載スヘシ

電氣設備ノ故障　列車ノ運轉ニ支障ヲ及ホシタル事項ヲ記載スヘシ

火災　車輛、建造物及沿線被害物ノ種類ヲ記載スヘシ

死傷　乘客、係員及公衆ニ區別シ記載スヘシ

二 場所ハ驛名又ハ起點ヨリノ哩程(何驛間)ヲ記載スヘシ

三 當該列車又ハ車輛ハ其ノ種類及番號ヲ記載スヘシ

四 現場ノ狀況及當時ノ處置ハ詳細ニ說明シ必要ニ依リ圖面ヲ添附スヘシ

五 當務者處分ノ顚末ハ解職、降職、減給、譴責等ノ別ニ依リ記載スヘシ但シ處分未了ノ場合ハ其ノ旨ヲ附記シ處分結了ト同時ニ之ヲ追報スヘシ

様式（第二十一號様式ニ準ス）

朝鮮總督府鐵道局長殿

年　月　日

鐵道代表者

第二十一號様式ニ準ス

事故ノ種類及原因						
發生日時分						
場所						
車又列車竝ニ輛ハ車設						
現場ノ狀況及損害ノ程度						
運行停止時間						
常務者處分ノ顚末						

月分事故届

●朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業收入及營業費計算方法

昭和二年十一月十九日
朝鮮總督府令第百八號

朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業收入及營業費計算方法左ノ通定ム

朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業收入及營業費計算方法

第一條　營業收入トハ客車收入、貨車收入其ノ他運輸營業上及附帶事業上ノ諸收入トス

第二條　營業費ハ鐵道及其ノ附屬物件ノ保存復舊ノ費用、諸稅其ノ他運輸營業上及附帶事業上ノ諸費用トス

第三條　一部買收ノ場合ニ於ケル買收區間及殘存區間ノ營業收入及營業費ハ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ計算ス

買收區間及殘存區間ニ跨ル營業收入及營業費ハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依リ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ分割ス

一　客車收入ハ買收區間及殘存區間ニ跨ル乘客ノ各區間ニ於ケル延人哩數ニ依ル百分率

二　貨車收入ハ買收區間及殘存區間ニ跨ル貨物ノ各區間ニ於ケル延噸哩數ニ依ル百分率

三　前二號ニ揭グルモノ以外ノ收入ハ買收區間及殘存區間ニ於ケル他ノ收入總額ニ依ル百分率

四　營業費ハ買收區間及殘存區間ニ於ケル營業收入ニ依ル百分率

第四條　建設及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル建設費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第五條　私設鐵道業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於テ鐵道及他ノ事業ニ關聯スル興業費、營業費又ハ營業收入ハ當該營業年度ニ於ケル鐵道及他ノ事業ニ專屬スル興業費、營業費又ハ營業收入ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

鐵道及他ノ事業ノ興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル鐵道及他ノ事業ニ專屬スル興業費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第六條　第四條ノ規定ハ私設鐵道業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於ケル他ノ事業ノ興業及營業ニ關聯スル費用ニ付之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件

昭和二年八月十五日
制令第十三號

朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　左ニ揭グル鐵道ヲ買收スル場合ニ於テ朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ル

コトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條第一項ノ金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ公債時價ニ依リテ公債券面金額ニ換算シタル金額ニ達セザルトキハ其ノ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

一　朝鮮鐵道株式會社所屬ノ松汀里石峴間、大邱鶴山間、慶州東萊間及馬山晋州間ノ鐵道

二　圖們鐵道株式會社所屬ノ鐵道

第二條　前條ノ鐵道中未ダ運輸開始ニ至ラザル線路ノ買收價額ハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ公債時價ニ依リテ公債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額トス

第三條　前二條ノ公債時價ハ既發行公債ノ時價ヲ參酌シ朝鮮總督大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮專用鐵道規程

大正九年十一月十日
朝鮮總督府令第百七十三號

改正　大正一五年一二月第九一號
昭和一三年一月第二六號

朝鮮專用鐵道規程左ノ通定ム

朝鮮專用鐵道規程

第一條　本規程ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ之ヲ適用ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　人力又ハ牛馬力ヲ使用スルモノ

二　工場、事業場內其ノ他之ニ類スル地域內ニ限リ敷設スルモノニシテ公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通又ハ直接連絡セサルモノ

三　朝鮮鑛業令ニ依ル鑛業ノ用ニ供スル爲繼區內又ハ之ニ隣接スル地域內ニ敷設シ公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通又ハ直接連絡セサルモノ（鑛區外ノ延長十キロメートルヲ超ユルモノヲ除ク）

第二條　專用鐵道ヲ敷設セムトスル者ハ申請書ニ使用ノ目的ヲ記載シ鐵道ヲ敷設セムトスル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ左ノ書類及圖面ヲ提出シ朝鮮總督ノ免許ヲ受クヘシ

一　線路實測圖

二　工事方法書

三　建設費豫算書

四　他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡又ハ直通ニ關スル協定書ノ謄本

第三條　免許ニハ工事ノ著手及竣工ノ期限ヲ附ス

前項ノ期限ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ其ノ伸長ヲ鐵道局長ニ申請スルコトヲ得

第四條　工事ニ著手シタルトキハ一週間內ニ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第五條　免許ヲ受ケタル者ハ運轉、信號及列車保安ニ關スル規定ヲ定メ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第六條　專用鐵道ノ運轉ノ管理ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ申請書ニ運轉ノ管理ノ委託ニ關スル協定書ノ謄本ヲ添附シ鐵道局長ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　運輸ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第八條　專用鐵道ヲ讓渡セムトスルトキハ讓受人ト連署シ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

〔朝〕

第九條　專用鐵道ハ鐵道局長ノ認可ヲ受クルニ非サレハ使用ノ目的ニ屬セサルモノノ運送ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第十條　鐵道局長ハ公益上必要アリト認ムルトキハ工事方法、運轉、信號又ハ列車保安方法ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十一條　免許ヲ受ケシテ專用鐵道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條　本令ハ道地方費、府又ハ面ノ敷設スル專用鐵道ニ之ヲ準用ス但シ前條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　地方鐵道法第十一條、第十六條、第十七條、第十九條第一項第三號、同條第二項、第二十條、第二十三條、第二十五條、第三十七條第一項、第三十九條、第四十條朝鮮私設鐵道令施行規則第三條、第十一條乃至第十三條、第十六條、第十七條、第十九條、第二十條、第二十二條、第二十五條、第四十六條第一項、第五十一條、朝鮮私設鐵道建設規程第二十條、第二十二條、第三十一條ノ規定ハ專用鐵道ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ朝鮮私設鐵道令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大正九年十一月十日ヨリ施行）

明治四十五年朝鮮總督府令第百二十號ハ之ヲ廢止ス

本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタルモノハ本令ニ依ヲ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附　則（昭和十三年朝鮮總督府令第十六號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條ノ改正規定ハ昭和十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔朝〕

●朝鮮私設鐵道補助法

大正十年四月一日
法律第三十四號

改正　大正一二年三月第二三號、一四年三月第二一號
昭和五年五月第七號、九年三月第一四號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル朝鮮私設鐵道補助法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朝鮮私設鐵道補助法

第一條　朝鮮總督ハ朝鮮ニ於テ公衆ノ用ニ供スル爲經營スル私設鐵道ニ對シ該鐵道營業開始ノ日ヨリ十五年ヲ限リ豫算ノ範圍內ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ更ニ十年ヲ限リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第二條　前條ノ補助金ハ每營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年五分ノ割合ニ相當スル金額ヲ限度トス但シ每營業年度ニ於ケル益金カ建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

第三條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ一經營者ノ經營スル鐵道ヲ數區ニ分チ各區ニ付前二條ノ規定ニ準シ補助ヲ爲スコトヲ得

第四條　前二條ノ規定ニ依ル建設費及益金ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ算

田シタル金額ニ依ル

第五條　削除

第六條　補助金ノ毎年度ノ豫算殘額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第七條　補助ヲ受クル鐵道ノ管理者カ法令、法令ニ基キテ爲ス命令、免許若ハ補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ補助ヲ停止シ又ハ廢止スルコトヲ得

第八條　削除

第九條　詐欺ニ因リテ補助金ヲ受ケタルトキハ法定ノ利息ヲ附シテ之ヲ償還セシム

第十條　前條ノ規定ニ依ル償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年法律第二十七號）

本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日（朝鮮鐵道株式會社ニ在リテハ昭和九年十二月十四日）ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ノ期間ニ付テハ該鐵道ノ建設費ニ充テタル資金ニ對シ初メテ補助ヲ爲シタル日ヲ以テ第一條第一項ノ營業開始ノ日ト看做ス

附　則（昭和十四年法律第十四號）

本法ハ昭和十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ各現在ノ補助期間滿了ノ日ノ屬スル營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

●朝鮮私設鐵道補助法施行規則

昭和十年一月十日
朝鮮總督府令第二號

朝鮮私設鐵道補助法施行規則左ノ通改正ス

朝鮮私設鐵道補助法施地規則

第一條　朝鮮私設鐵道補助法ニ依リ補助ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ノ建設費明細表及第二號樣式ノ一年間ノ營業收支計算表ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

第二條　朝鮮私設鐵道補助法第二條ノ建設費及益金ハ左ノ各號ニ依ル

一　建設費ハ當該私設鐵道ノ豫算及決算額ヲ基礎トシ朝鮮總督ノ査定シタル額

二　益金ハ營業收入ヨリ營業費ヲ控除シタル殘額但シ決定準備金ノ積立ヲ爲スベキ場合ニ於テハ其ノ殘額ノ十分ノ一ハ之ヲ控除ス

前項第二號ノ營業收入ハ當該私設鐵道ノ客車收入、貨車收入及運輸雜收ノ決算額トシ同號ノ營業費ハ當該私設鐵道ノ營業費豫算及決算額ヲ基礎トシ朝鮮總督ノ査定シタル額トス

第三條　社債及借入金ノ支出ハ固有資金ノ支出ノ後ニ之ヲ爲シタルモノトス

〔朝〕

看做ス

第四條　建設費ニ對スル益金ノ割合ハ一年ノ日數ヲ以テ補助日數ヲ除シタルモノヲ建設費ニ乘ジタル額ト當該補助期間ノ益金トノ割合ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ規定ハ建設費ニ對スル補助金ノ割合ノ算出ニ付之ヲ準用ス

第五條　補助期間ガ營業年度ノ中間ニ於テ開始シ又ハ終了シタル場合ニ於テハ益金ハ當該營業年度ヲ通ジテ同一ノ割合ニ依リ生ジタルモノト看做ス

第六條　朝鮮私設鐵道補助法第三條ノ規定ニ依リ數區ニ分チ補助ヲ爲ス場合ニ於テハ建設費及損益金ハ各區別ニ之ヲ計算ス

前項ノ場合ニ於テ數區ニ關聯スル建設費、營業收入及營業費ノ決算額ハ左ノ各號ニ依リ各區ニ之ヲ分割ス

一　建設費ハ關聯各區ニ於ケル當該營業年度ノ建設費ノ決算額ノ割合ニ依ル百分率

二　客車收入ハ數區ニ跨ル旅客ノ各區ニ於ケル延人粁數ノ割合ニ依ル百分率

三　貨車收入ハ數區ニ跨ル貨物ノ各區ニ於ケル延噸粁數ノ割合ニ依ル百分率

四　運輸雜收ハ各區ニ於ケル客車收入及貨車收入ノ決算額ノ割合ニ依ル百分率

五　營業費ハ各區ニ於ケル營業收入ノ決算額ノ割合ニ依ル百分率

第七條　前條ノ規定ハ同一區間內ニ於テ漸次營業ヲ開始シタル場合ニ於ケル當該營業年度ノ建設費及損益金ノ計算ニ付之ヲ準用ス

第八條　建設及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル建設費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第九條　補助ヲ受クル私設鐵道ガ他ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ相互ニ關聯スル興業費、營業收入又ハ營業費ハ當該營業年度ニ於ケル興業費、營業收入又ハ營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

前項ノ場合ニ於テ興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル興業費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第十條　朝鮮私設鐵道補助法ニ依リ補助ヲ受クル者ハ每營業年度ノ事業豫定計畫書竝ニ第三號樣式乃至第十號樣式ノ建設費及營業收支ニ關スル豫算表ヲ年度開始六十日前迄ニ鐵道局長ニ提出シ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十一條　每營業年度ノ利益處分ハ豫メ鐵道局長ニ之ヲ屆出ヅベシ

前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ貸借對照表、損益計算表竝ニ第十一號樣式乃至第二十一號樣式ノ建設費及營業收支ニ關スル豫算決算對照表ヲ添附スベシ

第十二條　借入金ヲ爲シタルトキハ其ノ借入先、金額、事由及條件ヲ具シ鐵道局長ニ屆出ヅベシ

第十三條　朝鮮總督ハ官吏ヲシテ株主總會其ノ他ノ會議ニ臨ミ意見ヲ述ベシムルコトアルベシ

附　則

本令發布ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

第一號樣式

何々間建設費

何 料 何 分

項目	數量	平均單價	金額	備考
建築及附帶費				
建築列車費	料			
建築用具費	料			
電線及電氣機具費	料			
電線路費	料			
電力線路費	料			
變電所費	料			
用地費				
給料				
手當費				
旅費、				
線路用地費	平米			
停車場用地費	平米			
發電所用地費	平米			
、、				
土工費				
切取費	立米			
築堤費	立米			
地築費	立米			
川溝付費	立米			
路切道及道路付費	立米			
土留石垣及柵費	平米			
橋梁費				
何川橋梁費	延長米			
何川避溢橋費	延長米			
何所假橋費、	延長米			
何々費				
、、、				
總係費				
報酬料				
給料				
手當費				
旅費、				
創立費				
合計				
一杆＝付				

項目	數量	平均單價	金額	備考
橋梁費				
開渠費	所箇所			
暗渠費	箇所			
伏樋費	箇所			
架樋費	箇所			
下水費	箇所			
隧道費	延長米			
何所隧道費				
軌道費	杆			
軌條及附屬品費	組			
轉轍器及轍叉費	挺			
枕木費	立米			
砂利敷費	杆			
工、、				
停車場費	所箇所			
何停車場費	所箇所			
何停留場費、				
波止費	所箇所			
何波止費				
機械場費	所箇所			
建築費	平米			
機器費	箇			
諸建物費	平米			
何所事務所費	平米			
何所倉庫費	平米			
社宅、	平米			
、、				
運送費	杆			

第二號樣式

何々間營業收支計算表(其ノ一)

種別		備考
營業開始年月		
營業區間		
營業粁數		
營業延日粁		
旅客延人粁		
同上一日一粁平均		
貨物延噸粁		
同上一日一粁平均		
運輸收入		
同上一日一粁平均		
客車收入		
同上一日一粁平均		
貨車收入		
同上一日一粁平均		
運輸雜收		
同上一日一粁平均		
雜收入		
同上一日一粁平均		
合計		
同上一日一粁平均		
保存費		
同上一日一粁平均		
(汽)(電)車費		
同上一日一粁平均		
運輸費		
同上一日一粁平均		
何々		
同上一日一粁平均		
總係費		
同上一日一粁平均		
合計		
同上一日一粁平均		

備考欄ニハ算出ノ基礎ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

同上(其ノ二)

種別	金額	備考
營業收入		
營業費		
營業費ノ營業收入ニ對スル割合		
利益金		
利益ノ一分ノ二十		
差引益金		

備考欄ニハ本表(其ノ一)ノ運輸收入額ヲ記載スベシ

第三號樣式

何々間建設費豫算表

自　年　月　日至　年　月　日

何糎何分

科目	總豫算額	當期豫算額	前期未決算見込額	殘額	備考
測量及監督費					
給料					
手當					
旅費					
、					
用地費					
線路用地					
停車場用地					
、					
土工費					
切取費					
築堤費					
、					
何々費					
、					
總係費					
報酬					
給料					
手當					
、					
各區間關聯建設費分擔額					
計					
各事業關聯興業費分擔額					
建設營業關聯費分擔額					
合計					

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

第四號樣式

各區間關聯建設費豫算表

自　年　月　日至　年　月　日

科目	前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
測量及監督費				
給料				
手當				
、				
何々費				
、				
總係費				
報酬				
給料				
、				
各事業關聯興業費分擔額				
建設營業關聯費分擔額				
合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
前期ニ比シ著シク增減アルトキハ其ノ理由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第五號樣式

各事業關聯興業費豫算表

自年月日至年月日

科目	前年同期決算額	前期豫算額		當期豫算額		備考
測量及監督費						
給料、手當、						
何々、						
總係費						
報酬料、						
給料、						
計						

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

前期ニ比シ著シク增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第六號樣式

各事業興業營業關聯費豫算表

本表ハ第五號樣式ニ準ジ調製スベシ

第七號樣式

建設營業關聯費豫算表

自年月日至年月日

科目	前年同期決算額	前期豫算額		當期豫算額		備考
測量及監督費						
給料、手當、						
何々、						
總係費						
報酬料、						
給料、						
計						
興業營業關聯費分擔額						
合計						

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

前期ニ比シ著シク增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第八號樣式

何々間營業收支豫算表

自年月日至年月日

科目		前年同期決算額	前期豫算額		當期豫算額		備考
運輸收入							
客車收入							
	旅客運賃						
	手荷物運賃						
	小荷物運賃						
	郵便物運賃						
	、、、						
	各區間關聯客車收入分當額						
貨車收入							
	小口扱運賃						
	車扱運賃						
	、、、						
	各區間關聯貨車收入分當額						
運輸雜收							
	入場料						
	諸使用車料						
	保管料						
	貨物積卸料						
	諸手數料						
	、、、						
	各區間關聯運輸雜收分當額						
雜收入							
	預金利子						
	株券書換手數料						
	營業料						
	貸付料						
	不用品賣拂代						
	、、、						
	各區間關聯雜收入分當額						
	計						
各事業關聯營業收入分當額							
	合計						
保存費							
監督費							
給料							
、、							
建造物修繕費							
、、							
災害復舊費							
、、							
(汽)(電)車費							
監督費							
、、							
運轉費							
、、							

列車費					
、々					
車輛修繕費					
、々					
發電所費					
、々					
運輸費					
監督費					
、々					
停車場費					
、々					
何々					
、、、、					
總係費					
報酬					
、、、、					
各區間關聯營業費分擔額					
計					
各事業關聯營業費分擔額					
建設營業關聯費分擔額					
合計					

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

前期ニ比シ著シキ增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第九號樣式

各事業關聯營業收入豫算表

自　年　月　日至　年　月　日

科目	前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
雜收入				
預金利子				
株券書換手數料				
、、、、				
何々				
、、、、				
合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

前期ニ比シ著シキ增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第十號樣式

各事業關聯營業費豫算表

自　年　月　日至　年　月　日

科目	前期同年決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
總係費				
報酬				
、 、				
何 々				
、 、				
合計				

ニスペシ載記ヲ項事キベルナトノ考參他ノ其礎基ノ出算ハニ欄考備
ニスペシ載記ニ欄考備ヲ由事ノ其ハキトルアニ減增キシ著シ比ニ期前

第十一號樣式

何々間建設費豫算決算對照表

自年月日至年月日　何科何分

科目	總豫算額	當期分 豫算額	決算額	差引過不足額	前期末決算額	當期末總決算額	總豫算決算差引過不足額	備考

本表科目ハ第三號表ニ準ジ列記スペシ

第十二號樣式

何々關聯費豫算決算對照表

自年月日至年月日

科目	豫算額	決算額	豫算決算差引過不足額	備考

本表ハ各種關聯費別ニ調製シ各科目ハ第四號乃至第七號、第九號及第十號表ニ準ジ列記スペシ
豫算ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スペシ
雜費等ノ科目ヲ以テ總括記載スルモノアルトキハ其ノ主ナルモノノ內譯及金額ヲ備考欄ニ記載スペシ

第十三號樣式

何々間營業收支豫算決算對照表

自年月日至年月日

科目	豫算額	決算額	豫算決算差引過不足額	備考

本表科目ハ第八號表ニ準ジ列記スペシ
豫算ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スペシ
雜入及雜費等ノ科目ヲ以テ總括記載スルモノアルトキハ其ノ主ナルモノハ內譯及金額ヲ備考欄ニ記載スペシ

第十四號樣式

各區間關聯建設費分割表

自年月日至年月日

區間	期當費設建決算額	率割分〔百分比例〕	費設建聯關分擔額	各事業關聯興業費分擔額	聯關業營業建費分擔額	合計
何々間						
何々間						
合計						

第十五號樣式

各事業關聯興業費分割表

自年月日至年月日

事業種別	各事業專屬興業費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯興業費分擔額	當期決算額合計
鐵道業				
何業				
何業				
合計				

各事業專屬興業費及建設營業關聯費ヲ合マズ興業營業關聯費ハ各事業專屬興業費當期決算額中ニ

第十六號樣式

各事業興業營業關聯費分割表

自年月日至年月日

事業種別	各事業專屬興業費當期決算額	各事業專屬營業費當期決算額	各事業專屬興業營業關聯費當期決算額	合計	率割分〔百分比例〕	興業營業關聯費分擔額
鐵道業						
何業						
何業						
合計						

各事業專屬興業費當期決算額ハ第十五號表中當期決算額合計ノ金額ヲ記載スベシ
各事業專屬營業費當期決算額ハ第二十一號表中當期決算額合計ノ金額ヲ記載スベシ
各事業專屬興業營業關聯費當期決算額ハ第七號表ニ依ル建設營業關聯費決算額ノ合計金額ヨリ興業營業關聯費分擔額ヲ控除シタル金額ヲ記載スベシ
各事業專屬興業費、營業費及興業營業關聯費ノ當期決算額ハ前三項ニ該當セザルモノト雖モ總テ之ヲ各相當欄ニ計上スベシ

第十七號樣式

建設營業關聯費分割表

自年月日至年月日

科目	專屬費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯費分擔額
建設費			
營業費			
合計			

鐵道營業收入分割規程　第二章　第二節　第十條　第十六條　第十七條　第十八條　第十九條　第二十條　第二十一條　第二十二條　第二十三條　第二十四條　第二十五條　第二十六條　第二十七條　第二十八條　第二十九條　第三十條　第三十一條　第三十二條　第三十三條　第三十四條　第三十五條　第三十六條　第三十七條　第三十八條　第三十九條　第四十條　第四十一條　第四十二條　第四十三條　第四十四條　第四十五條　第四十六條　第四十七條　第四十八條　第四十九條　第五十條　第五十一條　第五十二條　第五十三條　第五十四條　第五十五條　第五十六條　第五十七條　第五十八條　第五十九條　第六十條　第六十一條　第六十二條　第六十三條　第六十四條　第六十五條　第六十六條　第六十七條　第六十八條　第六十九條　第七十條　第七十一條　第七十二條　第七十三條　第七十四條　第七十五條　第七十六條　第七十七條　第七十八條　第七十九條　第八十條　第八十一條　第八十二條　第八十三條　第八十四條　第八十五條　第八十六條　第八十七條　第八十八條　第八十九條　第九十條　第九十一條　第九十二條　第九十三條　第九十四條　第九十五條　第九十六條　第九十七條　第九十八條　第九十九條　第一百條　第一百一條　第一百二條　第一百三條　第一百四條　第一百五條　第一百六條　第一百七條　第一百八條　第一百九條　第一百十條　第一百十一條　第一百十二條　第一百十三條　第一百十四條　第一百十五條　第一百十六條　第一百十七條　第一百十八條　第一百十九條　第一百二十條　第一百二十一條　第一百二十二條　第一百二十三條　第一百二十四條　第一百二十五條　第一百二十六條　第一百二十七條　第一百二十八條　第一百二十九條　第一百三十條　第一百三十一條　第一百三十二條　第一百三十三條　第一百三十四條　第一百三十五條　第一百三十六條　第一百三十七條　第一百三十八條　第一百三十九條　第一百四十條　第一百四十一條　第一百四十二條　第一百四十三條　第一百四十四條　第一百四十五條　第一百四十六條　第一百四十七條　第一百四十八條　第一百四十九條　第一百五十條　第一百五十一條　第一百五十二條　第一百五十三條　第一百五十四條　第一百五十五條　第一百五十六條　第一百五十七條　第一百五十八條　第一百五十九條　第一百六十條　第一百六十一條　第一百六十二條　第一百六十三條　第一百六十四條　第一百六十五條　第一百六十六條　第一百六十七條　第一百六十八條　第一百六十九條　第一百七十條　第一百七十一條　第一百七十二條　第一百七十三條　第一百七十四條　第一百七十五條　第一百七十六條　第一百七十七條　第一百七十八條　第一百七十九條　第一百八十條　第一百八十一條　第一百八十二條　第一百八十三條　第一百八十四條　第一百八十五條　第一百八十六條　第一百八十七條　第一百八十八條　第一百八十九條　第一百九十條　第一百九十一條　第一百九十二條　第一百九十三條　第一百九十四條　第一百九十五條　第一百九十六條　第一百九十七條　第一百九十八條　第一百九十九條　第二百條　第二百一條　第二百二條　第二百三條　第二百四條　第二百五條　第二百六條　第二百七條　第二百八條　第二百九條　第二百十條　第二百十一條　第二百十二條　第二百十三條　第二百十四條　第二百十五條　第二百十六條　第二百十七條　第二百十八條　第二百十九條　第二百二十條　第二百二十一條　第二百二十二條　第二百二十三條　第二百二十四條　第二百二十五條　第二百二十六條　第二百二十七條　第二百二十八條　第二百二十九條　第二百三十條　第二百三十一條　第二百三十二條　第二百三十三條　第二百三十四條　第二百三十五條　第二百三十六條　第二百三十七條　第二百三十八條　第二百三十九條　第二百四十條　第二百四十一條　第二百四十二條　第二百四十三條　第二百四十四條　第二百四十五條　第二百四十六條　第二百四十七條　第二百四十八條　第二百四十九條　第二百五十條　第二百五十一條　第二百五十二條　第二百五十三條　第二百五十四條　第二百五十五條　第二百五十六條　第二百五十七條　第二百五十八條　第二百五十九條　第二百六十條　第二百六十一條　第二百六十二條　第二百六十三條　第二百六十四條　第二百六十五條　第二百六十六條　第二百六十七條　第二百六十八條　第二百六十九條　第二百七十條　第二百七十一條　第二百七十二條　第二百七十三條　第二百七十四條　第二百七十五條　第二百七十六條　第二百七十七條　第二百七十八條　第二百七十九條　第二百八十條　第二百八十一條　第二百八十二條　第二百八十三條　第二百八十四條　第二百八十五條　第二百八十六條　第二百八十七條　第二百八十八條　第二百八十九條　第二百九十條　第二百九十一條　第二百九十二條　第二百九十三條　第二百九十四條　第二百九十五條　第二百九十六條　第二百九十七條　第二百九十八條　第二百九十九條　第三百條　第三百一條　第三百二條　第三百三條　第三百四條　第三百五條　第三百六條　第三百七條　第三百八條　第三百九條　第三百十條　第三百十一條　第三百十二條　第三百十三條　第三百十四條　第三百十五條　第三百十六條　第三百十七條　第三百十八條　第三百十九條　第三百二十條　第三百二十一條　第三百二十二條　第三百二十三條　第三百二十四條　第三百二十五條　第三百二十六條　第三百二十七條　第三百二十八條　第三百二十九條　第三百三十條　第三百三十一條　第三百三十二條　第三百三十三條　第三百三十四條　第三百三十五條　第三百三十六條　第三百三十七條　第三百三十八條　第三百三十九條　第三百四十條　第三百四十一條　第三百四十二條　第三百四十三條　第三百四十四條　第三百四十五條　第三百四十六條　第三百四十七條　第三百四十八條　第三百四十九條　第三百五十條　第三百五十一條　第三百五十二條　第三百五十三條　第三百五十四條　第三百五十五條　第三百五十六條　第三百五十七條　第三百五十八條　第三百五十九條　第三百六十條　第三百六十一條　第三百六十二條　第三百六十三條　第三百六十四條　第三百六十五條　第三百六十六條　第三百六十七條　第三百六十八條　第三百六十九條　第三百七十條　第三百七十一條　第三百七十二條　第三百七十三條　第三百七十四條　第三百七十五條　第三百七十六條　第三百七十七條　第三百七十八條　第三百七十九條　第三百八十條　第三百八十一條　第三百八十二條　第三百八十三條　第三百八十四條　第三百八十五條　第三百八十六條　第三百八十七條　第三百八十八條　第三百八十九條　第三百九十條　第三百九十一條　第三百九十二條　第三百九十三條　第三百九十四條　第三百九十五條　第三百九十六條　第三百九十七條　第三百九十八條　第三百九十九條　第四百條　第四百一條　第四百二條　第四百三條　第四百四條　第四百五條　第四百六條　第四百七條　第四百八條　第四百九條　第四百十條　第四百十一條　第四百十二條　第四百十三條　第四百十四條　第四百十五條　第四百十六條　第四百十七條　第四百十八條　第四百十九條　第四百二十條　第四百二十一條　第四百二十二條　第四百二十三條　第四百二十四條　第四百二十五條　第四百二十六條　第四百二十七條　第四百二十八條　第四百二十九條　第四百三十條　第四百三十一條　第四百三十二條　第四百三十三條　第四百三十四條　第四百三十五條　第四百三十六條　第四百三十七條　第四百三十八條　第四百三十九條　第四百四十條　第四百四十一條　第四百四十二條　第四百四十三條　第四百四十四條　第四百四十五條　第四百四十六條　第四百四十七條　第四百四十八條　第四百四十九條　第四百五十條　第四百五十一條　第四百五十二條　第四百五十三條　第四百五十四條　第四百五十五條　第四百五十六條　第四百五十七條　第四百五十八條　第四百五十九條　第四百六十條　第四百六十一條　第四百六十二條　第四百六十三條　第四百六十四條　第四百六十五條　第四百六十六條　第四百六十七條　第四百六十八條　第四百六十九條　第四百七十條　第四百七十一條　第四百七十二條　第四百七十三條　第四百七十四條　第四百七十五條　第四百七十六條　第四百七十七條　第四百七十八條　第四百七十九條　第四百八十條　第四百八十一條　第四百八十二條　第四百八十三條　第四百八十四條　第四百八十五條　第四百八十六條　第四百八十七條　第四百八十八條　第四百八十九條　第四百九十條　第四百九十一條　第四百九十二條　第四百九十三條　第四百九十四條　第四百九十五條　第四百九十六條　第四百九十七條　第四百九十八條　第四百九十九條　第五百條　第五百一條　第五百二條　第五百三條　第五百四條　第五百五條　第五百六條　第五百七條　第五百八條　第五百九條　第五百十條　第五百十一條　第五百十二條　第五百十三條　第五百十四條　第五百十五條　第五百十六條　第五百十七條　第五百十八條　第五百十九條　第五百二十條　第五百二十一條　第五百二十二條　第五百二十三條　第五百二十四條　第五百二十五條　第五百二十六條　第五百二十七條　第五百二十八條　第五百二十九條　第五百三十條　第五百三十一條　第五百三十二條　第五百三十三條　第五百三十四條　第五百三十五條　第五百三十六條　第五百三十七條　第五百三十八條　第五百三十九條　第五百四十條　第五百四十一條　第五百四十二條　第五百四十三條　第五百四十四條　第五百四十五條　第五百四十六條　第五百四十七條　第五百四十八條　第五百四十九條　第五百五十條　第五百五十一條　第五百五十二條　第五百五十三條　第五百五十四條　第五百五十五條　第五百五十六條　第五百五十七條　第五百五十八條　第五百五十九條　第五百六十條　第五百六十一條　第五百六十二條　第五百六十三條　第五百六十四條　第五百六十五條　第五百六十六條　第五百六十七條　第五百六十八條　第五百六十九條　第五百七十條　第五百七十一條　第五百七十二條　第五百七十三條　第五百七十四條　第五百七十五條　第五百七十六條　第五百七十七條　第五百七十八條　第五百七十九條　第五百八十條　第五百八十一條　第五百八十二條　第五百八十三條　第五百八十四條　第五百八十五條　第五百八十六條　第五百八十七條　第五百八十八條　第五百八十九條　第五百九十條　第五百九十一條　第五百九十二條　第五百九十三條　第五百九十四條　第五百九十五條　第五百九十六條　第五百九十七條　第五百九十八條　第五百九十九條　第六百條　第六百一條　第六百二條　第六百三條　第六百四條　第六百五條　第六百六條　第六百七條　第六百八條　第六百九條　第六百十條　第六百十一條　第六百十二條　第六百十三條　第六百十四條　第六百十五條　第六百十六條　第六百十七條　第六百十八條　第六百十九條　第六百二十條　第六百二十一條　第六百二十二條　第六百二十三條　第六百二十四條　第六百二十五條　第六百二十六條　第六百二十七條　第六百二十八條　第六百二十九條　第六百三十條　第六百三十一條　第六百三十二條　第六百三十三條　第六百三十四條　第六百三十五條　第六百三十六條　第六百三十七條　第六百三十八條　第六百三十九條　第六百四十條　第六百四十一條　第六百四十二條　第六百四十三條　第六百四十四條　第六百四十五條　第六百四十六條　第六百四十七條　第六百四十八條　第六百四十九條　第六百五十條　第六百五十一條　第六百五十二條　第六百五十三條　第六百五十四條　第六百五十五條　第六百五十六條　第六百五十七條　第六百五十八條　第六百五十九條　第六百六十條　第六百六十一條　第六百六十二條　第六百六十三條　第六百六十四條　第六百六十五條　第六百六十六條　第六百六十七條　第六百六十八條　第六百六十九條　第六百七十條　第六百七十一條　第六百七十二條　第六百七十三條　第六百七十四條　第六百七十五條　第六百七十六條　第六百七十七條　第六百七十八條　第六百七十九條　第六百八十條　第六百八十一條　第六百八十二條　第六百八十三條　第六百八十四條　第六百八十五條　第六百八十六條　第六百八十七條　第六百八十八條　第六百八十九條　第六百九十條　第六百九十一條　第六百九十二條　第六百九十三條　第六百九十四條　第六百九十五條　第六百九十六條　第六百九十七條　第六百九十八條　第六百九十九條　第七百條　第七百一條　第七百二條　第七百三條　第七百四條　第七百五條　第七百六條　第七百七條　第七百八條　第七百九條　第七百十條　第七百十一條　第七百十二條　第七百十三條　第七百十四條　第七百十五條　第七百十六條　第七百十七條　第七百十八條　第七百十九條　第七百二十條　第七百二十一條　第七百二十二條　第七百二十三條　第七百二十四條　第七百二十五條　第七百二十六條　第七百二十七條　第七百二十八條　第七百二十九條　第七百三十條　第七百三十一條　第七百三十二條　第七百三十三條　第七百三十四條　第七百三十五條　第七百三十六條　第七百三十七條　第七百三十八條　第七百三十九條　第七百四十條　第七百四十一條　第七百四十二條　第七百四十三條　第七百四十四條　第七百四十五條　第七百四十六條　第七百四十七條　第七百四十八條　第七百四十九條　第七百五十條　第七百五十一條　第七百五十二條　第七百五十三條　第七百五十四條　第七百五十五條　第七百五十六條　第七百五十七條　第七百五十八條　第七百五十九條　第七百六十條　第七百六十一條　第七百六十二條　第七百六十三條　第七百六十四條　第七百六十五條　第七百六十六條　第七百六十七條　第七百六十八條　第七百六十九條　第七百七十條　第七百七十一條　第七百七十二條　第七百七十三條　第七百七十四條　第七百七十五條　第七百七十六條　第七百七十七條　第七百七十八條　第七百七十九條　第七百八十條　第七百八十一條　第七百八十二條　第七百八十三條　第七百八十四條　第七百八十五條　第七百八十六條　第七百八十七條　第七百八十八條　第七百八十九條　第七百九十條　第七百九十一條　第七百九十二條　第七百九十三條　第七百九十四條　第七百九十五條　第七百九十六條　第七百九十七條　第七百九十八條　第七百九十九條　第八百條　第八百一條　第八百二條　第八百三條　第八百四條　第八百五條　第八百六條　第八百七條　第八百八條　第八百九條　第八百十條　第八百十一條　第八百十二條　第八百十三條　第八百十四條　第八百十五條　第八百十六條　第八百十七條　第八百十八條　第八百十九條　第八百二十條　第八百二十一條　第八百二十二條　第八百二十三條　第八百二十四條　第八百二十五條　第八百二十六條　第八百二十七條　第八百二十八條　第八百二十九條　第八百三十條　第八百三十一條　第八百三十二條　第八百三十三條　第八百三十四條　第八百三十五條　第八百三十六條　第八百三十七條　第八百三十八條　第八百三十九條　第八百四十條　第八百四十一條　第八百四十二條　第八百四十三條　第八百四十四條　第八百四十五條　第八百四十六條　第八百四十七條　第八百四十八條　第八百四十九條　第八百五十條　第八百五十一條　第八百五十二條　第八百五十三條　第八百五十四條　第八百五十五條　第八百五十六條　第八百五十七條　第八百五十八條　第八百五十九條　第八百六十條　第八百六十一條　第八百六十二條　第八百六十三條　第八百六十四條　第八百六十五條　第八百六十六條　第八百六十七條　第八百六十八條　第八百六十九條　第八百七十條　第八百七十一條　第八百七十二條　第八百七十三條　第八百七十四條　第八百七十五條　第八百七十六條　第八百七十七條　第八百七十八條　第八百七十九條　第八百八十條　第八百八十一條　第八百八十二條　第八百八十三條　第八百八十四條　第八百八十五條　第八百八十六條　第八百八十七條　第八百八十八條　第八百八十九條　第八百九十條　第八百九十一條　第八百九十二條　第八百九十三條　第八百九十四條　第八百九十五條　第八百九十六條　第八百九十七條　第八百九十八條　第八百九十九條　第九百條　第九百一條　第九百二條　第九百三條　第九百四條　第九百五條　第九百六條　第九百七條　第九百八條　第九百九條　第九百十條　第九百十一條　第九百十二條　第九百十三條　第九百十四條　第九百十五條　第九百十六條　第九百十七條　第九百十八條　第九百十九條　第九百二十條　第九百二十一條　第九百二十二條　第九百二十三條　第九百二十四條　第九百二十五條　第九百二十六條　第九百二十七條　第九百二十八條　第九百二十九條　第九百三十條　第九百三十一條　第九百三十二條　第九百三十三條　第九百三十四條　第九百三十五條　第九百三十六條　第九百三十七條　第九百三十八條　第九百三十九條　第九百四十條　第九百四十一條　第九百四十二條　第九百四十三條　第九百四十四條　第九百四十五條　第九百四十六條　第九百四十七條　第九百四十八條　第九百四十九條　第九百五十條　第九百五十一條　第九百五十二條　第九百五十三條　第九百五十四條　第九百五十五條　第九百五十六條　第九百五十七條　第九百五十八條　第九百五十九條　第九百六十條　第九百六十一條　第九百六十二條　第九百六十三條　第九百六十四條　第九百六十五條　第九百六十六條　第九百六十七條　第九百六十八條　第九百六十九條　第九百七十條　第九百七十一條　第九百七十二條　第九百七十三條　第九百七十四條　第九百七十五條　第九百七十六條　第九百七十七條　第九百七十八條　第九百七十九條　第九百八十條　第九百八十一條　第九百八十二條　第九百八十三條　第九百八十四條　第九百八十五條　第九百八十六條　第九百八十七條　第九百八十八條　第九百八十九條　第九百九十條　第九百九十一條　第九百九十二條　第九百九十三條　第九百九十四條　第九百九十五條　第九百九十六條　第九百九十七條　第九百九十八條　第九百九十九條　第一千條　第一千一條　第一千二條　第一千三條　第一千四條　第一千五條　第一千六條　第一千七條　第一千八條　第一千九條　第一千十條　第一千十一條　第一千十二條　第一千十三條　第一千十四條　第一千十五條　第一千十六條　第一千十七條　第一千十八條　第一千十九條　第一千二十條　第一千二十一條　第一千二十二條　第一千二十三條　第一千二十四條　第一千二十五條　第一千二十六條　第一千二十七條　第一千二十八條　第一千二十九條　第一千三十條　第一千三十一條　第一千三十二條　第一千三十三條　第一千三十四條　第一千三十五條　第一千三十六條　第一千三十七條　第一千三十八條　第一千三十九條　第一千四十條　第一千四十一條　第一千四十二條　第一千四十三條　第一千四十四條　第一千四十五條　第一千四十六條　第一千四十七條　第一千四十八條　第一千四十九條　第一千五十條　第一千五十一條　第一千五十二條　第一千五十三條　第一千五十四條　第一千五十五條　第一千五十六條　第一千五十七條　第一千五十八條　第一千五十九條　第一千六十條　第一千六十一條　第一千六十二條　第一千六十三條　第一千六十四條　第一千六十五條　第一千六十六條　第一千六十七條　第一千六十八條　第一千六十九條　第一千七十條　第一千七十一條　第一千七十二條　第一千七十三條　第一千七十四條　第一千七十五條　第一千七十六條　第一千七十七條　第一千七十八條　第一千七十九條　第一千八十條　第一千八十一條　第一千八十二條　第一千八十三條　第一千八十四條　第一千八十五條　第一千八十六條　第一千八十七條　第一千八十八條　第一千八十九條　第一千九十條　第一千九十一條　第一千九十二條　第一千九十三條　第一千九十四條　第一千九十五條　第一千九十六條　第一千九十七條　第一千九十八條　第一千九十九條　第一千一百條　第一千一百一條　第一千一百二條　第一千一百三條　第一千一百四條　第一千一百五條　第一千一百六條　第一千一百七條　第一千一百八條　第一千一百九條　第一千一百十條　第一千一百十一條　第一千一百十二條　第一千一百十三條　第一千一百十四條　第一千一百十五條　第一千一百十六條　第一千一百十七條　第一千一百十八條　第一千一百十九條　第一千一百二十條　第一千一百二十一條　第一千一百二十二條　第一千一百二十三條　第一千一百二十四條　第一千一百二十五條　第一千一百二十六條　第一千一百二十七條　第一千一百二十八條　第一千一百二十九條　第一千一百三十條　第一千一百三十一條　第一千一百三十二條　第一千一百三十三條　第一千一百三十四條　第一千一百三十五條　第一千一百三十六條　第一千一百三十七條　第一千一百三十八條　第一千一百三十九條　第一千一百四十條　第一千一百四十一條　第一千一百四十二條　第一千一百四十三條　第一千一百四十四條　第一千一百四十五條　第一千一百四十六條　第一千一百四十七條　第一千一百四十八條　第一千一百四十九條　第一千一百五十條　第一千一百五十一條　第一千一百五十二條　第一千一百五十三條　第一千一百五十四條　第一千一百五十五條　第一千一百五十六條　第一千一百五十七條　第一千一百五十八條　第一千一百五十九條　第一千一百六十條　第一千一百六十一條　第一千一百六十二條　第一千一百六十三條　第一千一百六十四條　第一千一百六十五條　第一千一百六十六條　第一千一百六十七條　第一千一百六十八條　第一千一百六十九條　第一千一百七十條　第一千一百七十一條　第一千一百七十二條　第一千一百七十三條　第一千一百七十四條　第一千一百七十五條　第一千一百七十六條　第一千一百七十七條　第一千一百七十八條　第一千一百七十九條　第一千一百八十條　第一千一百八十一條　第一千一百八十二條　第一千一百八十三條　第一千一百八十四條　第一千一百八十五條　第一千一百八十六條　第一千一百八十七條　第一千一百八十八條　第一千一百八十九條　第一千一百九十條　第一千一百九十一條　第一千一百九十二條　第一千一百九十三條　第一千一百九十四條　第一千一百九十五條　第一千一百九十六條　第一千一百九十七條　第一千一百九十八條　第一千一百九十九條　第一千二百條　第一千二百一條　第一千二百二條　第一千二百三條　第一千二百四條　第一千二百五條　第一千二百六條　第一千二百七條　第一千二百八條　第一千二百九條　第一千二百十條　第一千二百十一條　第一千二百十二條　第一千二百十三條　第一千二百十四條　第一千二百十五條　第一千二百十六條　第一千二百十七條　第一千二百十八條　第一千二百十九條　第一千二百二十條　第一千二百二十一條　第一千二百二十二條　第一千二百二十三條　第一千二百二十四條　第一千二百二十五條　第一千二百二十六條　第一千二百二十七條　第一千二百二十八條　第一千二百二十九條　第一千二百三十條　第一千二百三十一條　第一千二百三十二條　第一千二百三十三條　第一千二百三十四條　第一千二百三十五條　第一千二百三十六條　第一千二百三十七條　第一千二百三十八條　第一千二百三十九條　第一千二百四十條　第一千二百四十一條　第一千二百四十二條　第一千二百四十三條　第一千二百四十四條　第一千二百四十五條　第一千二百四十六條　第一千二百四十七條　第一千二百四十八條　第一千二百四十九條　第一千二百五十條　第一千二百五十一條　第一千二百五十二條　第一千二百五十三條　第一千二百五十四條　第一千二百五十五條　第一千二百五十六條　第一千二百五十七條　第一千二百五十八條　第一千二百五十九條　第一千二百六十條　第一千二百六十一條　第一千二百六十二條　第一千二百六十三條　第一千二百六十四條　第一千二百六十五條　第一千二百六十六條　第一千二百六十七條　第一千二百六十八條　第一千二百六十九條　第一千二百七十條　第一千二百七十一條　第一千二百七十二條　第一千二百七十三條　第一千二百七十四條　第一千二百七十五條　第一千二百七十六條　第一千二百七十七條　第一千二百七十八條　第一千二百七十九條　第一千二百八十條　第一千二百八十一條　第一千二百八十二條　第一千二百八十三條　第一千二百八十四條　第一千二百八十五條　第一千二百八十六條　第一千二百八十七條　第一千二百八十八條　第一千二百八十九條　第一千二百九十條　第一千二百九十一條　第一千二百九十二條　第一千二百九十三條　第一千二百九十四條　第一千二百九十五條　第一千二百九十六條　第一千二百九十七條　第一千二百九十八條　第一千二百九十九條　第一千三百條　第一千三百一條　第一千三百二條　第一千三百三條　第一千三百四條　第一千三百五條　第一千三百六條　第一千三百七條　第一千三百八條　第一千三百九條　第一千三百十條　第一千三百十一條　第一千三百十二條　第一千三百十三條　第一千三百十四條　第一千三百十五條　第一千三百十六條　第一千三百十七條　第一千三百十八條　第一千三百十九條　第一千三百二十條　第一千三百二十一條　第一千三百二十二條　第一千三百二十三條　第一千三百二十四條　第一千三百二十五條　第一千三百二十六條　第一千三百二十七條　第一千三百二十八條　第一千三百二十九條　第一千三百三十條　第一千三百三十一條　第一千三百三十二條　第一千三百三十三條　第一千三百三十四條　第一千三百三十五條　第一千三百三十六條　第一千三百三十七條　第一千三百三十八條　第一千三百三十九條　第一千三百四十條　第一千三百四十一條　第一千三百四十二條　第一千三百四十三條　第一千三百四十四條　第一千三百四十五條　第一千三百四十六條　第一千三百四十七條　第一千三百四十八條　第一千三百四十九條　第一千三百五十條　第一千三百五十一條　第一千三百五十二條　第一千三百五十三條　第一千三百五十四條　第一千三百五十五條　第一千三百五十六條　第一千三百五十七條　第一千三百五十八條　第一千三百五十九條　第一千三百六十條　第一千三百六十一條　第一千三百六十二條　第一千三百六十三條　第一千三百六十四條　第一千三百六十五條　第一千三百六十六條　第一千三百六十七條　第一千三百六十八條　第一千三百六十九條　第一千三百七十條　第一千三百七十一條　第一千三百七十二條　第一千三百七十三條　第一千三百七十四條　第一千三百七十五條　第一千三百七十六條　第一千三百七十七條　第一千三百七十八條　第一千三百七十九條　第一千三百八十條　第一千三百八十一條　第一千三百八十二條　第一千三百八十三條　第一千三百八十四條　第一千三百八十五條　第一千三百八十六條　第一千三百八十七條　第一千三百八十八條　第一千三百八十九條　第一千三百九十條　第一千三百九十一條　第一千三百九十二條　第一千三百九十三條　第一千三百九十四條　第一千三百九十五條　第一千三百九十六條　第一千三百九十七條　第一千三百九十八條　第一千三百九十九條　第一千四百條　第一千四百一條　第一千四百二條　第一千四百三條　第一千四百四條　第一千四百五條　第一千四百六條　第一千四百七條　第一千四百八條　第一千四百九條　第一千四百十條　第一千四百十一條　第一千四百十二條　第一千四百十三條　第一千四百十四條　第一千四百十五條　第一千四百十六條　第一千四百十七條　第一千四百十八條　第一千四百十九條　第一千四百二十條　第一千四百二十一條　第一千四百二十二條　第一千四百二十三條　第一千四百二十四條　第一千四百二十五條　第一千四百二十六條　第一千四百二十七條　第一千四百二十八條　第一千四百二十九條　第一千四百三十條　第一千四百三十一條　第一千四百三十二條　第一千四百三十三條　第一千四百三十四條　第一千四百三十五條　第一千四百三十六條　第一千四百三十七條　第一千四百三十八條　第一千四百三十九條　第一千四百四十條　第一千四百四十一條　第一千四百四十二條　第一千四百四十三條　第一千四百四十四條　第一千四百四十五條　第一千四百四十六條　第一千四百四十七條　第一千四百四十八條　第一千四百四十九條　第一千四百五十條　第一千四百五十一條　第一千四百五十二條　第一千四百五十三條　第一千四百五十四條　第一千四百五十五條　第一千四百五十六條　第一千四百五十七條　第一千四百五十八條　第一千四百五十九條　第一千四百六十條　第一千四百六十一條　第一千四百六十二條　第一千四百六十三條　第一千四百六十四條　第一千四百六十五條　第一千四百六十六條　第一千四百六十七條　第一千四百六十八條　第一千四百六十九條　第一千四百七十條　第一千四百七十一條　第一千四百七十二條　第一千四百七十三條　第一千四百七十四條　第一千四百七十五條　第一千四百七十六條　第一千四百七十七條　第一千四百七十八條　第一千四百七十九條　第一千四百八十條　第一千四百八十一條　第一千四百八十二條　第一千四百八十三條　第一千四百八十四條　第一千四百八十五條　第一千四百八十六條　第一千四百八十七條　第一千四百八十八條　第一千四百八十九條　第一千四百九十條　第一千四百九十一條　第一千四百九十二條　第一千四百九十三條　第一千四百九十四條　第一千四百九十五條　第一千四百九十六條　第一千四百九十七條　第一千四百九十八條　第一千四百九十九條　第一千五百條　第一千五百一條　第一千五百二條　第一千五百三條　第一千五百四條　第一千五百五條　第一千五百六條　第一千五百七條　第一千五百八條　第一千五百九條　第一千五百十條　第一千五百十一條　第一千五百十二條　第一千五百十三條　第一千五百十四條　第一千五百十五條　第一千五百十六條　第一千五百十七條　第一千五百十八條　第一千五百十九條　第一千五百二十條　第一千五百二十一條　第一千五百二十二條　第一千五百二十三條　第一千五百二十四條　第一千五百二十五條　第一千五百二十六條　第一千五百二十七條　第一千五百二十八條　第一千五百二十九條　第一千五百三十條　第一千五百三十一條　第一千五百三十二條　第一千五百三十三條　第一千五百三十四條　第一千五百三十五條　第一千五百三十六條　第一千五百三十七條　第一千五百三十八條　第一千五百三十九條　第一千五百四十條　第一千五百四十一條　第一千五百四十二條　第一千五百四十三條　第一千五百四十四條　第一千五百四十五條　第一千五百四十六條　第一千五百四十七條　第一千五百四十八條　第一千五百四十九條　第一千五百五十條　第一千五百五十一條　第一千五百五十二條　第一千五百五十三條　第一千五百五十四條　第一千五百五十五條　第一千五百五十六條　第一千五百五十七條　第一千五百五十八條　第一千五百五十九條　第一千五百六十條　第一千五百六十一條　第一千五百六十二條　第一千五百六十三條　第一千五百六十四條　第一千五百六十五條　第一千五百六十六條　第一千五百六十七條　第一千五百六十八條　第一千五百六十九條　第一千五百七十條　第一千五百七十一條　第一千五百七十二條　第一千五百七十三條　第一千五百七十四條　第一千五百七十五條　第一千五百七十六條　第一千五百七十七條　第一千五百七十八條　第一千五百七十九條　第一千五百八十條　第一千五百八十一條　第一千五百八十二條　第一千五百八十三條　第一千五百八十四條　第一千五百八十五條　第一千五百八十六條　第一千五百八十七條　第一千五百八十八條　第一千五百八十九條　第一千五百九十條　第一千五百九十一條　第一千五百九十二條　第一千五百九十三條　第一千五百九十四條　第一千五百九十五條　第一千五百九十六條　第一千五百九十七條　第一千五百九十八條　第一千五百九十九條　第一千六百條　第一千六百一條　第一千六百二條　第一千六百三條　第一千六百四條　第一千六百五條　第一千六百六條　第一千六百七條　第一千六百八條　第一千六百九條　第一千六百十條　第一千六百十一條　第一千六百十二條　第一千六百十三條　第一千六百十四條　第一千六百十五條　第一千六百十六條　第一千六百十七條　第一千六百十八條　第一千六百十九條　第一千六百二十條　第一千六百二十一條　第一千六百二十二條　第一千六百二十三條　第一千六百二十四條　第一千六百二十五條　第一千六百二十六條　第一千六百二十七條　第一千六百二十八條　第一千六百二十九條　第一千六百三十條　第一千六百三十一條　第一千六百三十二條　第一千六百三十三條　第一千六百三十四條　第一千六百三十五條　第一千六百三十六條　第一千六百三十七條　第一千六百三十八條　第一千六百三十九條　第一千六百四十條　第一千六百四十一條　第一千六百四十二條　第一千六百四十三條　第一千六百四十四條　第一千六百四十五條　第一千六百四十六條　第一千六百四十七條　第一千六百四十八條　第一千六百四十九條　第一千六百五十條　第一千六百五十一條　第一千六百五十二條　第一千六百五十三條　第一千六百五十四條　第一千六百五十五條　第一千六百五十六條　第一千六百五十七條　第一千六百五十八條　第一千六百五十九條　第一千六百六十條　第一千六百六十一條　第一千六百六十二條　第一千六百六十三條　第一千六百六十四條　第一千六百六十五條　第一千六百六十六條　第一千六百六十七條　第一千六百六十八條　第一千六百六十九條　第一千六百七十條　第一千六百七十一條　第一千六百七十二條　第一千六百七十三條　第一千六百七十四條　第一千六百七十五條　第一千六百七十六條　第一千六百七十七條　第一千六百七十八條　第一千六百七十九條　第一千六百八十條　第一千六百八十一條　第一千六百八十二條　第一千六百八十三條　第一千六百八十四條　第一千六百八十五條　第一千六百八十六條　第一千六百八十七條　第一千六百八十八條　第一千六百八十九條　第一千六百九十條　第一千六百九十一條　第一千六百九十二條　第一千六百九十三條　第一千六百九十四條　第一千六百九十五條　第一千六百九十六條　第一千六百九十七條　第一千六百九十八條　第一千六百九十九條　第一千七百條　第一千七百一條　第一千七百二條　第一千七百三條　第一千七百四條　第一千七百五條　第一千七百六條　第一千七百七條　第一千七百八條　第一千七百九條　第一千七百十條　第一千七百十一條　第一千七百十二條　第一千七百十三條　第一千七百十四條　第一千七百十五條　第一千七百十六條　第一千七百十七條　第一千七百十八條　第一千七百十九條　第一千七百二十條　第一千七百二十一條　第一千七百二十二條　第一千七百二十三條　第一千七百二十四條　第一千七百二十五條　第一千七百二十六條　第一千七百二十七條　第一千七百二十八條　第一千七百二十九條　第一千七百三十條　第一千七百三十一條　第一千七百三十二條　第一千七百三十三條　第一千七百三十四條　第一千七百三十五條　第一千七百三十六條　第一千七百三十七條　第一千七百三十八條　第一千七百三十九條　第一千七百四十條　第一千七百四十一條　第一千七百四十二條　第一千七百四十三條　第一千七百四十四條　第一千七百四十五條　第一千七百四十六條　第一千七百四十七條　第一千七百四十八條　第一千七百四十九條　第一千七百五十條　第一千七百五十一條　第一千七百五十二條　第一千七百五十三條　第一千七百五十四條　第一千七百五十五條　第一千七百五十六條　第一千七百五十七條　第一千七百五十八條　第一千七百五十九條　第一千七百六十條　第一千七百六十一條　第一千七百六十二條　第一千七百六十三條　第一千七百六十四條　第一千七百六十五條　第一千七百六十六條　第一千七百六十七條　第一千七百六十八條　第一千七百六十九條　第一千七百七十條　第一千七百七十一條　第一千七百七十二條　第一千七百七十三條　第一千七百七十四條　第一千七百七十五條　第一千七百七十六條　第一千七百七十七條　第一千七百七十八條　第一千七百七十九條　第一千七百八十條　第一千七百八十一條　第一千七百八十二條　第一千七百八十三條　第一千七百八十四條　第一千七百八十五條　第一千七百八十六條　第一千七百八十七條　第一千七百八十八條　第一千七百八十九條　第一千七百九十條　第一千七百九十一條　第一千七百九十二條　第一千七百九十三條　第一千七百九十四條　第一千七百九十五條　第一千七百九十六條　第一千七百九十七條　第一千七百九十八條　第一千七百九十九條　第一千八百條　第一千八百一條　第一千八百二條　第一千八百三條　第一千八百四條　第一千八百五條　第一千八百六條　第一千八百七條　第一千八百八條　第一千八百九條　第一千八百十條　第一千八百十一條　第一千八百十二條　第一千八百十三條　第一千八百十四條　第一千八百十五條　第一千八百十六條　第一千八百十七條　第一千八百十八條　第一千八百十九條　第一千八百二十條　第一千八百二十一條　第一千八百二十二條　第一千八百二十三條　第一千八百二十四條　第一千八百二十五條　第一千八百二十六條　第一千八百二十七條　第一千八百二十八條　第一千八百二十九條　第一千八百三十條　第一千八百三十一條　第一千八百三十二條　第一千八百三十三條　第一千八百三十四條　第一千八百三十五條　第一千八百三十六條　第一千八百三十七條　第一千八百三十八條　第一千八百三十九條　第一千八百四十條　第一千八百四十一條　第一千八百四十二條　第一千八百四十三條　第一千八百四十四條　第一千八百四十五條　第一千八百四十六條　第一千八百四十七條　第一千八百四十八條　第一千八百四十九條　第一千八百五十條　第一千八百五十一條　第一千八百五十二條　第一千八百五十三條　第一千八百五十四條　第一千八百五十五條　第一千八百五十六條　第一千八百五十七條　第一千八百五十八條　第一千八百五十九條　第一千八百六十條　第一千八百六十一條　第一千八百六十二條　第一千八百六十三條　第一千八百六十四條　第一千八百六十五條　第一千八百六十六條　第一千八百六十七條　第一千八百六十八條　第一千八百六十九條　第一千八百七十條　第一千八百七十一條　第一千八百七十二條　第一千八百七十三條　第一千八百七十四條　第一千八百七十五條　第一千八百七十六條　第一千八百七十七條　第一千八百七十八條　第一千八百七十九條　第一千八百八十條　第一千八百八十一條　第一千八百八十二條　第一千八百八十三條　第一千八百八十四條　第一千八百八十五條　第一千八百八十六條　第一千八百八十七條　第一千八百八十八條　第一千八百八十九條　第一千八百九十條　第一千八百九十一條　第一千八百九十二條　第一千八百九十三條　第一千八百九十四條　第一千八百九十五條　第一千八百九十六條　第一千八百九十七條　第一千八百九十八條　第一千八百九十九條　第一千九百條　第一千九百一條　第一千九百二條　第一千九百三條　第一千九百四條　第一千九百五條　第一千九百六條　第一千九百七條　第一千九百八條　第一千九百九條　第一千九百十條　第一千九百十一條　第一千九百十二條　第一千九百十三條　第一千九百十四條　第一千九百十五條　第一千九百十六條　第一千九百十七條　第一千九百十八條　第一千九百十九條　第一千九百二十條　第一千九百二十一條　第

◉朝鮮私設鐵道令施行規則第四十八條ノ營業報告書及統計報告書竝第四十九條ノ鐵道臺帳ノ樣式

大正九年十一月十日
朝鮮總督府告示第二百七十五號

改正　大正一五年一二月第三九二號

朝鮮私設鐵道令施行規則第四十八條ノ營業報告書及統計報告書竝第四十九條ノ鐵道臺帳ノ樣式左ノ通定ム

（營業報告書樣式）

年　月　日

朝鮮總督府鐵道局長　宛

鐵道代表者名　㊞

年上（下）期自　年　月　日至　年　月　日營業報告書

一　概況　本項ハ事業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於テ行政廳ニ申請ジタル事項及其ノ指令ノ要領、商業登記、株主總會、鐵道從事員、株主ニ關スル事項、訴訟其ノ他ノ重要ナル庶務事項ヲ記載スヘシ

二　工事　本項ハ工事ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ建設改良及保存工事ニ分チ建設改良工事ニ付テハ當該期間ニ於ケル工事施行區域、工程及工事ノ現況ヲ記載シ繼續工事ニ係ルモノハ其ノ期間ニ於ケル竣功歩合及工事ノ現況ヲ記シ保存工事ニ付テハ其ノ重要ナルモノノ工程ヲ記載スヘシ

三　運輸　本項ハ運輸ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業日數、旅客及貨物ノ數量、收入總額、一日一哩ノ平均收入、營業費、一日一哩ノ平均營業費等ヲ表記シ前期及前前期ニ比較シテ增減ノ主因ヲ說明シ運轉上重大ナル事故ヲ記載スヘシ

四　會計　本項ハ會計ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル株式ノ增減、株金ノ拂込、借入金、社債金、其ノ他會計ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

五　他ノ業務ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ概況ヲ記載スヘシ

六　營業報告書ニハ別表ニ準シ諸表ヲ調製添附スヘシ

株式會社ニ在リテハ提出スヘキ營業報告書等ヲ承認シタル株主總會及當該期間ニ招集シタル臨時株主總會ノ議事要領書ヲ添附スヘシ

〔朝〕

第一表

貸借對照表

在現日　月　年

鐵道

借方 科目	借方 金額	貸方 科目	貸方 金額
	圓		圓
金費	金	資本金	金
費金	金	資本金	金
金品	金	別途積立金	金
品券	金	準備金	金
本設	一	準備金	金
設業		債入金	金
資建	〃	借當越額	金
建與	〃	抵當手形	金
與業	〃	入借金	金
業出	〃	借當拂	金
出入	〃	越手配	金
入物	〃	手當受	金
物收	〃	當立積	金
收物	〃	立金	金
物證	〃	金越繰	金
證藏	〃	越益補	金
藏出	〃	益助金	一
出濟	〃	助金	一
濟間	〃	金	一
間未	〃		
未業	〃		
業收	〃		
收入	〃		
入金	〃		
金何	〃		
何込	〃		
込何	〃		
何拂	〃		
拂何	〃		
何假	〃		
假未	〃		
未預	〃		
預貯	〃		
貯假	〃		
假有	〃		
有現	一		
合計		合計	

備考

1　假出金、未收入金、預金、有價證券（額面又ハ拂込額ヲモ記入スヘシ）未拂金、假受金ハ其ノ內譯及性質ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スヘシ製造物品、機械場勘定、支店勘定等アルトキ亦同シ

2　株式ニ優先株、普通株及舊株、新株等ノ區別アルトキハ各金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

3　拂込未濟資本金ニ付テハ其ノ株數及各株ノ拂込未濟金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

〔朝〕

第二表

損益計算表
自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

収入 科目	金額	支出 科目	金額	損益
	圓		圓	圓
客車運輸収入		保存費		
貨車運輸収入		汽車費		
雑収入		運輸費		
計		総係費		
雑収入		諸税額		
合計		建設費分擔額		
何業何総計		聯絡運輸営業費		
		計		
		鉄道業負擔諸利子		
		鉄道業負擔諸損金		
		社債差金		
		財産價額消却金		
		雑損		
		合計		
		何業何総計		

備考

1 雑損ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ欄外ニ説明スヘシ

2 各事業ニ於テ諸利子ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外ニ記載シ其ノ計算方法ヲ説明スヘシ

3 鉄道業負擔諸利子ハ其ノ内譯ヲ記載スヘシ

4 財産價額消却金ハ其ノ内容ヲ説明スヘシ

第三表

利益處分表
自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

収入 科目	金額	支出 科目	金額
	圓		圓
前期繰越金		法定準備金	
當期純益金		任意準備金	
政府補助金		役員賞與金	
合計		優先株配當金（年何分）	
		普通株配當金（〃）	
		後期繰越金	
		合計	

備考

1 優先株又ハ普通株ニ數種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スヘシ

2 年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ期日及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

第四表

營業收入明細表
自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

科目	金額	摘要
	圓	
運輸収入		
客車収入		
旅客運賃		
手荷物運賃		
小荷物運賃		
郵便物運賃		
計		
貨車収入		
小口扱運賃		
車扱運賃		
計		
運輸雑収入		
車輛使用料		
入場料		
保管料		
計		
雑収入		
雑収入		
預金利子		
株金延滯利子		
株券書替手數料		
物品賣拂代		
計		
雑収入		
各事業分當額		
合計		

備考

1 前期ニ比シ著シク増減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スヘシ

2 雑入及物品賣拂代ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

第五表

營業費明細表

自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

科目	金額	摘要	科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
	圓			圓			圓	
保存費			石炭費			給料		
監督費			一一一			旅費		
給料			修繕費			一一一		
旅費			機關車			何何		
一一一			客車			諸稅		
修繕費			貨車			國稅		
軌道			一一一			一一一		
橋梁			運轉費			一一一		
停車場			監督費			一一一		
諸建物			給料			一一一		
一一一			旅費			地方稅		
借地料			一一一			一一一		
何何			停車場費			一一一		
一一一			給料			一一一		
汽車費(電車費)			乘車券費			一一一		
監督費			一一一			計		
給料			何何			各事業關聯營業費分擔額		
旅費			一一一			建設事業關聯費分擔額		
一一一			總係費			合計		
運轉費			本社費					
給料			報酬					

備考

1 前期ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スヘシ

2 雜費ハ其ノ主ナル內譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

3 汽車費(電車費)ハ二種以上ノ動力ヲ使用スル場合ハ各動力別ニ項ヲ設ケ區別記載スヘシ

第六表

建設事業關聯營業費明細表

自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

科目	金額	摘要
	圓	
工事監督費		
給料		
旅費		
一一一一		
總係費		
報酬		
旅費		
一一一一		
何何		
一一一一		
合計		

備考

1 前期ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スヘシ

2 雜費ハ其ノ主ナル內譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

3 建設事業關聯費ヲ建設費營業費ニ分割スルトキハ其ノ割合ヲ說明スヘシ

4 各事業關聯興業費、各事業興業事業關聯費、各區間關聯建設費、各事業關聯營業收入及各事業關聯營業費アルトキハ本表ニ準シ調製添附スヘシ

第七表

建設費豫算決算對照表

自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

科目	豫算額	決算額 前期決算末須	決算額 當期繰越額	決算額 當期歳出額	決算額 計	摘要
費費費地地地地當費費取堤築換道垣費梁橋所費渠渠	圓	圓	圓	圓	圓	
督用用用						
監用換用用						
及地場付所所手						
路場切石橋拱箇						
工切築地付						
路路場切						
車道留梁川川外橋						
道電電川						
量線線停川踏土橋何何何溝開暗						
測用線停川發變諸雜土						

科目	豫算額	決算額 前期決算末須	決算額 當期繰越額	決算額 當期歳出額	決算額 計	摘要
費費道所費品叉木利費費驛所場費車車車費費費	圓	圓	圓	圓	圓	
何箇關(機)客貨						
屬轍附(氣)(隨)場物						
及(電)(附)動送						
附(氣)(隨)械建						
設(動)器						
場(電)諸						
箇何留輛						
外何何停						
驛車						
伏隧何何軌轉枕砂敷雜						
隧軌轉枕砂敷雜						
道條轍						
及器						
道隧外						
樋道隧						
何箇						
費費道所費品叉木利費費驛所場費車車車費費費						

科目	豫算額	決算額 前期決算末須	決算額 當期繰越額	決算額 當期歳出額	決算額 計	摘要
費費費費線線柱料ド號費費費費	圓	圓	圓	圓	圓	
車具杭路						
列用境線線電電車　材信						
築築及信力　ン線氣電						
建建構通電　送饋電電架ポ電工　係計						
發變總						
各事業關聯興業費分擔						
擔額設建額　合計・聯關營業費分擔						

備考

1 本表ハ建設費豫算ヲ區別シタル區間毎ニ調製スヘシ

2 同一豫算ノ區間ニ開業線ト未開業線トアルトキハ各線別ニ其ノ合計金額ヲ欄外ニ記載スヘシ但シ正確ニ區分スルコト能ハサルトキハ一定ノ標準ヲ定メ之ヲ區分說明スヘシ

3 當期決算又ハ戻入額アルトキハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スヘシ但シ未開業開業區間ニ在リテハ說明ヲ要セス

第十六章　交通　第二節　鐵道運輸　第二款　鐵道

貯藏物品明細表

年　月　日現在

鐵道

種別	金額	摘要
	圓	
工事用品		
軌條及附屬品		
轉轍器及轍叉		
枕木		
信號機及附屬品		
橋桁		
車輛用品		
電氣用品		
土管		
セメント		
砂利		
鐵材		
石材		
木材		
—————		
運轉用品		
石炭		
油脂		
絲屑		
—————		
營業及事務用品		
乘車券類		
被服類		
薪炭類		
備消品		
—————		
合計		

備考

假出物品アルトキハ本表ニ準シ調製添附スヘシ

第九表

職員表

年　月　日現在

鐵道

職名	人員	給料月額	諸給與月額	職名	人員	給料月額	諸給與月額	職名	人員	給料月額	諸給與月額
		圓	圓	— — —		圓	圓	保線			
取締役社長				計				保線長			
專務取締役				運輸				保線手			
常務取締役				運輸長				線路工夫			
取締役				驛長				踏切番			
監査役				助役				— — —			
支配人				出札掛				計			
計				改札掛				電氣			
庶務				貨物掛				電氣長			
書記				小荷物掛				發電所主任			
雇				操車掛				變電所主任			
— — —				轉轍手				電路主任			
計				驛夫				電車庫主任			
合計				車掌				運轉手			
書記				機關庫主任				電工			
雇				機關手				電氣工夫			
— — —				機關助手				— — —			
計				檢車手				計			
建設				機關夫				合計			
主任技術者				炭水夫							
書記				— — —							
技手				計							
雇											

備考

1 給料月額欄ニハ年俸額ハ其ノ十二分ノ一、日給額ハ其ノ三十倍ヲ記載スヘシ

2 諸給與月額欄ニハ臨時手當、賞與金、社宅料、被服代其ノ他時間增手當等ノ諸給與金ヲ一月分ニ平均シタルモノヲ記載スヘシ

3 同一人ニテ他ノ業務ヲ兼務スルトキハ之ヲ明ニスヘシ

第一表

線路表

年　月　日現在

鐵道

種類	區間	哩程 單線	哩程 複線	哩程 計	側線延長	停車場及停留場數	摘要
	何何間	哩鎖	哩鎖	哩鎖	哩鎖		
	〃 〃 〃						
開業線	〃 〃 〃						
	間(旅客專用線)						
	〃(貨物專用線)						
工事施行認可線	間						
工事施行未認可線	〃 〃 〃						
計							

備考

1 停車場及停留場數ハ開業線ニ係ルモノノミヲ記載スヘシ

2 他ノ鐵道所屬ノ停車場ヲ共同使用スルモノハ之ヲ朱書スヘシ

3 他ノ鐵道線路ヲ共用シ又ハ借受使用スルモノアルトキハ開業線ノ欄ニ記載スヘシ

4 前期末現在ニ異動ナキトキハ其ノ旨ヲ記載シ本表ヲ省略スルコトヲ得以下各表之ニ同シ

（統計報告書樣式）

年　月　日

朝鮮總督府鐵道部長宛

年　月　日統計報告書

年上（下）期自　年　月　日

至　年　月　日

鐵道代表者名

第二表

機關車表

年　月　日現在

鐵道

種類			輛數	總重量	摘要
蒸氣機關車	テンダー機關車	六輪聯結車		噸分厘	噸分厘	
		‥ ‥ ‥				
		計				
	タンク機關車	‥ ‥ ‥				
		‥ ‥ ‥				
		計				
	合計					
電氣機關車	四輪ボギー車					
	‥ ‥ ‥ ‥ ‥ ‥					
	計					
總計						

備考

1 入換又ハ工事ニ專用スルモノ及修繕中若ハ認可ヲ得テ貸借中ノモノハ各別ニ符號ヲ附シ區別記載スヘシ

2 蒸氣機關車ノ總重量ハ各車運轉整備ノトキニ於ケル重量ノ合計ヲ記載スヘシ

第三表

客車表

年　月　日現在

鐵道

種類		輛數	定員總數 一等	二等	三等	計	手小荷物室郵便室容積合計	摘要
ボギー車	一等客車 定員　人		人	人	人	人	立方呎	
	二等客車 定員　人							
	二、三等合造車 定員二等　人 定員三等　人							
	三等客車 定員　人							
	手小荷物緩急車							
	郵便車							
	‥ ‥ ‥ ‥ ‥ ‥							
	計							
四輪車	一等客車 定員　人							
	二等客車 定員　人							
	三等客車 定員　人							
	手小荷物緩急車							
	郵便車							
	‥ ‥ ‥ ‥ ‥ ‥							
	計							
合計								

備考

1 電車及汽動車ハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

2 定員總數ハ客車定員ノ合計ヲ記載スヘシ

3 修繕中又ハ認可ヲ得テ貸借中ノモノハ各別ニ符號ヲ附シ區別記載スヘシ

第四表

貨車表

年 月 日現在

鐵道

種		類		輛數	積載總量 容積	積載總量 重量	摘要
有蓋貨車	ボギー車	貨物車	7噸積		噸	噸	
		家畜車					
		緩急車					
		〃	〃				
		計					
	四輪車	〃	〃				
		〃	〃				
		〃	〃				
		計					
無蓋貨車	ボギー車	材木車					
		鑛石車					
		〃	〃				
		計					
	四輪車	〃	〃				
		〃	〃				
		〃	〃				
		計					

備考

1 電車及汽動車ハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

2 積載總量ハ各車ノ標記容積又ハ重量ノ合計ヲ記載スヘシ

第五表

機關車、列車、客車及貨車走行哩表

自 年 月 日至 年 月 日

鐵道

種	別		哩程 自己車輛自線走行	哩程 他鐵道車輛自線走行	哩程 計	哩程 自己車輛他鐵道走行	摘要
機關車走行哩	列車牽引	蒸氣機關車					
		電氣機關車					
		汽動車					
		電車					
		計					
	補助	蒸氣機關車					
		電氣機關車					
		汽動車					
		電車					
		計					
	入換	蒸氣機關車					
		電氣機關車					
		汽動車					
		電車					
		計					
	單行	蒸氣機關車					
		電氣機關車					
		計					
	合計						
	旅客列車	蒸氣機關車牽引					
		電氣機關車牽引					
		汽動車牽引					
		電車牽引					
		計					

3 借入車ノ走行哩程ハ自己車輛走行中ニ計上スヘシ

2 自己所屬ノ客車及貨車ニシテ他鐵道走行ノ列車聯結別走行哩程不明ナルモノハ單ニ合計ノミヲ記載シ牽引内譯ヲ省略スルコトヲ得

1 哩程ハ營業上運轉シタルモノヲ記載シ建築及保線用ニ係ルモノヲ算入スヘカラス

備考

列車走行哩	貨物列車	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車牽引				
		計				
	混合列車	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車牽引				
		計				
	合計					
客車走行哩	旅客列車聯結	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車				
		汽動車牽引				
		電車				
		電車牽引				
		計				
	混合列車聯結	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車				
		汽動車牽引				
		電車				
		電車牽引				
		計				
	合計					
貨車走行哩	貨物列車聯結	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車				
		電車牽引				
		計				
	混合列車聯結	蒸氣機關車牽引				
		電氣機關車牽引				
		汽動車牽引				
		電車				
		電車牽引				
		計				
	合計					

第六表

運轉用燃料、電力及油脂消費額表

自 年 月 日至 年 月 日

鐵道

種別				數量	代價	摘要
燃料	蒸氣機關車	運轉用	石炭	斤	圓	
			〃 〃 〃			
		點火用	石炭			
			〃 〃 〃			
		計				
	汽動車	運轉用	石炭			
			〃 〃 〃			
		點火用	石炭			
			〃 〃 〃			
		計				
電力	電氣機關車			キロワット時		
	電車					

油脂	蒸氣機關車用	礦油	合	
		種油		
		‥ ‥ ‥		
		計		
	汽動車用	礦油		
		種油		
		‥ ‥ ‥		
		計		
	電氣機關車用	礦油		
		種油		
		‥ ‥ ‥		
		計		
	電車用	礦油		
		種油		
		‥ ‥ ‥		
		計		
	客貨車用	礦油		
		種油		
		‥ ‥ ‥		
		計		

備考

1　數量及代價ハ營業上使用シタルモノ(點燈用油脂ヲ除ク)ノミヲ記載スヘシ

2　蒸氣機關車、汽動車、電氣機關車及電車ニ在リテハ自己所屬ノ車輛(借入車ヲ含ム)カ自己線路ヲ走行シタル場合ニ於テ消費シタルモノノミヲ記載シ他ノ鐵道所屬線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

3　客貨車ニ在リテハ車輛所屬ヲ問ハス自己線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノノミヲ記載スヘシ

第七表

旅客貨物數量及運輸收入月別表

自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

	數量										運輸收入												摘要
	旅客				手小荷物			貨物			旅客				手小荷物			郵便物	貨物			運輸雜收	合計	
	一等	二等	三等	計	手荷物(有賃ノ)	小荷物	計	小口扱	車扱	計	一等	二等	三等	計	手荷物	小荷物	計		小口扱	車扱	計			
月	人	人	人	人	斤	斤	斤	噸分	噸	噸分	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
計																								

備考

1　定期乘車ハ一日一往復トシ回數乘車ハ其ノ回數、團體及貸切乘車ハ現乘車人員ニ依リ延人員ヲ乘車券發賣當月分ニ算入シ該乘車券ノ券數、延人員及運賃ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

2　箇數又ハ頭數ヲ以テ取扱ヒタルモノハ之ヲ斤又ハ噸ニ換算スヘシ

3　斤又ハ貫ヲ以テ取扱ヒタルモノハ實重量ヲ噸ニ換算(千七百斤又ハ二百七十貫ヲ一噸ニ)スヘシ

4　車扱又ハ噸ヲ以テ取扱ヒタルモノハ賃金計算噸數ニ依リ之ヲ計上スヘシ

5　本表ノ運輸收入合計ハ營業報告書營業收入明細表ノ運輸收入ト一致スルモノトス

第八表

驛別運輸收入表

自 年 月 日至 年 月 日

鐵道

區間	驛名	旅客	手小荷物	郵便物	貨物	運輸雜收	合計	摘要
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	
間	計							
間	計							
他鐵道扱ニシテ當會社所屬ノ分								
合計								

備考

1 他ノ鐵道ト連帶運輸ヲ爲スモノニ在リテハ他ノ鐵道ニ屬スルモノヲ控除スヘシ

2 他ノ鐵道所屬ノ驛ヲ共同使用スル場合ニハ其ノ驛ニ於テ取扱ヒタルモノハ他ノ鐵道扱ニ算入セス其ノ驛名ヲ掲ケ區別記載スヘシ

3 區間制及均一制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノハ驛名ノ項ニ欄ヲ設ケ一括記載スヘシ

第九表

旅客(貨物)各驛相互發著表

自 年 月 日至 年 月 日

鐵道

發＼著	朝鮮線(本線)	他會社線				(支線)		計
朝鮮線(本線)								
他會社線								
(支線)								
計								

備考

1 定期乘車ハ一日一往復トシ、回數乘車ハ其ノ回數、團體及貸切乘車ハ現乘車人員ニ依リ延人員ヲ乘車券發賣當月分ニ算入スヘシ

2 定期、回數及往復乘車券ニ對スル旅客人員ハ兩端驛ニ分記スヘシ

3 區間制及均一制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ本表ヲ省略スルコトヲ得

但シ一部不明ノ場合ニ於テハ判明セル分ノミニ付キ本表ヲ作製スヘシ

（鐵道臺帳様式）

第十表

旅客（貨物）發著通過及延哩表

自 年 月 日至 年 月 日

鐵道

驛名		下リ 發	下リ 著	上リ 發	上リ 著	通過 下リ	通過 上リ	通過 計	驛間哩	延人（噸）哩 下リ	延人（噸）哩 上リ	摘要
本線	他鐵道扱								哩 分			
	支線											
	支線											
	計											
支線												
	本線											
	計											

備考

1 驛間哩ハ營業哩ヲ記載スヘシ

2 區間制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ乘車延區間數、總區間數及下記算式ニ依リ計算シタル延人哩ヲ記載シ本表ヲ省略スルコトヲ得

$$\frac{\text{乘車延區間數}}{\text{總區間數}} \times \text{營業哩} = \text{延人哩}$$

3 均一制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ適當ナル方法ニ依リ延人哩ヲ算出シ其ノ計算方法ヲ附記スヘシ

第一表ノ一（用地臺帳裏面様式）

用地臺帳ノ一

道　郡（府）　面

里洞	地番	原地目	面積 公簿	面積 實測	價額 土地代價	價額 諸手當	價額 合計	取得 方法	取得 年月日	登記 種別	登記 番號	登記 年月日	地種組替 地所名稱	地種組替 年月日	原所有者 住所	原所有者 氏名	記事

備考

1 原地目欄ニハ土地臺帳ニ登錄ノ土地ハ公簿面ノ地目其ノ他ハ取得當時ノ地目ヲ記載スヘシ

2 面積欄ニハ一筆毎ニ歩又ハ坪ノ單位ヲ肩書シ土地臺帳登錄ノ面積ニ依リ取得シタルモノハ公簿面積ヲ其ノ他ノモノハ實測面積ヲ記載スヘシ

3 價額欄土地代價ニハ買收代價、收用補償交換ノ場合ニハ評價額、無償讓受ノ場合ニハ見積額ヲ記載シ諸手當ニハ地上物件ノ移轉費、補償費等ヲ記載スヘシ

4 取得欄方法ニハ買收、收用、有償讓受、交換、無償讓受等ヲ記載スヘシ
同欄年月日ニハ買收ハ土地賣渡證書記載ノ年月日、收用ハ收用審査會裁決ノ收用時期、讓受及交換ハ協定ノ年月日ヲ記載スヘシ

5 登記欄種別ニハ所有權ノ移轉又ハ保存ノ區別ヲ記載スヘシ

6 地種組替欄地所名稱ニハ鐵道線路敷地、鐵道用地ノ區別ヲ記載シ同欄年月日ニハ地種組替處理濟ノ年月日ヲ記載スヘシ

7 喪失欄原因ニハ有償讓渡、無償讓渡、賣渡、賣戻、交換等ノ區別ヲ記載スヘシ
同欄面積ニハ取得面積ニ對スル喪失面積ヲ記載スヘシ

第一表ノ二(用地臺帳表面樣式)

用地臺帳ノ二

喪							失										
年月日	原因	面積	土地代價	氏名	記事		年月日	原因	面積	土地代價	氏名	記事	年月日	原因	面積	土地代價	氏名	記事

第一表ノ三(用地臺帳附屬合計簿樣式)

用地臺帳ノ三

道　郡(府)　面

年月日	地所名稱	增加			減少			記事	年月日	地所名稱	增加			減少			記事
		筆數	面積	價額	筆數	面積	價額				筆數	面積	價額	筆數	面積	價額	

備考

1 增加欄面積ニハ取得面積ヲ記載シ同欄ノ價額ニハ土地代價及諸手當ノ合計額ヲ記載スヘシ

2 減少欄面積ニハ取得面積ニ對スル喪失面積ヲ記載シ同欄價額ニハ土地代價ノミヲ記載スヘシ

3 每期末ニ於テ其ノ期內ノ增加及減少ノ各面積、價額ヲ地所名稱每ニ合計シ更ニ地所名稱每ノ累計ヲ各朱記スヘシ

第二表(橋梁臺帳樣式)

● 橋梁臺帳　橋魂

圖面番號第　號

種目	年月日現況	變更修理年月日	變更修理理由	變更修理要旨	摘要
位置	哩鎖節				
箇所	何號運線第何哩何鎖何米何糎				
軌道數	單線、複線				
寸法	長(兩橋臺面間ノ距離)	呎吋			
	徑間ノ長及箇數	呎吋箇			
	拱軸ノ長	呎吋			
角度及方向	直角又ハ斜角度右又ハ左				
各徑間ノ桁ノ總重	呎吋鐵桁、噸分厘				
拱又ハ桁	材質	呎吋鋼桁、呎吋木桁			
	形式	呎吋鋼鈑桁何式			
	製造年				
	製造者	會社工場			
	所定動荷重	何噸何輪準據何鐵道聯軌何等線路何種重量ノ對度			
橋臺	材質				
	基礎工	杭打混凝土工			
橋脚	材質				
	基礎工	杭打混凝土工、煉瓦沈井工			
翼壁ノ材質及構造		間知石空積、煉瓦積			
橋梁上線路ノ勾配					
橋梁上線路	直線又ハ曲線半徑				
起工年月					
竣工年月					
建設費					
記事	工費中重大ナル事項其ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載スヘシ				

備考

1 橋梁、溝橋、跨線道路橋及水道橋ヲ記載スヘシ

2 一箇ノ橋梁ニ二箇以上ノ鐵道線路ヲ架設スルトキハ各所屬線ニ分劃記載シ欄外橋梁名稱ノ下ニ「何線ト連續」ノ旨ヲ附記スヘシ

3 橋臺ヲ異ニスル少許ノ距離ヲ有シ併列スルモノハ一箇ノ橋梁ト看做シ記載スヘシ

第十七號 改正 第十四條 第一項 第十四號 追加

第三表(隧道臺帳樣式)

隧　道　臺　帳

圖面番號第　　號

隧道

種目		年月日現況
位置		自哩鎖節至哩鎖節
箇所		何山、何ノ下、
軌道數		單線、複線
長		呎　吋
隧道內線路ノ勾配		
隧道內線路		直線又ハ曲線半徑
構造	拱ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質
	側壁ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質
	仰拱ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質
	排水渠ノ寸法、位置、材質	幅呎吋・深呎吋・長呎吋・中央又ハ兩側ノ別及材質
	待避所ノ寸法、位置	長呎吋・幅呎吋・深呎吋・左右ノ別及箇所數
	坑門ノ材質	
地質		
起工年月		
竣工年月		
建設費		
記事		工事中重大ナル事故其ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載スヘシ

變更修理年月日	變更修理理由	變更修理要旨	摘要

第四表ノ一(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ一

形式稱號

第　　號機關車

形式		
最大寸法	長	呎　吋
	幅	〃　〃
	高	〃　〃
汽笛	直徑	吋
	衝程	〃
實用最高汽壓		封度　吋
火床面積		平方呎
傳熱面積		〃
	焰管	〃
	火室	〃
過熱面積		〃
焰管	大	徑長數
	小	〃〃〃
水槽容量		ガロン
燃料櫃容積		立方呎
機關車重量	盈	噸
	空	〃
炭水車重量	盈	〃
	空	〃
車輪一對ノ軌條面上壓力 導輪	一位	〃
	二位	〃
働輪	一位	〃
	二位	〃
	三位	〃
	四位	〃
從輪		〃
牽引重量		

		直徑	輪緣 厚	輪緣 高	車輪一對ノ輪鐵內側距離	記事
車輪	導輪	呎吋	吋	吋	呎　吋	
	働輪	〃	〃	〃	〃	
	從輪	〃	〃	〃	〃	
	炭水車輪	〃	〃	〃	〃	

		ジヨーナル 徑	ジヨーナル 長	ホキール フイット 徑	ホキール フイット 長
車輪	導輪 一位	吋	吋	吋	吋
	導輪 二位	〃	〃	〃	〃
	働輪 一位	〃	〃	〃	〃
	働輪 二位	〃	〃	〃	〃
	働輪 三位	〃	〃	〃	〃
	働輪 四位	〃	〃	〃	〃
	從輪	〃	〃	〃	〃
	炭水車	〃	〃	〃	〃

制動機	種類				箇
	制輪子				
緩衝器	種類	兩側中心間距離 呎吋	軌條面ヨリ中心迄ノ高 呎吋	頭徑 吋	
聯結器種類					
搶彈機					
製造所名					
製造年月					
使用開始年月					
代價					
前所有者名					
舊番號					

噸

備考

機關車ノ配置替、貸與、借入、讓受、讓渡其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第四表ノ二(蒸氣機關車臺帳様式)

蒸氣機關車臺帳ノ二(修繕表)

年月日	修繕又ハ改造箇所	箇數	方法	記事
何年何月何日	右側前進エキセントリツク・ストラツプシユー	1	摺合	
〃	左側後サイドロッドブラス	1	取替	
自何月何日	左側第二働輪輪鐵	1	弛緩ニ付焼鈍直シ	何月何日修繕落成ニ付試運轉ヲ衆ネ何日何列車ニ充用ス
	働輪輪鐵	4	削正	成績良好、削正後ノ輪鐵ノ厚 $2\frac{37}{16}$
	働輪アクスルブラス(右前)	1	取替	車軸ジヨーナル、車軸篦其ノ他ヲ檢査ス
	同上	3	ホワイトメタル詰替摺合	各部異狀ヲ認メス
至何月何日	右側シリンダー取付ボールト	2	取替	
何月何日	ファイヤーグレート	一式	ロツキンググレートニ改造	何年何月何日監第何號認可、何工場製作、何月何日落成取付、成績良好(製作圖面別紙)
〃	同上ドロッププレート	1	新設	

備考

1 本表ニハ工場及機關庫ニ於テ施行シタル機關車ノ改造、洗罐及主要ナル修繕竝ニ檢査成績ヲ記載スヘシ

2 改造工事ニシテ認可ヲ受ケタルモノハ其ノ年月日及番號ヲ朱記スヘシ

3 汽罐ノ一部ニ當金ヲ爲シタルトキ又ハ焔管、繋桿、緩鉄等ノ取替ヲ爲シタルトキハ其ノ位置、形狀、寸法、材料ヲ示ス圖面ヲ添付シ焔管ニ在リテハ材料ノ新舊及材質ヲ記載スヘシ

4 特殊ノ辭、重要ナル部分ノ破損、古疵及變態竝ニ機關車ノ改良、保存及取扱上參考トナルヘキ事項ヲ記事欄ニ記載シ必要ニ應シ圖面ヲ添付スヘシ

5 常時外部ヨリ點檢不能ノ部分及特ニ破損又ハ故障多キ箇所ヲ修繕又ハ檢査シタルトキハ其ノ狀況及修繕後ノ經過ヲ記事欄ニ記載スヘシ

第四表ノ三(蒸氣機關車臺帳様式)

蒸氣機關車臺帳ノ三(運轉哩表)

年月	經過年月 最近大修繕後	經過年月 使用開始後	運轉哩 一月	運轉哩 最近大修繕後	運轉哩 使用開始後	記事
	年 月	年 月	哩	哩	哩	

第四表ノ四(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ四(一月檢查表)

檢查年月日 ＼ 檢查箇所		火室	焰管	管鈑	可鎖栓	制動機	檢水器	給水器及附屬活栓	火粉止裝置	記事

第四表ノ五(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ五(六月檢查表)

檢查年月日 ＼ 檢查箇所		汽筒 直徑 最大 左	汽筒 直徑 最大 右	汽筒 直徑 最小 左	汽筒 直徑 最小 右	汽筒 唧子及唧子桿 左	汽筒 唧子及唧子桿 右	汽筒 クリアランス 左 前	汽筒 クリアランス 左 後	汽筒 クリアランス 右 前	汽筒 クリアランス 右 後	汽櫃 內部	汽櫃 摺動弁厚 左	汽櫃 摺動弁厚 右	壓力計	眞空計	安全辨 第一 噴出壓力	安全辨 第一 噴出壓力	安全辨 第一 止力	安全辨 第二 噴出壓力	安全辨 第二 噴出壓力	安全辨 第二 止力	節汽弁	蒸汽管	放汽管	記事

第五表ノ一(汽車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ一

形式稱號

第　號汽動車

形式		燈ノ種類及箇數	時	記事
定員	等　人	汽筒ノ直徑及衝程	時	
	等　〃	實用最高汽壓	封度□吋	
容室面積	等室　平方呎	火床動面一積	平方呎	
	等室　〃	傳熱面積	〃	
定員一人ニ對スル面積	等室　〃	焰管	〃	
	等室　〃	火室	〃	
積載重量(荷物室)	噸	焰管	徑 時 / 長 呎 吋 / 數 本	
容積(荷物室)	立方呎			
自重	噸	水槽容量	ガロン	
最大寸法 長	呎吋	燃料櫃容積	立方呎	
最大寸法 幅	〃	モートルトラック重量(運轉整備)	噸	
最大寸法 高	〃			
	長 / 幅 / 高		直徑 / 輪鐵幅 / 輪緣 厚 / 輪緣 高 / 對輪ノ輪鐵內側距離	

内部寸法	客室	呎	吋	呎	吋	呎	吋	車輪	働輪	呎吋		吋	吋	吋	呎吋		
	客室								從輪								
	荷物室							車軸	働軸	ジョーナル 徑		長	ホキールフイツト 徑		長		
輪軸距	固定	呎吋								吋		吋	吋		吋		
	全	〃							從軸								
制動機種類及制輪子數																	
緩衝器	種類	中心間距離	兩側間隔	軌條面ヨリ中心迄ノ高	頭徑			製造所名									
								製造年月									
		呎吋		呎吋		吋		使用開始年月									
聯結器ノ種類								代價									
撞彈機								前所有者名									
臺枠								舊番號									

備考

貸與、借入、讓受、讓渡其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第五表ノ二(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ二(修繕表)

本表ハ第四表ノ二樣式ニ準シ作製スヘシ

第五表ノ三(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ三(運轉經歷表)

本表ハ第四表ノ三樣式ニ準シ作製スヘシ

第五表ノ四(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ四(一月檢査表)

本表ハ第四表ノ四樣式ニ準シ作製スヘシ

第五表ノ五(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ五(六月檢査表)

本表ハ第四表ノ五樣式ニ準シ作製スヘシ

第六表ノ一(電氣機關車臺帳樣式)

電氣機關車臺帳ノ一

形式種號　　第　　號電氣機關車

形式																	
最大寸法	長	呎吋		緩衝器	種類	兩側中心間距離		軌條面ヨリ中心迄ノ高		頭徑		記事					
	幅	〃				呎吋		呎吋		吋							
	高	〃		聯結器種類													
機關車重量		噸		撞彈機													
車輪一對ノ軌條面上壓力 導輪 一位		噸		車體製造者名													
導輪 二位		〃		トラック製造者名													
働輪 一位		〃		粟雷裝置種類													
働輪 二位		〃		電動機	製造者名	電壓		馬力數		箇數		齒車ノ數					
働輪 三位		〃															
働輪 四位		〃		電燈								箇					
從輪		〃			種類			箇數									
車輪 導輪	直徑	輪緣	輪緣 厚	高	輪一對ノ輪軸ノ間												
	呎吋	吋	吋	吋	呎吋												
働輪	〃	〃	〃	〃	〃												
從輪	〃	〃	〃	〃	〃												

車軸		ジョーナル 徑	ジョーナル 長	ホヰールフイット 徑	ホヰールフイット 長
導輪	一位	吋	吋	吋	吋
	二位	〃	〃	〃	〃
働輪	一位	〃	〃	〃	〃
	二位	〃	〃	〃	〃
	三位	〃	〃	〃	〃
	四位	〃	〃	〃	〃
從輪		〃	〃	〃	〃

制動機		
種類		
制輪子箇數		箇
ブレーキシリンダー	徑	吋
	衝程	吋
壓搾機	壓力	封度□吋
	容量	立方呎

附屬機械器具		
製造年月		
使用開始年月		
代價		
前所有者名		
舊番號		
牽引力		封度
速度		哩

備考

1 全負荷ノトキニ於ケル牽引力及速度ヲ記載スヘシ

2 貸與、借入、讓渡、讓受其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第六表ノ二(電氣機關車臺帳樣式)

電氣機關車臺帳ノ二(修繕表)

本表ハ第四表ノ二樣式ニ準シ作製スヘシ

第六表ノ三(電氣機關車臺帳樣式)

電氣機關車臺帳ノ三(運轉哩表)

本表ハ第四表ノ三樣式ニ準シ作製スヘシ

第六表ノ四(電氣機關車臺帳樣式)

電氣機關車臺帳ノ四(一月檢查表)

檢查年月日	檢查箇所	電路ト大地トノ間ニ於ケル絶緣抵抗	制動機	記事

第六表ノ五(電氣機關車臺帳樣式)

電氣機關車臺帳ノ五(一年檢查表)

檢查年月日	檢查箇所	電動機 第一	第二	第三	第四	制御裝置	聚電裝置	開閉器	自働遮斷器	避雷器	布設電線	接續電纜	各種計器	記事

第七表ノ一(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ一

形式番號　　記號番號

形式			緩衝器	種類	中心側面間距離	軌條面ヨリ中心迄ノ高	頭徑	記事			
定員	等	人			吋	吋	吋				
	等	〃									
客室面積	等室	平方吋	聯結器種類								
	等室	〃	擔彈機								
定員一人ニ對スル面積	等室	〃	臺枠								
	等室	〃	集電裝置種類								
積載重量 荷物室		噸	電動機	製造者名	電壓	馬力數	箇數	齒車ノ比			
積載重量 郵便室		〃									
容積 荷物室		立方吋	電燈					箇			
容積 郵便室		〃	煖房裝置								
自重		噸		種類			箇數				
最大寸法 長		吋									
最大寸法 幅		〃									
最大寸法 高		〃									
内部寸法	長	幅	高								
等室	吋	吋	吋								
等室	〃	〃	〃								
荷物室	〃	〃	〃								
郵便室	〃	〃	〃								
車體製造者名			附屬機械器具								
トラック製造者名											
輪軸距 固定		吋									
輪軸距 全		〃									

車輪	直徑	輪鐵幅	輪縁厚	輪縁高	車輪一對ノ輪鐵内側距離						
	吋	吋	吋	吋	吋						
車軸	ジョーナル 徑	ジョーナル 長	ホイールフイツト 徑	ホイールフイツト 長							
	吋	吋	吋	吋	製造年月						
制動機 種類					使用開始年月						
制動機 制輪子箇數		箇			代價						
制動機 ブレーキシリンダー 徑		吋			前所有者名						
制動機 ブレーキシリンダー 衝程		〃			寫番號						
制動機 壓搾機 壓力		封度	吋		牽引力					封度	
制動機 壓搾機 容量		立方吋			速度					哩	

備考

1 全負荷ノトキニ於ケル牽引力及速度ヲ記載スヘシ

2 貸與、借入、讓渡、讓受其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第七表ノ二(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ二(修繕表)

本表ハ第四表ノ二様式ニ準シ作製スヘシ

第七表ノ三(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ三(運轉哩表)

本表ハ第四表ノ三様式ニ準シ作製スヘシ

第七表ノ四(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ四(一月檢査表)

本表ハ第六表ノ四様式ニ準シ作製スヘシ

第七表ノ五(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ五(一年檢査表)

本表ハ第六表ノ五様式ニ準シ作製スヘシ

第八表ノ一(客車臺帳樣式)

客車臺帳ノ一

形式稱號　　記號番號

形式			車輪	直徑	輪鐵幅	輪緣厚	輪緣高	車輪一對ノ輪鐵內側距離	記事
定員	等	人		呎吋	吋	吋	吋	呎吋	
	等	〃		ジョーナル		ホヰールフイット			
容積	等室	平方呎	車軸	徑	長	徑	長		
	等室	〃		吋	吋	吋	吋		
定員一人ニ對スル面積	等室	平方呎	制動機ノ種類及制輪子ノ數						
	等室	〃	緩衝器	種類	兩側中心間距離	軌條面ヨリ中心迄ノ高	頭徑		
積載重量 荷物室		噸			呎吋	呎吋	吋		
郵便室		〃	聯結器種類						
容積 荷物室		立方呎	擔彈器						
郵便室		〃	臺枠						
自重		噸	燈ノ種類及箇數						
最大寸法 長		呎吋	煖房裝置						
幅		〃	製造所名						
高		〃	製造年月						
內部寸法	長	幅 高	使用開始年月						
等室	呎吋	呎吋 呎吋	代價						
等室	〃	〃 〃	前所有者名						
荷物室	〃	〃 〃	舊番號						
郵便室	〃	〃 〃							
輪軸距 固定		呎吋							
全		〃							

備考

貸與、借入、讓受、讓渡其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第八表ノ二(客車臺帳樣式)

客車臺帳ノ二(修繕表)

本表ハ第四表ノ二樣式ニ準シ作製スヘシ

〔四〕

第九表ノ一(貨車臺帳樣式)

貨車臺帳ノ一

形式稱號　　記號番號

形式		制動機種類及制輪子數		記事
積載重量	噸	緩衝器	種類 / 兩側中心間距離 / 軌條面ヨリ中心迄ノ高 / 頭徑	
容積	立方呎 〃		呎吋 呎吋 呎吋 吋	
自重	〃	聯結器ノ種類		
最大寸法 長	呎吋	擔彈器		
幅	〃	臺枠		
高	〃	製造所名		
內部寸法	長 幅 高	製造年月		
貨物室	呎吋 呎吋 呎吋	使用開始年月		
車掌室	〃 〃 〃	代價		
輪軸距 固定	呎吋	前所有者名		
全	〃	舊番號		
車輪	直徑 / 輪鐵幅 / 輪緣厚 / 輪緣高 / 車輪一對ノ輪鐵內側距離			
	呎吋 吋 吋 吋 呎吋			
車軸	ジョーナル 徑 長 / ホヰールフイット 徑 長			
	吋 吋 吋 吋			

備考

貸與、借入、讓受、讓渡其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第九表ノ二(貨車臺帳樣式)

貨車臺帳ノ二(修繕表)

本表ハ第四表ノ二樣式ニ準シ作製スヘシ

●外國ニ於テ鐵道ヲ敷設スル帝國會社ニ關スル法律

明治三十三年九月十五日
法律第八十七號

第一條　帝國議會ノ協賛ヲ經タル外國ニ於テ鐵道ヲ敷設スル帝國會社ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

帝國臣民ニシテ外國ニ於テ鐵道ヲ敷設シ運輸業ヲ營ム爲ニ帝國內ニ於テ設立スル會社ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケ之ニ準據セシムルコトヲ得

●外國ニ於テ鐵道ヲ敷設スル帝國會社ニ關スル件

明治三十三年九月十五日
勅令第三百六十六號

改正　明治四一年一二月第三〇四號
大正九年五月第一五六號

第一條　外國ニ於テ鐵道ヲ敷設シ運送業ヲ營ム爲帝國內ニ於テ帝國臣民ノ設立スル株式會社ニ關シテハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外商法及附屬法令ノ規定ヲ適用ス

第二條　會社ノ發起人ハ株金第一回拂込前定款、工事方法書、線路實測圖及工費豫算書ヲ具シ鐵道大臣ニ會社設立ノ免許ヲ申請スベシ

前項免許ノ申請ニハ株式申込證ノ謄本及必要ナル書類圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三條　會社ハ資本總額ヲ數回ニ分ツテ募集スルコトヲ得但シ第一回募集額ハ資本總額ノ五分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條　株金ノ第一回ノ拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得

第五條　第一回募集ノ資本ニ對スル第一回ノ株金拂込アリタルトキハ發起人ハ創立總會ヲ招集スルコトヲ得

第六條　定款變更ノ決議ハ鐵道大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效ヲ生セス

第七條　會社ハ鐵道大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ社債ヲ發行スルコトヲ得ス

社債總額ハ拂込株金額ノ十倍ニ至ルコトヲ得但シ其ノ額ハ資本總額ノ五分ノ四ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條　會社ハ鐵道大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ工費豫算及工事方法ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條　會社ハ鐵道大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併又ハ任意ノ解散ヲ爲スコトヲ得ス

第十條　會社カ本令ノ規定又ハ免許若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキハ鐵道大臣ハ役員ノ改選ヲ命シ又ハ免許若ハ認可ヲ取消スコトヲ得

會社ハ前項免許ノ取消ニ因リテ解散ス

第十一條　第六條、第八條乃至第十條ノ規定ハ外國ニ於テ鐵道ヲ敷設シ運輸業ヲ營ム爲帝國內ニ於テ舊商法ノ規定ニ依リテ設立シタル合資會社ニ之ヲ準用ス

第三款　自動車交通事業

●朝鮮自動車交通事業令

昭和八年九月七日
制令第十九號

改正　昭和一六年一月第三號

朝鮮自動車交通事業令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮自動車交通事業令

第一條　自動車交通事業ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外自動車交通事業法ニ依ル但シ同法第十六條ノ十一第二項中組合員ノ貯金ノ受入ニ關スル規定竝ニ第十六條ノ三十八、第二十二條第五項、第三十一條第四項及第三十六條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業法中主務大臣トアルハ朝鮮總督、鐵道局長トアルハ朝鮮總督府鐵道局長、地方長官トアルハ道知事、區裁判所トアルハ地方法院又ハ其ノ支廳、勅令トアルハ朝鮮總督府令、不動產登記法トアルハ朝鮮不動產登記令、鐵道抵當法トアルハ朝鮮鐵道抵當令ニ於テ依ルコトヲ定メタル鐵道抵當法、工場抵當法トアルハ朝鮮財團抵當令ニ於テ依ルコトヲ定メタル工場抵當法トス

第一條ノ二　自動車運送事業組合ノ常務ヲ擔當スル理事ハ行政官廳之ヲ任免ス

前項ノ規定ハ自動車運送事業組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第二條　自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ガ朝鮮外ニ本店ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ財團ノ登記又ハ強制執行ニ付テハ管轄裁判所ハ京城地方法院トス

第三條　自動車交通事業法第二十二條第四項又ハ第三十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定申補償金額ニ付不服アル者ハ裁定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月內ニ朝鮮總督ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和九年朝鮮總督府令第百二十一號ヲ以テ昭和十年四月一日ヨリ施行）

本令施行前自動車運輸事業ニ該當スル事業ニ付道知事ノ爲シタル事業經營ノ許可ハ之ヲ本令ニ依ル自動車運輸事業ノ免許ト看做ス

朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ前項ノ自動車運輸事業ニ付新ニ免許ノ有效期間、運輸開始ノ認可申請期間又ハ事業ノ休止期間ヲ指定スルコトヲ得

附　則　（昭和十六年制令第三號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和十六年朝鮮總督府令第十五號ヲ以テ昭和十六年四月一日ヨリ施行）

●自動車交通事業法

昭和六年四月一日
法律第五十二號

改正　昭和一五年四月第一〇六號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル自動車交通事業法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

自動車交通事業法

第一章　旅客自動車運輸事業

第一條　本法ニ於テ旅客自動車運輸事業トハ一般交通ノ用ニ供スル爲路線

第七條　旅客自動車運輸事業經營ノ免許、許可又ハ認可ニ基キテ爲シタル處分又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

四　事業ノ經營不確實又ハ資産狀態ノ著シキ不良其ノ他ノ爲事業ヲ繼續シ

三　許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ヲ故ナク實施セザルトキ

二　法令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

一　法令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル處分ニ違反シタルトキ

第八條　旅客自動車運輸事業ノ經營ノ免許ヲ受ケタル者ハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ運輸開始ノ認可ヲ申請スベシ

第九條　旅客自動車運輸事業ヲ經營セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ有效期間滿了後仍引續キ事業ヲ經營セントスルトキ亦同ジ

第十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第十二條　旅客自動車運輸事業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ズ

第十三條　旅客自動車運輸事業ノ讓渡ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十四條　左ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

一　運輸事業ノ不必要其ノ他特別ノ事由ナキ限リ期間更新ノ免許ヲ爲スベキトキ

二　路線ヲ延長又ハ變更セントスルトキ

三　他ノ運送事業者ト設備ノ共用、運賃協定其ノ他運輸ニ關スル協定ヲ爲サントスルトキ但シ此ノ限ニ在ラズ

四　全部又ハ一部ノ路線ヲ共通ニスル數人ノ旅客自動車運輸事業者ガ同一經營ノ下ニ於テ運輸開始ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ數人ノ事業ヲ共同經營ノ爲サントスルトキ

五　旅客又ハ物品ノ運送ニ關スル損害ニ付保險ニ付セントスルトキ

六　前項第三號及第五號ノ外事業ノ改善ヲ爲サントスルトキ

前項第三號及第五號ノ場合ニ於テ其ノ實施方法又ハ各事業者ノ收得シ又ハ負擔スベキ金額ニ付協議調ハザルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ定ム

第十一條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ハ公益上必要アルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ第一項ノ條件ニ之ヲ準用ス

前項ノ條件ニ於テ他ノ運輸事業者ヨリ事業ノ讓渡ヲ求メタルトキハ之ニ應ズベキコトヲ命ジ又ハ共同經營、會社ノ合併等ヲ求メタルトキハ之ニ應ズベキコトヲ命ジ又ハ共同經營、會社ノ合併等ヲ求メタルトキハ之ニ應ズベキコトヲ命ジ

第十二條　旅客自動車運輸事業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ズ

第十三條　旅客自動車運輸事業ノ讓渡ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

一　運賃其ノ他ニ關スル事業計畫ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

二　路線ヲ延長又ハ變更セントスルトキ

三　他ノ運送事業者ト設備ノ共用、運賃協定其ノ他運輸ニ關スル協定ヲ爲サントスルトキ但シ此ノ限ニ在ラズ

四　事業用自動車道ニ付工事施行ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セザルトキ

五　專用自動車道ニ付工事施行ノ認可ヲ申請セザルトキ

六　事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ

第十六條　第四條第一項、第四條ノ二、第七條、第十條（第一項第三號及第五號ヲ除ク）及第十一條乃至第十三條ノ規定ハ旅客自動車運送事業ニ非ズシテ第四條第一項、第七條、第十條、第十二條中主務大臣トアルハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監トス）トシ第十條第一項第四號中監督トアルハ主務大臣ノ監督ヲ爲ス事業ニ在リテハ其ノ區域ヲ管轄スル地方長官トス

第十五條　左ノ場合ニ於テハ旅客自動車運輸事業經營ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

一　運輸開始ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セザルトキ

二　運輸開始ノ認可ナキトキ

三　事業經營ノ免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキ

四　專用自動車道ニ付工事施行ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セザルトキ

五　專用自動車道ニ付工事施行ノ認可ナキトキ

六　道路、自動車道又ハ通路ノ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキ

第十六條　第四條第一項、第四條ノ二、第七條、第十條（第一項第三號及第五號ヲ除ク）及第十一條乃至第十三條ノ規定ハ旅客自動車運送事業ニ之ヲ準用ス

第十二條　旅客自動車運輸事業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルニ因ル旅客自動車運輸事業ノ路線ハ一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路ニ依ルベシ

第十三條　主務大臣ハ命令ヲ以テ旅客自動車運輸事業ノ路線ニ付旅客自動車運送事業ヲ經營セシムル會社ニ對シ其ノ路線ニ關シ旅客自動車運輸事業ヲ經營スル者ニ對シ又ハ其ノ路線ニ關シ旅客自動車運送事業ヲ經營スル會社ニ對シ其ノ路線ニ關シ旅客自動車運輸事業ヲ經營スル者ニ對シ其ノ路線ニ關シ旅客自動車運送事業ヲ經營スル會社ニ對シ

第十四條　旅客自動車運輸事業ノ經營ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第十五條　旅客自動車運輸事業ノ經營ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十二條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十三條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十五條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第二十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十二條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十三條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十五條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第三十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十二條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十三條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十五條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第四十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十二條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十三條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十五條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第五十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十二條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十三條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十五條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第六十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十二條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十三條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十五條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第七十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十二條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十三條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十五條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第八十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十一條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十二條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十三條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十四條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十五條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十六條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十七條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十八條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第九十九條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

第百條　旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ關シ必要ナル事項ヲ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スベシ

本法ニ規定スルモノノ外免許ノ失效、免許ノ全部又ハ一部ノ取消、事業ノ全部又ハ一部ノ停止其ノ他旅客自動車運送事業ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

旅客自動車運輸事業又ハ旅客自動車運送事業ニ非ズシテ自動車ニ依リ旅客ヲ運送スル事業ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二章　貨物自動車運送事業

第十六條ノ二　本法ニ於テ貨物自動車運送事業トハ一般ノ需用ニ應ジ自動車ヲ使用シテ物品ヲ運送スル事業ヲ謂フ

第十六條ノ三　貨物自動車運送事業ヲ經營セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ運賃其ノ他ニ關スル事業計畫ヲ定メ主務大臣又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監トス以下本章中之ニ同ジ）ノ免許ヲ受クベシ

第十六條ノ四　貨物自動車運送事業經營ノ免許ヲ受ケタル者ハ主務大臣又ハ地方長官ノ指定スル期間内ニ其ノ事業ヲ開始スベシ

天災其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ前項ノ期間内ニ事業ヲ開始スルコト能ハザルトキハ申請ニ因リ主務大臣又ハ地方長官ハ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第十六條ノ五　事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業ノ爲ニ專用自動車道ヲ開設セントスル者ハ工事方法ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ工事方法ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ專用自動車道ノ工事方法ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十六條ノ六　主務大臣又ハ地方長官ハ公益上必要アリト認ムルトキハ貨物自動車運送事業者ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ命ズルコトヲ得

一　運賃其ノ他ニ關スル事業計畫ヲ變更セシムルコト

二　他ノ運送事業者ト設備ノ共用、連絡運輸、運賃協定其ノ他運輸ニ關スル協定ヲ爲サシムルコト

三　全部又ハ一部ノ事業區間又ハ主タル事業區域ヲ共通ニスル數人ノ貨物自動車運送事業者アル場合ニ共同經營ヲ爲サシムルコト

四　物品ノ運送ニ關スル損害ニ付保險ニ付セシムルコト

五　前各號ノ外事業ノ改善ヲ爲サシムルコト

前項第二號及第三號ノ場合ニ於テ其ノ實施方法又ハ各事業者ノ收得シ若ハ負擔スベキ金額ニ付協議調ハザルトキハ申請ニ因リ主務大臣又ハ地方長官之ヲ裁定ス

第十六條ノ七　政府ハ貨物自動車ノ整備ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ貨物自動車運送事業者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ補助ヲ交付スルコトヲ得

第十六條ノ八　第七條（專用自動車道ノ工事方法ノ變更ニ關スル部分ヲ除ク）、第九條、第十一條乃至第十四條及第十五條第六號ノ規定ハ貨物自動車運送事業ニ之ヲ準用ス但シ第七條、第十一條第三項ニ於テ準用スル第十條第二項及第十二條乃至第十四條中主務大臣トアルハ主務大臣又ハ地方長官トス

第十六條ノ九　貨物自動車運送事業ニ非ズシテ自動車ニ依リ物品ヲ運送スル事業及自動車ニ依ル物品運送ノ運送取扱業又ハ運送代辨業ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章　自動車運送事業組合及自動車運送事業組合聯合會

第十六條ノ十　旅客自動車運輸事業、旅客自動車運送事業又ハ貨物自動車運送事業者ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ命ズルコトヲ得

運送事業（以下自動車運送事業ト總稱ス）ノ事業者ハ各其ノ事業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲自動車運送事業組合ヲ設立スルコトヲ得但シ特別ノ事情アルトキハ二種以上ノ事業者ヲ以テ之ヲ設立スルコトヲ得

自動車運送事業組合ハ法人トス

第十六條ノ十一　自動車運送事業組合ハ左ニ掲グル事業ヲ行フコトヲ得

一　組合員ノ事業ニ必要ナル物ノ購入、共同設備ノ設置其ノ他組合員ノ事業ニ關スル共同施設

二　運賃、運輸其ノ他組合員ノ事業ニ關スル統制

三　組合員ノ事業ニ關スル指導、研究及調査

四　前各號ニ掲グルモノノ外組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

組合ハ前項ノ事業ノ外組合員ニ對シ其ノ事業ニ必要ナル資金ノ貸付、組合員ノ爲ニスル其ノ事業上ノ債務ノ保證又ハ組合員ノ貯金ノ受入ヲ併セ行フコトヲ得

第一項ニ掲グル組合ノ施設ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限リ組合員ニ非ザル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第十六條ノ十二　自動車運送事業組合ヲ設立セントスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ但シ第十六條ノ十第一項但書ノ場合ニ於テハ各事業毎ニ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ同意ヲ得ルコト能ハザル場合ト雖モ特別ノ事由アルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ創立總會ヲ開クコトヲ得

第十六條ノ十三　主務大臣ハ自動車運送事業ノ統制ヲ圖ル爲特ニ地區ヲ定メ其ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ但シ第十六條ノ十第一項但書ノ場合ニ於テハ各事業毎ニ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ同意ヲ得ルコト能ハザル場合ト雖モ特別ノ事由アルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ創立總會ヲ開クコトヲ得

第十六條ノ十四　自動車運送事業組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第十六條ノ十五　第十六條ノ十三ノ規定ニ依ル自動車運送事業組合成立シタルトキハ其ノ組合ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合ノ組合員トス

第十六條ノ十六　自動車運送事業組合ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ但シ第十六條ノ十三ノ規定ニ依ル自動車運送事業組合ニ在リテハ第六號乃至第九號及第十五號、第十六條ノ二十第三項ノ規定ニ依ル自動車運送事業組合ニ在リテハ第七號乃至第九號ニ掲グル事項ハ之ヲ記載スルコトヲ要セズ

一　目的

二　名稱

三　地區

四　事務所ノ所在地

五　組合員タル資格ニ關スル規定

六　組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定

七　出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
八　剰餘金ノ處分及損失分擔ニ關スル規定
九　準備金ノ額及其ノ積立ノ方法
十　組合員ノ權利義務ニ關スル規定
十一　事業及其ノ執行ニ關スル規定
十二　役員ニ關スル規定
十三　會議ニ關スル規定
十四　會計ニ關スル規定
十五　存立ノ時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第十六條ノ十七　自動車運送事業組合ニハ理事及監事ヲ置クベシ

理事ハ組合ノ業務ニ付組合ヲ代表ス
監事ハ組合ノ業務ヲ監査ス
理事ト監事トハ相兼ヌルコトヲ得ズ
組合ト理事ト利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表ス
理事缺ケタルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ズ
理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ主務大臣ハ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得
第一項ノ規定ニ依ル役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

第十六條ノ十八　左ニ揭グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ベシ

一　定款ノ變更
二　收支豫算及經費ノ分賦收入方法
三　財產目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ノ承認
四　第十六條ノ二十四ノ規程ノ制定及變更
五　自動車運送事業組合聯合會ノ設立、加入及脫退
六　役員ノ選任及解任
七　合併及解散

前項第一號、第四號、第六號及第七號ニ揭グル事項ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十六條ノ十九　組合員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第十六條ノ二十　組合員ハ出資一口以上ヲ有スベシ

組合員ノ有スベキ出資口數ハ五十口ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ增加スルコトヲ得
第十六條ノ十一第一項第一號及第二項ノ事業ヲ行ハザル組合ニ在リテハ第一項ノ規定ニ拘ラズ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ヲシテ出資ヲ爲サシメザルモノト爲スコトヲ得

第十六條ノ二十一　第十六條ノ十三ノ規定ニ依ル自動車運送事業組合ハ左ニ揭グル事項ヲ爲スコトヲ得ズ

一　第十六條ノ十一第一項第一號及第二項ノ事業ヲ行フコト
二　組合員ヲシテ出資ヲ爲サシムルコト
三　合併ヲ爲スコト

第十六條ノ二十二　自動車運送事業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ員ニ對シ經費ヲ分賦シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十六條ノ二十三　組合員ノ責任ハ前條ノ規定ニ依ル費用負擔ノ外

資額ヲ限度トス

自動車運送事業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔スルモノト爲スコトヲ得

第十六條ノ二十四　自動車運送事業組合ハ組合員ノ事業ノ統制ヲ行フ場合ニ於テハ之ニ關スル規程ヲ定ムベシ

主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規程ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十六條ノ二十五　主務大臣ハ自動車運送事業ノ經營ニ關スル弊害ヲ豫防シ若ハ矯正スル爲又ハ其ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ自動車運送事業組合ニ對シ必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十六條ノ二十六　主務大臣ハ自動車運送事業ノ經營ニ關スル弊害ヲ豫防シ若ハ矯正スル爲又ハ其ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ自動車運送事業組合ノ組合員又ハ其ノ組合ノ組合員ニ非ズシテ其ノ組合ノ地區內ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ其ノ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十六條ノ二十七　主務大臣ハ自動車運送事業ノ統制ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ第十六條ノ二十第三項ノ規定ニ依ル自動車運送事業組合ノ地區內ニ於テ其ノ組合ノ組合員ニ非ズシテ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ其ノ組合ニ加入スベキコトヲ命ズルコトヲ得但シ其ノ組合ノ組合員數ガ其ノ組合ノ地區內ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ノ數ノ三分ノ二以上ナル場合ニ限ル

前項ノ規定ニ依ル命令アリタルトキハ其ノ組合ノ地區內ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合ノ組合員トス

第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル自動車運送事業組合ハ合併ヲ爲スコトヲ得ズ

第十六條ノ二十八　政府ハ自動車運送事業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ自動車運送事業組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍內ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第十六條ノ二十九　主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ自動車運送事業組合ニ對シ定款、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十六條ノ三十　自動車運送事業組合ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲シタル處分若ハ定款ニ違反シタルトキ若ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　總會ノ決議ノ取消
二　役員ノ解任
三　事業ノ停止
四　解散

第十六條ノ三十一　自動車運送事業組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ合併及解散ノ決議ヲ爲スコトヲ得ズ

第十六條ノ三十二　自動車運送事業組合聯合會ハ所屬ノ自動車運送事業組合及自動車運送事業組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲之ヲ設立スルコ

トヲ得

自動車運送事業組合聯合會ハ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ヲ以テ之ヲ組織ス

自動車運送事業組合聯合會ハ法人トス

第十六條ノ三十三　自動車運送事業組合聯合會ヲ設立セントスルトキ又ハ第十六條ノ三十四ニ於テ準用スル第十六條ノ十三ノ規定ニ依リ其ノ設立ヲ命ゼラレタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ所屬ノ各組合及聯合會ニ於テ選任シタル創立委員ヲ以テ創立委員會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十六條ノ三十四　自動車運送事業組合ニ關スル規定ハ第十六條ノ二十八及第十六條ノ三十一ノ規定ヲ除クノ外自動車運送事業組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第十六條ノ十一中組合員トアルハ所屬ノ組合、聯合會及組合員トス

第十六條ノ三十五　主務大臣ハ自動車運送事業ノ統制ノ徹底ヲ期スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ニ對シ他ノ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ト運賃ノ統制其ノ他事業ノ實施ニ關シ協定ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ運賃、事業ノ實施方法其ノ他必要ナル事項ニ付協議調ハザルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第十六條ノ三十六　自動車運送事業組合及自動車運送事業組合聯合會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十六條ノ三十七　本法ニ規定スルモノノ外自動車運送事業組合聯合會ノ管理、合併、解散、清算其ノ他組合及聯合會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條ノ三十八　自動車運送事業組合及自動車運送事業組合聯合會ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ

第四章　自動車道及自動車道事業

第十七條　本法ニ於テ自動車道トハ專ラ自動車ノ一般交通ノ用ニ供スル道路（一般自動車道）及旅客自動車運輸事業者又ハ貨物自動車運送事業者（事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業ノ事業者ニ限ル以下本章中之ニ同ジ）ガ其ノ事業用自動車ノ專用ニ供スル道路（專用自動車道）ヲ謂フ

本法ニ於テ自動車道事業トハ一般自動車道ヲ開設シ有償又ハ無償ニテ之ヲ專ラ自動車ノ一般交通ノ用ニ供スル事業ヲ謂フ

第十八條　自動車道事業ヲ經營セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ使用料金其ノ他ニ關スル事業計畫ヲ定メ主務大臣ノ免許ヲ受クベシ

第十九條　自動車道事業經營ノ免許ヲ受ケタル者ハ工事方法ヲ定メ主務大臣ノ指定スル期間內ニ工事施行ノ認可ヲ申請スベシ

天災其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ前項ノ期間內ニ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ申請ニ因リ主務大臣ハ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第二十條　自動車道事業者工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ主務大臣ノ指定スル期間內ニ一般自動車道ノ工事ニ著手シ之ヲ竣功セシムベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ期間ノ伸長ニ之ヲ準用ス

第二十一條　自動車道事業者事業計畫又ハ一般自動車道ノ工事方法ヲ變更セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十二條　自動車道ニ關スル工事ノ爲必要アルトキハ自動車道事業者、旅客自動車運輸事業者又ハ貨物自動車運送事業者ハ地方長官ノ許可ヲ受ケ沿道ノ土地ニ立入リ又ハ其ノ土地ヲ一時材料置場トシテ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル立入又ハ使用ヲ爲サントスルトキハ已ムヲ得ザル事由アル場合ヲ除クノ外豫メ土地ノ占有者ニ其ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第一項ノ規定ニ依ル立入又ハ使用ニ因リテ生ジタル損害ハ立入又ハ使用ノ後遲滯ナク事業者ニ於テ之ヲ補償スベシ

前項ノ補償ニ付協議調ハザルトキハ地方長官之ヲ裁定ス

前項ノ規定ニ依ル裁定中補償金額ニ不服アル者ハ裁定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月內ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十三條　一般自動車道ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ供用ヲ開始スルコトヲ得ズ

第二十四條　一般自動車道ノ構造、維持、修繕若ハ使用又ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條　主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ自動車道事業者ニ對シ左ニ掲グル事項ヲ命ズルコトヲ得

一　使用料金其ノ他ニ關スル事業計畫又ハ一般自動車道ノ工事方法ヲ變更セシムルコト

二　一般自動車道又ハ其ノ附屬物件ノ改善ヲ爲サシムルコト

第二十六條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ハ公益上必要アルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

第二十七條　自動車道事業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ事業ノ全部又ハ一部ノ供用ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ズ

第二十八條　自動車道事業ノ讓渡ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

會社ノ合併ニ因ル自動車道事業ノ承繼ニ付テハ合併前主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

自動車道事業者死亡シタルトキハ相續人ハ其ノ事業ヲ承繼ス

自動車道事業ヲ營ム會社ノ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十九條　左ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ自動車道事業經營ノ免許ノ全部又ハ一部ヲ取消シ又ハ事業ノ全部又ハ一部ヲ停止セシムルコトヲ得

一　法令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

二　法令ニ基キテ爲シタル處分又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタルトキ

三　主務大臣ノ指定スル期間內ニ工事ヲ竣功セズ其ノ他許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ヲ故ナク實施セザルトキ

四　事業ノ經營不確實又ハ資產狀態ノ著シキ不良其ノ他ノ爲事業ヲ繼續スルニ適セズト認メタルトキ

五　公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキ

第三十條　左ノ場合ニ於テハ自動車道事業經營ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

一　工事施行ノ認可申請期間內ニ認可ヲ申請セザルトキ

二　工事施行ノ認可ナキトキ

三　事業經營ノ免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ工事施行ノ認可申請期間內ニ會社設立ノ登記ヲ爲サザルトキ

四　事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ

第三十一條　政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ガ自動車道ニ接續シ若ハ接

近シ又ハ之ヲ横斷シテ一般ノ道路、自動車道、橋梁、河川、運河、溝渠、鐵道、軌道、索道等ヲ施設セントスルトキハ自動車道事業者、旅客自動車運輸事業者又ハ貨物自動車運送事業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ自動車道事業者、旅客自動車運輸事業者又ハ貨物自動車運送事業者ニ對シ備設ノ共用又ハ變更ヲ命ズルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ其ノ實施方法及費用ノ負擔ニ付協議調ハザルトキハ申請ニ因リ關係主務大臣之ヲ裁定ス自動車道事業者、旅客自動車運輸事業者又ハ貨物自動車運送事業者ノ受ケタル損害ノ補償ニ付亦同ジ

第二十二條第五項ノ規定ハ前項ノ補償金額ニ之ヲ準用ス

第三十二條　一般自動車道以外ノ自動車ノ通行スル道路ヲ開設シテ使用料金ヲ徴收スル場合ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章　共通規定

第三十三條　同一ノ一般自動車道ニ依ル自動車道事業ト自動車運送事業トノ兼營ノ場合ニ於ケル免許、許可及認可ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　主務大臣、地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ鐵道局長ハ必要アリト認ムルトキハ自動車運送事業ノ事業者、自動車運送事業組合、自動車運送事業組合聯合會又ハ自動車道事業者ヲシテ事業上ノ報告ヲ爲サシメ、書類ヲ提出セシメ又ハ監査員ヲ派遣シテ事業ノ狀況ヲ監査セシムルコトヲ得

監査員ハ自動車運送事業ノ事業者、自動車運送事業組合、自動車運送事業組合聯合會若ハ自動車道事業者又ハ其ノ代表者若ハ其ノ他ノ從業者ニ說明ヲ求メ帳簿、書類及圖面ヲ檢閱スルコトヲ得

監査員其ノ職務ヲ執行スル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶スベシ

第三十五條　本法ニ規定スル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官又ハ鐵道局長ニ委任スルコトヲ得

第三十六條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付主務大臣、地方長官又ハ鐵道局長ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　國ニ於テ經營スル旅客自動車運輸事業、事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業及自動車道事業ニ付テハ第一條乃至第三條、第四條ノ二、會計ニ關スル部分ヲ除キタル第九條（第十六條ノ八ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第十六條ノ二、第十七條、第二十二條、第二十四條及第五十四條乃至第五十七條ノ規定ニ限リ本法ヲ適用ス

國ニ於テ旅客自動車運輸事業、事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業又ハ自動車道事業ヲ經營セントスルトキハ當該官廳ハ主務大臣ニ協議ヲ爲スベシ

國ニ於テ旅客自動車運輸事業又ハ事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業ヲ經營シタル爲之ト路線又ハ事業區間ヲ共通ニスル旅客自動車運輸事業者又ハ貨物自動車運送事業者ガ其ノ部分ニ付事業ヲ繼續スルコト能ハザルニ至リタルトキ又ハ著シク收益ヲ減少スルニ至リタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業者ノ受ケタル損失ヲ補償スルコトヲ得殘存路線又ハ殘存事業區間ノミニ付事業ヲ繼續スルコト能ハザルニ至リタルトキ亦同ジ

第六章　自動車交通事業抵當

第三十八條　旅客自動車運輸事業、旅客自動車運送事業、貨物自動車運送事業又ハ自動車道事業ヲ營ム株式會社ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲旅客自動車運輸事業、事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業又ハ自動車道事業ニ在リテハ其ノ事業ノ全部又ハ一部ニ付、旅客自動車運送事業又ハ事業區間ヲ定メザル貨物自動車運送事業ニ在リテハ其ノ事業ノ全部ニ付自動車交通事業財團ヲ設定スルコトヲ得

前項ニ掲グル株式會社自動車交通事業財團ヲ設定セントスルトキハ當該株式會社ニ屬シ且其ノ事業ニ關スル自動車ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ登錄ヲ受クベシ自動車交通事業財團設定後新ニ其ノ財團ノ所有者ニ屬シ又ハ其ノ事業ニ關スルニ至リタル自動車ニ付亦同ジ

第一項ニ掲グル事業ノ抵當ニ關シテハ本法ハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外鐵道抵當法ヲ準用ス但シ同法第一章及第三章中登錄トアルハ登記、第四十六條、第六十八條及第六十九條中監督官廳トアルハ登記所、第八十條乃至第八十二條、第八十八條及第九十二條中監督官廳トアルハ裁判所トス

第三十九條　自動車交通事業財團ハ左ニ掲グルモノニシテ同一ノ旅客自動車運輸事業者、旅客自動車運送事業者、貨物自動車運送事業者又ハ自動車道事業者ニ屬シ且其ノ事業ニ關スルモノヲ以テ之ヲ組成ス

一　自動車道ノ敷地及其ノ上ニ存スル工作物竝ニ之ニ屬スル器具機械

二　發著場、駐車場其ノ他自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地及其ノ上ニ存スル工作物竝ニ之ニ屬スル器具機械

三　自動車庫、停留所、貨物庫、給油所、附屬工場、事務所、事務員駐在所其ノ他事業ノ爲必要ナル建物及其ノ敷地竝ニ之ニ屬スル器具機械

四　通信又ハ信號ニ要スル工作物及其ノ敷地竝ニ之ニ屬スル器具機械

五　前四號ニ掲グル工作物ヲ所有シ又ハ使用スル爲他人ノ不動産ノ上ニ存スル地上權及第三者ニ對抗シ得ベキ賃借權竝ニ前四號ニ掲グル土地ノ爲ニ存スル地役權

六　前條第二項ノ規定ニ依リ登錄ヲ受ケタル自動車及其ノ附屬品

七　事業經營ノ爲必要ナル貯藏物品及器具機械

第四十條　前條第一號乃至第三號ニ掲グル不動産ノ何レモガ存セザルトキハ自動車交通事業財團ヲ設定スルコトヲ得ズ

自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ハ之ノミニ依リテ擔保セラルル債務ノ額ガ三萬圓以上ナラザルトキハ之ヲ設定スルコトヲ得ズ但シ第二以下ノ順位ノ抵當權設定ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條　第三十八條第一項ノ規定ニ依リ事業ノ一部ニ付自動車交通事業財團ヲ設定スル場合ニ於テハ旅客自動車運輸事業ニ在リテハ獨立ノ路線ニ付、事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業ニ在リテハ獨立ノ事業區間ニ付、自動車道事業ニ在リテハ獨立ノ一般自動車道ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第四十二條　同一事業者ガ第三十八條第一項ニ掲グル事業ノ二以上ヲ兼營スル場合ニ於テハ此等ノ事業ノ中二以上ノ事業ニ關スルモノヲ合シテ一個ノ自動車交通事業財團ヲ設定スルコトヲ得但シ此等ノ事業ノ何レカニ付自動車交通事業財團ノ設定アリタル後ハ其ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ事業者ガ自動車道事業ト其ノ他ノ事業トニ付各別ニ自動車交通事業

業財團ヲ設定スル場合ニハ一般自動車道ノ敷地其ノ他專ラ自動車道事業ニ關スルモノハ他ノ事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ屬スルコトナシ

第四十三條　自動車交通事業財團ノ設定ハ自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ依リテ之ヲ爲ス

自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ第三十九條ニ規定スルモノハ當然自動車交通事業財團ニ屬ス但シ第三者ニ對抗シ得ベキ他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業財團ノ設定後新ニ其ノ財團ノ所有者ニ屬シタルモノ亦前項ニ同ジ

第四十四條　自動車交通事業財團ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權及抵當權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ第三十八條第一項ニ揭グル事業ヲ營ム株式會社ニ讓渡スハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業財團ニ屬スルモノハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ズ但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ讓渡シ又ハ貸付クルハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ自動車交通事業財團ニ屬スルモノヲ讓渡シタルトキハ抵當權ハ其ノモノニ付消滅ス

第四十五條　自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ノ設定又ハ變更ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一方法ノ株主總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第四十六條　自動車交通事業財團ノ登記ニ付テハ其ノ財團ノ所有者タル會社ノ本店所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ガ本店ヲ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移シタル場合ニ於ケル登記手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

左ノ場合ニ於テハ登記所ハ直ニ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

一　第一順位ノ抵當權ノ設定ヲ登記シタルトキ

二　自動車交通事業財團ノ用紙ヲ閉鎖シタルトキ

第四十七條　自動車交通事業財團ニ關シテハ工場抵當法第十條、第十二條、第十八條乃至第二十條、第二十二條乃至第四十四條、第四十七條及第四十八條ノ規定ヲ準用ス

本法ニ規定スルモノヲ除クノ外自動車交通事業財團ノ登記ニ關シテハ不動產登記法ヲ準用ス

登記ノ申請書ニハ不動產登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ揭グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一　自動車交通事業財團ノ設定セラルル事業ノ表示

二　旅客自動車運輸事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ在リテハ其ノ事業ノ行ハルル路線ノ表示

二ノ二　事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ在リテハ其ノ事業ノ行ハルル事業區間ノ表示

二ノ三　旅客自動車運送事業又ハ事業區間ヲ定メザル貨物自動車運送事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ在リテハ其ノ事業ノ行ハルル主タル事業區域ノ表示

三　自動車道事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ在リテハ之ニ屬スル一般自動車道ノ表示

四　免許、許可又ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

五　免許ニ條件ガ附セラレタルトキハ其ノ條件

第四十八條　第四十二條第一項ノ規定ニ依リテ自動車交通事業財團ヲ設定シタル場合ニ於テ第三十八條第一項ニ揭グル事業ノ何レカニ付事業經營ノ免許ノ失效又ハ取消アリタルトキハ抵當權者ハ一事業ニ付自動車交通事業財團ノ設定セラレタル場合ニ準ジ財團ノ全部ニ對シ其ノ權利ヲ實行スルコトヲ得

第四十九條　自動車交通事業財團ニ對スル抵當權ノ强制執行ニ付テハ執行シ得ベキ一定ノ債務名義ヲ要セズ

强制管理ノ開始ハ第三十八條第一項ニ揭グル事業ニ對スル主務大臣又ハ地方長官ノ監督ヲ妨ゲズ

强制管理ノ管理人ノ任免ニ付テハ裁判所ハ主務大臣ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

强制管理終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

第七章　罰則

第五十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　免許ヲ受ケズシテ第三十八條第一項ニ揭グル事業ヲ經營シタルトキ

二　認可ヲ受ケズシテ一般自動車道ノ供用ヲ開始シタルトキ

第五十一條　免許ヲ受ケタル者ノ名義ヲ利用シテ第三十八條第一項ニ揭グル事業ヲ經營シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス名義ヲ利用セシメタル者亦同ジ

第五十二條　旅客自動車運輸事業者、旅客自動車運送事業者、貨物自動車運送事業者又ハ自動車道事業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第五十條ニ規定スル場合ヲ除クノ外本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケテ爲スベキ事項ヲ之ヲ受ケズシテ爲シタルトキ

二　免許、許可又ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

三　本法ニ基キテ爲シタル處分（第十六條ノ十三第一項ノ規定ニ基キテ爲シタル處分ヲ除ク）又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタルトキ

四　第三十八條第二項ノ規定ニ依ル自動車ノ登錄ニ付不實ノ事項ノ登錄ヲ申請シタルトキ

五　正當ノ事由ナクシテ一般自動車道ノ使用ヲ拒ミタルトキ

六　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ届出又ハ報告ヲ爲スベキ事項ニ付虛僞ノ届出又ハ報告ヲ爲シタルトキ

七　監査員ノ監査ヲ妨ゲタルトキ

第五十三條　旅客自動車運輸事業者、旅客自動車運送事業者、貨物自動車運送事業者又ハ自動車道事業者ガ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車運輸事業者又ハ自動車道事業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

會社ノ代表者其ノ他ノ從業者會社ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタルトキハ

其ノ罰則ヲ會社ニ適用ス

第五十四條　自動車道若ハ其ノ標識ヲ損壞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ自動車道ニ於ケル自動車ノ往來ノ危險ヲ生ゼシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十五條　人ノ現在スル旅客自動車運輸事業ノ自動車ヲ顚覆シ又ハ破壞シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ傷ニ致シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第一項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車ノ顚覆又ハ破壞ヲ致シタル者亦前條ノ例ニ同ジ

第五十七條　過失ニ因リ第五十四條第一項又ハ第五十五條第一項ノ罪ヲ犯シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ業務ニ從事スル者犯シタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十八條　自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ノ理事、監事、假理事又ハ清算人其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ、要求シ又ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第五十九條　前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付シ、提供シ又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕シ又ハ免除スルコトヲ得

第六十條　左ノ場合ニ於テハ自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ノ理事、監事、假理事又ハ清算人ヲ五百圓以下ノ過料ニ處ス

一　行政官廳又ハ總會若ハ總代會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二　本法ニ依リ行政官廳ノ徵スル報告ヲ差出サズ又ハ監査員ノ監査ヲ妨ゲ其ノ他行政官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハザルトキ

三　法令又ハ定款ニ違反シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ

四　組合又ハ聯合會ノ目的ニ非ザル營利事業ヲ爲シタルトキ

五　第十六條ノ三十六ノ規定ニ基キテ發スル勅令ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

六　第十六條ノ三十七ノ規定ニ基キテ發スル勅令ニ違反シタルトキ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年九月勅令第二百五十號ヲ以テ昭和八年十月一日ヨリ施行）

本法施行前自動車運輸事業又ハ自動車道事業ニ該當スル事業ニ付地方長官ノ爲シタル事業經營ノ免許又ハ許可ハ之ヲ本法ニ依ル自動車運輸事業又ハ自動車道事業經營ノ免許ト看做ス

主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ前項ノ自動車運輸事業ニ付新ニ免許ノ有效期間、運輸開始ノ認可申請期間又ハ事業ノ休止期間ヲ指定スルコトヲ得

登錄稅法第三條ノ六中「又ハ漁業財團登記簿」ヲ「、漁業財團登記簿又ハ自動車交通事業財團登記簿」ニ改ム

印紙稅法第四條第一項第一號中「軌道財團」ノ下ニ「、自動車交通事業財團」ヲ加フ

附　則　（昭和十五年法律第百六號）

第一條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十六年勅令第七十六號ヲ以テ昭和十六年二月一日ヨリ施行）

第二條　從前ノ規定又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テ自動車交通事業財團登記簿ニ登記セラレタル事項ニ付變更アリタルトキハ登記所ハ主務大臣ノ囑託ニ依リテ變更ノ登記ヲ爲スベシ

第三條　本法施行ノ際現ニ存スル商業組合又ハ商業組合聯合會ニシテ從前ノ第一條ノ自動車運輸事業又ハ從前ノ第十六條ノ運送事業ノ事業者ノミヲ其ノ組合員又ハ其ノ所屬ノ組合ノ組合員若ハ其ノ所屬ノ聯合會ヲ組織スル組合ノ組合員トスルモノハ本法施行ノ日ニ於テ本法ニ依ル自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ト爲リタルモノトス

前項ノ場合ニ於テ登記其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　本法施行前從前ノ規定ニ依リテ處罰スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第五條　小運送業法第一條中「鐵道、軌道若ハ自動車運輸事業」ヲ「鐵道若ハ軌道」ニ、「鐵道、軌道又ハ自動車運輸事業」ヲ「鐵道又ハ軌道」ニ改ム

第六條　陸上交通事業調整法第一條中「自動車運輸事業」ヲ「旅客自動車運輸事業」ニ改ム

第七條　帝國鐵道會計法中左ノ通改正ス

第三條中「又ハ自動車運輸事業」ヲ「、旅客自動車運輸事業又ハ事業區間ヲ定ムル貨物自動車運送事業」ニ改ム

〔朝〕

第七條中「及地方鐵道補助金」ヲ「、地方鐵道補助金及自動車運送事業補助金」ニ改ム

第八條　商工組合中央金庫法中左ノ通改正ス

第一條中「及貿易組合聯合會」ヲ「、貿易組合聯合會、自動車運送事業組合及自動車運送事業組合聯合會」ニ改ム

第三條第一項中「貿易組合聯合會」ノ下ニ「、自動車運送事業組合聯合會」ヲ加ヘ同條第三項及第四項中「又ハ貿易組合聯合會」ヲ「、貿易組合聯合會又ハ自動車運送事業組合聯合會」ニ改ム

第七條及第二十九條中「又ハ貿易組合聯合會」ヲ「、貿易組合聯合會、自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會」ニ改ム

第二十七條中「及貿易組合」ヲ「、貿易組合及自動車運送事業組合」ニ改ム

第二十八條中「貿易組合聯合會、」ノ下ニ「自動車運送事業組合、自動車運送事業組合聯合會、」ヲ加フ

第九條　登錄稅法第十九條中「又ハ肥料製造業組合」ヲ「、肥料製造業組合、自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會」ニ、「又ハ重要肥料業統制法」ヲ「、重要肥料業統制法又ハ自動車交通事業法」ニ改ム

第十條　印紙稅法第四條中「又ハ貿易組合聯合會」ヲ「、貿易組合聯合會、自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會」ニ改ム

第十一條　特別法人稅法中左ノ通改正ス

第二條中第七號ヲ第八號トシ第八號ヲ第九號トシ第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

七　自動車運送事業組合及自動車運送事業組合聯合會所屬ノ組合員、組合又ハ聯合會ヲシテ出資ヲ爲サシメザルモノヲ除ク）

朝鮮自動車交通事業令施行規則

昭和十六年一月二十九日
朝鮮總督府令第十七號

改正　昭和一六年九月第二四四號

朝鮮自動車交通事業令施行規則左ノ通改正ス

朝鮮自動車交通事業令施行規則

第一章　旅客自動車運輸事業

第一條　旅客自動車運輸事業經營ノ免許申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　本籍及住所
二　氏名、商號又ハ名稱
三　路線　路線圖ヲ以テ明示スルノ外左ニ掲グル事項ヲ記載スルコト
イ　起點及終點ノ地名及地番（通稱アルトキハ之ヲ附記スルコト）
ロ　延長
ハ　主ナル經過地名
ニ　專用自動車道ヲ開設スルモノニ在リテハ其ノ區間
四　事業計畫
五　事業經營ノ事由

前項ノ免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　興業費概算書、總額、內譯及資金調達方法ヲ明示スルコト）
二　運輸收支概算書

三　申請者道、府、邑又ハ面ナルトキハ事業ノ經營ニ關スル道會、府會、邑會又ハ面協議會ノ決議要領書、會社ナルトキハ現ニ旅客自動車運輸事業ヲ經營スルモノヲ除クノ外定款及登記簿ノ謄本竝ニ最近ノ財產目錄及貸借對照表、會社ヲ設立セントスルモノナルトキハ定款ノ謄本

前二項ノ書類ハ正副二通之ヲ提出スベシ

第二條　事業計畫ニハ左ニ掲グル事項ヲ定ムベシ

一　車輛（車輛型式圖ヲ添附スルコト）
イ　輛數　常用車ト豫備車トニ分チ且旅客定員別（立席及座席ノ別）ニ記載シ物品積載設備ヲ有スルモノニ在リテハ其ノ積載定量ヲ附記スルコト
ロ　車輛ノ寸法及重量　長サ、幅及高サノ最大寸法竝ニ車輛重量ヲ記載スルコト
ハ　車臺　車名、型式及年式、動力ノ種類ヲ記載シ且同一ノ車名、型式及年式ニ二以上ノ設計アルトキハ其ノ區別ヲ明示スルコト
特別設計ノモノヲ使用スルトキハ其ノ概要ヲ記載スルコト
ニ　車體　座席ノ配列及幅員、凭レ前方ノ餘地、客室ノ高サ、通路ノ幅員及長サ、後車軸後方ノ車體張出竝ニ箱型、幌型等ノ別及車體重量ヲ記載スルコト

車輛型式圖ハ車輛型式ノ異ナル毎ニ第一號樣式ニ準ジ之ヲ作製スベシ

免許申請ノ際車輛型式圖ヲ添附シ又ハ「ハ」及「ニ」ニ掲グル事項ヲ記載スルコト能ハザルトキハ其ノ事項ニ付別ニ道知事ノ認可ヲ受クベシ

二　運輸

イ　運輸系統（系統複雜ナルトキハ系統圖ヲ添附シ往路及復路ノ別アルトキハ其ノ區間及方向ヲ記載スルコト）

ロ　各系統ニ於ケル粁程、停留所名、各停留所間ノ粁程、待避所及配置常用車輛數

ハ　運行回數又ハ運轉時刻　運行回數頻繁ナルモノニ在リテハ始發及終發ノ時刻、運行回數、最少運轉時分及運轉間隔ノ大要、其ノ他ノモノニ在リテハ主ナル停留所ニ於ケル發着時刻

三　運賃及運輸ニ關スル料金

イ　運賃　均一制ニ在リテハ均一運賃ヲ、其ノ他ノモノニ在リテハ各區間ノ運賃及粁程（運賃區界ヲ記入シタル圖面ヲ添附スルコト）ヲ記載シ物品ヲ運送スルモノニシテ物品ノ種類ニ依リ其ノ運賃ニ區別ヲ設クルトキハ其ノ別及運賃算出方法ヲモ記載スルコト

ロ　運輸ニ關スル料金　料金ノ種別及其ノ算出方法ヲ記載スルコト

四　主タル事務所及營業所ノ名稱及位置

五　車庫ノ位置及車輛格納力

六　一年ヲ通ジ繼續シテ運輸ヲ爲スモノニ非ザルトキハ運輸ノ期間

路線延長ノ免許ヲ申請スル場合ニ於テ之ニ伴ヒ既免許路線ノ事業計畫ニ變更ヲ生ズルトキハ其ノ關係ヲ明示シタル書類及圖面ヲ提出シ事業計畫ノ變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

第三條　第一條第一項第三號ノ路線圖ハ縮尺五萬分ノ一以上ノ平面圖トシ左ニ掲グル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

一　路線
二　停留所ノ位置及名稱竝ニ特ニ待避所ヲ設クルトキハ其ノ位置
三　車庫ノ位置
四　一般ノ道路（種類ヲ明示スルコト）、自動車道及一般通行ノ用ニ供スル道路ノ別竝ニ其ノ種別每ノ粁程及有效幅員、往路及復路ノ別アルトキハ其ノ區間及方向
五　沿線ニ於ケル學校、工場、名所、舊蹟等多數ノ旅客ノ參集スル場所

第四條　道知事免許申請書ヲ受附ケタルトキハ一般ノ道路（朝鮮總督ノ管理スルモノヲ除ク）及一般通行ノ用ニ供スル通路ノ管理者ニ對シ答申ノ期限ヲ指定シテ其ノ管理上ノ意見ヲ徵スベシ

第五條　道知事ハ免許申請書ニ左ニ掲グル事項ニ關スル調查書ヲ添ヘ免許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

一　申請者ノ資產及信用程度
二　事業ノ成否及效用
三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路ノ適否（管理者ノ意見書ノ寫ヲ添附シ期限內ニ答申ナキトキハ其ノ旨ヲ記載スルコト）
四　他ノ旅客自動車運輸事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ボス影響
五　附近ニ於ケル旅客自動車運輸事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等ノ出願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者、申請書ノ受附年月日等
六　申請路線ニ於ケル推定運輸數量（當該路線ノ經營ニ依リ既免許路線ノ運輸數量ヲ增加スベキ場合ニ於テハ其ノ推定運輸增加數量ヲモ記載スルコト）及其ノ推定ノ根據
七　其ノ他必要ト認ムル事項

第一條第三項ノ副本ニハ前項ノ規定ニ依ル調査書及意見書ノ寫ヲ添附スベシ

第六條　事業計畫ガ朝鮮旅客自動車運輸事業基準規則ニ適合セザルトキハ免許ニ五年以內ノ有效期間ヲ指定ス

第七條　臨時ノ必要ニ因リ三月以內ノ期間ヲ限リ旅客自動車運輸事業ヲ經營セントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ第一條第二項ニ揭グル書類ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八條　事業計畫ノ變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

專用自動車道ノ工事方法ノ變更ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テ之ニ伴ヒ事業計畫ニ變更ヲ生ズルトキハ其ノ關係ヲ明示シタル書類及圖面ヲ提出シ事業計畫ノ變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

事業計畫ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク認可官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第九條　旅客自動車運輸事業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ片道運賃及往復運賃ニ限リ認可ヲ受ケズシテ之ヲ五割以內割引スルコトヲ得但シ割引期間ハ一年ヲ通ジテ六十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

一　季節ニ依リ旅客ヲ誘致スルトキ

二　祝祭日、緣日、記念日等多數ノ旅客ノ參集スルトキ

前項ノ規定ニ依リ運賃ノ割引ヲ爲シタルトキハ其ノ事由、割引期間、割引區間及割引率ヲ記載シ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第十條　專用自動車道ノ工事施行ノ認可申請書ニハ左ニ揭グル書類ヲ添附スベシ

一　工事方法書

二　工事費豫算書（第二號樣式）

三　申請者會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ登記簿ノ謄本

第十一條　前條第一號ノ工事方法書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ實測圖ヲ添附スベシ

一　工事ヲ執行スル區間ノ起點及終點ノ地名及地番竝ニ中心線ノ延長

二　鋪裝及路床ノ構造竝ニ路面ノ橫斷勾配

三　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ構造（主要ナルモノニハ耐力計算書及地質調査圖書ヲ添附スルコト）

四　排水設備

五　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ方法（交叉ニ關スル協定ノ要領ヲ記載スルコト）

前項第二號乃至第五號ノ事項ニ付テハ構造寸法ヲ示ス設計圖ヲ添附スベシ

前項ノ設計圖ノ縮尺ハ一般圖ニ在リテハ二百分ノ一以上、詳細圖ニ在リテハ五十分ノ一以上（鋼橋ニ在リテハ十五分ノ一以上）ト爲スベシ但シ簡易ナル工作物ニ在リテハ定規圖ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十二條　前條第一項ノ實測圖ハ左ノ三種トス

一　平面圖

縮尺ハ二千五百分ノ一以上トシ左ニ揭グル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

イ　起點及終點ノ地名及地番竝ニ經過府邑面名及其ノ境界線

ロ　中心線ヨリ左右少クトモ各二十米以內ノ區域內ニ於ケル地形及地物

ハ　二十米每（地形ニ依リ短縮スルコトヲ得）ノ測點及百米每ノ遞加距離ヲ示シタル中心線

ニ　曲線ノ起點及終點竝ニ半徑及交角

ホ　總幅員線、敷地境界線及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界線

ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ主要ナル工作物ノ位置及名稱

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　停留所及待避所ノ位置及名稱

市街地ニ在リテハ縮尺五百分ノ一以上ノ平面圖ニ「イ」乃至「チ」ニ揭グル事項ヲ記載シ別ニ之ヲ添附スベシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ橫ヲ平面圖ト縱ヲ橫斷面圖ト同一ト爲シ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號、測點間ノ距離及遞加距離

ロ　測點每ノ中心線ノ地面、施工基面、盛土ノ高サ及切土ノ深サ

ハ　勾配及其ノ延長

ニ　縱斷曲線ノ位置及延長

ホ　曲線ノ起點及終點竝ニ半徑及方向

ヘ　橋梁、隧道其ノ他工作物ノ位置及名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ種類及材質竝ニ徑間ノ長サ及數ヲ、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）

ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

チ　停留所及待避所ノ位置及名稱

三　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米每（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ專用自動車道ノ敷地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號

ロ　施工基面ノ幅

ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配

ニ　屈曲部ニ於ケル路面ノ片勾配

ホ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

第十三條　專用自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十四條　朝鮮自動車交通事業令ニ於テ依ルコトヲ定メタル自動車交通事業法（以下自動車交通事業法ト稱ス）第六條第三項ノ規定ニ依ル期間ノ伸長ノ申請書ニハ伸長ノ期間及事由ヲ記載スベシ

第十五條　專用自動車道ノ工事方法ノ變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第十六條　運輸開始ノ認可申請書ニハ免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ當該區間ニ專用自動車道ヲ開設スル場合ヲ除クノ外定款及會社ノ登記簿ノ謄本ヲ添附スベシ

當該區間ニ專用自動車道ヲ開設スル場合ニ於テ之ニ關聯スル道路、橋梁、

河川、運河等ノ工事竣功セザルトキハ運輸開始ノ認可ヲ申請スルコトヲ得ズ但シ當該管理廳ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

運輸ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ之ヲ届出ヅベシ

第十七條　旅客自動車運輸事業讓渡ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當事者之ニ連署スベシ

一　讓渡人及讓受人ノ本籍及住所竝ニ氏名、商號又ハ名稱

二　讓渡ノ範圍及讓渡價額

三　讓渡ノ事由

前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類及圖面ヲ添附スベシ

一　路線圖（路線竝ニ其ノ起點、終點及分岐點ノ地名及地番ヲ明示スルコト）

二　讓渡契約書ノ謄本及讓渡價額說明書

三　當該路線ノ最近ノ興業費明細表及最近一年間ノ運輸收支表

四　申請者道、府、邑又ハ面ナルトキハ事業ノ讓渡又ハ讓受ニ關スル道會、府會、邑會又ハ面協議會ノ決議要領書、會社ナルトキハ事業ノ讓渡又ハ讓受ニ關スル株主總會若ハ社員總會ノ議事及決議ノ要領書又ハ無限責任社員若ハ總社員ノ同意書ノ謄本

五　讓受人會社ナルトキハ現ニ旅客自動車運輸事業ヲ經營スルモノヲ除クノ外定款及登記簿ノ謄本竝ニ最近ノ財產目錄及貸借對照表、會社ヲ設立セントスルモノナルトキハ定款ノ謄本

六　自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ノ設定アルトキハ抵當權者ノ同意書ノ謄本

事業ノ一部ヲ讓渡スル場合ニ於テハ讓受部分及殘存部分ニ付各別ノ事業計畫書ヲ提出シ事業計畫ノ變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

事業ノ全部ヲ讓渡スル場合ニ於テ讓受クル事業ニ付事業計畫ヲ變更セントスルトキハ其ノ關係ヲ明示シタル書類及圖面ヲ提出シ事業計畫ノ變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

第二條第二項ノ規定ハ讓受人ガ讓受クル路線ト既免許路線トヲ通ジテ事業計畫ヲ定ムル場合ニ之ヲ準用ス

讓受人事業ヲ承繼シタルトキハ遲滯ナク許可官廳ニ之ヲ届出ヅベシ

讓渡ノ許可ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ前項ノ規定ニ依ル届書ニハ會社ノ登記簿ノ謄本ヲ添附スベシ

第十八條　會社ノ合併ニ因ル旅客自動車運輸事業承繼ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當事者之ニ連署スベシ

一　合併スル會社及合併ニ因リ設立スル會社ノ住所及商號

二　合併ノ方法及條件

三　合併ノ事由

前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類及圖面ヲ添附スベシ

一　前條第二項第一號ニ掲グル路線圖

二　合併契約書ノ謄本及合併比率說明書

三　合併スル會社ノ最近ノ財產目錄、貸借對照表、興業費明細表及最近一年間ノ運輸收支表

四　合併ニ關スル株主總會若ハ社員總會ノ議事及決議ノ要領書又ハ無限責任社員若ハ總社員ノ同意書ノ謄本

五　合併後存續スル會社ニ在リテハ現ニ旅客自動車運輸事業ヲ經營スルモノヲ除クノ外定款及登記簿ノ謄本、合併ニ因リ設立スル會社ニ在リテハ定款ノ謄本

前條第四項及第五項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル事業承繼ノ場合ニ之ヲ準用ス

合併ニ因リ事業ヲ承繼シタル會社ハ登記簿ノ謄本ヲ具シ遲滯ナク許可官廳ニ之ヲ届出ヅベシ

第十九條　旅客自動車運輸事業者ノ死亡ニ因リ其ノ事業ヲ承繼シタル相續人ハ戶籍謄本ヲ具シ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ届出ヅベシ

第二十條　旅客自動車運輸事業休止ノ許可申請書ニハ休止セントスル路線（事業ノ一部ヲ休止セントスルトキハ其ノ路線圖ヲ添附スルコト）、期間及事由ヲ記載スベシ

第十七條第三項ノ規定ハ事業ノ一部ヲ休止スル場合ニ之ヲ準用ス

事業休止ノ許可ヲ受ケタル期間中ニ事業ヲ再開シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ之ヲ届出ヅベシ

第二十一條　旅客自動車運輸事業廢止ノ許可申請書ニハ廢止セントスル路線（事業ノ一部ヲ廢止セントスルトキハ其ノ路線圖ヲ添附スルコト）及事由ヲ記載シ第十七條第二項第四號ニ準ズル書類ヲ添附スベシ

第十七條第三項ノ規定ハ事業ノ一部ヲ廢止スル場合ニ之ヲ準用ス

事業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ之ヲ届出ヅベシ

第二十二條　旅客自動車運輸事業ヲ營ム會社ノ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ノ認可申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ株主總會若ハ社員總會ノ議事及決議ノ要領書又ハ無限責任社員若ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添附スベシ

解散ノ決議若ハ總社員ノ同意ニ對スル認可ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ會社解散シタルトキハ會社ノ登記簿ノ謄本ヲ具シ遲滯ナク道知事ニ之ヲ届出ヅベシ

第二十三條　旅客自動車運輸事業ノ管理ノ委託及受託ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當事者之ニ連署スベシ

一　委託者及受託者ノ住所及主タル事務所竝ニ氏名、商號又ハ名稱

二　管理ノ委託及受託ノ區間及期間

三　管理ノ方法及管理ノ報酬（收入金ノ保管及引繼竝ニ報酬及管理費用ノ支辨方法ヲ記載スルコト）

四　管理ノ開始又ハ終了ニ關スル公告ノ方法

五　管理ノ委託及受託ノ事由

前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　管理契約書ノ謄本

二　第十七條第二項第四號ニ準ズル書類

事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ伴ヒ事業計畫ニ變更ヲ生ズルトキハ其ノ關係ヲ明示シタル書類及圖面ヲ提出シ事業計畫ノ變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

第一項第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ第一項及第二項ノ規定ニ準ジ作成シタル書類ヲ提出シ朝鮮總督府鐵道局長（以下單ニ鐵道局長ト稱ス）又ハ道知事ノ認可ヲ受クベシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

事業ノ管理ノ委託及受託ヲ實施シタルトキハ其ノ年月日ヲ具シ當事者連署ノ上遲滯ナク認可官廳ニ之ヲ届出ヅベシ

事業ノ管理ノ委託及受託ヲ終了シタルトキハ其ノ事由及年月日ヲ具シ當事者連署ノ上遲滯ナク認可官廳ニ之ヲ届出ヅベシ

ル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條　第二十二條第五項ノ規定ハ事業ノ共同經營ヲ實施シ及終了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲シタル事業ニ關スル許可又ハ認可ノ申請、屆出、報告其ノ他ノ手續ハ委託者及受託者ノ何レニ於テ之ヲ爲スヘキカヲ明示スル文言ヲ表示スヘシ

第二十五條　事業ノ管理ノ委託及受託ヲ開始セントスルトキハ當事者ハ遲滯ナク鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

2　管理ノ委託及受託ノ區間又期間ヲ變更セントスルトキ亦同シ

3　公告スヘキ公告シタル事項ヲ變更シテ之ヲ爲スヘキトキ亦同シ

4　連絡運輸ノ期間

5　連絡運輸ノ事由

第二十六條　旅客自動車運輸事業ノ共同經營ヲ爲サントスルトキハ當事者連署シタル書面ヲ提出シ鐵道局長ノ認可ヲ受ケヨ

2　前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ路線ノ起點及終點ノ地名及地番、主ナル經過地並ニ延長ヲ記載スルノ外第三條ノ規定ニ準シ作成シタル路線圖ヲ添附スルコト

3　前項ノ許可申請書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スルコト

一　共同經營ノ區間及方法

二　共同經營ノ期間

三　收入ノ割賦及經營ノ分擔方法

四　共同經營ノ事由

五　共同經營ノ契約書ノ謄本

六　前項ノ申請書ニハ左ニ揭ケル書類ヲ添附スヘシ

一　共同經營ノ區間及方法ヲ定メタル書面

二　共同經營ノ事由ヲ證スヘキ書類

三　共同經營ノ契約書ノ謄本

4　第一項第二號乃至第四號ニ揭ケル事項ヲ變更セントスルトキハ當事者連署シタル書面ヲ提出シ鐵道局長ノ認可ヲ受ケヨ

5　前項ノ規定ハ第一項第二號乃至第四號ニ揭ケル事項ノ變更ニ之ヲ準用ス

第二十七條　旅客自動車運輸事業者ノ連絡運輸ヲ爲サントスルトキハ當事者連署シタル書面ヲ提出シ鐵道局長ノ認可ヲ受ケヨ

2　前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ連絡運輸ノ起點及終點ノ地名及地番、主ナル經過地並ニ延長ヲ記載スルノ外第三條ノ規定ニ準シ作成シタル路線圖ヲ添附スルコト

3　前項ノ許可申請書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ記載スルコト

一　連絡運輸ノ事由

二　連絡運輸ノ期間

三　運賃ノ割賦方法

四　連絡運輸ノ區間及方法

五　連絡運輸ノ事由

第二十八條　旅客自動車運輸事業者ハ左ニ揭ケル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

一　本籍、住所、氏名、商號若ハ名稱、目的、出資金額、資本金額若ハ出資口數（主タル使用地別ノ口數）

二　主タル事務所又ハ營業所ノ所在地ノ地名又ハ地番ニ變更アリタルトキ

三　路線ノ起點若ハ終點（軌道用自動車道ノ起點又ハ終點ヲ含ム）ノ地名又ハ地番ニ變更アリタルトキ

第二節　運輸

第三款　自動車交通事業

第二十九條　旅客自動車運送事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲シタル事業ノ種別、路線ヲ定メ觀光旅客ノ運送ヲ目的トスル自動車運送事業（觀光旅客自動車運送事業）又ハ其ノ他ノ事業（普通旅客自動車運送事業）ノ別ニ記載スルコト

二　主タル事業區域

イ　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ路線ノ起點及終點ノ地名及地番、主ナル經過地並ニ延長ヲ記載スルノ外第三條ノ規定ニ準シ作成シタル路線圖ヲ添附スルコト

ロ　團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ團體、目的地及此等相互間ノ往復ノ路程ヲ記載スルノ外此等ヲ表示スル略圖ヲ添附スルコト

ハ　普通旅客自動車運送事業ニ在リテハ主トシテ營業ヲ行フ地域ヲ記載スルコト

三　事輛ノ車名、年式、動力ノ種類及旅客定員別輛數（主タル使用地別）

四　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ運轉系統及停留所、團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ事輛ノ運行經路

五　運賃及運輸ニ關スル料金

六　主タル事務所及營業所ノ名稱及位置

七　事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲シタル事業ニ關スル帳簿、乘車券、荷物切符等ニ表示スヘキ事項

八　前各號ニ揭ケル事項ノ外運輸ニ關シ必要ナル事項

第三十條　事業計畫ニハ左ニ揭ケル事項ヲ定ムヘシ

一　事業種別、路線ヲ定メ觀光旅客ノ運送ヲ目的トスル自動車運送事業（觀光旅客自動車運送事業）、經營區間ヲ定メ觀光旅客ノ運送ヲ目的トスル事業（觀光旅客自動車運送事業）又ハ其ノ他ノ事業（普通旅客自動車運送事業）ノ別ニ記載スルコト

二　主タル事業區域

イ　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ路線ノ起點及終點ノ地名及地番、主ナル經過地並ニ延長ヲ記載スルノ外第三條ノ規定ニ準シ作成シタル路線圖ヲ添附スルコト

ロ　團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ團體、目的地及此等相互間ノ往復ノ路程ヲ記載スルノ外此等ヲ表示スル略圖ヲ添附スルコト

ハ　普通旅客自動車運送事業ニ在リテハ主トシテ營業ヲ行フ地域ヲ記載スルコト

三　事輛ノ車名、年式、動力ノ種類及旅客定員別輛數（主タル使用地別）

四　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ運轉系統及停留所、團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ事輛ノ運行經路

五　運賃及運輸ニ關スル料金

六　主タル事務所及營業所ノ名稱及位置

七　事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲シタル事業ニ關スル帳簿、乘車券、荷物切符等ニ表示スヘキ事項

第二節　運輸

第三款　自動車交通事業

第二十八條　旅客自動車運輸事業者ハ左ニ揭ケル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

一　本籍、住所、氏名、商號若ハ名稱、目的、出資金額、資本金額若ハ出資口數（主タル使用地別）

二　主タル事務所又ハ營業所ノ所在地ノ地名又ハ地番ニ變更アリタルトキ

三　路線ノ起點若ハ終點（軌道用自動車道ノ起點又ハ終點ヲ含ム）ノ地名又ハ地番ニ變更アリタルトキ

第二節　運輸

第三款　自動車交通事業

第二十九條　旅客自動車運送事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲シタル事業ノ種別、路線ヲ定メ觀光旅客ノ運送ヲ目的トスル自動車運送事業（觀光旅客自動車運送事業）、經營區間ヲ定メ觀光旅客ノ運送ヲ目的トスル自動車運送事業（觀光旅客自動車運送事業）又ハ其ノ他ノ事業（普通旅客自動車運送事業）ノ別ニ記載スルコト

二　主タル事業區域

イ　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ路線ノ起點及終點ノ地名及地番、主ナル經過地並ニ延長ヲ記載スルノ外第三條ノ規定ニ準シ作成シタル路線圖ヲ添附スルコト

ロ　團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ團體、目的地及此等相互間ノ往復ノ路程ヲ記載スルノ外此等ヲ表示スル略圖ヲ添附スルコト

ハ　普通旅客自動車運送事業ニ在リテハ主トシテ營業ヲ行フ地域ヲ記載スルコト

三　事輛ノ車名、年式、動力ノ種類及旅客定員別輛數（主タル使用地別）

四　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ運轉系統及停留所、團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ事輛ノ運行經路

五　運賃及運輸ニ關スル料金

六　主タル事務所及營業所ノ名稱及位置

七　事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲シタル事業ニ關スル帳簿、乘車券、荷物切符等ニ表示スヘキ事項

第三十條　事業計畫ニハ左ニ揭ケル事項ヲ定ムヘシ

一　事業種別、路線ヲ定メ觀光旅客ノ運送ヲ目的トスル自動車運送事業（觀光旅客自動車運送事業）、經營區間ヲ定メ觀光旅客ノ運送ヲ目的トスル事業（觀光旅客自動車運送事業）又ハ其ノ他ノ事業（普通旅客自動車運送事業）ノ別ニ記載スルコト

二　主タル事業區域

イ　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ路線ノ起點及終點ノ地名及地番、主ナル經過地並ニ延長ヲ記載スルノ外第三條ノ規定ニ準シ作成シタル路線圖ヲ添附スルコト

ロ　團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ團體、目的地及此等相互間ノ往復ノ路程ヲ記載スルノ外此等ヲ表示スル略圖ヲ添附スルコト

ハ　普通旅客自動車運送事業ニ在リテハ主トシテ營業ヲ行フ地域ヲ記載スルコト

三　事輛ノ車名、年式、動力ノ種類及旅客定員別輛數（主タル使用地別）

四　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ運轉系統及停留所、團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ事輛ノ運行經路

五　運賃及運輸ニ關スル料金

六　主タル事務所及營業所ノ名稱及位置

七　事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲シタル事業ニ關スル帳簿、乘車券、荷物切符等ニ表示スヘキ事項

第二節　運輸

第三款　自動車交通事業

第十七條第四項及第五項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル事業承繼ノ場合ニ之ヲ準用ス

合併ニ因リ事業ヲ承繼シタル會社ハ登記簿ノ謄本ヲ具シ遲滯ナク道知事ニ之ヲ屆出ヅベシ

第三十五條　第十九條ノ規定ハ旅客自動車運送事業者ノ死亡ニ因リ其ノ相續人ガ其ノ事業ヲ承繼シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條　旅客自動車運送事業休止ノ許可申請書ニハ休止セントスル路線、經營區間又ハ主トシテ營業ヲ行フ地域、期間及事由ヲ記載スベシ

第十七條第三項ノ規定ハ旅客自動車運送事業ノ一部ヲ休止スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條第三項ノ規定ハ旅客自動車運送事業ノ休止ノ期間中ニ事業ヲ再開シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條　旅客自動車運送事業廢止ノ許可申請書ニハ廢止セントスル路線、經營區間又ハ主トシテ營業ヲ行フ地域及事由ヲ記載シ第十七條第二項第四號ニ準ズル書類ヲ添附スベシ

第十七條第三項ノ規定ハ旅客自動車運送事業ノ一部ヲ廢止スル場合ニ之ヲ準用ス

事業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ之ヲ屆出ヅベシ

第三十八條　第二十二條ノ規定ハ旅客自動車運送事業ヲ營ム會社ノ解散ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　旅客自動車運送事業ノ共同經營ヲ爲サントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當事者連署シタル書面ヲ提出シ道知事ノ認可ヲ受クベシ

一　當事者ノ住所及主タル事務所竝ニ氏名、商號又ハ名稱

二　共同經營ヲ爲ス事業ノ種別

三　共同經營ノ區間及方法

四　收入ノ割賦及經費ノ分擔方法

五　共同經營ノ期間

六　共同經營ノ事由

前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　共同經營契約書ノ謄本

二　第十七條第二項第四號ニ準ズル書類

第一項第三號乃至第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ作成シタル書類ヲ提出シ道知事ノ認可ヲ受クベシ

第二十三條第三項ノ規定ハ第一項及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條第五項及第六項ノ規定ハ旅客自動車運送事業ノ共同經營ヲ實施シ及終了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十條　旅客自動車運送事業ニシテ路線ヲ定ムルモノハ觀光旅客以外ノ運送ヲ目的トシテ之ヲ經營スルコトヲ得ズ

團體旅客自動車運送事業又ハ普通旅客自動車運送事業ニ在リテハ個別ニ運賃ヲ受ケ其ノ他旅客自動車運輸事業ニ類似スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

普通旅客自動車運送事業ニ在リテハ旅客定員八人以上ノ車輛ヲ使用シテ之ヲ經營スルコトヲ得ズ

第四十一條　旅客自動車運送事業者ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ其ノ事業種別、事由及年月日ヲ具シ遲滯ナク道知事ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　第二十八條第一號及第二號ノ場合

二　觀光旅客自動車運送事業ニ在リテハ路線ノ起點若ハ終點ノ地名若ハ地番又ハ主ナル經過地名ニ、團體旅客自動車運送事業ニ在リテハ出發地名又ハ目的地名ニ變更アリタルトキ

第四十二條　觀光旅客自動車運送事業又ハ團體旅客自動車運送事業ノ用ニ供スル車輛ノ外側ニハ見易キ箇所ニ事業者ノ名稱又ハ徽章及事業種別ヲ表示スベシ

第四十三條　團體旅客自動車運送事業ノ用ニ供スル車輛ノ內部ニハ免許ヲ受ケタル經營區間ノ認證狀ヲ掲示スベシ

事業ヲ開始シ又ハ車輛數ヲ增加スルトキハ其ノ車輛數ニ應ジ前項ノ認證狀ノ下附ヲ道知事ニ申請スベシ其ノ認證狀ヲ滅失又ハ毀損シタルトキ亦同ジ

車輛數ヲ減ジタルトキハ第一項ノ認證狀ハ遲滯ナク之ヲ返納スベシ

第四十四條　左ニ掲グル場合ニ於テハ道知事ハ旅客自動車運送事業經營ノ免許ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ事業ノ全部若ハ一部ヲ停止セシムルコトヲ得

一　法令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

二　法令ニ基キテ爲シタル處分又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタルトキ

三　事業ノ經營ノ不確實又ハ資產狀態ノ著シキ不良其ノ他ノ爲事業ヲ繼續スル適セズト認メタルトキ

四　公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキ

第四十五條　左ニ掲グル場合ニ於テハ旅客自動車運送事業經營ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

一　免許ヲ受ケタル後四月以內ニ事業ヲ開始セザルトキ

二　事業ノ廢止ノ認可ヲ受ケタルトキ

第三章　貨物自動車運送事業

第四十六條　貨物自動車運送事業經營ノ免許申請書ニハ第二十九條第一項ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

前項ノ免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　第一條第二項各號ニ準ズル書類

二　他ニ貨物自動車運送事業經營ノ免許ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ事業區間又ハ主タル事業區域及使用車輛ヲ記載シタル書面

第四十七條　事業種別　事業計畫ニハ左ニ掲グル事項ヲ定ムベシ

一　事業區間ヲ定ムル事業（區間貨物自動車運送事業）又ハ事業區間ヲ定メザル事業（區域貨物自動車運送事業）ノ別ヲ記載スルコト

二　事業區間又ハ主タル事業區域

イ　區間貨物自動車運送事業ニ在リテハ事業區間ノ兩端ノ地及其ノ間ニ於ケル主ナル營業地ヲ記載スルノ外此等ノ事項及各營業所ノ位置ヲ示ス圖面ヲ添附スルコト

ロ　區域貨物自動車運送事業ニ在リテハ主タル事業區域ヲ記載スルコト

三　車輛ノ車名、年式、動力ノ種類及積載定量別輛數（主タル使用地別ニ記載スルコト）

四　運賃及運輸ニ關スル料金（事業種別每ニ記載スルコト）

五　主タル事務所及營業所（業務ヲ他人ニ代理セシムルモノヲ含ム）ノ名稱及位置（區間貨物自動車運送事業ニ在リテハ車輛ノ主タル運行經路

ニ依ル營業所間ノ粁程ヲ附記スルコト）

六　車庫ノ位置及車輛格納力

七　區間貨物自動車運送事業ニ在リテハ一月間ノ最少運行回數

第四十八條　貨物自動車運送事業經營ノ免許ヲ受ケタル者其ノ事業ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

前項ノ者會社ノ發起人ナルトキハ前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ會社ノ登記簿ノ謄本ヲ添附スベシ

第四十九條　自動車交通事業法第十六條ノ四第二項ノ規定ニ依ル期間ノ伸長ノ申請書ニハ伸長ノ期間及事由ヲ記載スベシ

第五十條　事業計畫ノ變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

事業計畫ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク認可官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第五十一條　貨物自動車運送事業ノ爲ノ專用自動車道ノ開設ノ認可申請書ニハ左ニ揭グル書類ヲ添附スベシ

一　工事方法書

二　工事費豫算書（第二號樣式）

三　工事ノ著手及完成ノ豫定時期ヲ記載シタル書面

第十一條及第十二條ノ規定ハ前項ノ工事方法書ニ之ヲ準用ス

第十五條ノ規定ハ貨物自動車運送事業ノ爲ノ專用自動車道ノ工事方法ノ變更ニ之ヲ準用ス

第五十二條　貨物自動車運送事業ノ譲渡ノ許可申請書ニハ第十七條第一項ニ揭グル事項ヲ記載シ當事者之ヲ連署スベシ

前項ノ許可申請書ニハ左ニ揭グル書類及圖面ヲ添附スベシ

一　區間貨物自動車運送事業ニ在リテハ其ノ事業區間ノ兩端ノ地、主ナル營業地及各營業所ノ位置ヲ示ス圖面

二　當該事業ノ最近ノ興業費明細表及最近一年間ノ運輸收支表

三　第十七條第二號及第四號乃至第六號ニ準ズル書類

第十七條第三項乃至第七項ノ規定ハ貨物自動車運送事業ヲ譲渡スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條　會社ノ合併ニ因ル貨物自動車運送事業承繼ノ許可申請書ニハ第十八條第一項ニ揭グル事項ヲ記載シ當事者之ニ連署スベシ

前項ノ許可申請書ニハ左ニ揭グル書類及圖面ヲ添附スベシ

一　區間貨物自動車運送事業ニ在リテハ其ノ事業區間ノ兩端ノ地、主ナル營業地及各營業所ノ位置ヲ示ス圖面

二　第十八條第二項第二號乃至第五號ニ準ズル書類

第十七條第四項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル事業承繼ノ場合ニ之ヲ準用ス

合併ニ因リ事業ヲ承繼シタル會社ハ登記簿ノ謄本ヲ具シ遲滯ナク許可官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第五十四條　第十九條ノ規定ハ貨物自動車運送事業者ノ死亡ニ因リ其ノ相續人ガ其ノ事業ヲ承繼シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條　貨物自動車運送事業休止ノ許可申請書ニハ休止ノ範圍（事業ノ一部ヲ休止セントスルトキハ其ノ範圍ヲ示ス圖面ヲ添附スルコト）、期間及事由ヲ記載スベシ

第十七條第三項ノ規定ハ貨物自動車運送事業ノ一部ヲ休止スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條第三項ノ規定ハ貨物自動車運送事業ノ休止ノ期間中ニ事業ヲ再開シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十六條　貨物自動車運送事業廢止ノ許可申請書ニハ廢止ノ範圍（事業ノ一部ヲ廢止セントスルトキハ其ノ範圍ヲ示ス圖面ヲ添附スルコト）及事由ヲ記載シ第十七條第二項第四號ニ準ズル書類ヲ添附スベシ

第十七條第三項ノ規定ハ貨物自動車運送事業ノ一部ヲ廢止スル場合ニ之ヲ準用ス

事業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク許可官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第五十七條　第二十二條ノ規定ハ貨物自動車運送事業ヲ營ム會社ノ解散ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十八條　貨物自動車運送事業ノ管理ノ委託及受託ノ認可申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ當事者之ニ連署スベシ

一　委託者及受託者ノ住所及主タル事務所竝ニ氏名、商號又ハ名稱

二　管理ノ委託及受託ノ範圍及期間

三　管理ノ方法及管理ノ報酬（收入金ノ保管及引繼竝ニ報酬及管理費用ノ支辨方法ヲ記載スルコト）

四　管理ノ開始又ハ終了ニ關スル公告ノ方法

五　管理ノ委託及受託ノ事由

前項ノ認可申請書ニハ左ニ揭グル書類ヲ添附スベシ

一　管理契約書ノ謄本

二　第十七條第二項第四號ニ準ズル書類

事業ノ管理ノ委託及受託ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ伴ヒ事業計畫ニ變更ヲ生ズルトキハ其ノ關係ヲ明示シタル書類及圖面ヲ提出シ事業計畫ノ變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

第一項第二號及第三號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ第一項及第二項ノ規定ニ準ジ作成シタル書類ヲ提出シ區間貨物自動車運送事業ニ在リテハ鐵道局長、區域貨物自動車運送事業ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受クベシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第二十三條第五項及第六項ノ規定ハ貨物自動車運送事業ノ管理ノ委託及受託ヲ實施シ及終了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十九條　第二十四條及第二十五條ノ規定ハ貨物自動車運送事業ノ管理ヲ委託シ及受託スル場合ニ之ヲ準用ス

第六十條　第二十六條ノ規定ハ區間貨物自動車運送事業ノ共同經營ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十一條　第二十七條ノ規定ハ區間貨物自動車運送事業者他ノ運送事業者ト連絡運輸ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十二條　貨物自動車運送事業者ハ左ニ揭グル場合ニ於テハ其ノ事由及年月日ヲ具シ遲滯ナク免許官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　第二十八條第一號及第二號ノ場合

二　區間貨物自動車運送事業ニ在リテハ事業區間ノ主ナル營業地ノ地ヲ又ハ專用自動車道ノ起點若ハ終點ノ地名若ハ地番ニ變更アリタルトキ

第六十三條　自動車交通事業法第十六條ノ三、第十六條ノ四第二項竝ニ第十六條ノ八ニ於テ準用スル第七條及第十二條乃至第十三條ノ二ノ規定ニ依ル免許、許可、認可其ノ他ノ申請ハ左ノ區分ニ依リ朝鮮總督、鐵道局長又ハ道知事ニ之ヲ爲スベシ

一　區間貨物自動車運送事業ニシテ左ニ揭グルモノノ事業經營ノ免許、

事業讓渡ノ許可、會社ノ合併ニ因ル事業ノ承繼ノ許可竝ニ事業ノ管理ノ委託及受託ノ認可ニ付テハ朝鮮總督、其ノ他ノモノニ付テハ道知事

イ　區間ノ總延長ガ四十粁以上ニ亙ルモノ

ロ　區間ガ二以上ノ道ニ亙ルモノ

ハ　區間ガ京城、大邱、釜山、平壤及清津ノ各府ノ府内ニ在ルモノ又ハ此等ノ各府ノ内外ニ亙ルモノ

ニ　當該區間ヨリ五粁（起點又ハ終點ヨリハ十粁）ノ範圍内ニ鐵道、軌道、索道、自動車道事業又ハ他ノ區間貨物自動車運送事業ノ區間（未開業及出願中ノモノヲ含ム）在ルモノ

ホ　其ノ他鐵道、軌道、索道、自動車道事業又ハ他ノ區間貨物自動車運送事業（未開業及出願中ノモノヲ含ム）ト競爭ノ虞アルモノ

ヘ　區間ノ全部又ハ一部ガ一般自動車道ニ依ルモノ

二　區間貨物自動車運送事業ノ事業計畫ニシテ前號イ乃至ヘニ該當スル事業ノ事業種別ノ變更及之ニ伴フ其ノ他ノ事業計畫ノ變更竝ニ事業區間、運賃及運輸ニ關スル料金ノ變更ノ認可ニ付テハ鐵道局長、其ノ他ノモノニ付テハ道知事

三　區間貨物自動車運送事業ノ事業開始ノ期間ノ伸長、事業ノ休止若ハ廢止ノ許可竝ニ會社解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ニ對スル認可ニ付テハ道知事

四　區域貨物自動車運送事業ニ關スルモノニ付テハ道知事但シ事業種別ノ變更及之ニ伴フ其ノ他ノ事業計畫ノ變更ノ認可ニ付テハ鐵道局長

五　區間貨物自動車運送事業ヲ經營スル者及區域貨物自動車運送事業ヲ經營スル者相互間ニ於ケル事業ノ讓渡ノ許可、會社ノ合併ニ因ル事業ノ承繼ノ許可竝ニ事業ノ管理ノ委託及受託ノ認可ニ付テハ第一號及前號ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督

自動車交通事業法第十六條ノ六第二項及第十六條ノ八ニ於テ準用スル第十一條第三項ノ規定ニ依ル裁定ノ申請ハ當該事項ノ命令ヲ爲シタル行政官廳ニ之ヲ爲スベシ

第六十四條　第四條及第五條ノ規定ハ區間貨物自動車運送事業ニ之ヲ準用ス

第四章　自動車道事業

第六十五條　自動車道事業經營ノ免許申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　本籍及住所

二　氏名、商號又ハ名稱

三　區間

イ　一般自動車道ノ起點及終點ノ地名及地番（通稱アルトキハ之ヲ附記スルコト）

ロ　一般自動車道ノ延長及有效幅員

ハ　主ナル經過地名

四　事業計畫

五　事業經營ノ事由

前項ノ免許申請書ニハ左ニ掲グル書類及圖面ヲ添附スベシ

一　一般自動車道豫測圖

二　興業費概算書（第三號樣式）

三　事業收支概算書

四　第一條第二項第三號ニ準ズル書類

前二項ノ書類及圖面ハ正副二通之ヲ提出スベシ

第六十六條　事業計畫ニハ左ニ掲グル事項ヲ定ムベシ

一　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡關係

二　一般自動車道ノ使用料金及使用方法

三　興業費ノ總額及資金調達方法

四　主タル事務所及營業所ノ名稱及位置

第六十七條　第六十五條第二項第一號ノ一般自動車道豫測圖ハ縮尺五萬分ノ一以上ノ平面圖トシ一般自動車道ノ起點及終點、中心線、一粁毎ノ遲加距離、經過府邑面名竝ニ地形及地物ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

第六十八條　第六十五條第二號ノ使用料金ハ乘用自動車、貨物自動車其ノ他ノ自動車ニ區別シ均一制ニ在リテハ均一使用料金ヲ、區間制ニ在リテハ各區間ノ使用料金及料程ヲ、紆制ニ在リテハ對粁使用料金ヲ、自動車ノ重量、構造、裝置等ニ依リ使用料金ニ差等ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ料金ヲ、乘車員數制又ハ積載重量制ヲ併用スルモノニ在リテハ一人又ハ單位重量ニ對スル使用料金ヲ記載スベシ

第六十九條　道知事ハ免許申請書ヲ受附ケタルトキハ左ニ掲グル事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ免許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

一　申請者ノ資產及信用程度

二　事業ノ成否及效用

三　附近ニ於ケル一般ノ道路、自動車道及ビ一般通行ノ用ニ供スル通路ノ現況、其ノ交通狀態竝ニ一般ノ道路ノ新設及改築ノ計畫

四　他ノ自動車道事業、旅客自動車運輸事業、鐵道、軌道、索道等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ボス影響

五　附近ニ於ケル自動車道事業、旅客自動車運輸事業、鐵道、軌道、索道等ノ出願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者、申請書ノ受附年月日等

六　其ノ他必要ト認ムル事項

第六十五條第三項ノ副本ニハ前項ノ規定ニ依ル調査書及意見書ノ寫ヲ添附スベシ

第七十條　事業計畫ノ變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

工事方法ノ變更ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テ之ニ伴ヒ事業計畫ニ變更ヲ生ズルトキハ其ノ關係ヲ明示シタル書類及圖面ヲ提出シ事業計畫ノ變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

事業計畫ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

第七十一條　一般自動車道ノ工事施行ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　工事方法書

二　工事費豫算書（第四號樣式）

三　申請者會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ登記簿ノ謄本

第七十二條　前條第一號ノ工事方法書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ實測圖ヲ添附スベシ

一　工事ヲ執行スル區間ノ起點及終點ノ地名及地番竝ニ中心線ノ延長

二　最小荷重

三　有效幅員及路肩ノ幅員
四　施工基面高
五　縱斷勾配
六　盛土及切土ノ斜面ノ勾配
七　鋪裝及路床ノ構造竝ニ路面ノ橫斷勾配
八　曲線ノ半徑
九　最短視距
十　屈曲部ノ兩端ニ於ケル緩和區間ノ延長
十一　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ構造（主要ナルモノニハ耐力計算書及地質調査圖書ヲ添附スルコト）
十二　排水設備
十三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡及交叉ノ方法竝ニ鐵道、軌道等ノ交叉ノ方法（交叉ニ關スル協定ノ要領ヲ記載スルコト）
十四　駐車場ノ位置、面積及構造
十五　通信、信號、標識、保安、照明等ノ設備
十六　給油所、使用料金徵收所、事務員駐在所等ノ位置

前項第六號ノ事項ニ付テハ橫斷定規圖ヲ、同項第七號、第八號及第十號乃至第十五號ノ事項ニ付テハ構造寸法ヲ示ス設計圖ヲ添附スベシ

前項ノ橫斷定規圖ノ縮尺ハ五十分ノ一以上トシ路面ノ橫斷勾配、盛土及切土ノ斜面ノ勾配（高サ又ハ地質ニ應ズル斜面ノ勾配ヲ記載スルコト）竝ニ排水設備ノ位置及斷面ヲ記載スベシ

第二項ノ設計圖ノ縮尺ハ一般圖ニ在リテハ二百分ノ一以上、詳細圖ニ在リテハ五十分ノ一以上（鋼橋ニ在リテハ十五分ノ一以上）トスベシ但シ簡易ナル工作物ニ在リテハ定規圖ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七十三條　前條第一項ノ實測圖ハ左ノ三種トス

一　平面圖

縮尺ハ二千五百分ノ一以上トシ左ニ揭グル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

イ　起點及終點ノ地名及地番竝ニ經過府邑面名及其ノ境界線
ロ　中心線ヨリ左右少クトモ各二十米以內ノ區域內ニ於ケル地形及地物
ハ　二十米毎（地形ニ依リ短縮スルコトヲ得）ノ測點及百米毎ノ遠加距離ヲ示シタル中心線
ニ　曲線ノ起點及終點竝ニ半徑及交角
ホ　總幅員線、敷地境界線及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界線
ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ主要ナル工作物ノ位置及名稱
ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱
チ　駐車場、給油所、使用料金徵收所、事務員駐在所等ノ位置及名稱
リ　通信、信號、標識、保安、照明等ノ設備ノ位置及名稱

市街地ニ在リテハ縮尺五百分ノ一以上ノ平面圖ニ「イ」乃至「リ」ニ揭グル事項ヲ記載シ別ニ之ヲ添附スベシ

二　縱斷面圖

縮尺ハ橫ヲ平面圖ト、縱ヲ橫斷面圖ト同一ト爲シ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號、測點間ノ距離及遞加距離
ロ　測點每ノ中心線ノ地面、施工基面、盛土ノ高サ及切土ノ深サ
ハ　勾配及其ノ延長
ニ　縱斷曲線ノ位置及延長
ホ　曲線ノ起點及終點竝ニ半徑及方向
ヘ　橋梁、隧道其ノ他ノ工作物ノ位置及名稱（橋梁ニ在リテハ其ノ種類及材質竝ニ徑間ノ長サ及數ヲ、隧道ニ在リテハ其ノ長サヲ明示スルコト）
ト　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡又ハ交叉ノ位置及名稱竝ニ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置及名稱

三　橫斷面圖

縮尺ハ二百分ノ一以上トシ二十米每（地形ニ依リ伸縮スルコトヲ得）ニ一般自動車道ノ敷地境界線ヨリ左右少クトモ各五米以內ノ區間ノ橫斷面ヲ示シ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

イ　測點番號
ロ　施工基面ノ幅
ハ　盛土及切土ノ斜面ノ勾配
ニ　屈曲部ニ於ケル路面ノ片勾配
ホ　敷地ノ境界及自動車運行ノ爲必要ナル沿線土地ノ境界

第七十四條　一般自動車道ノ全部ニ付工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第七十五條　自動車交通事業法第十九條第二項及第二十條第二項ノ規定ニ依ル期間ノ伸長ノ申請書ニハ伸長ノ期間及事由ヲ記載スベシ

第七十六條　一般自動車道ノ供用開始ノ認可申請書ニハ供用ヲ開始セントスル區間及時期ヲ記載スベシ

一般自動車道ノ供用ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

第七十七條　一般自動車道ノ工事方法ノ變更ノ認可申請書ニハ變更セントスル事項及事由ヲ記載シ新舊ヲ對照シタル書類及圖面ヲ添附スベシ

第七十八條　自動車道事業讓渡ノ許可申請書ニハ第十七條第一項ニ揭グル事項ヲ記載シ當事者之ニ連署スベシ

前項ノ許可申請書ニハ左ニ揭グル書類及圖面ヲ添附スベシ

一　區間圖（區間竝ニ其ノ起點、終點及分岐點ノ地名及地番ヲ明示スルコト）
二　當該區間ノ最近ノ興業費明細表及最近一年間ノ事業收支表
三　第十七條第二項第二號及第四號乃至第六號ニ準ズル書類

第十七條第三項乃至第七項ノ規定ハ自動車道事業ヲ讓渡スル場合ニ之ヲ準用ス

第七十九條　會社ノ合併ニ因ル自動車道事業承繼ノ許可申請書ニハ第十八條第一項ニ揭グル事項ヲ記載シ當事者之ニ連署スベシ

前項ノ許可申請書ニハ左ニ揭グル書類及圖面ヲ添附スベシ

一　前條第二項第一號ニ揭グル區間圖
二　第十八條第二項第二號乃至第五號ニ準ズル書類

合併ニ因リ事業ヲ承繼シタル會社ハ登記簿ノ謄本ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

第八十條　第十九條ノ規定ハ自動車道事業者ノ死亡ニ因リ其ノ相續人ガ其ノ事業ヲ承繼シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十一條　自動車道事業休止ノ許可申請書ニハ休止セントスル區間（事業ノ一部ヲ休止セントスルトキハ其ノ區間圖ヲ添附スルコト）期間及事由ヲ記載スベシ

第十七條第三項ノ規定ハ自動車道事業ノ一部ヲ休止スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條第三項ノ規定ハ自動車道事業ノ休止ノ期間中ニ事業ヲ再開シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十二條　自動車道事業廢止ノ許可申請書ニハ廢止セントスル區間（事業ノ一部ヲ廢止セントスルトキハ其ノ區間圖ヲ添附スルコト）及事由ヲ記載シ第十七條第二項第四號ニ準ズル書類ヲ添附スベシ

第十七條第三項ノ規定ハ自動車道事業ノ一部ヲ廢止スル場合ニ之ヲ準用ス

事業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

第八十三條　自動車道事業ヲ營ム會社ノ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ノ認可申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ株主總會若ハ社員總會ノ議事及決議ノ要領書又ハ無限責任社員若ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添附スベシ

解散ノ決議若ハ總社員ノ同意ニ對スル認可ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ會社解散シタルトキハ會社ノ登記簿ノ謄本ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

第八十四條　自動車道事業者ハ左ニ揭グル場合ニ於テハ其ノ事由及年月日ヲ具シ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　第二十八條第一號及第二號ノ場合

二　一般自動車道ノ起點若ハ終點ノ地名若ハ地番又ハ主ナル經過地名ニ變更アリタルトキ

第五章　雜則

第八十五條　自動車ノ登錄ハ當該自動車ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事之ヲ管掌ス

第八十六條　自動車ノ登錄ヲ申請セントスル者ハ第五號樣式ニ依リ一車毎ニ作成シタル登錄申請書正副二通ヲ道知事ニ提出スベシ

第八十七條　道知事登錄申請書ヲ受附ケタルトキハ之ニ登錄番號及登錄年月日ヲ記入シ正本ハ之ヲ自動車登錄簿ニ編綴シ副本ニハ官印ヲ押捺シ正本ト契印シテ之ヲ申請者ニ還付スベシ

第八十八條　登錄事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ登錄ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク舊申請書ノ副本ヲ添ヘ第五號樣式ニ準ジ作成シタル變更登錄申請書正副二通ヲ道知事ニ提出スベシ但シ自動車交通事業財團所有權ノ移轉ニ因リ所有者ニ變更ヲ生ジタル場合ニ於ケル申請書ニハ新舊所有者連署スベシ

道知事前項ノ申請書ヲ受附ケタル場合ニ於ケル手續ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ車名、型式及年式以外ノ登錄事項ニ變更ヲ生ジタル場合ニ於ケル登錄番號ハ舊ニ依ル

舊申請書ノ正本ハ自動車登錄簿ヨリ取外シ副本ト共ニ之ヲ保管スベシ

第八十九條　左ニ揭グル場合ニ於テハ登錄ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ舊申請書ノ副本ヲ添ヘ道知事ニ登錄ノ抹消ヲ申請スベシ

一　登錄ヲ受ケタル自動車ガ自動車交通事業財團ニ屬セザルニ至リタルトキ

二　登錄ヲ受ケタル自動車ノ主タル使用地ガ他ノ道知事ノ管轄ニ屬スルニ至リタルトキ

三　自動車交通事業財團ノ所有權保存ノ登記ノ申請ガ却下セラレ又ハ登記ガ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

四　自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ノ登記ノ全部ガ抹消セラレタルトキ

道知事前項ノ申請書ヲ受附ケタルトキハ舊申請書ノ正本ヲ自動車登錄簿ヨリ取外シ副本ト共ニ之ヲ保管スベシ

第一項第二號ノ場合ニ於テハ遲滯ナク新使用地ニ於テ之ガ登錄ヲ申請スベシ

第九十條　前二條ノ場合ニ於テ舊申請書ノ副本ノ紛失等ニ因リ之ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ申請書ニ附記スベシ

第九十一條　何人ト雖モ自動車登錄簿ノ記載事項ヲ記載シタル書面ヲ道知事ニ提出シ其ノ相違ナキ旨ノ認證ヲ申請スルコトヲ得

第九十二條　旅客自動車運輸事業、旅客自動車運送事業、貨物自動車運送事業又ハ自動車道事業ノ經營ノ免許失效シタルトキハ遲滯ナク免許官廳ニ免許狀ヲ返納スベシ

第九十三條　旅客自動車運輸事業者ニ在リテハ第六號樣式及第七號樣式ニ依ル營業報告書及統計報告書ヲ、旅客自動車運送事業者ニ在リテハ第八號樣式ニ依ル營業概況報告書ヲ、貨物自動車運送事業者ニ在リテハ第九號樣式ニ依ル營業概況報告書ヲ調製シ每營業年度ノ經過後二月以內ニ鐵道局長及道知事ニ之ヲ提出スベシ

第九十四條　旅客自動車運輸事業者、旅客自動車運送事業者及貨物自動車運送事業者ハ每年三月三十一日現在ニ於ケル使用車輛ニ付夫々第十號樣式、第十一號樣式又ハ第十二號樣式ニ依ル車輛明細表ヲ調製シ翌月末日迄ニ鐵道局長及道知事ニ之ヲ提出スベシ

第九十五條　自動車交通事業法第三十四條第三項ノ證票ハ第十二號樣式ニ依ル

第九十六條　朝鮮自動車交通事業令又ハ本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ申請書其ノ他ノ書類ハ自動車道事業ニ在リテハ一般自動車ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ、其ノ他ノ事業ニ在リテハ其ノ事件ノ關スル土地ヲ管轄スル道知事及鐵道局長ヲ經由スベシ

朝鮮自動車交通事業令又ハ本令ノ規定ニ依リ鐵道局長ニ提出スベキ申請書其ノ他ノ書類ハ其ノ事件ノ關スル土地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

事件ガ二以上ノ道ニ關スル場合ニ於テハ前二項ノ道知事ハ其ノ事件ノ主トシテ關スル土地ヲ管轄スル道知事トス

前二項ノ規定ハ朝鮮自動車交通事業令又ハ本令ノ規定ニ依リ道知事ニ提出スベキ申請書其ノ他ノ書類ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和十六年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮自動車運輸事業自動車登錄規程及朝鮮自動車運送事業規則ハ之ヲ廢止ス

從前ノ規定ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

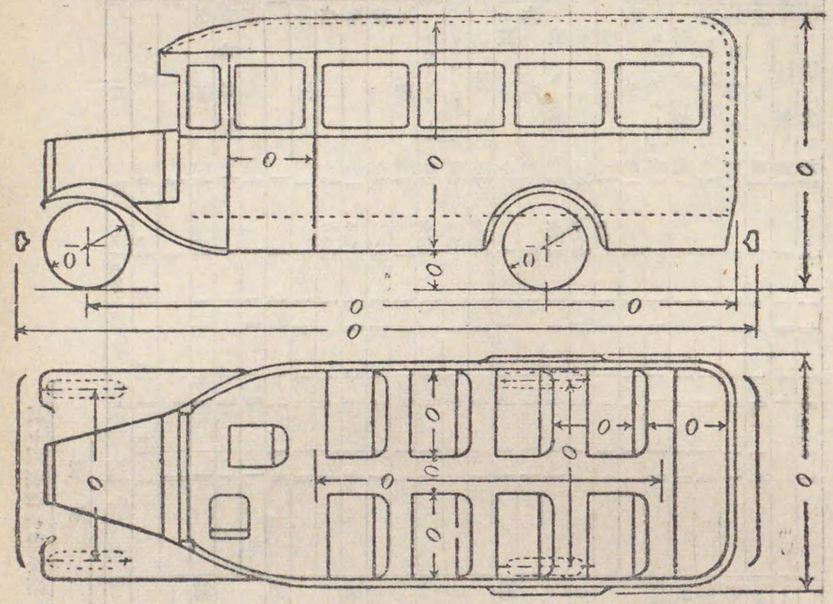
本令ニ依リ新ニ認可ヲ受クベキモノトナリタル事項ニシテ本令施行ノ際現

第一號様式

車軸型式圖

道

旅客　（事業者名）



車臺			車體			車輛最大寸法		
	車名			型式			長サ	粍
	型式			車體製造所名			幅	〃
	年式			旅客定員	座席	人	高サ	〃
	軸距	粍			立席	〃	最短廻轉半徑	〃
	機關 名稱			客室ノ高サ		粍	車輛重量	瓲
	機關 型式			通路ノ幅員		〃	購入價格	圓
	機關 年式			通路ノ長サ		〃	使用開始年月日	
	機關 動力ノ種類			車體重量		瓲	輛數	
	機關 最大出力（毎分回轉數）			物品積載定量		〃	記事	

備考

1　長サノ單位ハ粍、重量ノ單位ハ瓲ヲ以テ記載スベシ

2　用紙ノ大サハ日本標準規格A列四番（縱210粍、橫297粍）トス

〔朝〕

ニ存スルモノハ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

本令施行ノ際現ニ物品運送ヲ爲ス自動車運輸事業又ハ不定期貨物自動車事業ヲ經營スル者ハ之ヲ區間貨物自動車運送事業經營ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

本令施行ノ際現ニ事業區域ヲ定メ旅客定員八人以上ノ自動車ヲ使用シテ旅客運送ヲ爲ス貸切自動車事業ヲ經營スル者ハ本令施行後三月以內ニ第三十條第一項第二號「ロ」ニ準ジ作成シタル書類及圖面ヲ提出シ經營區間ニ付道知事ノ認定ヲ受クベシ此ノ場合ニ於テハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ本令ニ依リ圖營旅客自動車運送事業ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

朝鮮自動車運輸事業自動車登錄規程ニ依リテ爲シタル自動車ノ登錄ニシテ本令施行ノ際現ニ自動車交通事業財團ニ屬スルモノハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

〔朝〕

第二號樣式

何々間專用自動車道工事費豫算書

延長　粁

事業者名

項目	數量	平均單價	金額	摘要
測量及監督費		圓	圓	
用地物件移轉其ノ他補償費				
用地費	平米			
物件移轉費				
補償費				
道路費				
土工費				
切土	立米			
盛土	立米			
何々				
支壁費				
鐵筋コンクリート支壁	平米			
コンクリート支壁	平米			
石造支壁	平米			
何々				
鋪裝費				
何々鋪裝	平米			
路床工	平米			
路盤工	平米			
溝橋費				
コンクリート管				
函形溝橋				
側溝及街渠費				
排水設備費				
何々費				
雜工事費				
水路付替				
踏切費	米	圓	圓	
何々				
橋梁費				
何々橋費	平米			
何々費				
隧道費				
何々隧道	米			
何々費				
諸設備費				
保安設備費				
照明設備費				
信號設備費				
停留所費				
何々費				
諸建物費				
車庫費	平米			
何々費				
車輛費				
旅客自動車費	輛			
貨物自動車費	輛			
器具機械費				
何々費				
總係費				
豫備費				
合計				
一粁當				

〔次頁〕

〔前頁〕

第三號樣式

興業費概算書

事業者名

項	數量	平均單價	金額	摘要
創業費		圓	圓	
測量及監督費	粁			
用地物件移轉其ノ他補償費				
道路費	米			
橋梁費	〃			
隧道費	〃			
諸設備費				
諸建物費	平米			
器具機械費				
何々費				
總係費				
豫備費				
合計				

第四號樣式

間一般自動車道工事費豫算書

延長 粁

事業者名

項	目	數量	平均單價	金額	合計	摘要	項	目	數量	平均單價	金額	合計	摘要
測量及監督費		粁	圓	圓	圓			何々費		圓	圓	圓	
用地費物件移轉費其ノ他補償費								雜工事費					
	用地費	平米						水路付替	米				
	物件移轉費							踏切道	〃				
	補償費							何々					
道路費							橋梁費						
	土工費							何々橋費	平米				
	切土	立米						何々費	〃				
	盛土	〃					隧道費						
	何々							何々隧道費	米				
	支壁費							何々費	〃				
	鐵筋コンクリート支壁	平米					諸設備費						
	コンクリート支壁	〃						保安設備費					
	石造支壁	〃						照明設備費					
	何々							信號設備費					
	鋪裝費							駐車場費	平米				
	何々鋪裝	平米						何々費					
	路床工	〃					諸建物費						
	路盤工	〃					器具機械費	使用料金徵收所費	平米				
	溝橋費						何々費	何々費					
	コンクリート管	米					總係費						
	函形溝橋	〃					豫備費						
	側溝及街渠費	〃					合計						
	排水設備費	〃					一粁當						

〔朝〕

第五號樣式

自動車登錄申請書

年 月 日

住所

申請者名 印

道知事 宛

登錄事項	
一	所有者
二	車名、型式及年式
三	機關番號
四	車臺番號
五	旅客定員又ハ物品積載定量
六	箱型幌型又ハ有蓋無蓋ノ別
七	所屬ノ路線、事業區間又ハ主タル事業區間
八	事業種別
登錄番號	
登錄年月日	
備考	

道知事 印

（備考）

一 用紙ノ寸法ハ日本標準規格B列五番トス

二 登錄事項ハ申請者ニ於テ之ヲ記入スベシ

第六號樣式（用紙ノ大キサ日本標準規格A列四番トス）

年 月 日

住所

事業者名 印

朝鮮總督府鐵道局長（道知事）宛

旅客自動車運輸事業營業報告書

年上(下)期 自 年 月 日 至 年 月 日

一 概況 本項ハ事業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於テ旅客自動車運輸事業ニ關シ行政廳ニ申請シタル事項及其ノ指令ノ要領、商業登記、營業ノ開始又ハ廢止、營業年度ノ變更、訴訟其ノ他ノ重要ナル庶務事項ヲ、個人ニ非ザル事業者ニ在リテハ前記各事項ノ外會議又ハ總會等ニ關スル事項ヲ記載スベシ

二 設備 本項ハ設備ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル車輛ノ增減、車庫ノ新設又ハ廢止及自動車道等ニ關スル工事ノ大要、用地ノ增減等ヲ記載スベシ

三 運輸 本項ハ運輸ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業日數、營業休止日數、開業路線粁程、休止路線粁程、旅客及物品ノ輸送數量、收入總額、支出總額等ヲ前期及前々期ニ比較シ增減ノ主因ヲ說明スベシ

四 會計 本項ハ會計ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル資本金、拂込資本金、社債金、借入金其ノ他ノ資金及ビ興業費ノ增減、車輛其ノ他ノ財産ノ價額償却金等會計ニ關スル事項ヲ記載スベシ

備考

一 本書ニハ別表ニ準ジ作成シタル諸表ヲ添附スベシ但シ會社ニ非ザル事業者ニシテ事業ノ興業費三萬圓未滿ノモノニ在リテハ第三表、第五表、第六表及第七表ヲ省略スルコトヲ得

二 個人ニ非ザル事業者ニ在リテハ提出スベキ營業報告書ヲ承認シタル會議又ハ總會等ノ議事要領書、考課狀ヲ添附スベシ

〔朝〕

第二表

損益計算表

自　年　月　日　至　年　月　日

事業者名

収入 科目	金額	支出 科目	金額	損益
	圓		圓	圓
旅客自動車運輸事業収入		旅客自動車運輸事業支出		
運輸収入		営業費		
客荷収入		保険料		
手荷物収入		修繕費		
雑収入		税金		
………		減価償却金		
		自動車運送事業賦課金		
		各事業関聯営業費分擔額		
		雑支出		
		利子		
		損金		
		雑		
旅客自動車運送事業収入		旅客自動車運送事業支出		
貨物自動車運送事業収入		貨物自動車運送事業支出		
私設鉄道業収入		私設鉄道業支出		
………		………		
合計		合計		

備考

1　運輸雑収、雑収入及雑損ノ主ナル内譯ハ之ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ

2　保存費ニハ自動車道、車輛、諸建物等保存復舊ニ要スル費用、旅客自動車運輸事業會計規則第三條第二項ノ規定ニ依リ興業費ヨリ控除スベキ金額等ヲ、輸送費ニハ運轉士車掌其ノ他ノ運輸從事員ノ給料及手當、燃料、油脂、修習所ニ於ケル旅客取扱、旅客誘致ノ爲廣告ニ係ル費用等ヲ、總係費ニハ運輸營業上ノ諸費用ニシテ他ノ科目ニ屬セザルモノヲ計上スベキモノトス

3　道路負擔金ニ付テハ道路損傷負擔金及受益者負擔金ニシテ當該年度營業費ヨリ支辨スルモノヲ記載スベシ

4　財産價額償却金ノ内容ハ之ヲ欄外又ハ別紙ニ記明スベシ

5　關聯費分擔金ニ付テハ其ノ計算方法ヲ欄外又ハ別紙ニ記明スベシ

6　各事業ニ於テ支拂利子及社債差損金ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外又ハ別紙ニ記載シ其ノ計算方法ヲ記明スベシ

小川ノ

第一表

貸借對照表

年　月　日現在

事業者名

借方 科目	會額	貸方 科目	會額
	圓		圓
株式運開未拂資本金		株式運開未拂資本金	
各自動車運送事業興業費		各自動車運送事業興業費	
各自動車道路線興業費		各自動車道路線興業費	
各自動車運送事業興業費		各自動車運送事業興業費	
各附帶事業興業費		各附帶事業興業費	
貯蔵品		社債	
有價證券		借入金	
現金		手形借入	
預金		當座借越	
未收入金		未拂金	
前拂費用		前受收益	
假拂金		假受金	
未決算		未決算	
貯蔵品有價證券現金預金		資本金	
		別途積立金	
		減價償却積立金	
		繰越金	
		當期利益金	
合計		合計	

備考　1　個人ノ場合ニ於テハ旅客自動車運輸事業ニ關スル事項以下各表ニ付亦同ジ

他ノ事業ニ關スルモノト併セテ記載スルコトヲ得以下各表ニ付亦同ジ

2　拂込未濟資本金ニ付テハ其ノ拂込金額及各株式數及各株式拂込未濟金額ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ

3　假拂出金、未收入金、有價證券支拂手形未拂金、假受金、引當金及保證金ニ付テハ其ノ主ナル内譯ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ

4　株式ニ普通株、優先株、後配株、繰株及新株等ノ區別アルトキハ各株式數及金額ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ

5　本表ハ營業年度末日現在ヲ以テ作成スベシ第六表及第七表ニ付亦同ジ

第四表

何々間路線興業費明細表

自　年　月　日　至　年　月　日

事業者名

科目	前期末現在額	當期決算額 新規決算額	當期決算額 償却額	當期末現在額	摘要
	圓	圓	圓	圓	
車輛費					
機械場費					
諸建物費					
用地費					
道路改良分擔金					
事業承繼費（對應財產ヲ有セザルモノ）					
總係費					
自動車道費					
合計					

備考

1　本表ハ各路線毎ニ作成スベシ但シ區分シ難キトキハ合算計上スルコトヲ得

2　開業區間ト未開業區間トアルトキハ各區間別ニ本表ヲ作成スベシ但シ正確ニ區分スコルト能ハザルトキハ一定ノ標準ヲ設ケ合計金額ニ於テ區分シ之ヲ欄外ニ記載スベシコノ場合ニ於テハ其ノ標準ヲ欄外ニ說明スベシ

3　總係費ノ主ナル內譯ハ之ヲ摘要欄又ハ別紙ニ記載スベシ

4　諸建物費其ノ他ヲ各事業ニ分割計上シタルトキハ其ノ標準ヲ欄外又ハ別紙ニ說明スベシ

5　自動車道費ニハ測量費、監督費、用地費、土工費、路面費、橋梁費、伏樋費、隧道費、總係費等ノ目ヲ設ケテ記載スベシ

6　新規決算額及償却額ハ其ノ概要ヲ摘要欄又ハ別紙ニ記載スベシ

第三號

利益金處分表

自　年　月　日　至　年　月　日

事業者名

收入 科目	金額	支出 科目	金額
前期繰越金		法定準備金	
當期純益金		任意準備金	
		役員賞與金	
		優先株配當金（年割分厘）	
		普通株配當金（年割分厘）	
		後配株配當金（年割分厘）	
		後期繰越金	
合計		合計	

備考

1　優先株、普通株又ハ後配株ニ數種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スベシ

2　年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ株式ノ種類、金額及期日ヲ欄外ニ記載スベシ

3　當期缺損金アル場合ニ於テハ本表ニ準ジ缺損金處分表ヲ作成スベシ

〔朝〕

第五表

営業費明細表

自　年　月　日　至　年　月　日

事業者名

科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
保修費	圓		給料	圓	
存繕費			掌手他給料		
修給料			事同共ノ員手給		
被手当			職同服		
服輪生地ヲ含ム）			被雑		
C發タイヤー			燃料費		
ニ料品			ガソリン		
材分			木炭		
部品費			薪		
諸雑費			油脂費		
線路費			償却		
建設費			本社ノ		
借物賃			報酬		
損害保険料			給料		
負担金			手当		
自動車保険料			旅費		
輸送費			交際費		
人件費			雑費		
給料			減価償却費		
手当			固定資産除却費		
運転手同			諸税		
			合計		

備考

1　本表ハ旅客自動車運輸事業ニ關スルモノノミニ付記載スベシ

2　旅客自動車運輸事業會計規則第三條第二項ノ規定ニ依リ興業費ヨリ控除スベキ金額ハ保存費中ノ該當科目ニ計上スベシ

3　本社費中ノ備消品費ニハ石炭、木炭、瓦斯、電燈、水道等ノ使用料ヲ雑費ニハ社員ノ被服費、旅費、健康保険料、會議費、圖書費、通信費、組合費等ヲ計上スベシ

4　他ノ科目ニ屬セザルモノハ諸經費中ノ雑費ニ計上スベシ

5　關聯費分擔額ニ付テハ其ノ計算方法ヲ補足記載スベシ

6　前期ニ比シ著シキ増減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スベシ

〔朝〕

第六表

表細明品物藏貯

在現　日　月　年

事業者名

科目	金額	摘要
	圓	
修繕用品		
タイヤ及チューブ		
部分品		
営業用品		
石炭		
ガソリン		
木炭		
薪		
油脂類		
乗車券類		
事務用品		
被服類		
備消品類		
合計		

備考

1　本表ハ旅客自動車運輸事業ニ關スルモノノミニ付記載スベシ

2　假出物品アルトキハ其ノ種類、數量及金額ヲ摘要欄又ハ別紙ニ記載スベシ。

〔朝〕

第七表

役員及主ナル株主表

在現日　月　年

事業者名

種別	氏名	所有株式數	摘要
取締役			
監査役			
主ナル株主			

備考

1　主ナル株主ハ株式總數ノ百分ノ五以上ヲ有スルモノヲ記載スベシ

2　所有株式數種アルトキハ種類別内譯ヲ摘要欄ニ記載スベシ

3　株式會社ニ非ザル會社ニ在リテハ本表ニ準ジ役員及主ナル社員表ヲ作成スベシ

〔朝〕

第一表

路線表

年　月　日現在

事業者名

種別	區間		粁程					停留所數	摘要
			道路及通路	一般自動車專用自動車道	小道及軍道	計			
	何々	間	粁	粁	粁	粁			
開業路線									
	計								
未開業線	何々	間							
	計								
合計									

備考

1　區間ハ発着、運轉系統ノ如何ニ拘ラズ重複セザルヤウ記載スベシ

2　粁程ハ小數點以下二位ヲ四捨五入シ一位ニ止メテ計上スベシ

3　停留所數ハ開業路線ニ係ルモノノミヲ記載スベシ

4　本表ハ營業年度末日現在ヲ以テ作成スベシ第二表及第五表ニ付亦同ジ

〔朝〕

旅客自動車運輸事業統計報告書

朝鮮總督府鐵道局長（又ハ鐵道事務所長）宛

年上（下）期

自　年　月　日

至　年　月　日

住所

事業者名　㊞

年　月　日

第七號樣式用紙ノ大サハ日本標準規格A列四番トスベシ

第三表

運輸成績表

自年月日　至年月日

事業者名

區間	營業日數	使用延日車數	車輛走行粁	輸送數量 旅客	輸送數量 物品	運輸收入 旅客	運輸收入 物品	運輸收入 計	一人平均乘車粁	摘要
何々間	日	輛	粁	人	瓲	圓	圓	圓	粁分	
同										
同										
同										
合計										

備考

1　本表ハ區間毎ニ整理記載スベシ但シ區分シ難キトキハ合算計上スルコトヲ得

2　營業日數ハ營業休止ノ日數ヲ除キタルモノヲ記載スベシ

3　使用延日車數及車輛走行粁ハ事業ニ關シ營業上使用シタル車輛ニ付調査記載スベシ

4　輸送旅客人員ノ計算ハ次ノ方法ニ依ル

イ　片道乘車ハ一券ヲ以テ一人トス

ロ　往復乘車及廻遊乘車ハ一券ヲ以テ二人トス

ハ　定期乘車ハ有效日數ニ二ヲ乘ジタルモノ

ニ　團體及貸切乘車ハ運賃計算人員

ホ　回數乘車ハ乘車シ得ベキ其ノ回數但シ區間制ニシテ乘車區數ニ應ジ乘車券ヲ使用シ得ルモノニアリテハ適當ノ方法ニ依リ旅客人員ヲ推定算出シ其ノ方法ヲ說明スベシ此ノ場合普通乘車ニ於テ各區券ヲ發賣スルトキハ次ノ如キ算出方法アリ

$$\frac{\text{普通乘車總延區數}}{\text{普通乘車人員}}=\text{一人平均乘車區數}$$

$$\frac{\text{回數乘車總延區數}}{\text{一人平均乘車區數}}=\text{推定旅客人員}$$

例

普通乘車總延區數　區

$$\frac{\text{一區券 100枚}\times 1+\text{二區券 80枚}\times 2+\text{三區券 70枚}\times 3=470}{100\text{人}+80\text{人}+70\text{人}=250}=1.88\cdots\cdots\text{一人平均乘車區數}$$

回數乘車總延區數　人

$$\frac{\text{50區券}\times 100\text{冊}+\text{100區券}\times 80\text{冊}=13.000}{1.88\text{區}}=6.915\cdots\cdots\text{推定旅客人員}$$

ヘ　定期、回數、回遊、團體乘車券ニ對スル延人員及運賃收入ハ之ヲ摘要欄ニ記載スベシ

5　一人平均乘車粁ハ旅客延人粁ヲ旅客人員ヲ以テ除シタルモノヲ記載スベシ但シ旅客延人粁ノ算出ハ次ノ方法ニヨル

旅客人粁ノ算出方法

每營業年度一回以上適當ノ日ヲ選ビ交通量調查ヲ行ヒ各旅客ニ付乘車區間ヲ調查シテ次ノ方法ニヨリ得タル各乘車區間ノ旅客延人粁ヲ合算ス但シ全線ニ亙リ交通量調查ヲ行ヒ難キトキハ適當ナル方法ニヨルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ方法ヲ說明スベシ

旅客ノ乘降シタル區間ニ於ケル旅客延人粁ハ當該停留所間ノ粁程ニ當該區間ノ旅客人員ヲ乘ジタルモノ

例

乘車停留所名	降車停留所名	旅客人員		區間粁程	旅客延人粁
A	B	20 人	×	1.3 粁分	=26.0粁分
B	C	18	×	2.0	=36.0
A	C	10	×	2.3	=23.0
合計		48			85.0

6　輸送數量及運輸收入ハ乘車券發賣ノ日又ハ物品受託ノ日ノ屬スル營業年度ニ算入スベシ

7　物品數量ハ運賃計算重量ニ依リ計上スベシ但シ箇數扱ノ物品ハ適當ナル方法ニ依リ之ヲ瓲ニ換算シテ計上スベシ

第二表

車輛表

年　月　日現在

事業者名

種別	車名	年式	輛數	旅客定員 座席	旅客定員 立席	旅客定員 計	摘要
ガソリン車			輛	人	人	人	
	計						
木炭車							
	計						
薪車							
	計						
何々車							
	計						
何々車							
	計						
合計							

備考

1　本表ハ所有者ノ如何ニ拘ラズ現ニ事業ノ用ニ供スル車輛ニ付之ヲ調製スベシ

2　物品積載設備ヲ有スルモノニアリテハ其ノ輛數ヲ摘要欄ニ記載スベシ

第四表

事故表

自年月日　至年月日

事業者名

死傷別 / 種別	件数				旅客		職員		公衆		計		摘要
	死傷ヲ生ジタル場合		死傷ヲ生ゼザル場合		死	傷	死	傷	死	傷	死	傷	
	件		件		人	人	人	人	人	人	人	人	
墜落													
衝突													
顚覆													
車輛火災													
轢死傷													
……													
……													
……													
計													

備考

1　種別ノ競合シタルトキハ主要ナルモノニ付記入スベシ

2　衝突ニハ汽車、電車、家屋、電柱等ニ衝突シタルモノヲ含ム

〔朝〕

第五表

職員表

年月日現在

事業者名

職名	人員	給料月額	諸給與月額	摘要
	人	圓	圓	
役員				
社長				
取締役				
監査役				
……				
計				
支配人				
庶務會計				
主任				
書記				
雇				
……				
計				
輸送				
主任				
運轉士				
車掌				
……				
計				
技術				
主任				
技手				
技工				
……				
計				
合計				

備考

1　本表ハ旅客自動車運輸事業ニ係ル職員ノミニ付作成スベシ

2　給料月額欄ニハ年俸ニアリテハ其ノ十二分ノ一、日給ニ在リテハ其ノ三十倍ヲ記載スベシ

3　諸給與月額欄ニハ臨時手當、賞與金、交際費、社宅料、被服代、時間增手當等ノ諸給與金ノ一月平均額ヲ記載スベシ

4　同一人ニテ他ノ職務ヲ兼務スルトキハ之ヲ明カニスベシ

5　株式會社ニ非ザル事業者ニアリテハ本表ニ準ジ作成スベシ

〔朝〕

第一表

貸借對照表

在現日　月　年

事業者名

借方 科目	金額	貸方 科目	金額
	圓		圓
拂込未濟資本金		資本金又ハ出資金	
旅客自動車運送事業興業費		特別資金	
旅客自動車運輸事業興業費		法定準備金	
貨物自動車運送事業興業費		任意準備金	
……		社債	
貯藏物品		何々財團抵當借入金	
假出金		借入金	
未收入金		支拂手形	
預金		當座借越金	
有價證券		未拂金	
現金		未拂配當金	
……		假受金	
		何々引當金	
		職員積立金	
		保證金	
		……	
		前期繰越金	
		當期純益金	
計		計	

備考

1　個人ノ場合ニ於テハ旅客自動車運送事業ニ關スルモノノミヲ記載スベシ但シ旅客自動車運送事業ニ關スルモノノミヲ記載シ難キトキハ他ノ事業ニ關スルモノヲ併セテ記載スルコトヲ得以下各表ニ付亦同ジ

2　拂込未濟資本金ニ付テハ其ノ株式數及各株式ノ拂込未濟金額ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ

3　財團抵當借入金ハ財團ノ種類毎ニ區別記載スベシ

4　貯藏物品、假出金、未收入金、有價證券、支拂手形、未拂金、假受金、引當金及保證金ニ付テハ其ノ主ナル內譯ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ

5　株式ニ普通株、優先株、後配株、舊株及新株等アルトキハ各株式ノ區別ニ從ヒ其ノ數及金額ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ

6　本表ハ營業年度末日現在ヲ以テ作成スベシ第六表乃至第八表及第九表(1)ニ付亦同ジ

第六表

燃料消費明細表

自年月日　至年月日

事業者名

種別	燃料消費高 ガソリン	木炭	薪	……	摘要
消費量	哩	瓩	瓩		
價額	圓	圓	圓		
單價	錢	錢	錢		
車輛走行粁	粁	粁	粁		
單位當走行粁	粁分	粁分	粁分		

備考

1　本表ハ旅客自動車運輸事業ニ關スルモノノミニ付記載スベシ

2　車輛走行粁及單位當走行粁ハガソリン車、木炭車、薪車等ノ別ニ區分シ營業上使用シタル車輛ニ付記載スベシ

3　代用燃料車ノ併用燃料ニ付テハ其ノ消費量ヲ摘要欄ニ記載スベシ

(ヘヘ第四號樣式別紙ノ燃料消費明細表ヲ添附スルトキハ本表ニ準ジ作成スベシ)

年　月　日

住所

事業者名　㊞

朝鮮總督府鐵道局長(道知事)　殿

旅客自動車運送事業營業概況報告書

一　概況　本項ハ事業概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於テ旅客自動車運送事業ニ關シ行政廳ニ申請シタル事項及其ノ指令ノ要領、商業登記、營業ノ開始又ハ廢止、營業年度ノ變更、訴訟其ノ他ノ重要ナル庶務事項ヲ、個人ニ非ザル事業者ニ在リテハ前記各事項ノ外會議又ハ總會等ニ關スル事項ヲ記載スベシ

二　設備　本項ハ設備ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル車輛ノ增減、事庫ノ新設又ハ廢止ニ關スル事項等ヲ記載スベシ

三　運轉　本項ハ運轉ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業日數、營業休止日數、乘客回數、旅客運送數量、收入總額及支出總額等ヲ前期及前々期ニ比較シ增減ノ主因ヲ說明スベシ

四　會計　本項ハ會計ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業收支金、拂込資本金、社債金、借入金其ノ他ノ資金及與業費ノ增減、車輛其ノ他ノ財產ノ價額償却金等會計ニ關スル事項ヲ記載スベシ

備考

一　本書ニハ別表第一表乃至第八表ニ準ジ作成シ添附スベキ事業報告書ノ提出スベキ事業者ガ二十萬圓未滿ノモノヲ除ク)ノミヲ添附スベシ

二　個人ニ非ザル事業者ニ在リテハ第五表乃至第七表及第九表ノ承認シタル會議又ハ總會等ノ議事要領書及參考書ヲ添附スベシ但シ第五表ニ付テハ營業年度末日現在ヲ以テ作成スベシ

第二表

損益計算表

自 年 月 日　至 年 月 日

事業者名

収入 科目	金額	支出 科目	金額	損益
	圓		圓	圓
旅客自動車運送事業収入		旅客自動車運送事業支出		
運輸収入		営業費		
旅客運輸収入		保存費		
雑収入		輸送費		
		総係費		
		諸税		
		………		
		財産価額償却金		
		各事業ニ関聯営業費分擔額		
		興業営業ニ関聯費分擔額		
		雑支出		
		支拂利子		
		社債差損金		
		財産価額償却金損		
旅客自動車運輸事業収入				
貨物自動車運送事業収入				
………		………		
		旅客自動車運輸事業支出		
		貨物自動車運送事業支出		
合計		合計		

備考

1　運輸雑収、雑収入及雑損ノ主ナル内譯ハ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ
2　保存費ニハ車輛、諸建物等ノ保存復舊ニ要スル費用、興業費ヨリ控除スベキ戻入金額等ヲ、輸送費ニハ運轉士、車掌、助手其ノ他ノ運輸從事員ノ給料及手當、燃料、油脂、旅客取扱、旅客誘致ノ爲ノ廣告ニ係ル費用等ヲ、總係費ニハ運輸營業上ノ諸費用ニシテ他ノ科目ニ屬セザルモノヲ計上スベシ
3　輸送費ニ計上セラルル燃料ニ付テハ種別消費量、平均單價及金額ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ
4　財産價額償却金ノ内容ハ之ヲ欄外又ハ別紙ニ說明スベシ
5　關聯費分擔額ニ付テハ其ノ計算方法ヲ欄外又ハ別紙ニ說明スベシ
6　各事業ニ於テ支拂利子及社債差損金ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外又ハ別紙ニ記載シ其ノ計算方法ヲ說明スベシ

〔裏〕

第三表

利益金處分表

自 年 月 日　至 年 月 日

事業者名

収入 科目	金額	支出 科目	金額
	圓		
前期繰越金		法定準備金	
當期純益金		任意準備金	
………		役員賞與金	
		優先株配當金（年　割　分　厘）	
		普通株配當金（年　割　分　厘）	
		後配株配當金（年　割　分　厘）	
		………	
		後期繰越金	
合計		合計	

備考

1　優先株、普通株又ハ後配株ニ數種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スベシ
2　年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ株式ノ種類、金額及期日ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ
3　當期缺損金アル場合ニ於テハ本表ニ準ジ缺損金處分表ヲ作成スベシ

第四表

興業費明細表

自　年　月　日　至　年　月　日

事業者名

科目	前期末現在額	當期決算額 新規決算額	當期決算額 償却額	當期末現在額	摘要
	圓	圓	圓	圓	
車輛費					
器械場費					
諸建物費					
用地費					
事業承繼費（對應財産ヲ有セザルモノ）					
……					
總係費					
合計					

備考

1　總係費ノ主ナル内譯ハ之ヲ摘要欄又ハ別紙ニ記載スベシ
2　諸建物費其ノ他ヲ各事業ニ分割計上シタルトキハ其ノ標準ヲ欄外又ハ別紙ニ說明スベシ
3　新規決算額及償却額ハ其ノ概要ヲ摘要欄又ハ別紙ニ說明スベシ

〔參〕

第五表

運輸成績表

自　年　月　日　至　年　月　日

事業者名

營業日數	使用延日車數	車輛走行粁	旅客人員	運輸收入 旅客	運輸收入 其ノ他	運輸收入 計	單位燃料當走行粁	一車一日實車粁	一車一日乘客回數	摘要
日	輛	粁	人	圓	圓	圓	粁	粁	回	

備考

1　營業日數ハ營業休止ノ日數ヲ除キタルモノヲ記載スベシ
2　使用延日數及車輛走行粁ハ營業上使用シタル車輛ニ付調査記載スベシ
3　單位燃料當走行粁ハ使用燃料ノ種別及單位量（一哩又ハ一瓩當）ヲ摘要欄ニ記載スベシ

第七表

職員表

年　月　日現在

事業者名

職名	入員	給料月額	諸給與月額	摘要
	人	圓	圓	
役員				
社長				
取締役				
監査役				
支配人				
庶務				
主任				
書記				
雇				
……				
輸送				
主任				
運轉士				
車掌				
助手				
技術				
主任				
技手				
技工				
合計				

備考

1　本表ハ旅客自動車運送事業ニ係ル職員ノミニ付作成スベシ
2　給料月額欄ニハ年俸ニ在リテハ其ノ十二分ノ一、日給ニ在リテハ其ノ三十倍ヲ記載スベシ
3　諸給與月額欄ニハ臨時手當、賞與金、交際費、社宅料、被服代、時間增手當等ノ諸給與金ノ一月平均額ヲ記載スベシ
4　同一人ニテ他ノ職務ヲ兼務スルトキハ之ヲ明カニスベシ
5　株式會社ニ非ザル事業者ニ在リテハ本表ニ準ジ作成スベシ

〔朝〕

第六表

車輛表

年　月　日　現在

事業者名

種別	普通車 車名	普通車 年式	普通車 輛數	小型車 車名	小型車 年式	小型車 輛數	摘要
			輛			輛	
ガソリン車							
計							
木炭車							
計							
薪車							
計							
何々車							
計							
合計							

備考

本表ハ所有者ノ如何ニ拘ラズ現ニ事業ノ用ニ供スル車輛ニ付之ヲ作成スベシ
但シ大型車ハ普通車ニ計上シ摘要欄ニ其ノ輛數ヲ記載スベシ

〔朝〕